

相生体育館耐震補強・改修及び増築工事

株式会社 剛建築事務所

図面リスト									
図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称
A ― 1	特記仕様書（１）	A ― 4 1	家具詳細図（２）	A ― 8 1	天井伏図（改修前）	S ― 1	基礎伏図	E ― 0 1	電気設備特記仕様書
A ― 2	特記仕様書（２）	A ― 4 2	配置図（改修前）・付近見取図	A ― 8 2	天井伏図（改修後）	S ― 2	2階梁伏図	E ― 0 2	電気設備凡例
A ― 3	特記仕様書（３）	A ― 4 3	面積表（既存部分）	A ― 8 3	１・２階建具配置図（改修前）	S ― 3	R階梁伏図	E ― 0 3	壁結線図
A ― 4	特記仕様書（４）	A ― 4 4	仕上表（１）	A ― 8 4	建具表（１）（改修前）	S ― 4	軸図－１	E ― 0 4	照明器具姿図
A ― 5	特記仕様書（５）	A ― 4 5	仕上表（２）	A ― 8 5	建具表（２）（改修前）	S ― 5	軸図－２	E ― 0 5	電灯設備 1階平面図（改修後）
A ― 6	特記仕様書（６）	A ― 4 6	1階平面図（改修前）	A ― 8 6	１・２階建具配置図（改修後）	S ― 6	基礎リスト	E ― 0 6	電灯設備 2階平面図（改修後）
A ― 7	面積表	A ― 4 7	2階平面図（改修前）	A ― 8 7	建具表（１）（改修後）	S ― 7	地中大梁リスト	E ― 0 7	電灯設備 １・２階平面図（増築部分）
A ― 8	仕上表	A ― 4 8	屋根伏図（改修前）	A ― 8 8	建具表（２）（改修後）	S ― 8	大梁リスト	E ― 0 8	コンセント設備 1階平面図（改修後）
A ― 9	配置図・付近見取図	A ― 4 9	1階平面図（改修後）	A ― 8 9	建具廻り詳細図	S ― 9	柱断面リスト	E ― 0 9	コンセント設備 2階平面図（改修後）
A ― 1 0	1階平面図	A ― 5 0	2階平面図（改修後）	A ― 9 0	屋根改修詳細図（参考図）	S ― 1 0	壁断面リスト 小梁断面リスト	E ― 1 0	コンセント設備 １・２階平面図（増築部分）
A ― 1 1	2階平面図	A ― 5 1	屋根伏図（改修後）	A ― 9 1	各部詳細図	S ― 1 1	配筋詳細図	E ― 1 1	弱電設備仕様書
A ― 1 2	R階平面図	A ― 5 2	立面図（１）（改修前）	A ― 9 2	鋼製床伏図（改修後）	S ― 1 2	屋根ブレース取り替え位置図	E ― 1 2	弱電設備 1階平面図（改修後）
A ― 1 3	立面図 1	A ― 5 3	立面図（２）（改修前）	A ― 9 3	鋼製床詳細図（改修後）	S ― 1 3	ファスナー取り替え位置図	E ― 1 3	弱電設備 2階平面図（改修後）
A ― 1 4	立面図 2	A ― 5 4	立面図（１）（改修後）	A ― 9 4	体育器具配置図	S ― 1 4	周囲アンカーボルト等改修図	E ― 1 4	弱電設備 １・２階平面図（増築部分）
A ― 1 5	矩計図 1	A ― 5 5	立面図（２）（改修後）	A ― 9 5	体育器具 床下基礎配置図	S ― 1 5	取り替え部分詳細図（１）	E ― 1 5	防災設備 仕様書・系統図
A ― 1 6	矩計図 2	A ― 5 6	矩計図（改修前）	A ― 9 6	体育器具姿図（１）	S ― 1 6	取り替え部分詳細図（２）	E ― 1 6	現況撤去図 1階平面図（改修前）
A ― 1 7	階段断面詳細図	A ― 5 7	断面詳細図（１）（改修前）	A ― 9 7	体育器具姿図（２）	S ― 1 7	取り替え部分詳細図（３）	E ― 1 7	現況撤去図 2階平面図（改修前）
A ― 1 8	断面詳細図 1	A ― 5 8	断面詳細図（２）（改修前）	A ― 9 8	体育器具姿図（３）	S ― 1 8	添え柱鉄骨補強	E ― 1 8	現況撤去図 便所部分平面図（改修前）
A ― 1 9	断面詳細図 2	A ― 5 9	断面詳細図（３）（改修前）	A ― 9 9	下屋詳細図	S ― 1 9	特記事項		
A ― 2 0	1階平面詳細図 1	A ― 6 0	断面詳細図（４）（改修前）	A ― 100	プール棟改修図	S ― 2 0	桁行き方向補強位置図		
A ― 2 1	1階平面詳細図 2	A ― 6 1	矩計図（改修後）	A ― 101	外部渡り廊下詳細図	S ― 2 1	ブレース詳細図 壁閉塞詳細図	M ― 0 1	機械設備特記仕様書
A ― 2 2	1階展開図 1	A ― 6 2	断面詳細図（１）（改修後）	A ― 102	既存体育器具基礎詳細図	S ― 2 2	鉄筋コンクリート構造配筋基準図（１）	M ― 0 2	衛生器具表、機器表
A ― 2 3	1階展開図 2	A ― 6 3	断面詳細図（２）（改修後）	A ― 103	既存小屋伏図（参考図）	S ― 2 3	鉄筋コンクリート構造配筋基準図（２）	M ― 0 3	給排水衛生設備 1階平面図（増築部分）
A ― 2 4	1階展開図 3	A ― 6 4	断面詳細図（３）（改修後）	A ― 104	既存小屋伏詳細図（参考図）	S ― 2 4	鉄筋コンクリート構造配筋基準図（３）	M ― 0 4	給排水衛生設備 2階平面図（増築部分）
A ― 2 5	2階平面詳細図 1	A ― 6 5	平面詳細図（１）（改修前）	A ― 105	既存鉄骨部材詳細図（参考図）	S ― 2 5	鉄筋コンクリート構造配筋基準図（４）	M ― 0 5	給排水衛生設備 平面詳細図（増築部分）
A ― 2 6	2階平面詳細図 2	A ― 6 6	平面詳細図（２）（改修前）	A ― 106	既存便所棟平面詳細図	S ― 2 6	鉄骨構造基準図（１）	M ― 0 6	給水設備 プール棟改修平面詳細図
A ― 2 7	2階展開図 1	A ― 6 7	平面詳細図（１）（改修後）	A ― 107	既存便所棟断面詳細図	S ― 2 7	鉄骨構造基準図（２）	M ― 0 7	消火設備 系統図・配管摩擦損失計算書
A ― 2 8	2階展開図 2	A ― 6 8	平面詳細図（２）（改修後）			S ― 2 8	鉄骨構造基準図（３）	M ― 0 8	消火設備 1階平面図（改修後）
A ― 2 9	2階展開図 3	A ― 6 9	展開図（１）（改修前）（改修後）					M ― 0 9	消火設備 2階平面図（改修後）
A ― 3 0	天井伏図	A ― 7 0	展開図（２）（改修前）（改修後）					M ― 1 0	空調設備 機器表
A ― 3 1	建具配置図	A ― 7 1	展開図（３）（改修前）（改修後）					M ― 1 1	空調設備 1階平面図（増築部分）
A ― 3 2	建具表 1	A ― 7 2	展開図（４）（改修前）（改修後）					M ― 1 2	空調設備 2階平面図（増築部分）
A ― 3 3	建具表 2	A ― 7 3	展開図（５）（改修前）（改修後）					M ― 1 3	換気設備 2階平面図（改修後）
A ― 3 4	柱廻り詳細図	A ― 7 4	展開図（６）（改修前）（改修後）					M ― 1 4	現況撤去 1階平面図（改修前）
A ― 3 5	システムキッチン（参考図）	A ― 7 5	展開図（７）（改修前）（改修後）					M ― 1 5	現況撤去 平面詳細図
A ― 3 6	各部詳細図（可動間仕切）	A ― 7 6	展開図（８）（改修前）（改修後）						
A ― 3 7	各部詳細図 4（トイレブース）	A ― 7 7	展開図（９）（改修前）（改修後）						
A ― 3 8	各部詳細図 5（屋外名称板）	A ― 7 8	展開図（10）（改修前）（改修後）						
A ― 3 9	E X P．J各詳細図	A ― 7 9	床伏図・軸組図（改修前）						
A ― 4 0	家具詳細図（１）	A ― 8 0	床伏図（改修後）						

特 記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所		速 水 可 次
名 称	図面リスト					徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	1級建築士登録 第 102935 号
図 番	A — a	S = 1 : NON	年 月				

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																			
② 仮 設 工 事	① 敷地の状況確認	◎着工に先立ち、敷地境界、既存構造物及び地下埋設物の確認、近隣建築物及び工作物の現状確認、排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況確認を行うこと。 ◎設計GLの設定は、BM（既存門柱基礎天端：配置図参照）を±0とし、NGLはBM（+4.0）mmとする。 但し、監督員の指示により決定する。 ◎仮設機材及び経年仮設機材の使用については、労働衛生安全法に基づく構造規格、（社）仮設工業会の認定基準及び労働省の「経年仮設機材の管理指針」に基づく（社）仮設工業会の「適用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用に努めるとともに、前記規格等に定めるもの以外の使用に当たっては請負業者により強度等の確認されたものを使用すること。	⑤ 鉄 筋 工 事	① 材料（構造図参照）	<table><tr><th>適用</th><th>規格番号</th><th>規格名称</th><th>種類の記号</th><th>径（mm）</th></tr><tr><td rowspan="2">●</td><td rowspan="2">JIS G 3112</td><td rowspan="2">鉄筋コンクリート用棒鋼</td><td>SD295A</td><td>D10～D16</td></tr><tr><td>SD345</td><td>D19以上</td></tr></table> ◎材料試験は行わない。ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。	適用	規格番号	規格名称	種類の記号	径（mm）	●	JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A	D10～D16	SD345	D19以上	7 鉄 骨 工 事	1 一般事項（構造図参照）	◎製作工場は、国土交通大臣の認定による（J）グレード工場とし、その証明となる資料を監督職員に提出する。 ◎鉄骨製作工場には施工管理技術者を（ ・置く、 ・置かなくともよい ） ◎工事現場には、鉄骨製作工場名等を記載した板（30～35*45cm）、（H.4.9.30住指発第 347号）を掲示すること。 ◎鋼材は、構造図面による。 ◎JIS規格品は、材料試験は行わない。ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。 ・トルク高力ボルトは、製品に対する製造管理方法及び品質管理試験の結果を、監督員に提出し、承諾を受けること。 ・板厚方向の引張試験を（ ・行う ・行わない ） ◎床書き原寸図は作成（ ◎する、 ・しない ）。 ◎鉄骨の製作精度は、（社）日本建築学会「建築工事標準仕様書 6鉄骨工事付則 6鉄骨精度検査基準」による。 ◎仮設のため鉄骨に補助材等取付け及び貫通孔等を設ける場合は、工場溶接を原則とし、現場溶接となる場合は監督員の承諾を得ること。 ・仮組を（ ・実施する、 ・実施しない ） ◎高力ボルトを工事現場に搬入後、JISの高力ボルトは、トルク係数値の確認試験を行う。 ◎すべり係数試験は（ ・行う、 ◎行わない ） ◎トルシア形高力ボルトは、張力確認試験を行う。 ◎普通ボルトの戻止めは、（ ◎二重ナット、 ・ナットの溶接、 ・ゆるみ防止用特殊ナット ）による。ただし、母屋・胴縁類の取付用ボルトは、戻止めを省略する。 ◎溶接作業は、工場作業を原則とする。ただし、やむを得ない場合は監督員の承諾を得ること。 ◎開先の形状は構造図による。 ◎見隠れとなるエンドタブで疲労応力を受ける部分又は配筋上支障となる部分は、5～10mmを残して切除する。 ◎完全溶込み溶接部は超音波探傷試験を（ ◎行う、 ・行わない ）。 試験を行う場合の平均出検品質限界（AQL）は（ ・2.5%、 ◎4% ）とする。 ◎素地ごしらは、標仕表18.2.2（ ・A、 ・B、 ◎C ）種とする。 ◎塗料種別 ◎鉄面 標準仕様書表18.3.1の（ ◎A、 ・B、 ・C ）種 ◎亜鉛めっき面 標準仕様書表18.3.2の（ ◎A、 ・B、 ・C ）種 ◎塗装種別 ◎鉄面 共通仕様書表18.3.3（ ◎A、 ・B ）種、（工場1回、現場1回） ◎亜鉛めっき面 標準仕様書表18.3.4（ ◎A、 ・B、 ・C ）種、（現場1回） ◎アンカーボルトの保持及び埋込み工法は（ ◎A、 ・B、 ・C ）種とする。 A種の場合の無収縮モルタルは、次による。メーカー名（ ） ◎柱底均しモルタル工法は（ ◎A、 ・B ）種とする。 ◎形鋼、鋼板類の亜鉛めっきは、共仕表14.2.2による。 ◎摩擦面の処理は、（ ◎プラスト処理、 ・りん酸塩処理 ）とする。																							
	適用	規格番号		規格名称	種類の記号	径（mm）																																					
	●	JIS G 3112		鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A	D10～D16																																					
					SD345	D19以上																																					
② ベンチマーク		◎外部足場（種類：◎枠組足場D=1200、仕様：二枚布枠500、メッシュシート：防災2類）→本体工事・枠組足場D=900、仕様：二枚布枠500*240、メッシュシート：防災2類）→ ※壁つなぎ間隔（水平方向：8m以下、鉛直方向：9m以下） ・外部足場（種類：単管抱足場） ※壁つなぎ間隔（水平方向：5.5m以下、鉛直方向：5m以下） ◎最上部安全手摺：本足場用 ◎朝顔養生：枠組み用、W2.0 ◎ブラケット足場：単管、足場板共 ◎地足場：単管、布共、足場板共 ◎内部足場（種類：脚立足場 H1.8m、仕様： 枚布、D= cm、シート仕様： ） （種類：枠組足場、仕様：二枚布500*240、D=9.0cm、シート仕様： ） ※壁つなぎ間隔（水平方向：8m以下、鉛直方向：9m以下） ◎仮囲い（仕様：成型鋼板、H= 3.0m、L= 配地図参照 m） ◎ゲート（ ◎有 ・ ・無 ・ ・仕様：パネルゲート H4,500×W7,200、1箇所 ）	② 材料試験	◎鉄筋の継手は、（ ◎重ね継手、 ・ガス圧接継手、 ・特殊継手 ）とする。 ◎結束線の端部は内側に折り曲げる。 ◎柱、梁の主筋は、ガス圧接継手とする。 ◎先組み工法の柱、梁の主筋の継手は同一箇所としてもよい。 ◎スラブのスパーサーは鋼製を原則とし、他の箇所についても材種等について監督員の承諾を得ること。 また、鋼製のスパーサーは型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする。 ◎主要な配筋は、加工に先立ち工作図及び組立図を作成し監督員に提出すること。 ◎鉄筋の保護は標仕による。 ◎柱、梁の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、標仕表5.3.3の数値に1.0mmを加えた数値を標準とする。 ◎目地がある場合のかぶりは、目地底からの寸法とする。 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。 ◎形の種別は構造図による。 ◎補強形式 鉄筋コンクリート構造配筋基準図による。 ◎梁貫通補強に建設技術評価規定に基づく評価品を使用する場合は、それぞれの部分についてメーカーの構造計算書を提出し、監督員の承諾を得ること。 ◎圧接技量資格者は、工事に相応したJISZ3881（ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準）による技量を有する者とする。（標仕5.4.2） ◎検査は、外観検査及び（ ・引張試験、 ・超音波探傷試験 ）による。（標仕5.4.9） ・切取り部分の継手は、（ ・圧接、 ・重ね継手 ）とする。 ◎主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、数量、かぶり、間隔、位置等について監督職員の検査を受ける。 事前に自主検査報告書を提出する。手直し箇所は完了後に監督員の承諾を得てから次の工程に取り掛かること。	3 加工及び組立て		5 高力ボルト接合																																				
③ 足場等			③ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔			6 普通ボルト接合																																					
4 養生			⑤ 帯筋			7 溶接接合																																					
			⑥ 梁貫通孔補強			8 錆止め塗装																																					
			7 ガス圧接			9 工事現場施工																																					
			⑧ 配筋検査			10溶融亜鉛めっき工法																																					
③ 土 工 事	① 根切り	◎周辺の状況、土質、地下水の状態等に適した工法を採用し、工事中の異常沈下、法面の滑動その他による災害が発生しないよう、災害防止に必要な処置をすること。 ◎敷地内に埋設が予想される設備配管類等について十分調査し、支障がないようにすること。 ◎根切り底は、地盤を損乱しないよう、手作業（深さ30cm程度）とするか、バケットに特殊アタッチメントを取り付けた機械掘りとする。なお、かく乱した場合は、自然地盤と同等以上の強度となるように適切な処置を定め、監督職員の承諾を受けむ。 ◎工事に支障となる地中埋設物等の撤去は、全て本工事に含む。 ◎工事に支障を及ぼす雨水、わき水等は、適正な排水構、集水ます等を設置し、が'ッ'等で排水を行う事。	⑥ コ ン ク リ ー ト 工 事	① 一般事項	◎設計基準強度	8 ブ ロ ッ ク ・ パ ネ ル 工 事	①①コンクリートブロック 幅壁及び塀	<table><tr><th>断面形状 （空洞、 型枠状）</th><th>圧縮強さの 種別 （08～40）</th><th>化粧内容</th><th>寸法精度 （普通、高精度）</th><th>透水性 （普通、防水）</th><th>厚さ</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>空洞</td><td>16</td><td>帳壁</td><td>普通</td><td>普通</td><td>100</td><td>面台壁下地、サウナ壁下地</td></tr><tr><td>空洞</td><td>16</td><td>帳壁</td><td>普通</td><td>普通</td><td>120</td><td>間仕切り壁等</td></tr></table> ◎上記以外のコンクリートは、設計基準強度 F = 2.1 N/mm2	断面形状 （空洞、 型枠状）	圧縮強さの 種別 （08～40）	化粧内容	寸法精度 （普通、高精度）	透水性 （普通、防水）	厚さ	適用箇所	空洞	16	帳壁	普通	普通	100	面台壁下地、サウナ壁下地	空洞	16	帳壁	普通	普通	120	間仕切り壁等														
	断面形状 （空洞、 型枠状）	圧縮強さの 種別 （08～40）		化粧内容	寸法精度 （普通、高精度）		透水性 （普通、防水）	厚さ	適用箇所																																		
	空洞	16		帳壁	普通		普通	100	面台壁下地、サウナ壁下地																																		
	空洞	16		帳壁	普通		普通	120	間仕切り壁等																																		
② 排水		◎コンクリートの仕上がり	◎コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は、標仕表6.2.2による。 ◎合板せき板を用いる打放し仕上げの種別は、（ ・A、 ◎B、 ・C ）種とする。 ◎コンクリートの仕上りの平たんさは、標仕表6.2.4による。	2押出成形セメント板	<table><tr><th>種類（外壁用、間仕切り用）</th><th>寸法(mm)</th><th>表面形状</th><th>取付工法</th><th>使用箇所</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・耐火性能は（ ・2時間耐火 ・1時間耐火 ・3.0分耐火）とする。 ・アスベストを使用していない製品とする。 ・製造所	種類（外壁用、間仕切り用）	寸法(mm)	表面形状	取付工法	使用箇所																																	
種類（外壁用、間仕切り用）	寸法(mm)	表面形状	取付工法	使用箇所																																							
③ 埋戻し及び盛土	◎使用土は（ ・A種、 ◎B種、 ・C種、 ・D種）とし、機器により締め固める。（標仕表3.2.1） ◎余盛りは、土質に応じ監督員と協議の上、余盛り高さを決定すること。	◎セメントの種類は、普通ポルトランドセメント、又は混合セメントのA種とする。 ◎骨材は、標仕表6.3.3による。 ◎細骨材としてフェロニッケルスラグ使用（ ・できる、 ◎できない ）。 ◎細骨材に含まれる塩化物量は、NaCl換算で0.04%以下とする。 ◎構造体コンクリートの調合強度は、設計基準強度に、3 N/mm2加えた値とする。（6.4.8） なお、気温によるコンクリート強度の補正がある場合は、この値にさらに補正値を加えるものとする。（6.4.9） 補正値は、徳島県生コンクリート協同組合の最新版の徳島県地区温度補正カレンダーによる。 ◎コンクリート中の塩化物量は、0.30kg/m3以下とし、試験方法は、標仕表6.10.3による。 ◎試験りは（ ・行う、 ◎行わない ） ◎所用空気量は、4.5%±1.5%とする。 ◎請負者は、コンクリートの使用にあたってアルカリ骨材反応を抑制する為、次の3つの対策の中の内いずれか1つについて確認をとらなければならない。 1）コンクリート中のアルカリ総量の抑制 アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート1m3に含まれるアルカリ総量をNa2O換算で3.0Kg以下にする。 2）抑制効果のある混合セメント等の使用 JISR5211高炉セメントに適合する高炉セメント（B種又はC種）あるいはJISR5213フライアッシュセメントに適合するフライアッシュセメント（B種又はC種）、もしくは混和材をポルトランドセメントに混入した結合材でアルカリ骨材反応抑制効果の確認されたものを使用する。 3）安全と認められる骨材の使用 骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法またはモルタルバー法)の結果で無害と確認されたものを使用する。 試験方法は、JISA1145骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)またはJISA5308（レディミクストコンクリート）の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)」、JISA1146骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)またはJISA5308（レディミクストコンクリート）の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)」による。	③ 普通コンクリート	◎工事開始に先立ち、工場を選定し監督職員の承諾を受ける。JIS表示許可工場とする。（6.1.1、6.5.1） ◎型枠は、（ ・メッシュ、 ◎合板、 ・金属製、 ・樹脂系、 ・打込み型枠、 ・ブロック ）とする。	① 一般事項	◎防水下地の乾燥については、高周波水分計による下地水分の測定を行い、使用材料のメーカーの工法と確認し、工事を進めること。																																					
④ 地 業 工 事	① 砕石地業	◎材料は、市場品とする。 ◎砂利及び砂地業 ・厚みが300mmを超える場合は、300mmごとに締固めを行う。 ◎砂利は、（ ・切込砂利、 ◎切込砕石、 ◎再生クラッシャーラン ）とする。 <table><tr><th>種 別</th><th>使 用 部 位</th><th>厚さ</th><th>粒度範囲</th></tr><tr><td rowspan="2">切込砕石</td><td>捨てコン（基礎、地中梁）</td><td>本体建物</td><td rowspan="2">0 ～ 4.0</td></tr><tr><td>1 階スラブ</td><td>本体建物</td></tr><tr><td rowspan="2">（再生砕石）</td><td rowspan="2">土間コン</td><td>外階段</td><td rowspan="2">0 ～ 4.0</td></tr><tr><td>外スロープ</td></tr></table> ◎締固めは、ランマー3回突き、振動コンパクター2回締め又は振動ローラー締めとする。 締固めによる凸凹は目つぶし砂利で上均しをする。 ◎締め固め機械の選定に当たっては、地質の状況を検討し監督員の承諾を得ること。 ◎捨コンクリートは、無筋コンクリート（スラブ15cm、設計基準強度18N/mm）とし厚さは各図面による。 ◎床下防湿層は、ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上、重ね幅及び基礎梁際のみ込みは25.0mm（断熱材のある場合のみ込みは4.0mm）以上とする。 ◎防湿層の位置は、土間スラブの直下とする。ただし、断熱材がある場合は、断熱材の直下とする。	種 別	使 用 部 位	厚さ	粒度範囲	切込砕石	捨てコン（基礎、地中梁）	本体建物	0 ～ 4.0	1 階スラブ	本体建物	（再生砕石）	土間コン	外階段	0 ～ 4.0	外スロープ	④ 製造工場の選定	◎スリーブの材種（ 標仕6.9.3(i)(2)、標仕表6.9.1） ◎打放し仕上げの打ち増し厚さは2.0mmとする。 ◎誘発目地の位置、形状及び寸法は図示による。	2アスファルト防水	<table><tr><th>工 法</th><th>施 工 箇 所</th><th>保護層の内容</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="2">屋根 保護防水 密着工法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">屋内防水 密着工法</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> ◎アスファルトは、JIS K2207の規格品（ ・3、 ・4 ）種とする。 ◎端部押え金物は既成アルミニウム製とし、寸法は（ ）とする。 ◎防水下地の立ち上がりコンクリートの仕上げは（ 打ち放しB種 ）とする。 ◎保護層の伸縮調整目地は成形伸縮目地とし、成形緩衝材はルーフィング類製造所の指定する製品とする。	工 法	施 工 箇 所	保護層の内容	備 考	屋根 保護防水 密着工法							屋内防水 密着工法										
	種 別	使 用 部 位	厚さ	粒度範囲																																							
	切込砕石	捨てコン（基礎、地中梁）	本体建物	0 ～ 4.0																																							
		1 階スラブ	本体建物																																								
（再生砕石）	土間コン	外階段	0 ～ 4.0																																								
		外スロープ																																									
工 法	施 工 箇 所	保護層の内容	備 考																																								
屋根 保護防水 密着工法																																											
屋内防水 密着工法																																											
② 地盤改良	◎構造図による。	◎型枠は、（ ・メッシュ、 ◎合板、 ・金属製、 ・樹脂系、 ・打込み型枠、 ・ブロック ）とする。 <table><tr><th>型枠の種別</th><th>仕上げ種別</th><th>塗装の有無</th><th>材 質</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>6.9.3 (b)(1)</td><td>A 種</td><td>あ り</td><td>型枠用合板</td><td>地上躯体（打ち放し面）</td></tr><tr><td>6.9.3 (b)(2)</td><td>B 種</td><td>な し</td><td>型枠用合板</td><td>屋上架台等</td></tr><tr><td>6.9.3 (b)(2)</td><td>C 種</td><td>な し</td><td>型枠用合板</td><td>地上躯体（タイル、モルタル仕上げ面）</td></tr><tr><td>6.9.3 (b)(2)</td><td>普通型枠</td><td>な し</td><td>型枠用合板</td><td>基礎、地中梁等</td></tr></table> ◎スリーブの材種（ 標仕6.9.3(i)(2)、標仕表6.9.1） ◎打放し仕上げの打ち増し厚さは2.0mmとする。 ◎誘発目地の位置、形状及び寸法は図示による。	型枠の種別	仕上げ種別	塗装の有無	材 質	適用箇所	6.9.3 (b)(1)	A 種	あ り	型枠用合板	地上躯体（打ち放し面）	6.9.3 (b)(2)	B 種	な し	型枠用合板	屋上架台等	6.9.3 (b)(2)	C 種	な し	型枠用合板	地上躯体（タイル、モルタル仕上げ面）	6.9.3 (b)(2)	普通型枠	な し	型枠用合板	基礎、地中梁等	③ 合成高分子系 ルーフィング シート防水 （JIS A 6008）	<table><tr><th>種別</th><th>種 類</th><th>厚さ</th><th>施工箇所</th><th>製造所</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="2">S-M1</td><td>露出絶縁塩ビシート防水（断熱仕様）</td><td rowspan="2">1.5mm</td><td>屋根</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">防水端部：アルミ水切り 壁用ステンレスビス止め後、天端シーリング打ち。</td></tr><tr><td>露出絶縁塩ビシート防水</td><td>屋根（底）</td></tr></table>	種別	種 類	厚さ	施工箇所	製造所	備考	S-M1	露出絶縁塩ビシート防水（断熱仕様）	1.5mm	屋根		防水端部：アルミ水切り 壁用ステンレスビス止め後、天端シーリング打ち。	露出絶縁塩ビシート防水	屋根（底）
型枠の種別	仕上げ種別	塗装の有無	材 質	適用箇所																																							
6.9.3 (b)(1)	A 種	あ り	型枠用合板	地上躯体（打ち放し面）																																							
6.9.3 (b)(2)	B 種	な し	型枠用合板	屋上架台等																																							
6.9.3 (b)(2)	C 種	な し	型枠用合板	地上躯体（タイル、モルタル仕上げ面）																																							
6.9.3 (b)(2)	普通型枠	な し	型枠用合板	基礎、地中梁等																																							
種別	種 類	厚さ	施工箇所	製造所	備考																																						
S-M1	露出絶縁塩ビシート防水（断熱仕様）	1.5mm	屋根		防水端部：アルミ水切り 壁用ステンレスビス止め後、天端シーリング打ち。																																						
	露出絶縁塩ビシート防水		屋根（底）																																								
			⑤ 型 枠		④ 塗膜防水（JIS A 6021）	<table><tr><th>種別</th><th>種 類</th><th>施工箇所</th><th>製造所</th><th>備考</th></tr><tr><td>X-2</td><td>ウレタン系 塗膜防水</td><td>2階便所、バルコニー</td><td></td><td>密着工法、保護層無し</td></tr></table> ◎実績のある採用メーカーの仕様による。	種別	種 類	施工箇所	製造所	備考	X-2	ウレタン系 塗膜防水	2階便所、バルコニー		密着工法、保護層無し																											
種別	種 類	施工箇所	製造所	備考																																							
X-2	ウレタン系 塗膜防水	2階便所、バルコニー		密着工法、保護層無し																																							
					5 FRP防水																																						

特 記 :

特 記 :

工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次	1級建築士登録 第 102935 号
名 称	特記仕様書（2）						
図 番	A — 2	S = 1 :	年 月				

⑦シーリング

⑦漏水試験

⑨防水保証

⑩石工事

②その他

⑪タイル工事

⑫木工事

⑥シーリング材は、JISA5758の規格品とする。

シーリング材の種類		施工箇所	目地寸法(mm)		接着性試験 (引張、簡易)	備考
記号	主成分による区分		幅	深さ		
MS-2	変成シリコン	打ち継ぎ目地	20	15	有	8020
MS-2	変成シリコン	耐震スリット(両面)	25	20	有	9030
MS-2	変成シリコン	タイル伸縮目地	10	10	有	9030
MS-2	変成シリコン	外部建具廻り	15	10	無	9030
MS-2	変成シリコン	外壁配管貫通部廻り、外部手摺等支持脚廻り アルミ額縁召合せ、金物取付部周囲、水切等	—	—	無	9030
SR-1	シリコーン	ガラス押え(7&ミサツ網入りガラス、鋼製建具) ガラス押え(木製建具)両面 ※建具工事特記仕様書参照	—	—	無	9030G

◎外部に面するシーリング材は、施工に先立ち(簡易接着性試験、・引張接着性試験)を行う。

◎屋内については水張試験を行う。

◎防水工事完了後は、メーカー、元請業者、下請業者の3者連名による防水工事性能保証書を提出すること。
：アスファルト防水(10年)
：合成高分子系ルーフ/シート防水(10年)
：塗膜防水(10年)
：FRP防水(10年)
：シーリング(5年)
：外壁吹付(5年)

①花こう岩類の石張り

②その他

種別	品質	産地、名称	仕上げの種類	金物等の種類 形状・寸法	施工箇所
御影石	1等品	外国産	磨き		クツズリ

◎混和材料 ◎取付け用モルタル ◎目地用モルタル
◎石裏面処理材 ◎裏打処理材
◎金物固定に使用する充填材料

①陶磁器質タイル張り
(JISA5209)

種類	形状・寸法	工法	施工箇所	接着力試験 の有無	役物の 使用場所
磁器質 施釉	100角	モルタル張 一部：接着張：有機系接着剤	便所内壁	無	無
磁器質 施釉	50角	モルタル張	1階・2階：トイレ：床	無	無
磁器質 施釉	150角	モルタル張	1階玄関・ポーチ床	無	無

◎タイルの製造所(イナ・トोटオ・ダントー)
◎見本焼きを(・行う、○行わない)
◎試験張りを(・行う、○行わない)
◎接着剤張りの場合は、下地モルタルの含水率を水分計で測定し、8%以下とすること。
◎保水剤の製造所()
◎保水剤の混入量は実績などの資料を提出したうえで、監督員の承認を得ること。
◎伸縮目地の位置は、図示の箇所及び共仕により、割付図を作成し監督員の承認を得ること。

①一般事項

◎含水率は(○A、・B)種とする。現場搬入時：構造材20%以下、造作材18%以下とする。(標仕表12.2.1)
◎施工前に含水試験を実施し承諾を得る事。(高周波水分計使用)
◎材質
：製材は全て、一般建築用材の市場流通品とする。

◎樹種及び等級

施工箇所		種類	材料の等級	表面の仕上げ	備考
構下 造地材	胴縁等	米桐	特1等	—	
造作材	サッシ廻り：額縁 各室：ブラインドBOX 各室：出隅見切縁 WD廻り：縦枠、戸当縁、見切縁、鴨居	米桐	上小節	B	
	WD廻り：出入口敷居 木製建具吊元縦枠 UB：三方枠 1、2階：洗面脱衣：床見切、巾木、	桧	上小節	B	

2 諸金物

3 工法

◎かすがい、座金、箱金物、短ざく金物等は図示により、図示のもの以外は共仕によるが、補助として、日本建築学会建築工事標準仕様書を適用する。

◎継手、仕口、取付け方法等は図示により、図示のもの以外は共仕によるが、補助として日本建築学会建築工事標準仕様書を適用する。
◎設計図中の寸法は、引出し線表示部分はひきたて寸法とし、寸法線表示部分は仕上寸法を示す。
◎接着剤は、ホルムアルデヒド放散量が、規制対象外材料、(F☆☆☆☆)を使用すること。

①一般事項

②とい、ドレイン

◎共通仕様書以外の工法は、専門業者の仕様による。
◎屋根葺き材、緊結金物については、下地も含め安全性を確認し、監督員の承諾を得ること。

◎塩ビカラー堅種 Φ50、Φ75
◎SGP堅種 SGPW-50AUE塗

◎種と接着材は、同一製造所の製品とする。
◎硬質塩化ビニル雨どいの1本の長さは、1.0m以内とし、伸縮に対応する工法を選択すること。
◎縦樋施工は、NGLまでを建築工事に含む。地盤面には縦樋カバー設置のこと。
◎とい製造所(カネソウ、積水化学、)

◎ルーフドレインの製造所(カネソウ、長谷川鋪工、第一機材)
◎ルーフドレイン及びといは、取付け完了後、清掃し、通水試験を行う。
◎さがり止めは図面により、図示のもの以外は、標仕13.5.3(a)(4)又は13.5.3(e)(2)による。
◎ドレインは縦型、横型、中継型共鉄製とし各使用箇所は、仕上表及び平面図を参照とする。

①一般事項

②表面処理

◎ステンレス(標仕14.2.1)

種類	表面仕上げの種別	施工箇所
JISG4305：SUS304	HL	三方枠・クツズリ

◎アルミニウム及びアルミニウム合金(標仕表14.2.1)

表面処理の種別	着色方法	表面処理の試験方法	施工箇所
B-2種	着色陽極酸化塗装複合皮膜 二次電解着色	—	

◎鉄鋼の亜鉛めっき(標仕表14.2.2)

種別	表面処理方法	めっきの種類	記号又は等級	施工箇所
C種：JISH8641	熔融亜鉛メッキ	2種	HDZ55	

◎亜鉛めっきの試験は(○行う、・行わない)。試験方法(メーカーの製品検査表提出)

③溶接、ろう付け等

◎溶接及びろう付けによる接合後は、各表面仕上げの種類の皮膜処理を行うこと。ただし、亜鉛めっき面については、標仕表14.2.3による。
◎鉄の溶接は、標仕「鉄骨工事」に準ずる。

④軽量鉄骨天井地下

◎野縁などの種類：(○屋内19型、○屋外25型)とし、標仕表14.4.1による。
・耐震性を考慮した補強、屋外の軒天、ピロティー天井等の補強は、図示による。

⑤軽量鉄骨壁地下

◎スタッド、ランナーの種類は、標準仕様書14.5.3(表14.5.1)による。

⑥金属成形板張り

◎玄関ポーチ天井：アルミスバンドレル：不燃材料認定品：マルチスパン(フクビ科学)

⑦アルミニウム笠木

◎押出形材：規格 JIS H4100によるA6063Sとする。
部材の種類(○250形、・300形、・350形、・その他)とする。
本体の表面処理 標仕表14.2.1の(○B-2種、・B-1種、・A-1種、)とする。
付属部品の表面処理は、笠木本体製造所の仕様による。(ハンドライン：トステム)
・曲げ材：規格 JIS H4000によるA1100Pとする。
厚さ()mm 形状 図示
◎地域指定(○一般、・多雪) 図示
◎固定金物のピッチ(1.3)m以内

区分	材料の種別	表面処理	備考
スロープ手摺	SUS304：詳細図参照	磨き#400	
バルコニー手摺 (袖壁部分)	アルミ製、墜落防止基準適合品	シルバー	採用サッシメーカー品

◎各部の仕上げ、取り付け間隔等は別図詳細図参照のこと。
◎手すりの支柱は、コンクリートあるいはモルタルの中に入る部分であっても錆止め処置を行うこと。
◎手摺と手摺子及びフタの取合いは溶接とし、ぶれ等のないよう堅牢に取り付ける。また、手摺と手摺の

◎EXP・Jカバー

③手すり及びタラップ

⑨EXP・Jカバー

①一般事項

②モルタル塗り

③床コンクリート
直均し仕上げ

④仕上塗材仕上げ
(既調合品)

③美粧処理、
下地調整塗材

◎下地調整に用いる吸水調整材の使用方法は、製造所の仕様による。

◎コンクリート等面の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行って、次の層の塗り方にかかる。
◎下地、塗り面等の浮いている部分は、直ちに補修する。

使用箇所	仕上の種類	目地の材質	防水の有無	防水剤の製造所	備考
屋上：均しモルタル厚20(防水下地)	金こて	成形伸縮目地	有		
屋根：均しモルタル厚20(シート防水下地)	金こて	—	有		
バルコニー：床防水下地	金こて	—	無		
バルコニー：床排水溝、巾木	金こて	—	無		
内外部：床石張り下地	木こて	—	無		
外壁面：タイル下地	木こて	—	有		
床：50角磁器タイル張り下地	木こて	—	有		
壁：100角タイル張り下地	木こて	—	有		
床：長尺シート、直張りフローリング下地	金こて	—	無		

◎目地の位置及び寸法は、図示による。
◎防水モルタルに用いる防水剤の使用方法は、製造所の仕様による。
◎総塗り厚が2.5mm以上となる場合は、はく落防止工法とすること。
◎サッシ枠等の周囲は全てトロ詰め充填(防水剤入)を行う。
◎施工箇所(土間コン、外階段踏面、PS床、シート防水下地)

◎仕上塗材は、JISA6909(建築用仕上塗材)による。尚、下塗材、主材及び上塗材は同一製造所の製品とする。

種類	呼び名	上塗材	仕上げ の形状	耐候性	工法	下地 仕上	下地 調整	備考
薄付け仕上塗り材	外装薄塗り材E (アクリルリシン)	合成樹脂 エマルジョン系	砂壁状	—	吹付	標仕表15.5.1		
複層仕上塗材	複層塗材RE (吹付タイル)	アクリル系 つやあり	凹凸	—	吹付	標仕表15.5.1		
				—				

・製造所は()
◎防水工事完了後は、メーカー、元請業者、下請業者の3者連名による防水工事性能保証書を提出すること。
：外壁吹付(10年)

◎コンクリート面の下地調整塗材C-2は、吹付製造所承諾の仕様とする。(下地調整2mm程度、全面金こて)
◎吹付仕上げ前、美粧処理面は引張強度試験を行う。(時期、位置、箇所数、強度基準は監督員の指示による)

③建具工事

◎標仕及び建具表(1)、(2)に依る。

①一般事項

②合成樹脂調合
ペイント
(SOP)

③合成樹脂
エマルジョンペイント
塗料(EP)

④ウレタン樹脂ワニス
(UC) 木部

⑤塩化ビニル樹脂
エナメル塗り
(VE)

⑥2液型エナメル
エナメル塗り
(UE)

7

◎屋内の壁及び天井の塗装仕上げは防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。
◎塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。(F☆☆☆☆製品は使用可)
◎塗料は現場搬入時に、現場代理人が製品確認を行う事。使用前に監督員の確認、承諾の上使用すること。
◎工法は標仕により、使用材料確認書類、MSDSの整理を行い監督員の承諾を得ること。
◎色は全て指定色とし、監督員の指示の見本吹き板(指定サイズ)を作成し監督員の承諾を得ること。
◎工事写真で工程の判別ができるように、中塗りと上塗りの各層は色を変えること。

区分	種別	素地ごしらえ	さび止め塗料	備考
	屋内	屋外	屋内	屋外
鉄面	A種	A種	外部：C種 内部：B種	B種 A種

ケイカルボード面

区分	種別	素地ごしらえ	備考
	屋内	屋外	
	B種	—	B種 対象室天井仕上

区分	種別	素地ごしらえ	備考
木部	B種	A種	着色

区分	種別	素地ごしらえ	備考
たてといVP管	—	—	JISK5582 1種

区分	種別	素地ごしらえ	備考
左官・鉄鋼面	—	A種	JISK5656(左官面) JISK5657(鉄鋼面)

区分	種別	素地ごしらえ	備考

工事名

名 称

図 番

相生体育館耐震補強・改修及び増築工事

特記仕様書(3)

A — 3 S=1： 年 月

株式会社 剛 建築事務所 速水可次
徳島市新蔵町1丁目51-1 1級建築士登録
TEL 088-622-0883 第102935号
FAX 088-622-0885

特記：

① 一般事項

②ビニル床シート張
ビニル床タイル張
及びゴム床タイル張

3カーベツト敷き

④せつこうボード
その他ボード及び
合板張

③壁紙張り
(JISA6921)

⑤断熱・防露

⑦廻縁

① 一般事項

階段滑り止め

屋上点検タラップ

玄関クツズリマット

① 一般事項

◎使用材料は全てJIS規格品とする。なお、材料（釘類共）は全て見本品提出の上、監督員の承諾を受けること。
◎使用建築材料（接着剤共）は全て規制対象外材料、ホルムアルデヒド放散量が（F☆☆☆☆）を使用すること。
◎有機溶剤系接着剤、塗料の使用は使用量を最少限に抑え十分に養生期間を設ける等の配慮をすること。

材質	材種		色柄	厚さ mm	巾木		接着剤	施工箇所	備考
	種類	記号			材質	厚さ			
ビニル床シート (抗菌加工品)	発泡層 無	N C	指定	2.0	塩ビ	2.0 3 5 0	エポキシ樹脂系 JISA5536	仕上表参照	材料JISA5705 工法：標仕 腰張り有

種 類	種別	品質（製造所）	帯電性	厚さ	工法	防火性能	下敷	品質検査
タイルカーベツト (原着ナイロン100%)	JISL4406	N T - 7 0 0 (サンゲツ)	1KV以下	6 . 5 mm	全面接着	防災品	—	

◎タイルカーベツト敷きに使用する接着材は、粘着はく離形接着材とする。

材種・規格品	施工 箇所	工 法 (19.7.3)	厚さ mm	不燃材等 の区分	小ねじ、釘 接着剤の種類	下地の 種類	備 考
(P B) せつこうボード JIS A 6901の規格品	壁	突き付け V 目地	9.5	準不燃 Q M -*****		軽鉄壁 R C 面	縦目パテ処理 (JISA6914)
		12.5	不燃 N M -*****				
	天井	突き付け	9.5	準不燃 Q M -*****	ドリリング タッピン ねじ JISB1125	軽鉄天井	縦目パテ処理 (JISA6914)
		12.5	不燃 N M -*****	不燃9.5は1階会議室天井下地			
(化粧P B) 化粧せつこうボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品	天井	軽鉄直張	9.5	準不燃 Q M -***** 不燃 N M -*****	カラー釘	軽鉄天井	1階：事務室天井
(S P B) シージング せつこうボード JIS A 6901の規格品	壁	突き付け V 目地	12.5	不燃		軽鉄壁 R C 面	縦目パテ処理 (JISA6914)
		12.5	N M -*****				縦目パテ処理 (JISA6914)
ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6301の規格品	天井	突き付け	9.5	準不燃 Q M -*****	ドリリング タッピン ねじ JISB1125	軽鉄天井	縦目パテ処理 (JISA6914)
		軽鉄直張	9平	不燃 N M -*****			捨張PB厚9.5は不燃材料
(K B) けい酸カルシウム板 JIS A 5430の規格品 (無石綿)	壁	目透かし	6.0	不燃 N M -*****		軽鉄壁	
		天井	目透かし	6.0			
(T2ラワンベニヤ) 普通合板 農林省告示第 383号	床	T2 捨て張り	15.0		タッピンねじ	木下地	
その他							

◎合板、パーティクルボード及びM D F のホルムアルデヒド発散量
※ F ☆☆☆ ☆ ・ F ☆☆☆
◎防火区画等の主要間仕切り部の仕様は、耐火認定表及び区画図参照。

施工箇所	品質（製造所）	防火性能の級別	素地ごしらえ	備 考
壁、天井	シンコール・サンダー・リカー	準不燃：Q M -***** 不燃：N M -*****	標仕（工法共）	接着剤は壁紙用、防カビ剤入 不燃張り箇所は下地共不燃

◎ホルムアルデヒドの発散量：◎ F ☆☆☆☆

種 類	種 別	厚さ	工法	補修材	備 考
ｸﾞﾗｽｸﾞｰﾙ吸音材	ｸﾞﾗｽｸﾞｰﾙ F ☆☆☆☆ (J I S)	24kg/m3 1 0 0	敷き詰め		2階天井裏

◎既製品、塩ビ製カラー（ 製造所：フクビ、大建工業 ）

① 一般事項

◎外部材料>
階段滑り止め

屋上点検タラップ

玄関クツズリマット

◎部品は全て見本品、施工計画書、施工図を提出し、監督員の承諾を得ること。
◎各部品は、規制対象外材料又は、ホルムアルデヒド放散量が、F☆☆☆☆製品を使用すること。
◎各部品の取付位置は、事前に現場打ち合わせにより決定する。

◎材種（ｽﾃﾝﾚｽ：SUS304）、形状（タイヤ無しフラット型、アンカー付）、寸法（ 35 ）
◎取付け方法は（ ◎埋め込み工法、・接着工法 ）とする。
◎製造所（ナカ工業、アトラス）

◎ステンレス塔屋タラップ（安全ガード付き）
◎S K - 3 0 5 1 G㊟ 新協和程度

◎材種：ｽﾃﾝﾚｽ 参考品番：RM15F-1800*600 ｶﾅﾂ程度

① 一般事項

◎建具配置図、建具表、詳細図による。
◎位置：天井伏図参照、アルミ製、4 5 0 角、目地タイプ、開口補強、取付金物共
◎製造所（ナカ工業）
◎平面図参照。

◎位置：設備図参照

◎平面図参照

◎位置：1階 管理室、別図参照。

①外壁改修の施工数量
及び調査方法

②外壁改修工法の種類
及び材料

◎施工数量は、次の調査により監督員が承諾し確定した数量に基づき設計変更を行う。

◎外部足場設置後、施工数量調査を行う。（改修指針4.1.1(d)による）
◎調査に先立ち、調査内容及び方法等の計画書を作成し監督員の承諾を得ること。又、調査方法等で専門知識が必要な場合は、各工法・材料の専門技術者（製造所等）に依頼すること。

◎モルタル塗仕上げ外壁（改共仕4.1.4）
◎ひび割れ部改修工法の種類は次表による。

工 法	ひび割れ部	欠損部	浮き部	備考・適用部分
樹脂注入工法	改共仕4.3.4(d)			図示による
アンカーピンニング 部分エポキシ 樹脂注入工法			改共仕4.4.10	図示による

◎塗仕上げ外壁
◎仕上げの模様、色及びつやは、見本帳又は見本塗り板を監督員に提出して、承諾をうけること。

種 類	既存塗膜の除去 及び下地処理	下地調整	仕上形状	工法	上塗材	備 考
薄付け 仕上塗材 JISA6909	外装薄塗材 E	高圧水洗	改標仕 4.6.4	砂壁状	吹付	軒天井
可とう形 外装薄塗材 E 防水型 外装薄塗材 E 外装薄塗材 S						
複層仕上 塗材 JISA6909	複層塗材 C E					
	可とう型					
	複層塗材 C E					
	複層塗材 S i					
	防水型複層塗材 E					
	複層塗材 R E					
	複層塗材 R S					
防水型複層塗材 C E 防火型複層塗材 E 防火型複層塗材 R S						
複層仕上 塗材 JISA6021	防水型複層塗材 (ﾌﾗｲﾄﾞ) 外壁化粧 (防水)	水洗い工法 改標仕 4.6.3	ｸﾞﾗｽ-ｾﾐﾝﾄﾓﾙﾀﾙ (ｶﾅﾂ系)	ｽｸｰﾙ状	吹付	溶媒：水系 樹脂：ﾌﾗｲﾄﾞ 外観：艶有り 製造所仕様 外壁全面
特記事項： 施工前に、既存塗膜面の引っ張り（付着）試験を行い報告し、了事後施工すること。						

① 一般事項

② 改修工法等

③ アルミニウム製
建具

④ 木製建具

⑤ 建具金物

⑥ 自閉式吊り引戸
装置

⑦ ガラス

◎外部に面する建具は、建築基準法施行令及び「屋根葺き材、外装材及び屋外に面する
帳壁の基準（昭和46年建設省告示第109号）」に基づき、安全性を確認すること。
◎建具の耐風圧性、気密性、水密性等については、性能を有することを証明
する書類を提出し、監督員の承諾をうけること。
◎外部に面する建具の作業工程は、原則として、方立等の撤去、建具枠の取付け及びガラスのはめ込みまでを
1日の作業とする。
◎施工に先立ち、改修範囲を確認し、設計図書との相違等有れば、監督員
と協議すること。

区 分	引抜き工法	かぶせ工法	はつり工法
撤去の範囲	別図参照		
既成建具の種類	スチール製建具		
新設建具の種類	アルミ製建具		
建具周囲の補修 工法及び範囲	モルタル充填 モルタル金こて 外壁仕上材		
ｼｰﾘﾝｸﾞの種類	M S - 2 シリコン系		
サッシアンカー 養生範囲	改標仕 5.2.5 (b) (2)		

種 別

種 別	耐風圧	気密性	水密性	遮音性	断熱性	使用箇所	表面処理 (色調)
	B 種	S 5	A 3	W 4			建具表参照

◎網戸の材質
(ステンレス製(SUS316)◎ガラス繊維入り合成樹脂製・合成樹脂製)

・防虫網の材質は、ステンレス(SUS304)線材、線系1.5mm、ピッチ15mmとする。
製作所（ ）

◎建具には、J I S マーク及び製作者名を表示すること。

◎既存枠へ新規に建具を取り付ける場合は、原則として小ねじどめとし、とめ付け間隔は、両端を押さえて、
中間は400mm以下とする。やむをえず
溶接どめとする場合は、監督員と協議し、溶接部分には鉛酸ｶﾞﾙﾌﾐﾝｸﾞ水溶液を用いた建具用でん粉接着剤のｶﾞﾙﾌﾐﾝｸﾞの発散量
※◎F ☆☆☆☆ ・ F ☆☆☆

◎既成又はこれに準ずる建具金物は、建具製作所の仕様による。
◎マスターは、本体増築棟及び体育館棟一体で新規作成する（3本）。

設置場所	車椅子便所
手動開き力(N)	1.5以下
手動閉じ力(N)	1.5以下
閉じ速度の調整	改共仕表5.8.1
制動区間	改共仕表5.8.1
開閉繰り返し	改共仕表5.8.1
耐衝撃性	改共仕表5.8.1

◎製作所（小松ウオール・コマニー・文化シャッター）

◎外部に面する網入り板硝子等の下辺小口及び縦小口下端に防錆処理を行うこと。

◎硝子とめ材の種類

建具の種類		材 種	
銅 製		S R - 1	シリコン系 (JIS A 5758)
アルミニウム製	一般	S R - 1	シリコン系 (JIS A 5758)
	防火設備	S R - 1	シリコン系 (JIS A 5758)
ステンレス 製			
木 製			

◎防火設備のガラスとめ材は、防火設備認定品とする。

22

内装改修工事

① 一般事項

② 撤去並びに下地補修

③ 鋼製床

④ フローリング

⑤ 廻縁

⑥ せっこうボード
その他ボード及び合板張

⑦ 接着剤

②3

塗装改修工事

② 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）

③ 合成樹脂エマルジョン塗（EP）

特記事項

◎工事に先立ち、改修部分の隠蔽部の調査を行い、設計図書と照合し、支障があった場合は、速やかに監督員に報告し、指示を受けること。
◎各部の撤去により、下地及び構造躯体にひび割れ及び欠陥部が発見された場合は、速やかに監督員に報告し、指示を受けること

◎各改修工事の仕様は、図示による。
①床改修
◎既設床仕上げ材の除去 改共仕6.2.2(a)参照

種 類	撤去工法	撤去範囲	備 考
フローリング	下地まで全面撤去	別図参照	

②壁改修
◎コンクリート間仕切り壁：改共仕6.3.2(a)参照

機械等の区分	既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容	備 考

◎木製及び軽量鉄骨間仕切り壁：改共仕6.3.2(a)(2)、(3)及び(4)参照

撤 去 区 分	既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容	備 考
壁下地を含む全面	在来のままとなる取合い部は養生の上撤去する	

③天井改修 改共仕6.4.2参照

撤 去 区 分	既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容	備 考
ボード面まで	在来のままとなる取合い部は養生の上撤去する	

・既存天井塗装仕上げ面を塗替を行う。

◎JIS A 6519品 図示による
◎参考品番：ダイナミックネダDM205-1（水津濃K.K）程度

図示による

材種・規格品	工法	塗装	施工場所	備 考
カバ大型積層フローリング表層 厚6.0 厚21*222*1800	隠し、特殊張り工法 下地：構造用合板 厚12	サドル掛け 水性ウレタン 4回塗り	体育館：アリーナ 体育館：ステージ	周囲：14*18*20 床下換気口 床下点検口

◎参考品番：2*18*18 HP-18（北海道Aカット工業K.K）程度

◎塩ビ製、既製品、外部;突きつけ

材種・規格品	施工箇所	厚さmm	不燃材等の区分	下地の種類	備 考
無石綿セメントけい酸カルシウム板					
	天井	6	不燃	W	底目地張り

◎壁紙施工用でん粉系接着剤、217樹脂等（217樹脂、マシシ樹脂、フェノール樹脂、レゾルノール樹脂又はホムアルデヒド系防腐剤）を用いた接着剤のホムアルデヒドの発熱量
※◎F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆

24

解体工事

① 一般事項

② 処分方法

③ アスベスト成形板の処理等

特記事項

◎空調機等の冷媒は、専門業者により改修を行い、空気中に飛散させてはならない。
◎建物の解体は順序よく行い、特に安全を期すこと。
工事中に発生する粉塵については、散水等適当な方法により発生防止に努めること。
◎解体の発生材の運搬計画及び通行道路の搬送計画について、関係機関と協議し、一般車両の通行に支障にならないようにに努めること。又、道路の汚染防止に努め、道路等を汚した場合は速やかに清掃すること。
◎解体は全て分別解体により行い、次により工事写真を撮影すること。
(1)分別撤去状況
(2)積み込み状況（車のナンバープレートを書し込むこと）
(3)捨て場状況（車のナンバープレートを書し込むこと）

◎発生材の処理等は、次により適正に行う。
(1)工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する。
(2)上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること。
図書に表示のないものについては、監督員（契約書に規定する監督員をいい、共仕の規定による場合は監督職員と読み替える、以下同じ）に報告し指示を仰ぐこと。
(3)撤去物の種類ごとに分別しそれぞれの処分許可業者にて処理を行う。
・コンクリート（無筋）
・コンクリート（有筋）
・アスファルト
・金属
・ガラス
・木材
・廃プラ
・石膏ボード
・有価金属
木材については、50kmの範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。

処理を行うアスベスト成形板の仕様等 [9.1.3]

材 料 名	厚さ (mm)	処理を行う範囲
石綿板	4.5	※図示 〃
P タイル	2.0	※図示 〃

施工調査
アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。
(1) アスベスト成形板使用部位の確認
(2) アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認
(3) アスベスト成形板使用数量の確認

建設廃材：レベル3 石綿含有建材（石綿板・Pタイル）
構外搬出 施設名：株式会社 明和クリーン
所在地：三好市山城町大和川697

25

耐震改修工事

I 鉄筋工事
① 材 料

② 材料試験

③ 加工及び組立て

④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

⑤ 帯 筋

6 ガス圧接

II コンクリート工事
① 一般事項

② 普通コンクリート

③ 型 枠

4 高強度コンクリート

特記事項

適用 規格番号 規 格 名 称 種類の記号 径 (mm)
JIS G 3112 鉄筋コンクリート用棒鋼 SD295A SD345 D10～D16 D19
JIS G 3117 鉄筋コンクリート用再生棒鋼
建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋
JIS G 3551 溶接金網及び鉄筋格子 網目の形状: 寸法: 径:
◎材料試験は行わない。ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。

◎主要構造部の配筋は、コンクリート打込みに先立ち、監督員の検査を受ける。
◎鉄筋の継手は、（ ◎重ね継手、・ガス圧接継手、・特殊継手 ）とする。
◎結束線の端部は内側に折り曲げる。

◎柱、梁の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、改共仕様8.3.5の数値に10mmを加えた数値を標準とする。
◎目地がある場合のかぶりは、目地底からの寸法とする。

◎形の種別は構造図による。

・圧接技量資格者は、工事に相応したJIS Z3881（ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準）による技量を有するあ圧接技量資格者とする。
・検査は、外観検査及び（ ・引張試験、・超音波探傷試験）による。
・切取り部分の継手は、（ ・圧接、・重ね継手）とする。

◎設計基準強度

設計基準強度 F C (N / mm2)	調合強度 F 28 (N / mm2)	スランプ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	強度試験の有無	種別	気乾単位容積質量 (t / m3)	適用箇所
F C 1 8	1 8 + 3 + T	1 5	2 0	無	—	—	土間コンクリート
F C 2 1	2 1 + 3 + T	1 8	2 0	有	—	—	増設壁・梁等

◎コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は、改共仕様8.1.2による。
◎合板せき板を用いる打放し仕上げの種別は、（ ・ A ◎ B ・ C ）種とする。
◎コンクリートの仕上りの平たんさは、改共仕様8.1.4による。

◎セメントの種類は、普通ポルトランドセメント、又は混合セメントのA種とする。

◎請負者は、コンクリートの使用にあたって7kg骨材反応を抑制する為、次の3つの対策の中のいずれか1つについて確認をとらなければならない。
1）コンクリート中の7kg総量の抑制
7kg量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート1m3中に含まれる7kg総量をNa2O換算で3.0Kg以下にする。
2）抑制効果のある混合セメントの使用
JIS R5211高炉セメントに適合する高炉セメント（B種又はC種）あるいはJIS R521375高炉セメントに適合する75高炉セメント（B種又はC種）、もしくはは混和材をポルトランドセメントに混入した結合材で7kg骨材反応抑制効果の確認されたものを使用する。
3）安全と認められる骨材の使用
骨材の7kg骨材反応性試験(化学法またはモルタル法)の結果で無害と確認された骨材を使用する。
試験方法は、JISA1145骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)またはJISA5308(レディミストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)」、JISA1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタル法)またはJISA5308(レディミストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタル法)」による。

◎細骨材としてフェロニッケルスラグ使用（ ・できる、◎できない）。
◎細骨材に含まれる塩化物量は、NaCl換算で0.04%以下とする。
◎構造体コンクリートの調合強度は、設計基準強度に3N/mm2加えた値とする。
なお、気温によるコンクリート強度の補正がある場合は、この値にさらに補正値を加えるものとする。
◎コンクリート中の塩化物量は、0.30kg/m3以下とし、試験方法は改共仕8.5.4による。
◎試験りは（ ・行う、◎行わない）
◎所用空気量は、4.5%±1.5%とする。
◎工事開始に先立ち、工場を選定し監督職員の承諾を受ける。

◎型枠は、（ ◎合板、・金属製、・樹脂製、・打込型枠、・ブロック、・ラス）とする。

型枠の種別	仕上げ種別	塗装の有無	材 質	適用箇所
改共仕8.2.6(b)(1)	A 種	あ り		
改共仕8.2.6(b)(2)	B 種	な し	型枠用合板	増設壁等
改共仕8.2.6(b)(2)	C 種	な し		
改共仕8.2.6(b)(2)	普通型枠			

・スリーブの材質（ ）。
・打ち放し仕上げの打ち増し厚さは20mmとする。
◎誘発目地の位置、形状及び寸法は図示による。

・水セメント比の最大値は、55%とする。
・単位セメント量は、290kg/m3以上、かつ、450kg/m3以下とする。
・混和剤は、JIS A6204による高性能AE減水剤標準形又は遅延形とする。

特 記 :

工事名相生体育館耐震補強・改修及び増築工事

名称特記仕様書（5）

図番A — 5S = 1 :年 月

株式会社 剛 建築事務所 速 水 可 次

徳島市新蔵町1丁目51-1 1級建築士登録

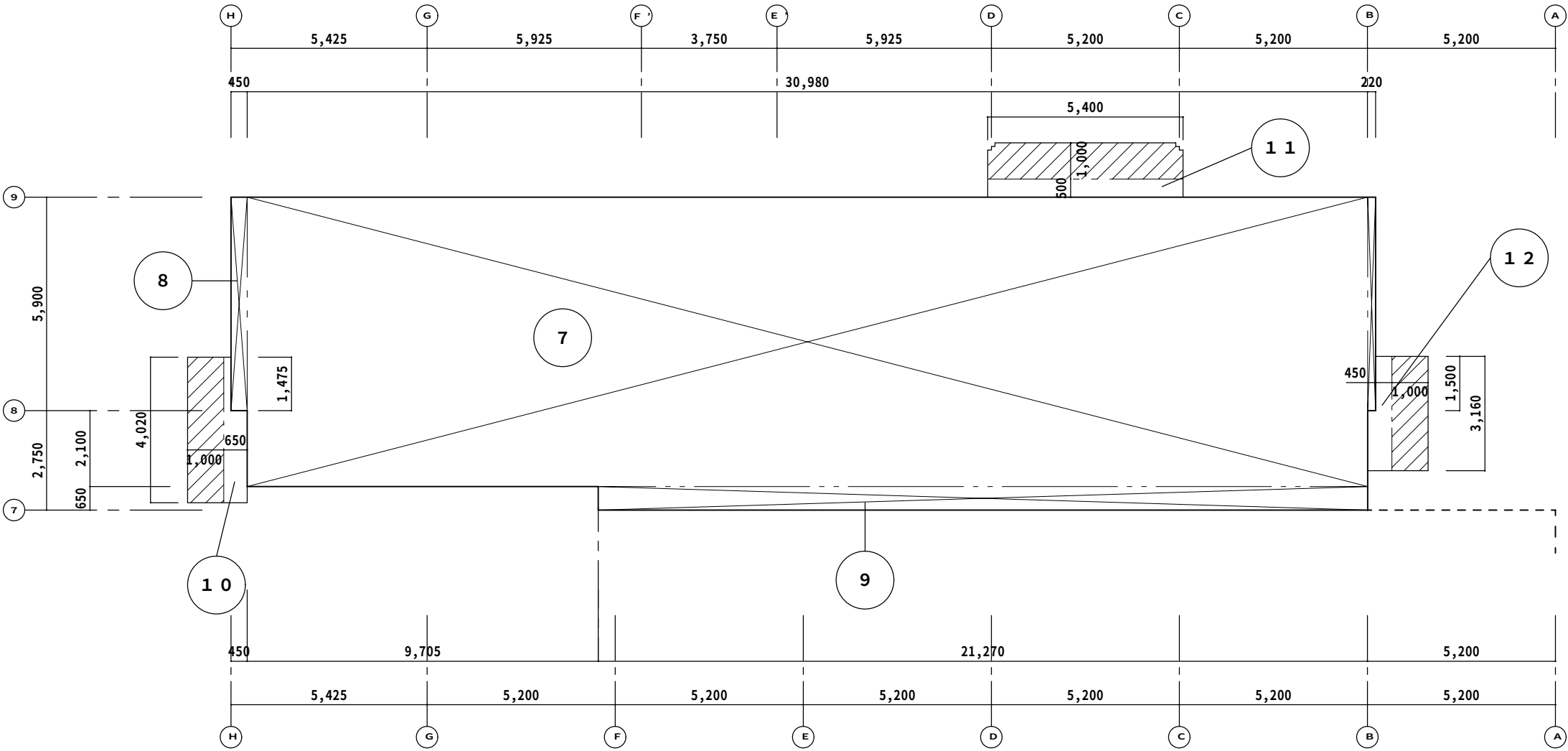
TEL 088-622-0883 第 102935 号

FAX 088-622-0885

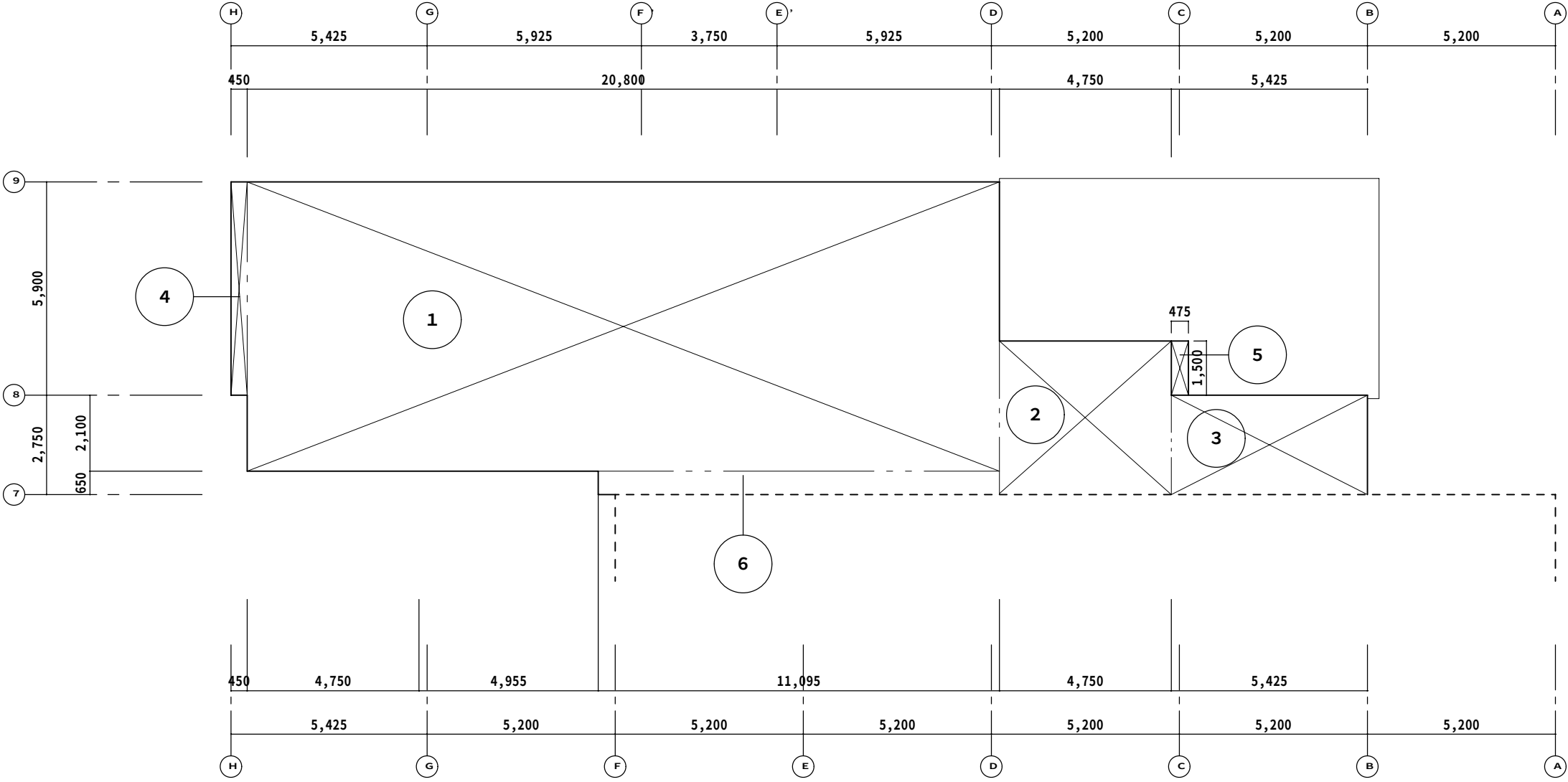
[illegible]

特記：

工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	遠 水 可 次
名 称	特記仕様書（6）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A — 6	S = 1 :	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



2階求積図 1／150



1階求積図 1／150

求 積 表

番号	計 算 式	面 積
1	$(5.9 + 2.1) \times 20.8 =$	166.4
2	$(2.75 + 1.5) \times 4.75 =$	20.1875
3	$2.75 \times 5.425 =$	14.91875
4	$5.9 \times 0.45 =$	0.7125
5	$1.5 \times 0.475 =$	1.6625
6	$0.65 \times 11.095 =$	7.21175
7	$(5.9 + 2.1) \times (30.98 + 0.22) =$	249.6
8	$5.9 \times 0.45 =$	2.655
9	$0.65 \times 21.27 =$	13.8255
10	$4.02 \times 0.65 - 1.475 \times 0.45 =$	1.94925
11	$0.5 \times 5.4 =$	2.7
12	$3.16 \times 0.45 - 1.5 \times 0.22 =$	1.092

面 積 表

	計 算 式	面 積
建築面積	$(7) + (8) + (9) + (10) + (11) + (12)$	271.82 (271.82175)
1階床面積	$(1) + (2) + (3) + (4) + (5) + (6)$	211.09 (211.093)
2階床面積	$(7) + (8) + (9)$	266.08 (266.0805)
延べ床面積		477.17 (477.1735)

特 記 :

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	面積表				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A — 7	S = 1 : 150	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

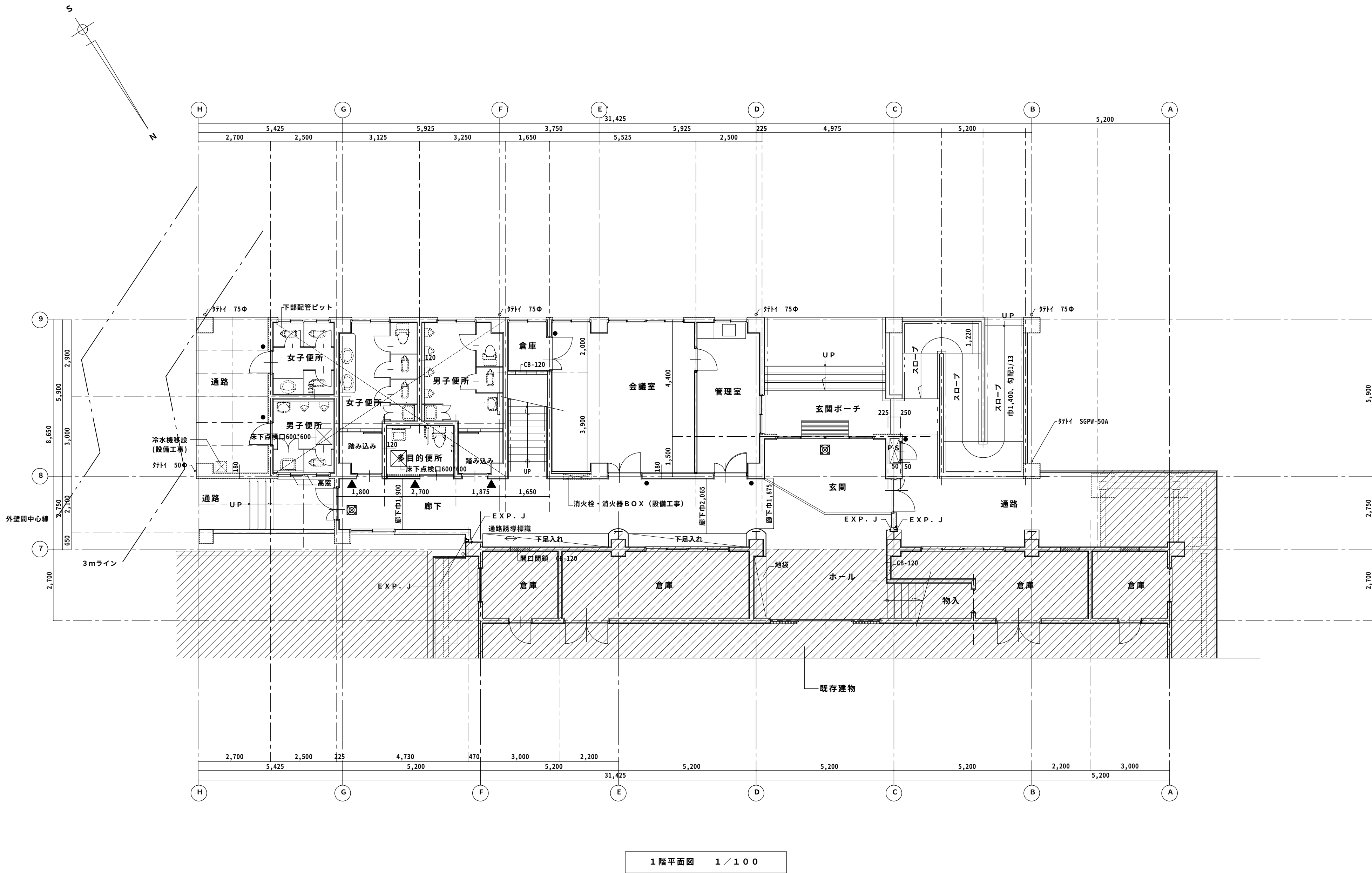
内 部 仕 上 表																外 部 仕 上 表		
階	室 名	床	下 地	F L	造作材	木 部 塗 装	幅 木	H	腰 ・ 壁	下 地	天 井	下地	C ・ H	廻り縁	備 考	部 位	仕 上	
1 階	玄 関	1 5 0 角磁器タイル張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	塩ビ	100	ビニールクロス張り 下地：モルタル	C	化粧石膏ボード 厚9.5	S	2500	塩ビ	ｸﾞﾗｽﾞﾘ：赤御影石60*30磨き	屋根	断熱塩ビシート防水 厚1.5 断熱材 厚25 下地：均しモルタル	
	ホ ー ル	長尺塩ビシート張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	塩ビ	100	ビニールクロス張り 下地：モルタル・一部ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾎﾟｰﾄ厚6.0	C S	化粧石膏ボード 厚9.5	S	2500	塩ビ	地袋	小庇	絶縁塩ビシート防水 厚1.5 下地：均しモルタル	
	廊 下	長尺塩ビシート張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	塩ビ	100	ビニールクロス張り 下地：モルタル・一部ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾎﾟｰﾄ厚6.0	C S	化粧石膏ボード 厚9.5	S	2500	塩ビ	下足入れ	軒天井	E P 塗り 下地：珪酸カルシウム板 厚6.0 目透かし張り	
	管 理 室	直張りフローリング 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	木製	100	ビニールクロス張り 下地：モルタル・一部P B－1 5	C S	化粧石膏ボード 厚9.5	S	2500	塩ビ	流し台セット（展開図参照） →火気使用なし（IHコンロ） カーテンレール	外壁	吹き付けタイル 下地：コンクリート打ち放し、美粧処理	
	会 議 室	直張りフローリング 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	木製	100	ビニールクロス張り 下地：モルタル・一部P B－1 5	C S	化粧石膏ボード 厚9.5	S	2700 2300	塩ビ	カーテンボックス・カーテンレール	巾木	コンクリート打ち放し、美粧処理	
	倉 庫	長尺塩ビシート張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	塩ビ	100	ビニールクロス張り 下地：モルタル	C C B	E P 塗り 下地：PB-9.5 目透かし	S	2300	塩ビ		玄関ポーチ	床：1 5 0 角磁器タイル張りﾌｨﾅｯｼｭﾀｲﾌﾟ（モルタル） 壁：吹き付けタイル（ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し、美粧処理） 天井：アルミスパンデル張り	
	男子便所	5 0 角磁器タイル張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P			1 0 0 角カラータイル張り 下地：モルタル	C	E P 塗り 下地：KB-6.0 目透かし	S	2500	塩ビ	床排水溝 トイレブース・隔て板・面台			
	踏み込み	長尺塩ビシート張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	塩ビ	100	1 0 0 角カラータイル張り 下地：モルタル	C	E P 塗り 下地：KB-6.0 目透かし	S	2500	塩ビ		外部通路	床：コンクリート金こて 壁：吹き付けタイル（ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し、美粧処理） 天井：E P 塗り（珪酸ｶﾙｼｳﾑ板 厚6.0 目透かし張り） 雑：階段ｽﾃｰﾚｽﾌｨﾅｯｼｭﾞ ｺﾞﾑﾀｲﾔ入 W-35	
	女子便所	5 0 角磁器タイル張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P			1 0 0 角カラータイル張り 下地：モルタル	C	E P 塗り 下地：KB-6.0 目透かし	S	2500	塩ビ	床排水溝 トイレブース・隔て板・面台			
	踏み込み	長尺塩ビシート張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	塩ビ	100	1 0 0 角カラータイル張り 下地：モルタル	C	E P 塗り 下地：KB-6.0 目透かし	S	2500	塩ビ		バルコニー	床：塗膜防水、防水モルタル金こて 壁：吹き付けタイル（ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し、美粧処理） 天井：ﾌｧｸﾙﾃﾞﾝｼﾞ吹き付け（ｺﾝｸﾘｰﾄ打ち放し、美粧処理） 雑：アルミ手摺	
	多目的便所	長尺塩ビシート張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	塩ビ	100	ビニールクロス張り 一部100角ｶｰﾅｰﾀｲﾙ 下地：モルタル	C	化粧石膏ボード 厚9.5	S	2500	塩ビ	面台			
	外部：男子便所	5 0 角磁器タイル張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P			1 0 0 角カラータイル張り 下地：モルタル	C	E P 塗り 下地：KB-6.0 目透かし	S	2300	塩ビ	トイレブース・面台			
	外部：女子便所	5 0 角磁器タイル張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P			1 0 0 角カラータイル張り 下地：モルタル	C	E P 塗り 下地：KB-6.0 目透かし	S	2300	塩ビ	トイレブース			
2 階	廊 下	長尺塩ビシート張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	塩ビ	100	ビニールクロス張り 下地：モルタル・一部ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾎﾟｰﾄ厚6.0	C	化粧石膏ボード 厚9.5	S	2450	塩ビ	物入れ			
	男子便所	長尺塩ビシート張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	塩ビ	100	ビニールクロス張り・一部100角カラータイル張り 下地：モルタル・一部ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾎﾟｰﾄ厚6.0	C	E P 塗り 下地：KB-6.0 目透かし	S	2450	塩ビ	ｽﾃｰﾚｽｸﾞﾗｽﾞﾘ・ｽﾃｰﾚｽ三方枠	堅 樋	塩ビ製カラー Φ75・Φ50	
	女子便所	長尺塩ビシート張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	塩ビ	100	ビニールクロス張り 下地：モルタル・一部ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾙｰﾎﾟｰﾄ厚6.0	C	E P 塗り 下地：KB-6.0 目透かし	S	2450	塩ビ	ｽﾃｰﾚｽｸﾞﾗｽﾞﾘ・ｽﾃｰﾚｽ三方枠	ルｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ	シート防水用コーナードレイン Φ75 ﾓﾙﾀﾙ防水用ドレイン Φ50	
	女子更衣室	直張りフローリング 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	木製	100	ビニールクロス張り 下地：モルタル	C	化粧石膏ボード 厚9.5	S	2450	塩ビ	カーテンボックス・カーテンレール 物入れ・可動間仕切り	中継ドレイン	シート防水用ドレイン Φ75	
	男子更衣室	直張りフローリング 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	木製	100	ビニールクロス張り 下地：モルタル	C	化粧石膏ボード 厚9.5	S	2450	塩ビ	カーテンボックス・カーテンレール 物入れ・可動間仕切り			
	女子脱衣室	長尺塩ビシート張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	塩ビ	100	ビニールクロス張り 下地：モルタル 一部KB-6	C	E P 塗り 下地：KB-6.0 目透かし	S	2450	塩ビ	脱衣棚			
	男子脱衣室	長尺塩ビシート張り 下地：モルタル	C	0	米褥	S O P	塩ビ	100	ビニールクロス張り 下地：モルタル 一部KB-6	C	E P 塗り 下地：KB-6.0 目透かし	S	2450	塩ビ	脱衣棚			

特 記	[塗装記号]			[下地記号]			工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 速 水 可 次 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885							
	S O P — 合成樹脂調合ペイント E P — 合成樹脂エマルジョンペイント L C — クリアラッカー			O S — オイルステイン V P — 塩化ビニル樹脂塗料 P U — ポリウレタン樹脂塗料			U C — ウレタンクリアー M P — 多彩模様塗料 L E — ラッカーエナメル			C — 鉄筋コンクリート造 S — 軽鉄下地 W — 木造下地			C B — 補強コンクリートブロック造 A L C — A L C版 S T — 鉄骨造			P B — プラスターボード M — モルタル			
	名 称			仕上表			図 番			A — 8			S = 1 :			年 月			



配置図 1 / 500

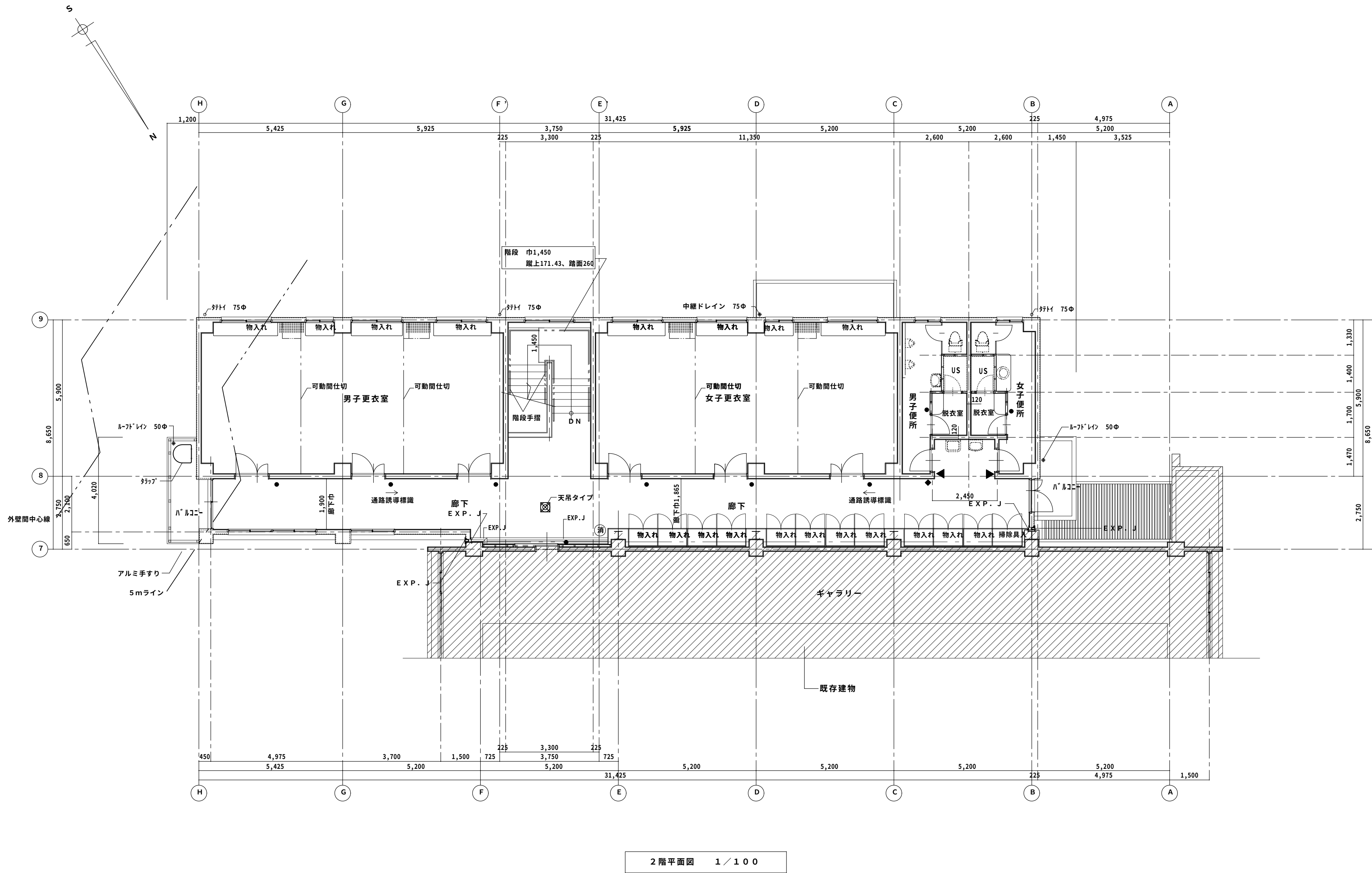
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所		速 水 可 次
名 称	配置図・付近見取図				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録 第 102935 号	
図 番	A — 9	S = 1 : 500	年 月				



特 記 :
図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。

図中、● は平面型室名札を示す。（7箇所）SK-607 新協和程度
図中、▲ はアルミサイン（平付型）を示す。（3箇所）SK-17F-150 新協和程度
図中、 は誘導標識（蓄光型）を示す。

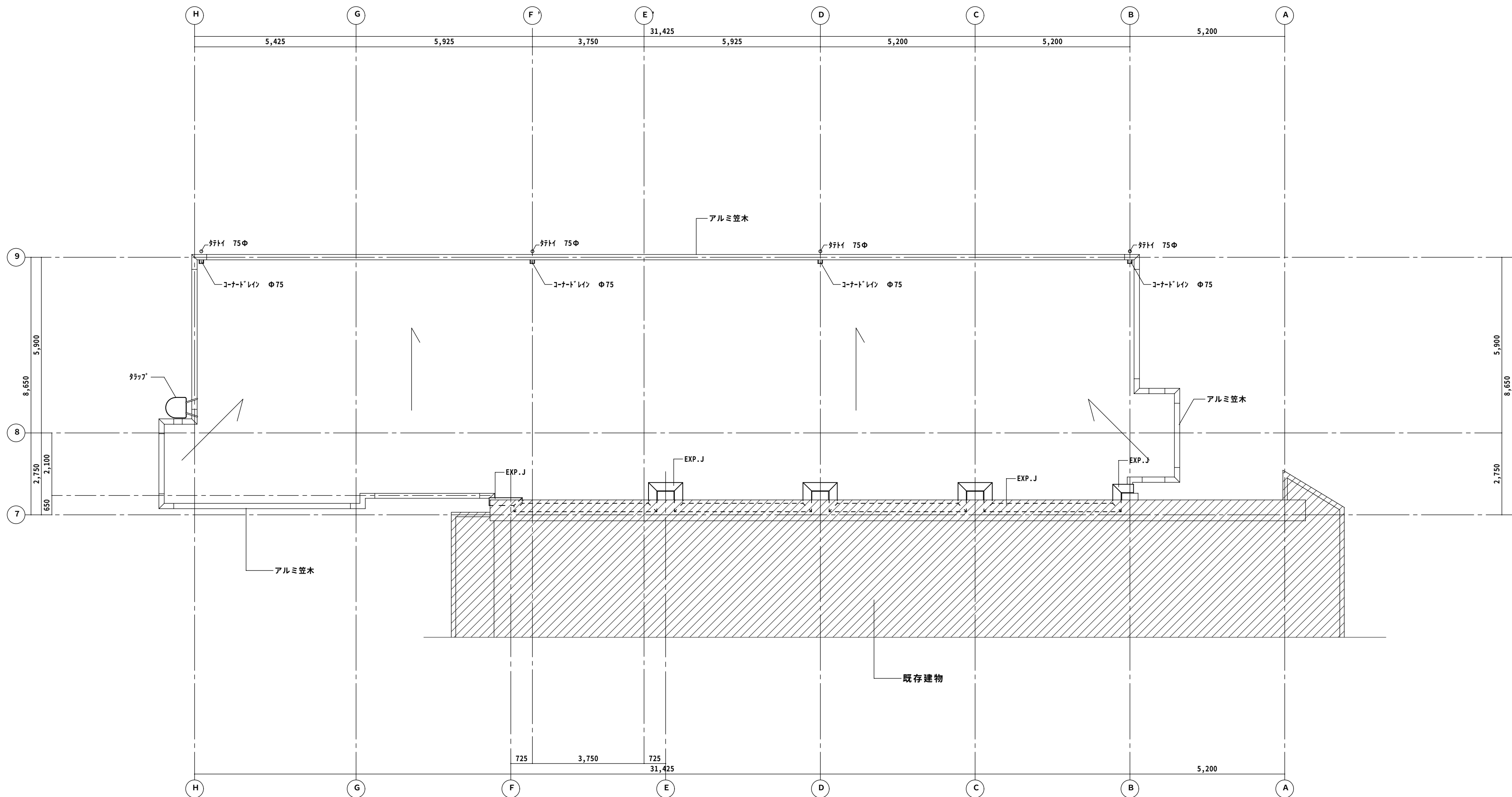
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	1 階平面図				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A — 10	S = 1 : 100	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



特 記 :
図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。

図中、● は平面型室名札を示す。（9箇所）SK-607 新協和程度
図中、▲ はアルミサイン（平付型）を示す。（2箇所）SK-17F-150 新協和程度
図中、◆ はアルミサイン（突出型）を示す。（1箇所）SK-17FS-150 新協和程度
図中、☒ は誘導標識（蓄光型）を示す。

工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	2 階平面図					
図 番	A — 1 1	S = 1 : 100	年 月			

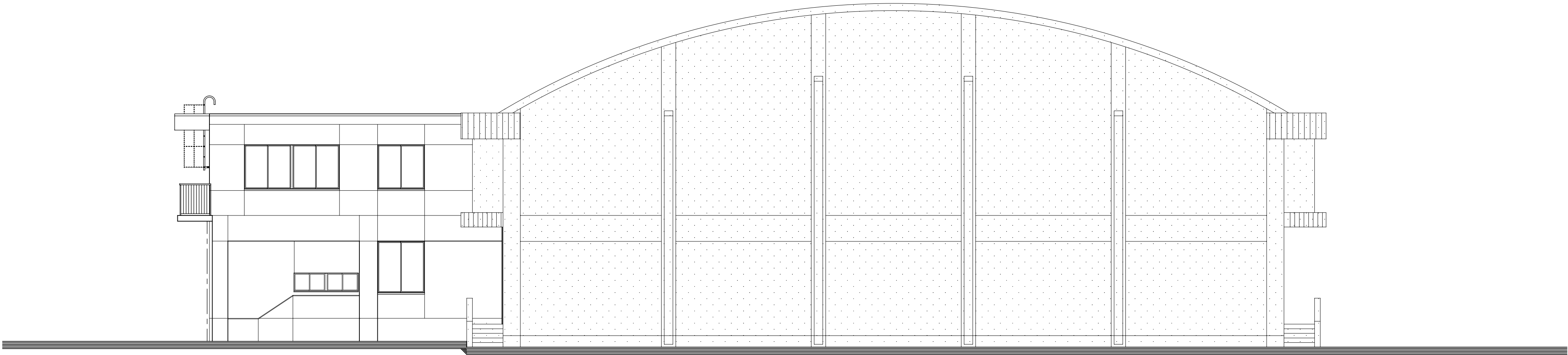


R階平面図 1 / 100

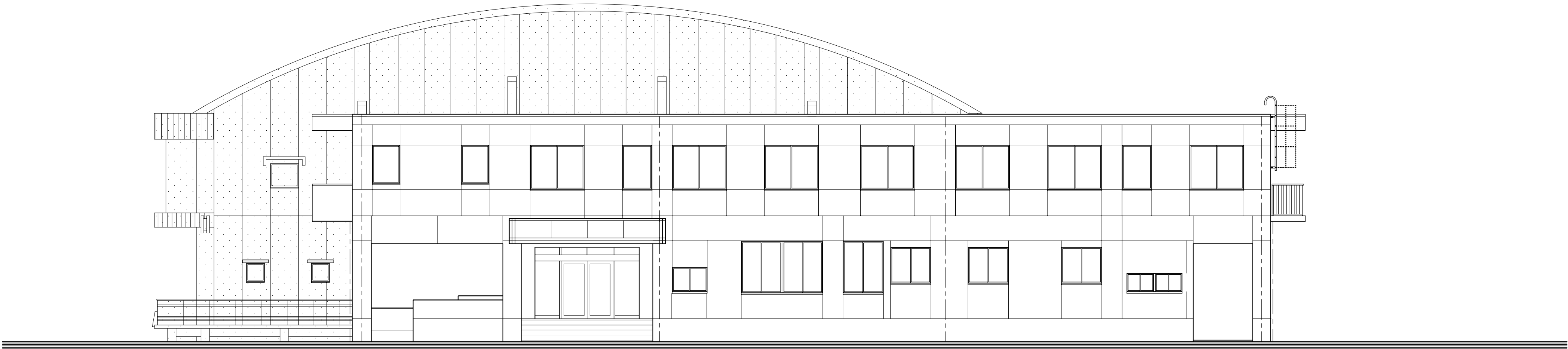
特記：

図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。
外壁廻りのEXP.Jは2時間耐火仕様とする。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	R 階平面図					
図 番	A — 1 2	S = 1 : 100	年 月			



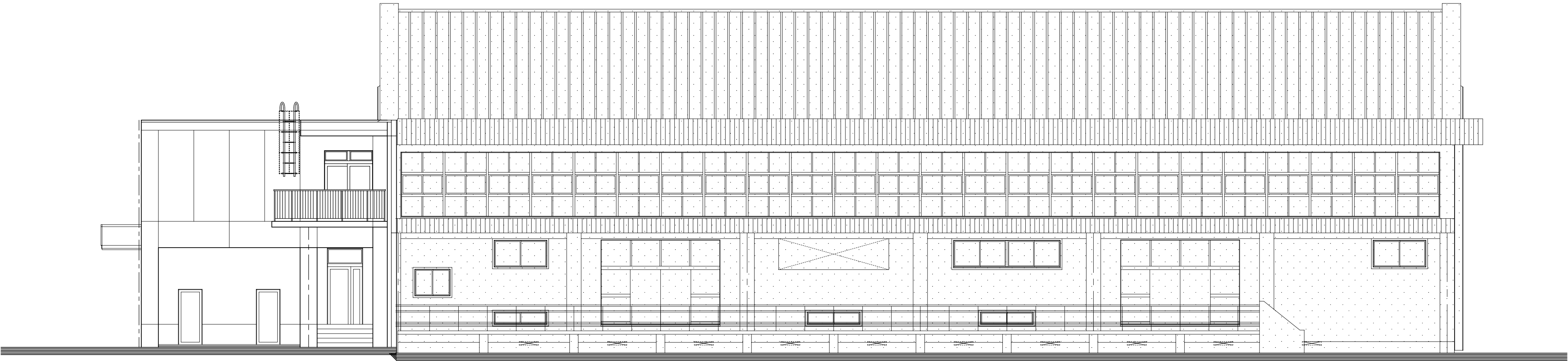
北面立面図 1 / 100



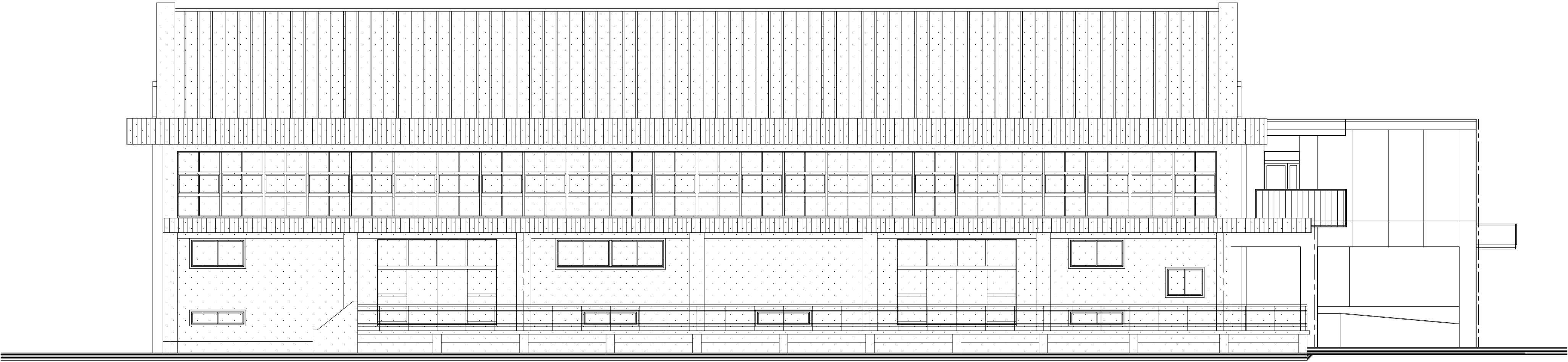
南面立面図 1 / 100

特 記 :
図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	立面図 1			徳島市新蔵町 1 丁目 51-1	1 級建築士登録
図 番	A	— 1 3	S = 1 : 100	年 月	第 102935 号
				TEL 088-622-0883	FAX 088-622-0885



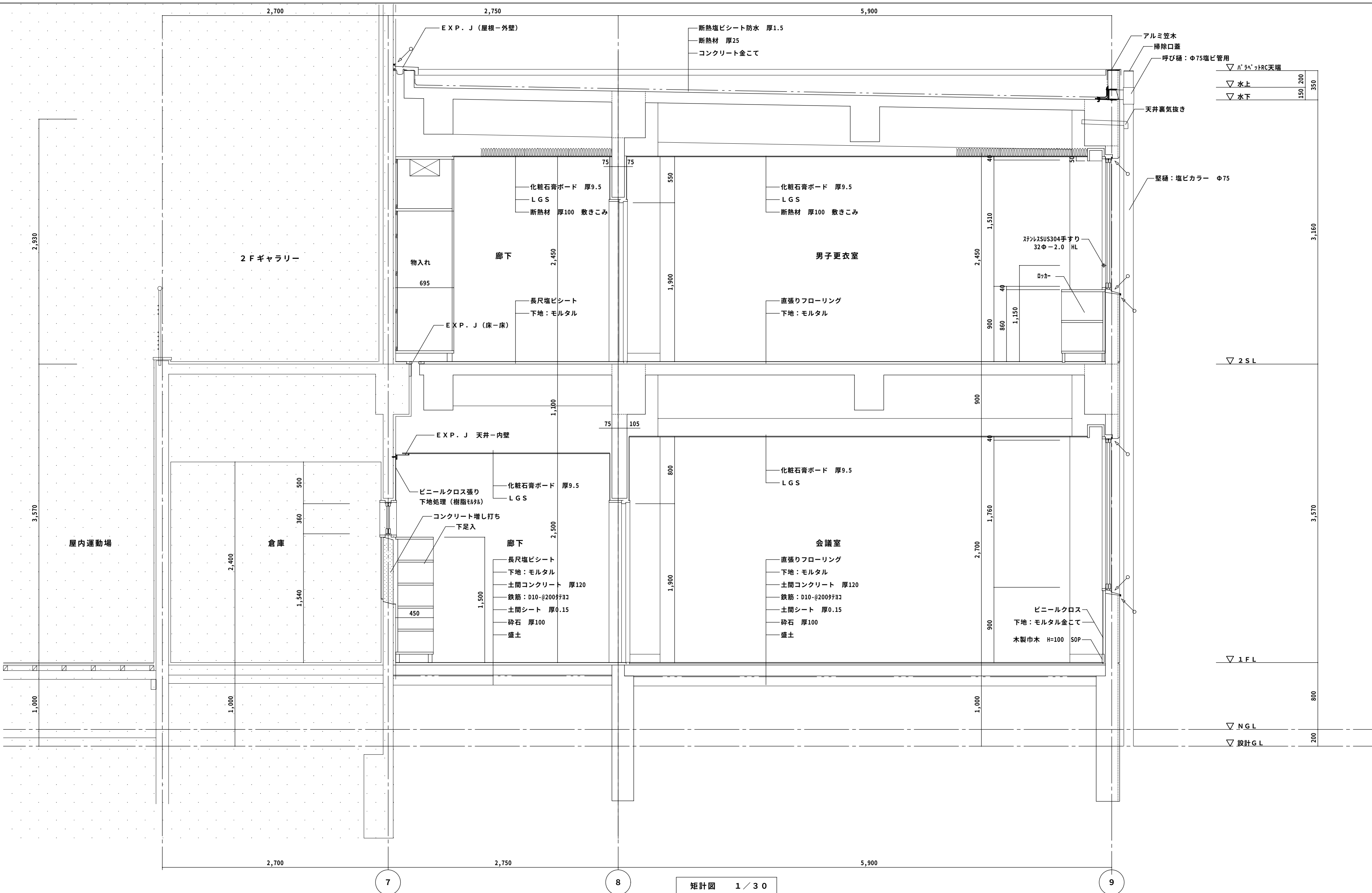
東面立面図 1 / 100



西面立面図 1 / 100

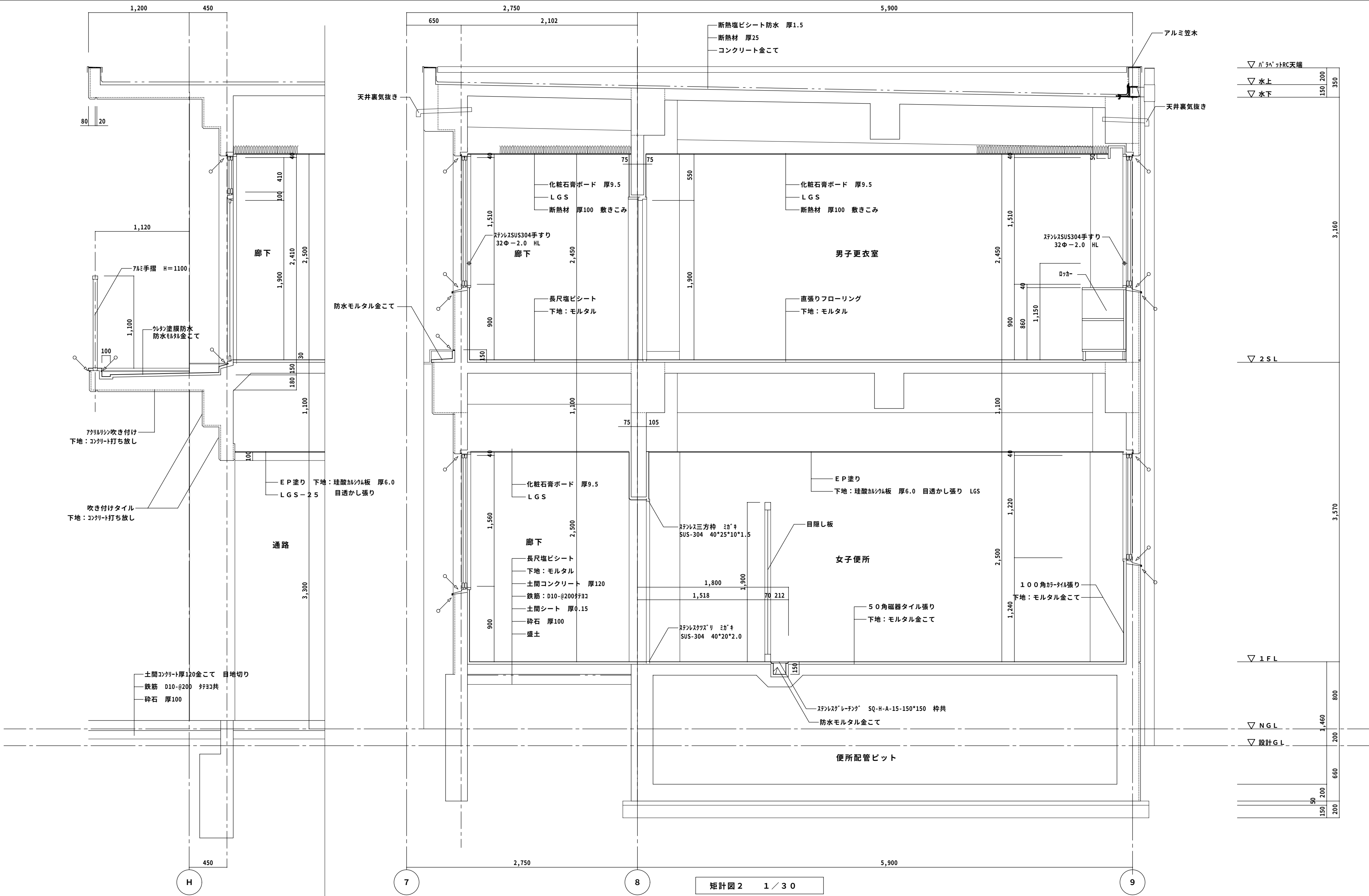
特 記 :
図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。

工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所		速 水 可 次	
名 称	立面図 2				徳島市新蔵町1丁目51-1		1級建築士登録	
図 番	A	—	1 4	S = 1 : 100	年 月			第 102935 号
						TEL 088-622-0883		
						FAX 088-622-0885		

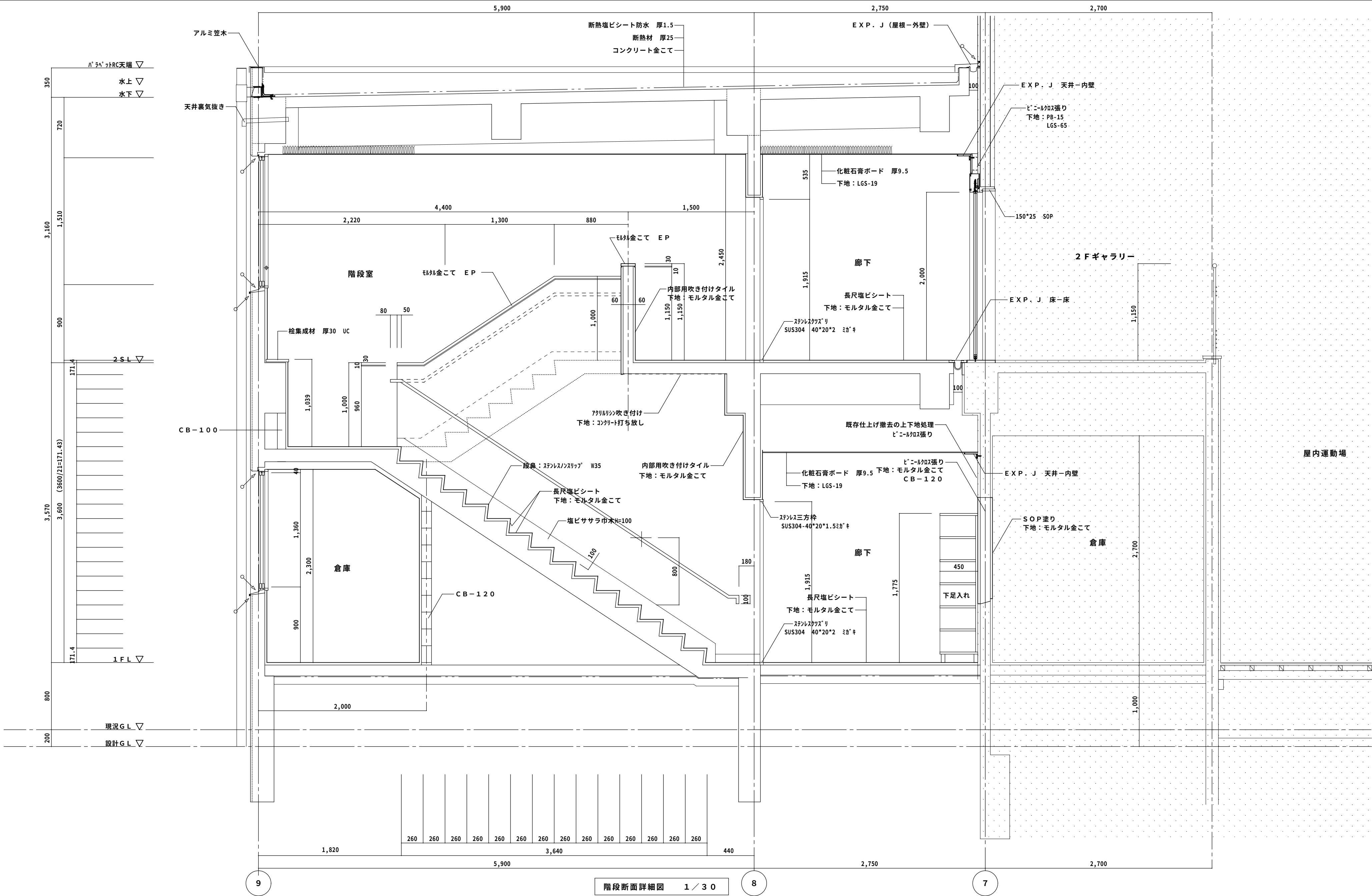


特 記 :  は既存建物(耐震・大規模改修)を示す。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	矩計図 1				徳島市新蔵町 1 丁目 51-1	1 級建築士登録
図 番	A — 1 5	S = 1 : 30	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

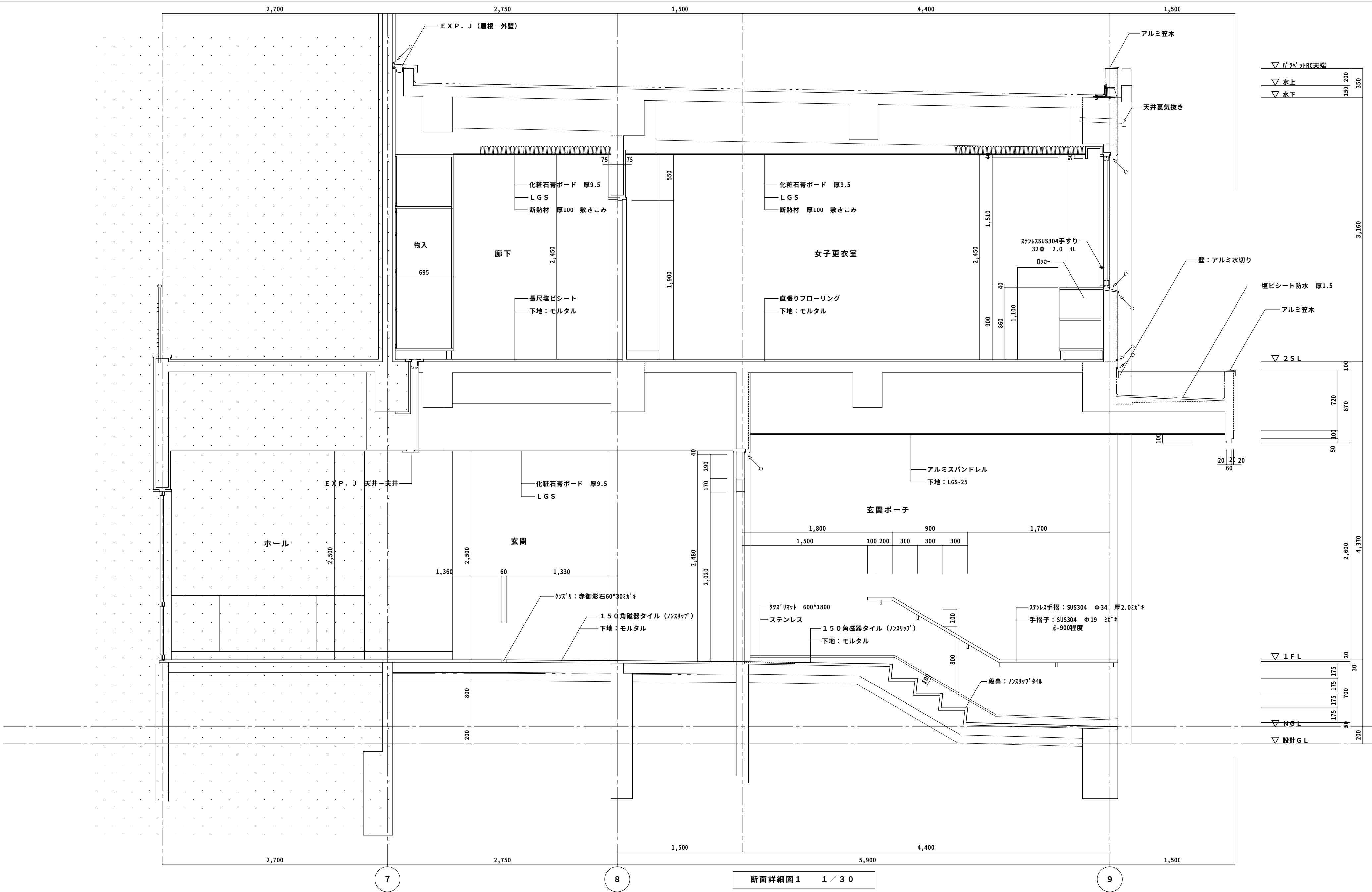


特記：	工事名 相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所		速水可次	
	名称 矩計図 2				徳島市新蔵町1丁目51-1		1級建築士登録	
	図番 A — 16 S = 1 : 30				TEL 088-622-0883		第 102935 号	
	年 月				FAX 088-622-0885			



特 記 :
図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。

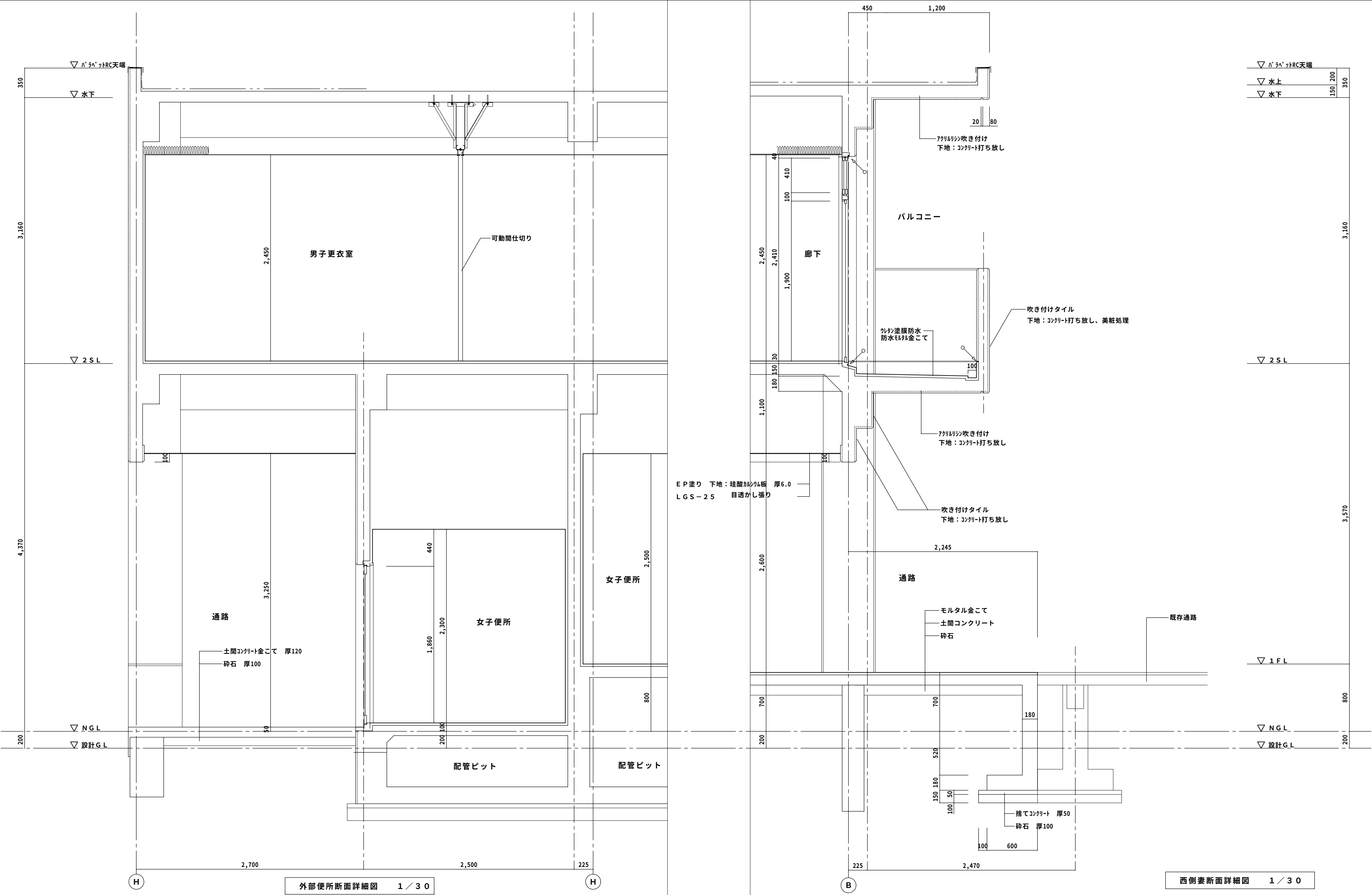
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	階段断面詳細図			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 17	S = 1 : 30	年 月	第 102935 号
				TEL 088-622-0883	FAX 088-622-0885



特記：

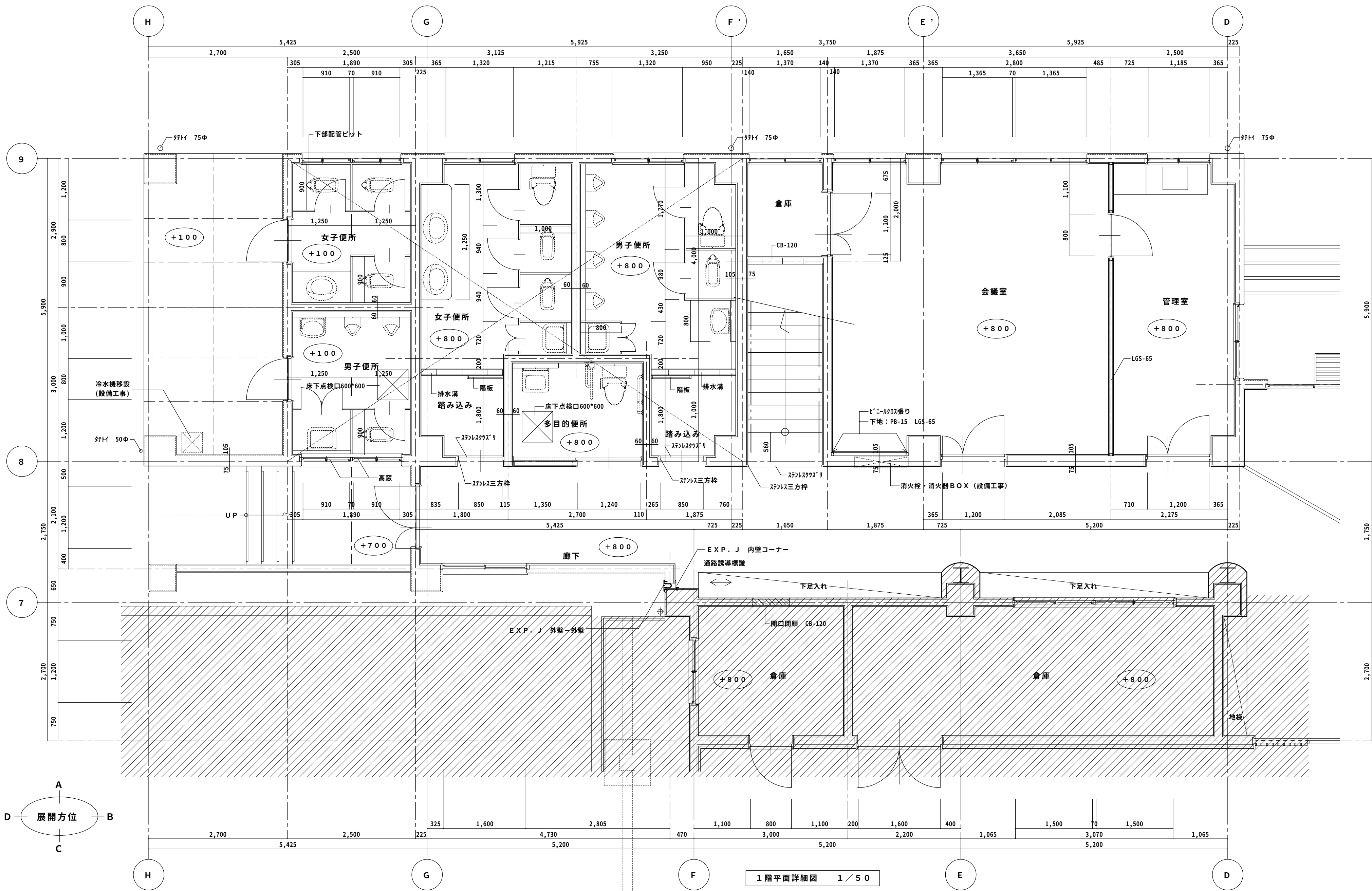
図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	断面詳細図 1				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	— 18	S = 1 : 30	年月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	断面詳細図 2				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	— 19	S = 1 : 30	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

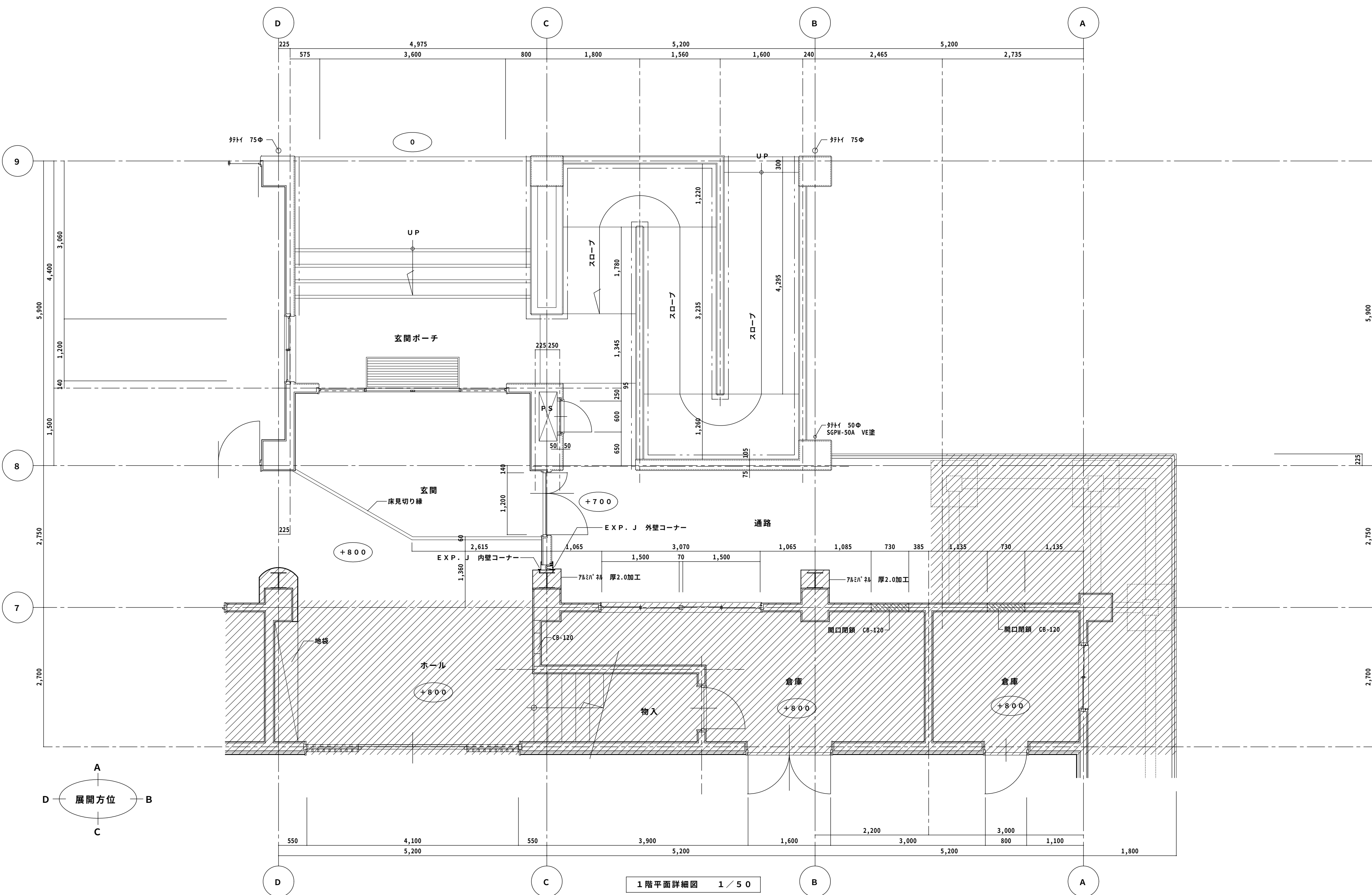


特 記 :

図中 (+ 8 0 0) は B M よりの高低差を示す。

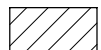
図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	1 階平面詳細図 1			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 2 0	S = 1 : 5 0	年 月	第 102935 号
				TEL 088-622-0883	088-622-0885
				FAX 088-622-0885	

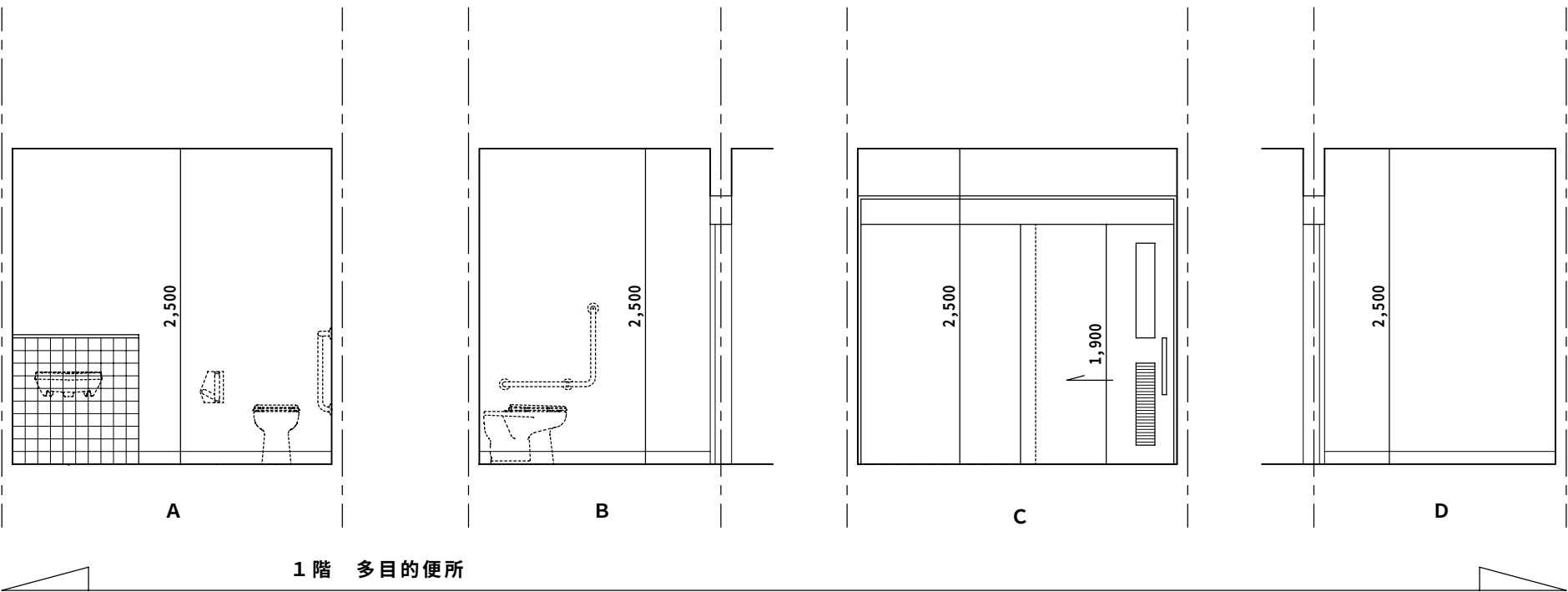
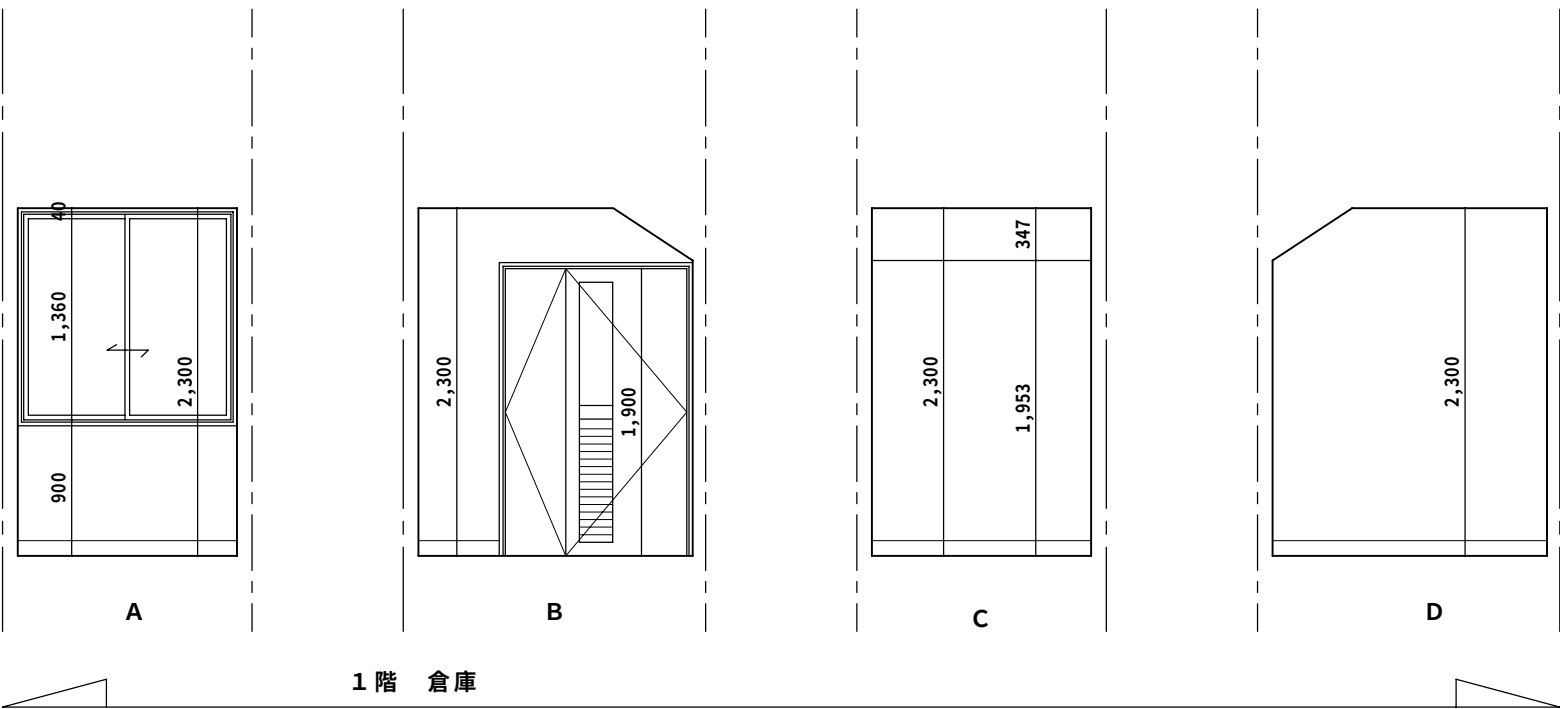
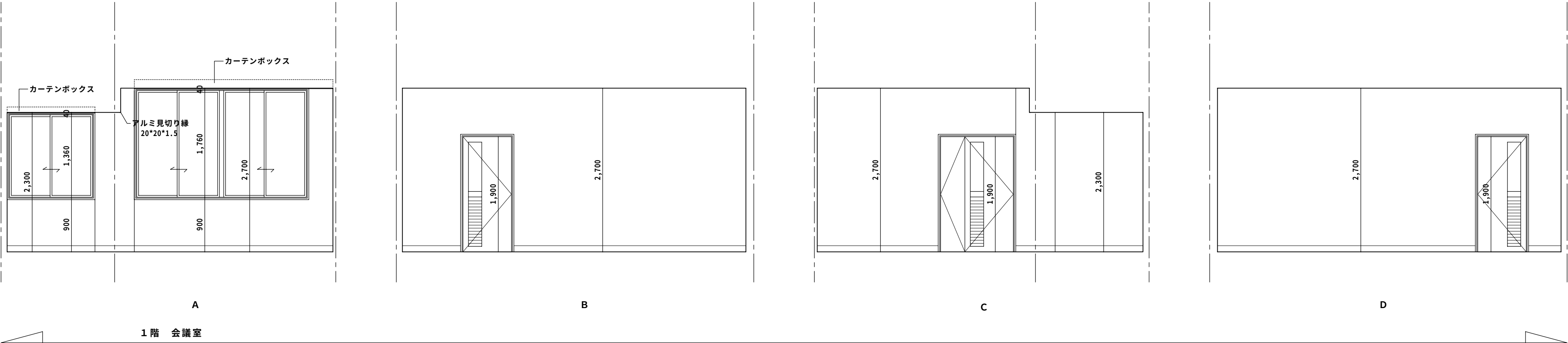
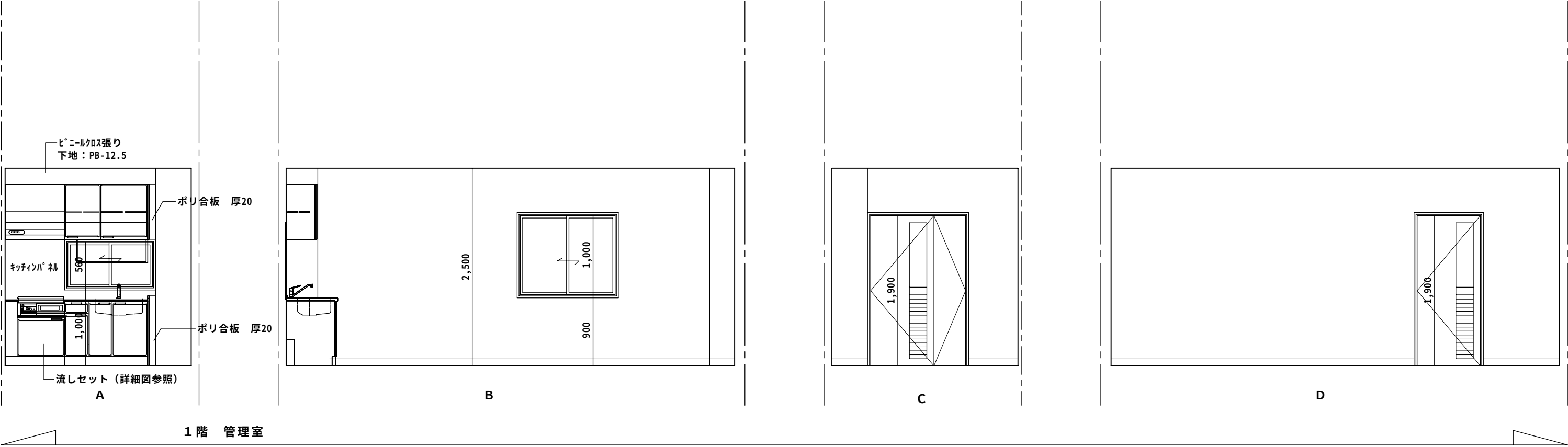


特 記 :

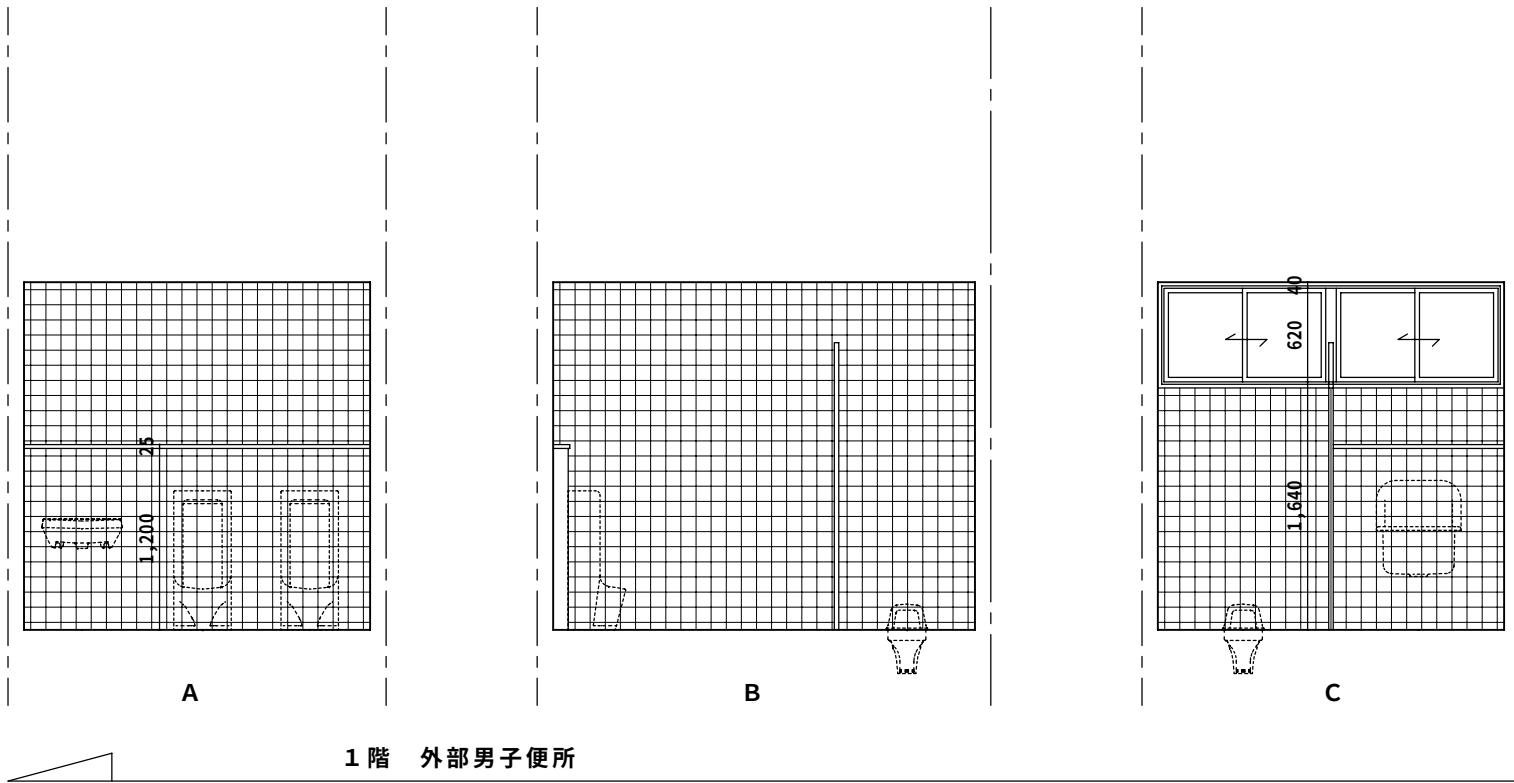
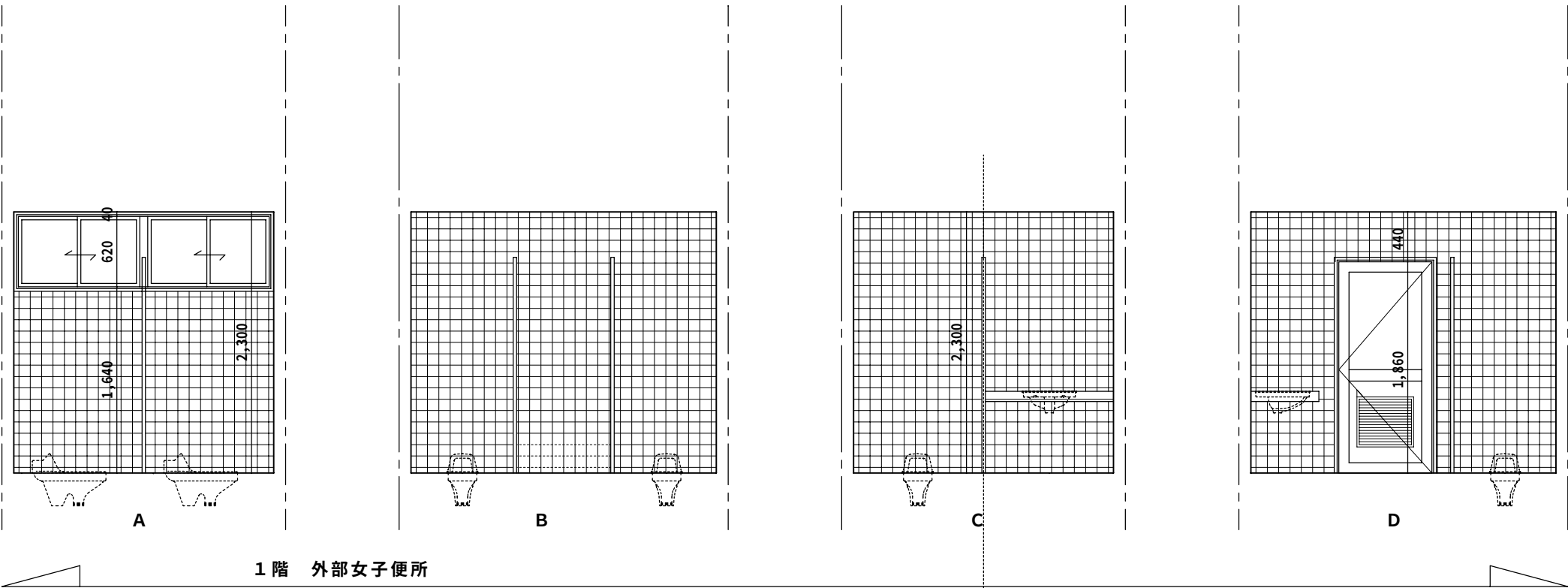
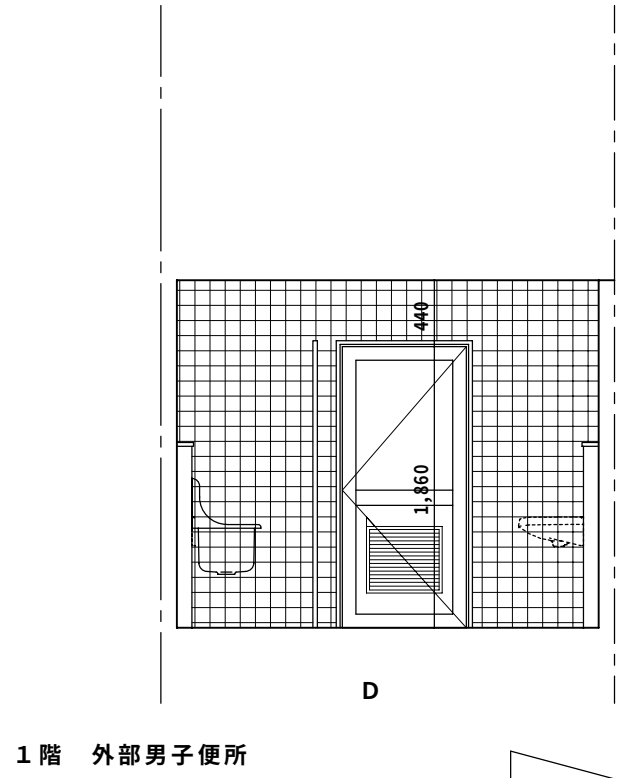
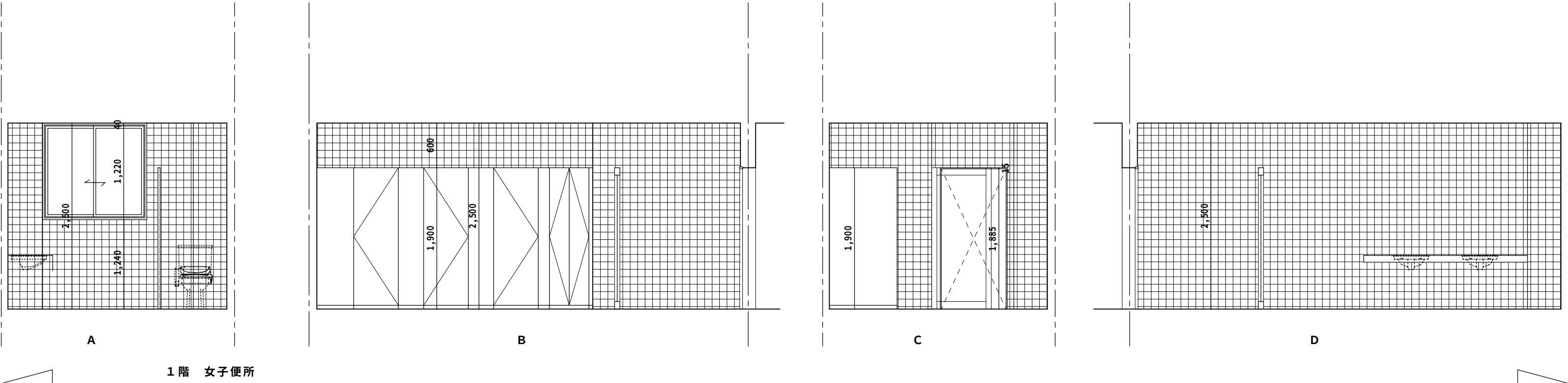
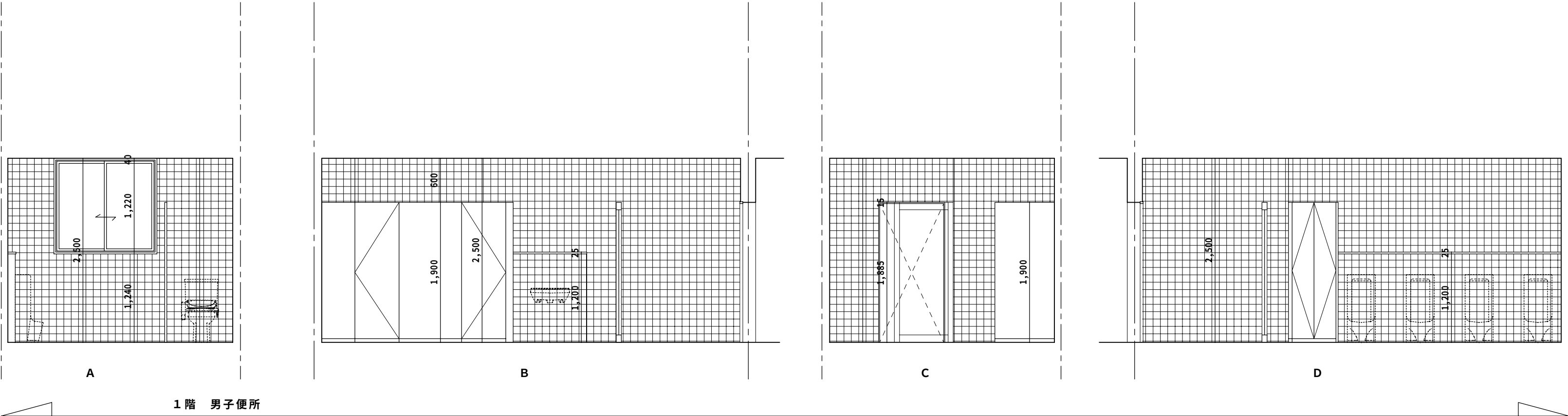
図中 + 8 0 0 は B M よりの高低差を示す。

図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	1 階平面詳細図 2				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 2 1	S = 1 : 50	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

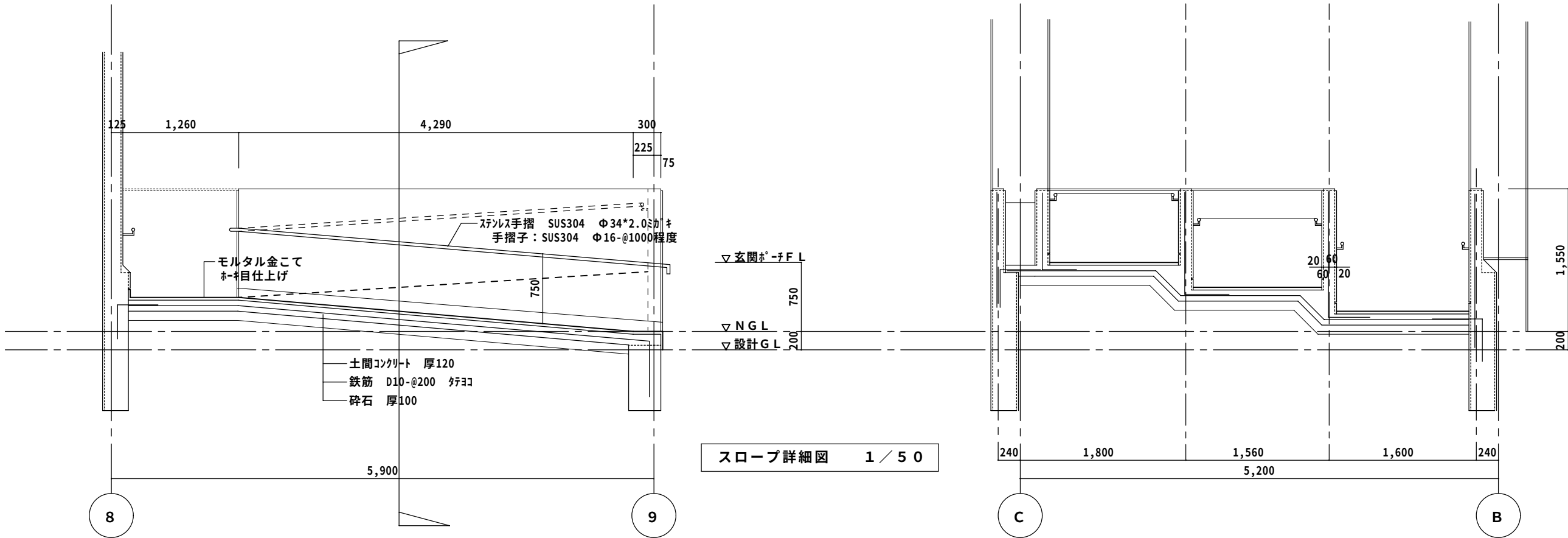
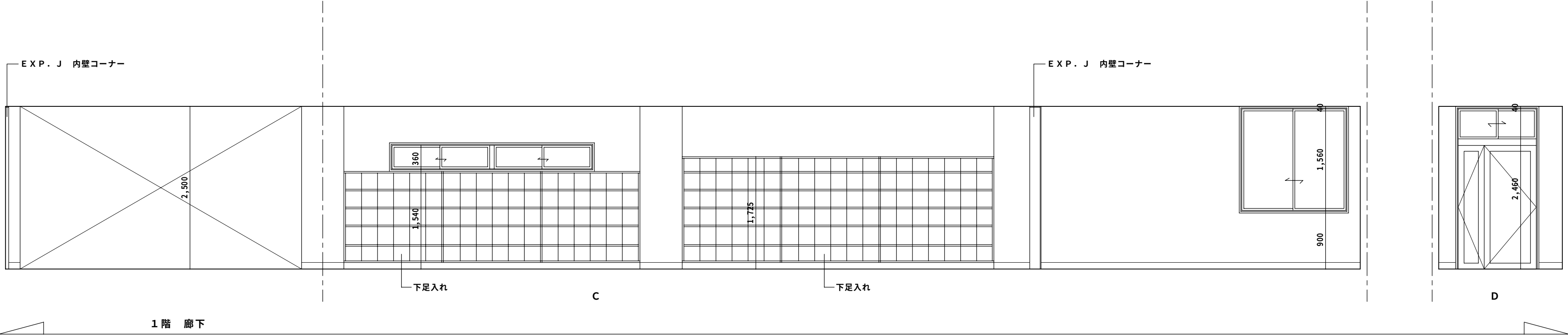
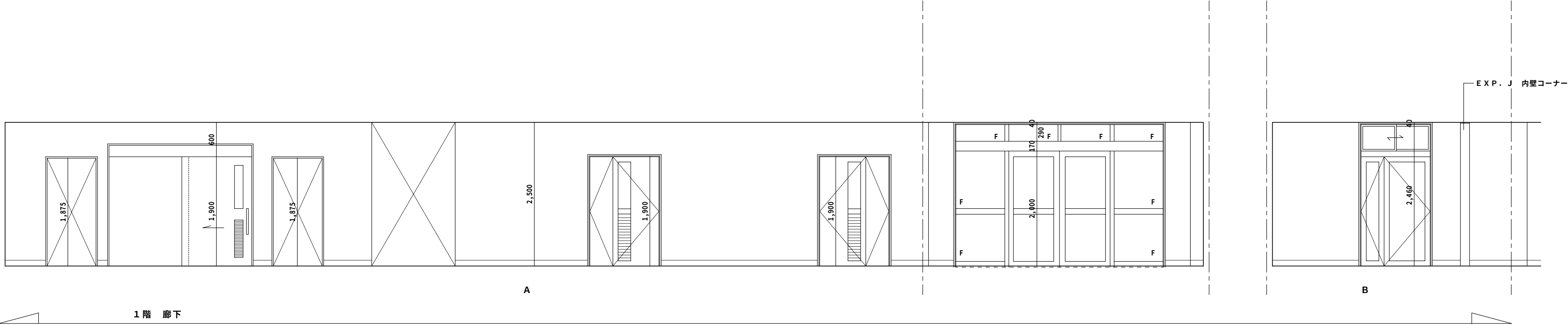


特 記 :	工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事					株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
	名 称	1 階展開図 1					徳島市新蔵町 1 丁目51-1	1 級建築士登録
	図 番	A — 2 2	S = 1 : 50	年 月			TEL 088-622-0883	第 102935 号
							FAX 088-622-0885	

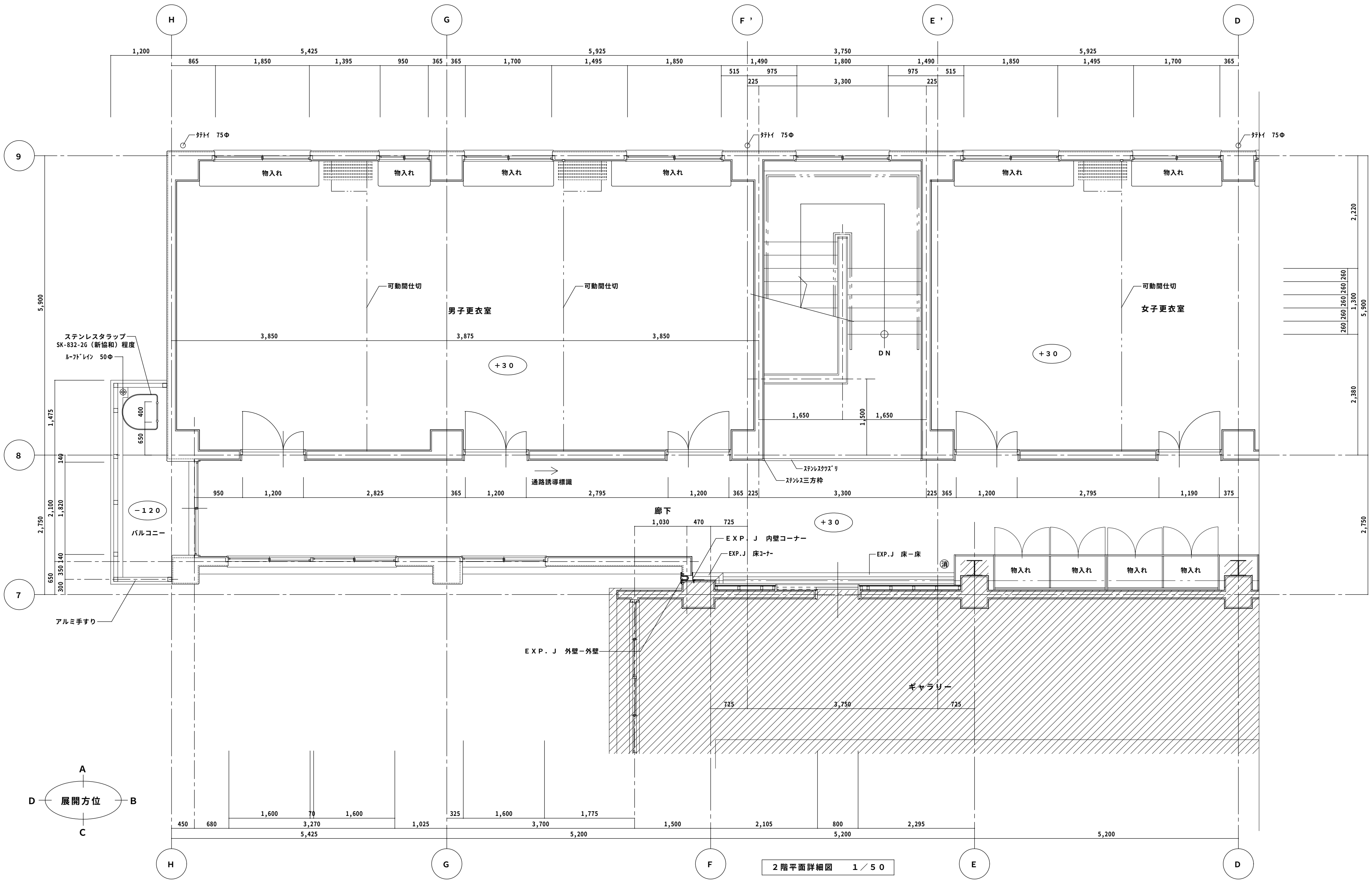


特 記 :

工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	1階展開図 2			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 2 3	S = 1 : 50	年 月	第 102935 号
					TEL 088-622-0883
					FAX 088-622-0885



特記：	工事名				相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 速水 可次				
	名 称				1 階展開図 3							徳島市新蔵町 1 丁目 51-1 1 級建築士登録	
	図 番				A — 2 4 S = 1 : 50		年 月					TEL 088-622-0883 第 102935 号	
												FAX 088-622-0885	

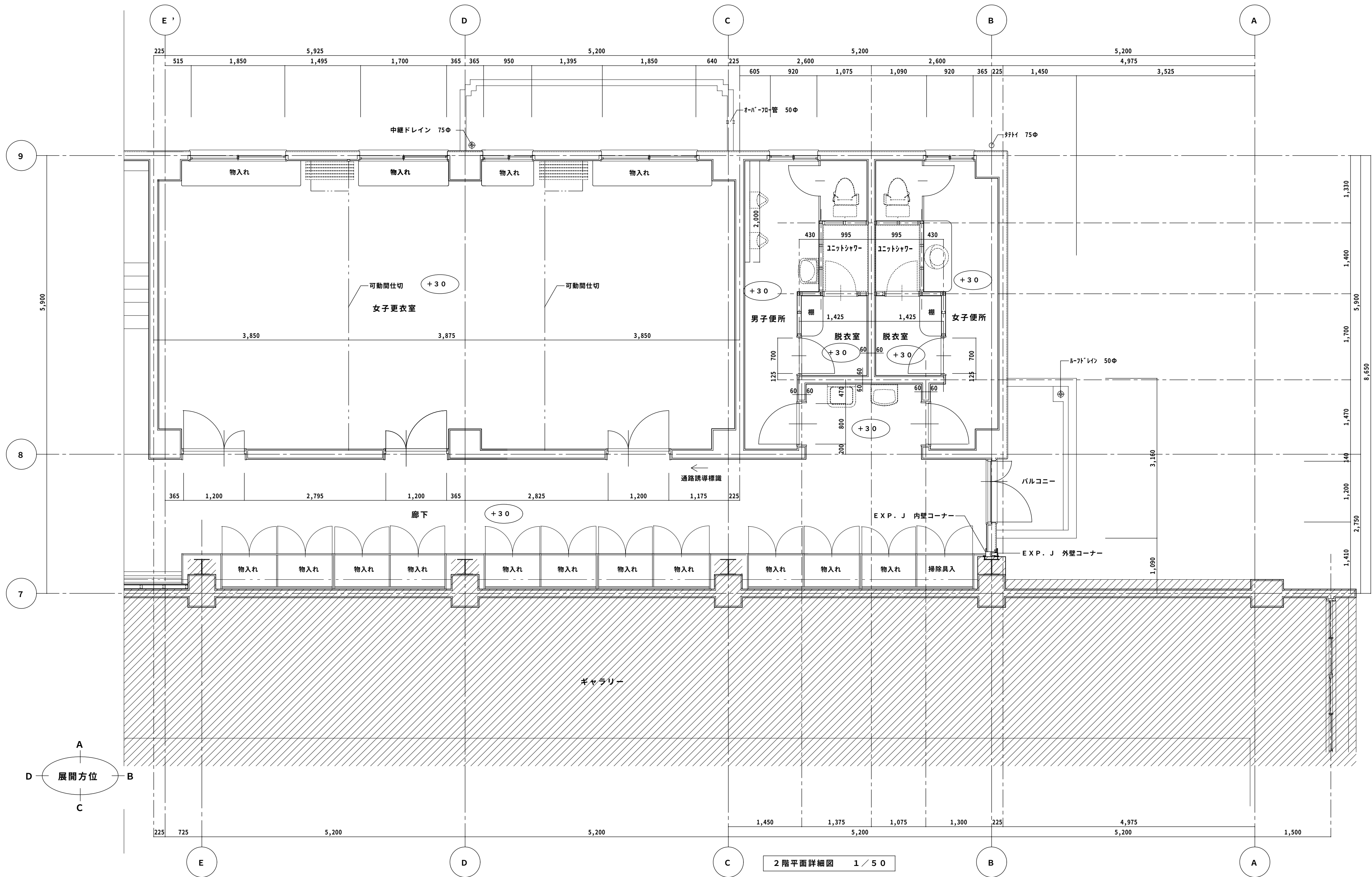


特 記 :

図中 (+ 3 0) は 2 S L よりの高低差を示す。

図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	2 階平面詳細図 1			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 2 5	S = 1 : 5 0	年 月	第 102935 号
					TEL 088-622-0883
					FAX 088-622-0885

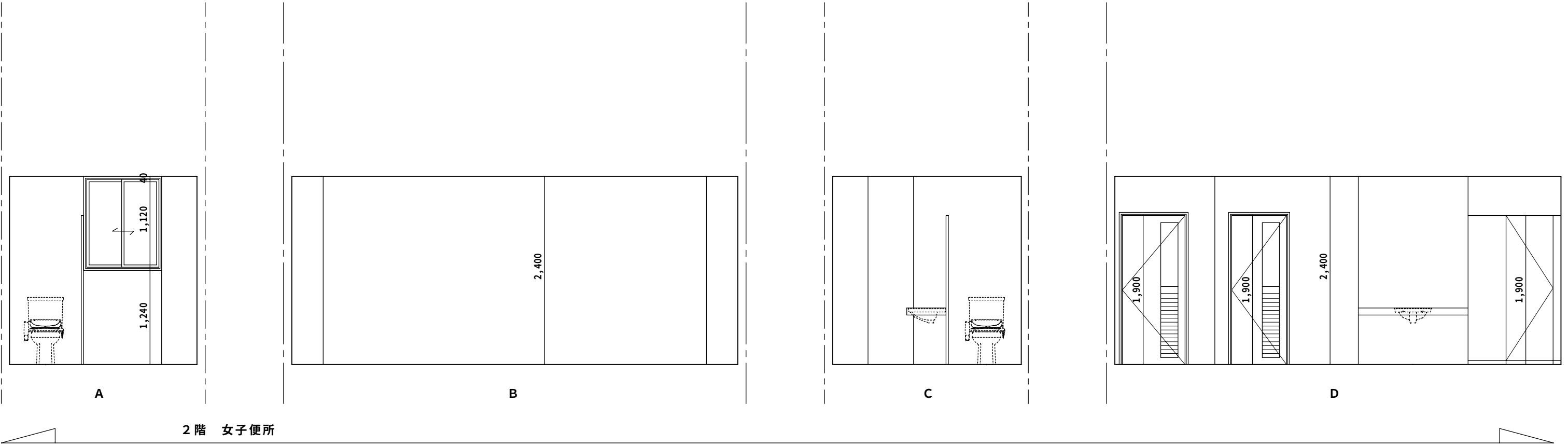


特記：

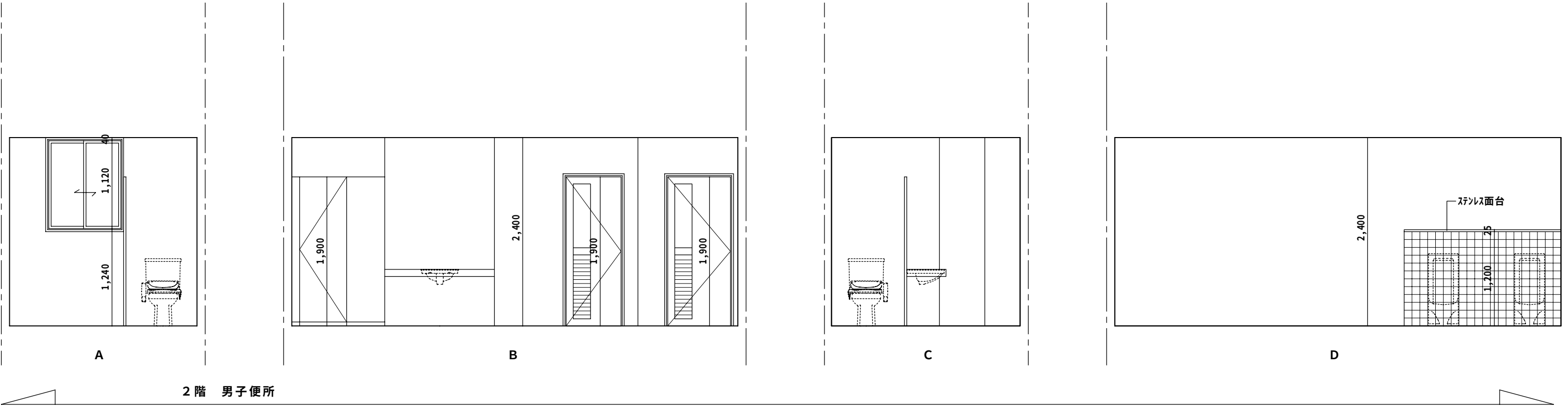
図中 + 3.0 は 2 S L よりの高低差を示す。

図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。

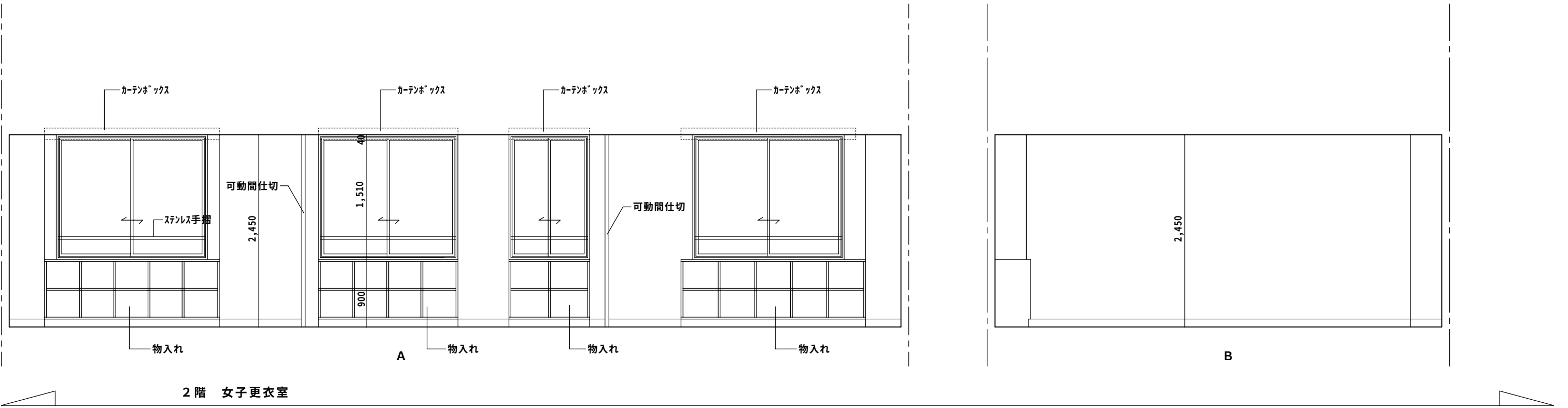
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	2階平面詳細図 2			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A — 26	S = 1 : 50	年月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
				FAX 088-622-0885	



2 階 女子便所



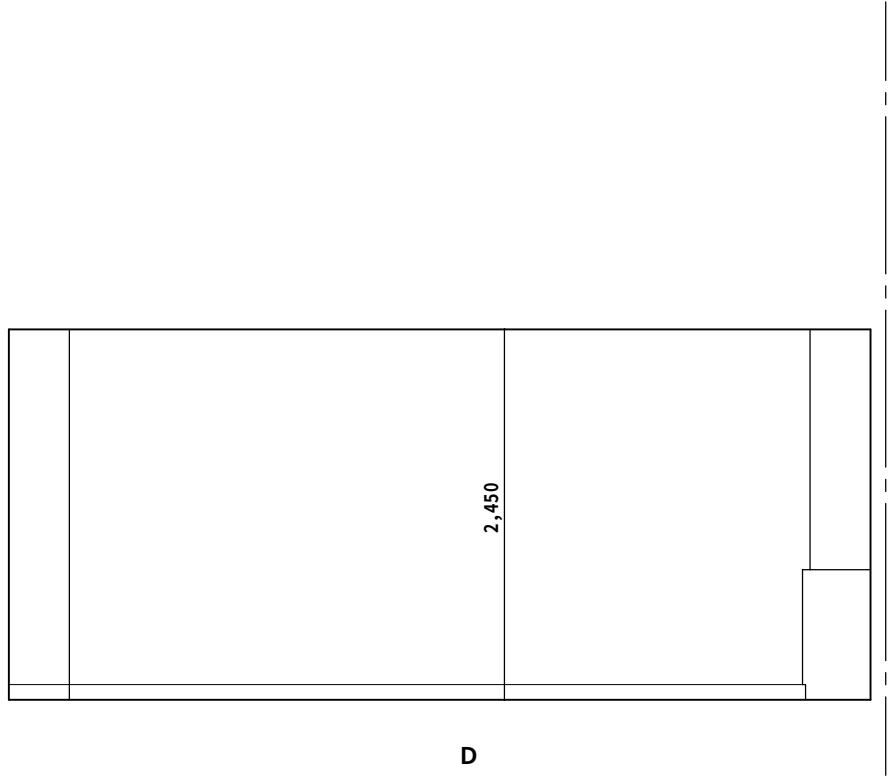
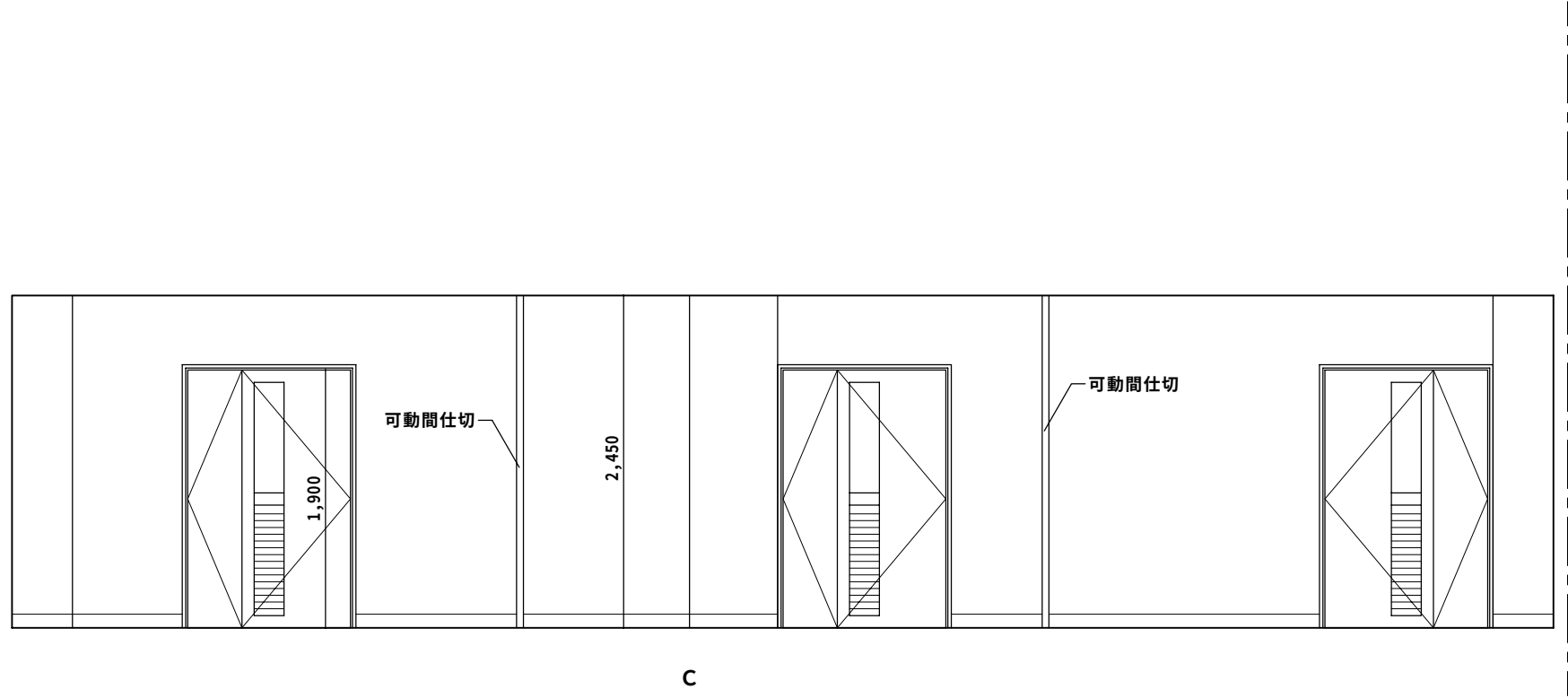
2 階 男子便所



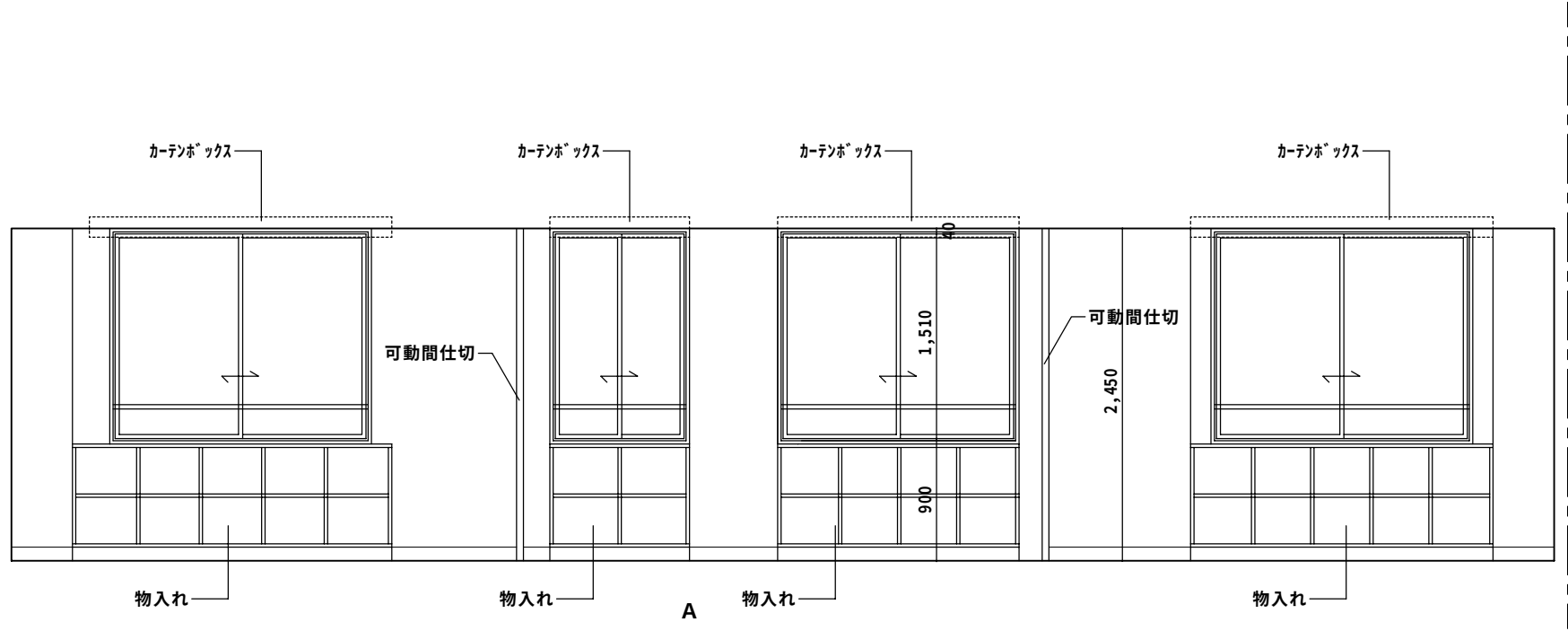
2 階 女子更衣室

特 記 :

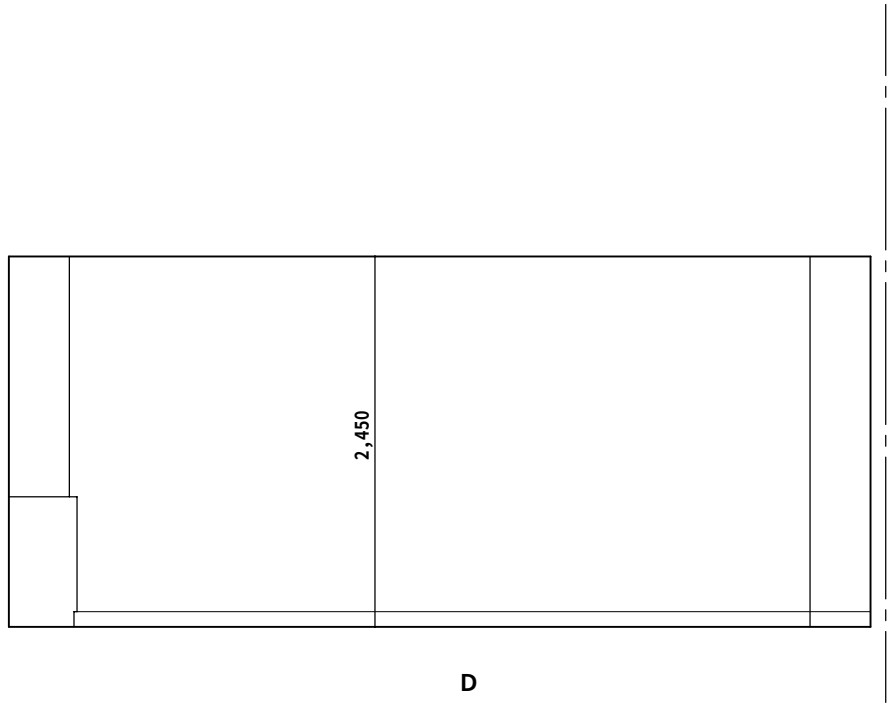
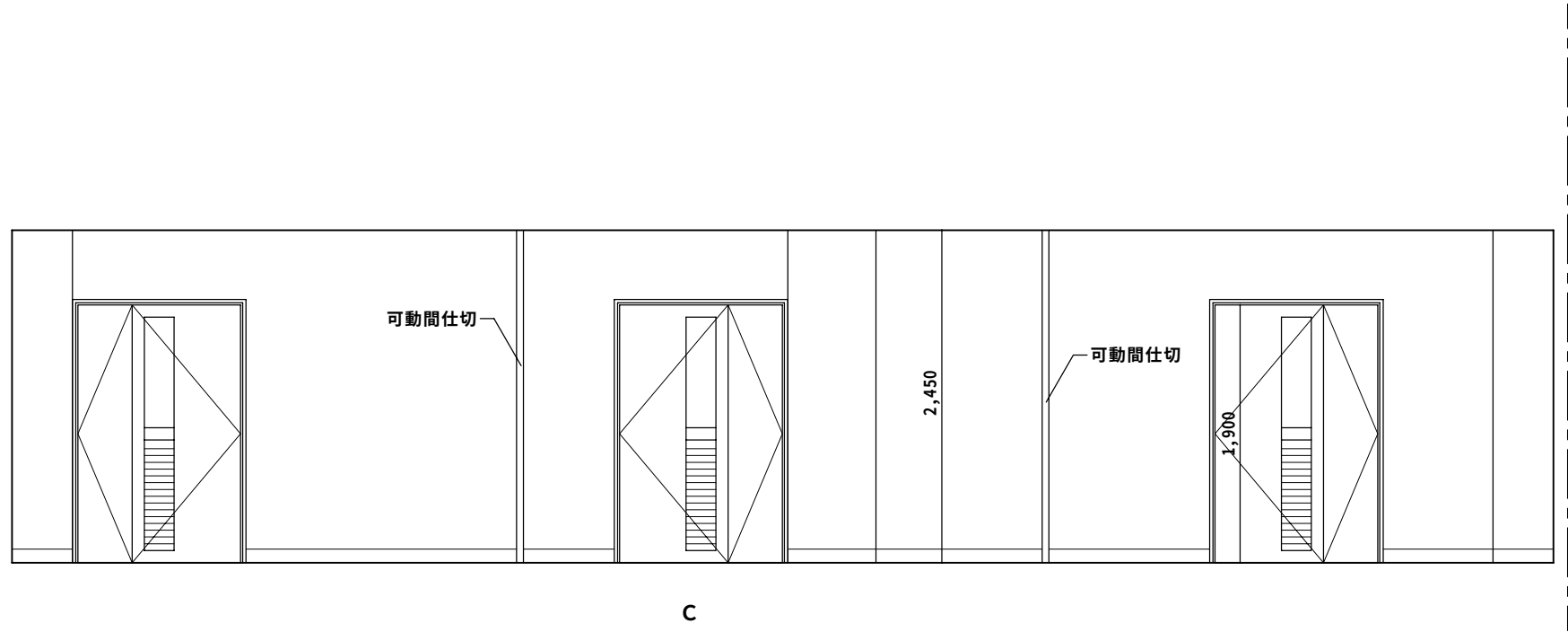
工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 速 水 可 次 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	1級建築士登録 第 102935 号
名 称	2階展開図 1					
図 番	A	— 2 7	S = 1 : 50	年 月		



2階 女子更衣室



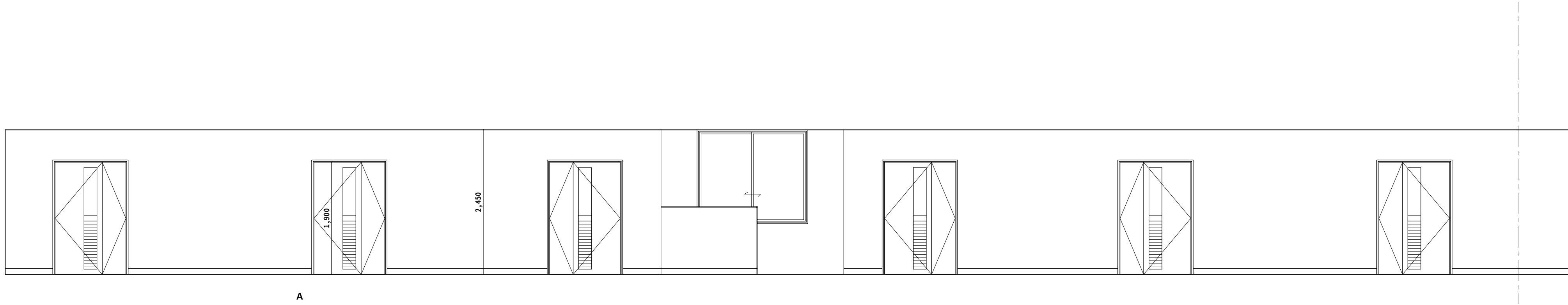
2階 男子更衣室



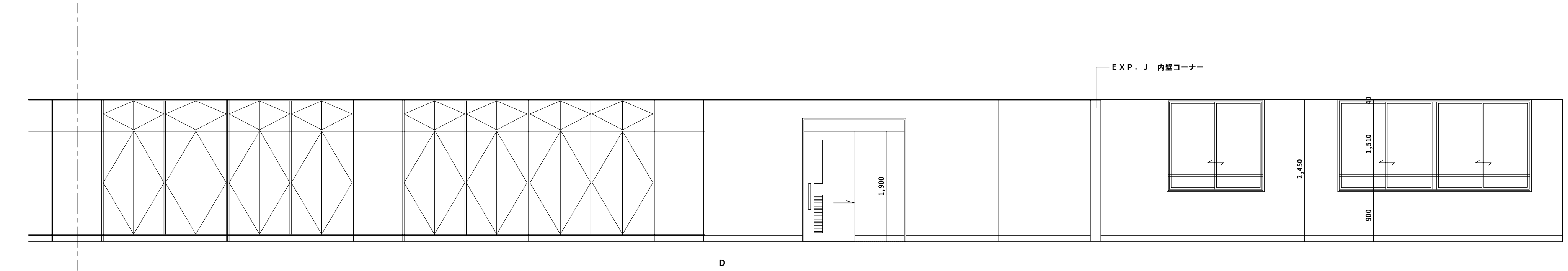
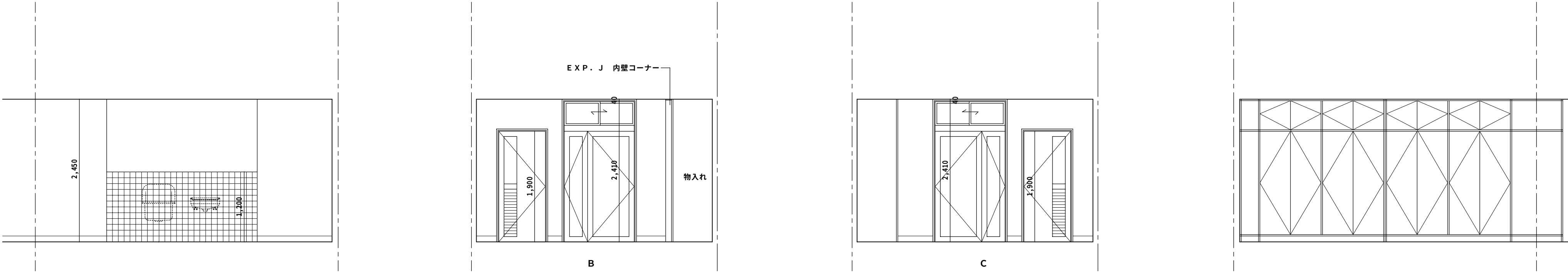
2階 男子更衣室

特 記 :

工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	2階展開図 2					
図 番	A	— 2 8	S = 1 : 50	年 月		

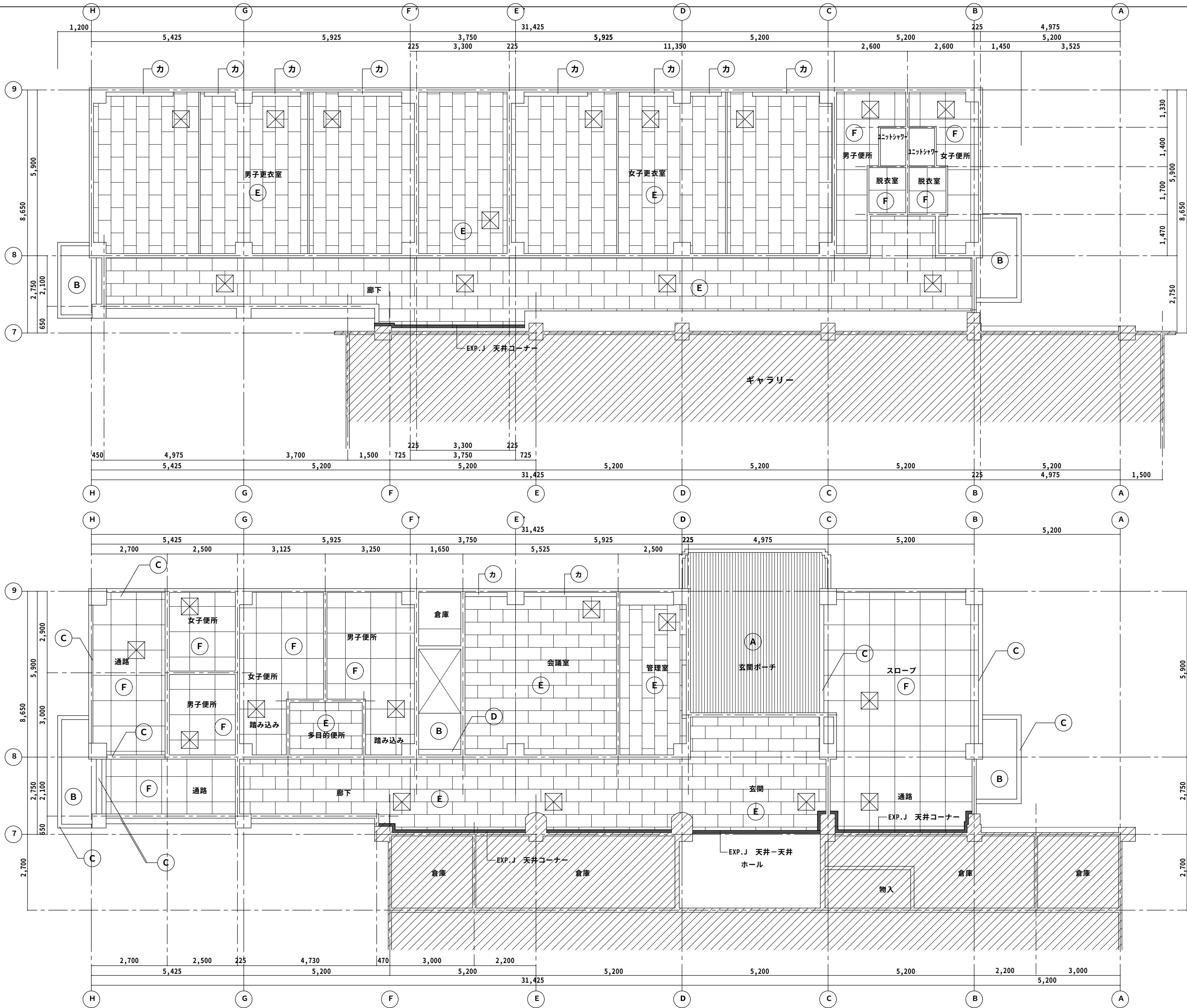


2 階 廊下



特 記 :

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	2 階展開図 3			徳島市新蔵町 1 丁目 51-1	1 級建築士登録
図 番	A	— 2 9	S = 1 : 50	年 月	第 102935 号
					TEL 088-622-0883
					FAX 088-622-0885



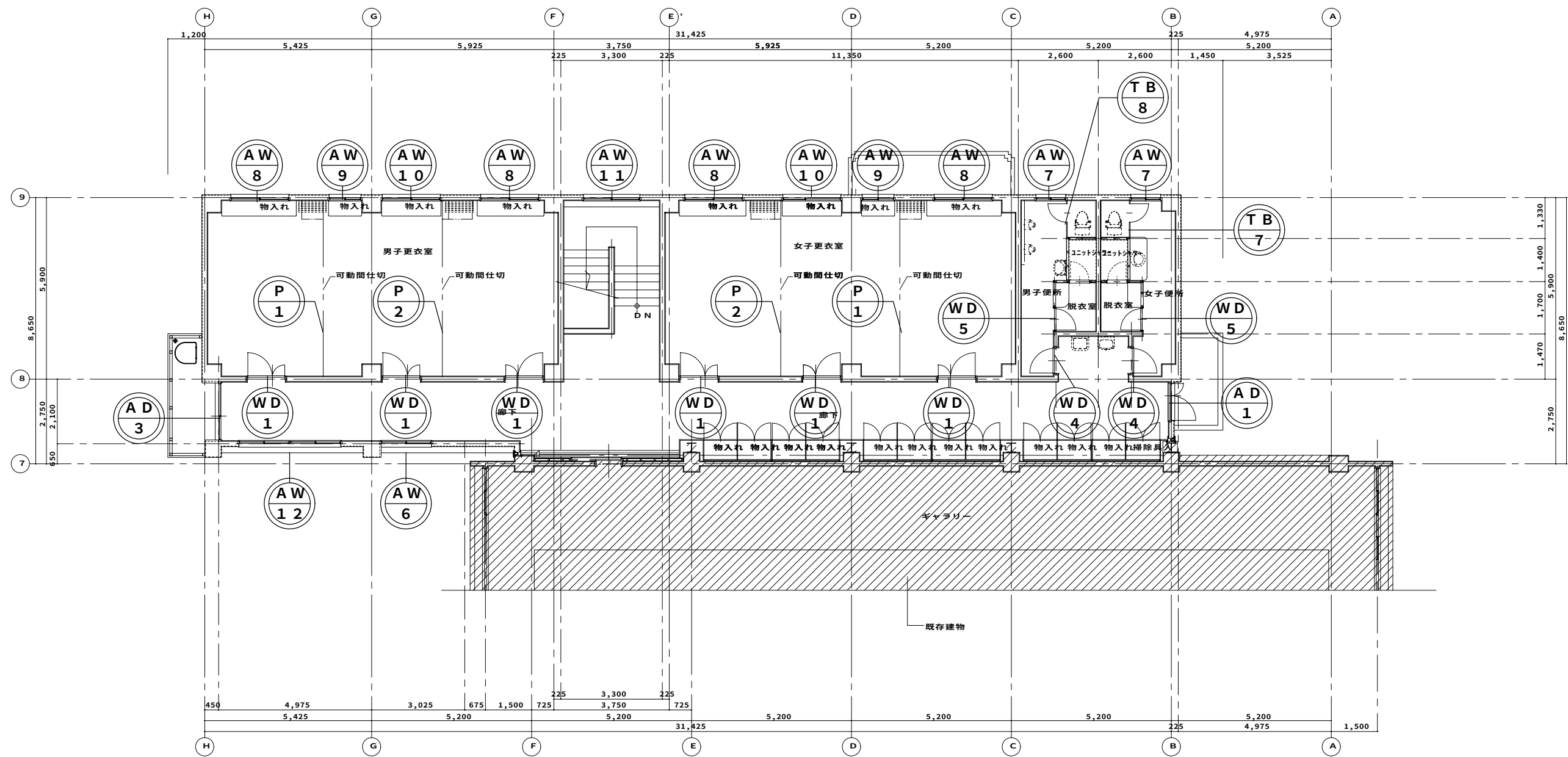
2階天井伏図 1 / 100

記号	仕 上 げ・仕 様
Ⓐ	アルミスバンドレル
Ⓑ	アクリルリシン吹き付け 下地：コンクリート打ち放し
Ⓒ	吹き付けタイル 下地：コンクリート打ち放し、美粧処理
Ⓓ	内部用吹き付けタイル 下地：モルタル金こて
Ⓔ	化粧石膏ボード 厚9.5
Ⓕ	E P 塗り 下地：珪酸カルシウム板 厚6.0
	天井裏気抜き Φ50 1スパン2箇所 16箇所
カ	カーテンボックス
	アルミ EXP. J カバーを示す 天井-天井、天井コーナー
⊗	アルミ天井点検口 450×450 25箇所

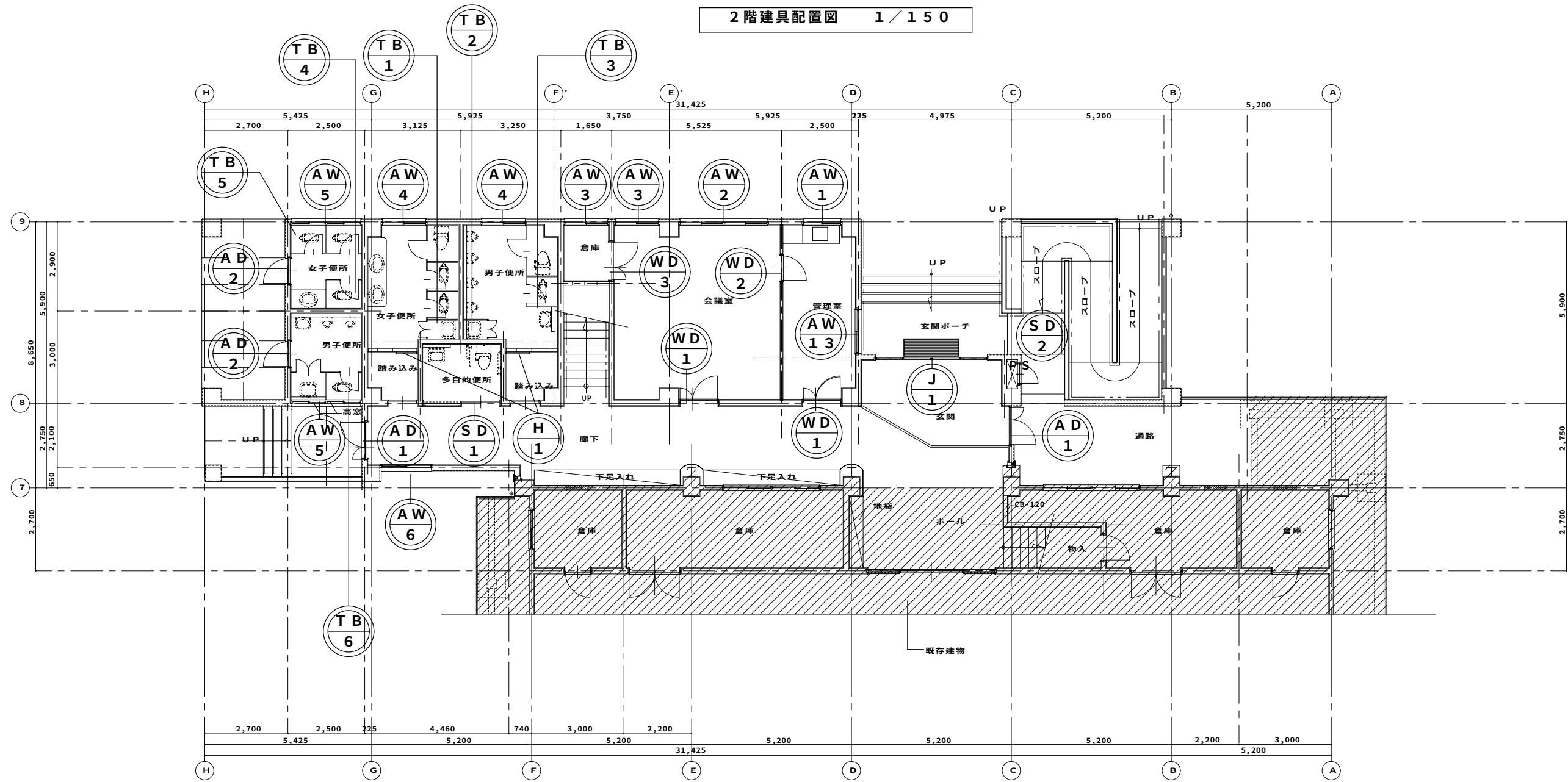
1階天井伏図 1 / 100

特 記 :
図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	天井伏図			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 30	S = 1 : 100	年 月	第 102935 号
					TEL 088-622-0883
					FAX 088-622-0885



2階建具配置図 1 / 150



1階建具配置図 1 / 150

特 記 :
図中  は既存建物（耐震・大規模改修）を示す。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	建具配置図			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 3 1	S = 1 : 150	年 月	第 102935 号
					TEL 088-622-0883
					FAX 088-622-0885

付 号	場所 型式	数量 法規	1 階管理室 AW 1 引き違いサッシ	1 ケ所	1 階会議室 AW 2 2連引き違いサッシ	1 ケ所	1 階会議室・倉庫 AW 3 引き違いサッシ	2 ケ所	1 階男子便所・女子便所 AW 4 引き違いサッシ	2 ケ所	1 階男子便所・外部女子便所 AW 5 2連引き違いサッシ	2 ケ所	1 階廊下・2 階廊下 AW 6 引き違いサッシ	2 ケ所	2 階男子便所・女子便所 AW 7 引き違いサッシ	2 ケ所	2 階男子更衣室・女子更衣室 AW 8 引き違いサッシ	3 ケ所	
形状																			
材質・仕上		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
硝子		F－4		T F L－4		会議室：T F L－4 倉庫：F－4		F－4		F－4		T F L－4		F－4		T F L－4		T F L－4	
ガラリ																			
枠 査摺																			
金物		L・M・網戸・附属金物一式		L・M・網戸・附属金物一式		L・M・網戸・附属金物一式		L G・M・網戸・附属金物一式		L G・M・網戸・附属金物一式		L・M・網戸・附属金物一式		L G・M・網戸・附属金物一式		L・M・網戸・附属金物一式		L・M・網戸・附属金物一式	
符 号	場所 型式	数量 法規	2 階男子更衣室・女子更衣室 AW 9 引き違いサッシ	2 ケ所	2 階男子更衣室・女子更衣室 AW 10 引き違いサッシ	2 ケ所	2 階階段室 AW 11 引き違いサッシ	1 ケ所	階廊下 AW 12 2連引き違いサッシ	1 ケ所	1 階管理室 AW 13 引き違いサッシ	1 ケ所		ケ所	1 階男子便所・女子便所 H 1 アルミ隔て板	2 ケ所	2 階男子更衣室 AW 8 引き違いサッシ	1 ケ所	
形状																			
材質・仕上		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ	
硝子		T F L－4		T F L－4		T F L－4		T F L－4		T F L－4		T F L－4		FW－6．8		網入り磨き板ガラス厚6．8		網入り磨き板ガラス厚6．8	
ガラリ																			
枠 査摺																			
金物		L・M・網戸・附属金物一式		L・M・網戸・附属金物一式		L・M・網戸・附属金物一式		L・M・網戸・附属金物一式		L・M・網戸・附属金物一式		L・M・網戸・附属金物一式		床・壁取付金物一式		L・M・網戸・附属金物一式		L・M・網戸・附属金物一式	
符 号	場所 型式	数量 法規	1 階廊下・2 階廊下 AD 1 欄間付親子開ドア	2 ケ所	外部男子便所・外部女子便所 AD 2 片開きドア	2 ケ所	2 階廊下 AD 3 欄間付引き違いサッシ	1 ケ所	2 階廊下 AD 1 欄間付親子開ドア	1 ケ所	1 階多目的便所 SD 1 ハンガー戸	1 ケ所	1 階 P S SD 2 片開戸	1 ケ所	2 階男子便所・女子便所 SD 3 片開戸	2 ケ所	1 階玄関 J 1 引手・袖FIX付き引分自動ドア	1 ケ所	
形状																			
材質・仕上		アルミ		アルミ		アルミ		アルミ		化粧鋼板 厚0.6		S－厚0.6フラッシュ SOP		スチール厚0．6フラッシュ SOP		AL 見込100		AL 見込100	
硝子		T F L－4		T F L－4		網入り磨き板ガラス厚6．8		網入り磨き板ガラス 厚6.8		F－4		PW－6．8		PW－6．8		T F L－4・ランマF L－3		T F L－4・ランマF L－3	
ガラリ				アルミパネル 厚2.0						枠：SOP				C S-1.6 SOP		B・SOP塗		A-ST (HL)	
枠 査摺		C		C				C		同左				C S-1.6 SOP					
金物		L・M・RK・H・DT・T附属金物一式		AG・M・RK・DT・T・附属金物一式		L・M・H K・附属金物一式		L・M・RK・H・DT・T附属金物一式		L・M・RK・H・DT・T附属金物一式		把手・表示錠・附		H・A・S・ケースハンドル鍵		H・自動閉鎖ドアチェック・レバーハンドル		L・コジラ装置・H K・注意表示・付・自動検出方式(光線式付)・附	
特記事項			注：○印のついたものを採用する				符号の略号			共通略号			法規の略号		枠の形状		金物の略号		
(金属製建具) 1.アルミ製建具は、耐風圧性 S－4、気密性 A－3、水密性 W－4とし、枠見込は特記なき限り 70mmとする。 2.アルミ製建具は、(○RC・面一・ALC・鉄骨・木造)用サッシとし、表面処理は、 ○シルバー(陽極酸化皮膜9μm、透明系塗膜7μm) ・カラー(陽極酸化皮膜9μm、着色系塗膜7μm)<・ブロンズ・ホワイト・ブラック・ステンカラー> ・塗装皮膜(25μm) <・アクリル樹脂系・ポリウレタン樹脂系・フッ素樹脂系> 3.アルミ製建具のガラス押えは(・ガスケット○シリコンシーリング)とし、その他特記なき限りシリコンシーリングとする。 4.網戸付の場合、ネットは(・塩ビ・ステンレス○レックス)製とする。 5.オペレーター装置は、特記なき限り手動式埋込ハンドルボックスとし、カラー色とする。 6.建具見込は特記なき限り、アルミ製(70)、スチール製(90)、ステンレス製(90)とする。 (木製建具) 1.建具見込は特記なき限り、フラッシュ戸(36)、框戸(40)、ガラス窓(30)、障子(30)、ふすま(18)とする。 2.建具製作にあたり、現場寸法確認の上施工図を提出し、監督員の承認を得た後製作にかかる事。 (共通) 1.建具金物は、特記なき限りステンレス製とする。 2.マスターキーは、(○要・不要)である。			AD アルミ製扉 AW アルミ製窓 AG アルミ製ガラリ SD スチール製扉 SW スチール製窓 SG スチール製ガラリ STD ステンレス製扉 STW ステンレス製窓 STG ステンレス製ガラリ SH シャッター WD 木製扉 WW 木製窓 WG 木製ガラリ F ふすま S 障子 P パーティション			AL アルミ S スチール ST ステンレス HL ヘアライン仕上 ML 磨き仕上 SOP 合成樹脂調合ペイント AE-Y アクリル樹脂エナメル焼付け FS-Y フッ素樹脂塗料焼付け 附 附属金物一式 オペ オペレーター装置 LC クリアラッカー UC ウレタンクリアー LE ラッカーエナメル OS オイルステイン PR ポリエステル化粧板 MR メラミン化粧板 SU スプルス 鳥 鳥ノ子紙			甲 甲種防火戸 乙 乙種防火戸 常開 常時開放式 常閉 常時閉鎖式 煙 煙感知器連動 進 非常用進入口		ガラスの略号 FL フロート板ガラス G スリガラス F 型板ガラス PW 網入り磨き板ガラス FW 網入り型板ガラス KFL 熱線吸収ガラス HFL 熱線反射ガラス TFL 強化ガラス		A B C D E F A B C D E F G A B C		H 丁番 PH ビボットヒンジ FH フロアーヒンジ AH オートヒンジ RH ラバトリーヒンジ DT ドアチェック AS アームストッパー T 戸当り TB 帽子掛け付き戸当り FO フランス落し EK 円筒錠 HK 本締錠 K 空錠 RK レバーハンドル錠 HIK 引手錠 HTK ホテル錠 HYK 表示錠 GK グレモン錠		RS ラバトリーストライク RR ラバトリーラッチ BT 棒取手 HT 引手 TT 取手 M 二重水切 L アングルピース AG アルミ額縁 TO 戸車 SO 底車 FTO フラッター戸車 LS ステンレスレール LT 真鍮レール LF フラッターレール SS 敷居すべり		

特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	建具表 1				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	—	32	S=1:100	年 月	TEL 088-622-0883 第 102935 号 FAX 088-622-0885

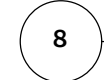
付 号	場所 型式	数量 法規	WD 1 親子開戸	8ヶ所	WD 2 片開戸	1ヶ所	WD 3 親子開戸	1ヶ所	WD 4 片開戸	2ヶ所	WD 5 片開戸	2ヶ所		ヶ所		ヶ所		ヶ所		ヶ所						
	形状																									
	材質・仕上		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ		ポリ合板フラッシュ															
	硝子		F-4		F-4		F-4		F-4		F-4															
	ガラリ		スプルース SOP A		スプルース SOP A		スプルース SOP A		スプルース SOP A		スプルース SOP A															
	枠	沓摺		A		A		A		A		A														
	金物		H・D・T・T・F・O・R・K		H・D・T・T・R・K		H・D・T・T・F・O・R・K		H・D・T・T・R・K		H・D・T・T・R・K															
符 号	場所 型式	数量 法規	P 1 2階男子更衣室・女子更衣室 アルミスライディングウォール			2ヶ所	P 2 2階男子更衣室・女子更衣室 アルミスライディングウォール			2ヶ所		ヶ所		ヶ所		ヶ所		ヶ所		ヶ所						
	形状																									
	材質・仕上		枠：7{押し出型材、ハ{枠：MDF 4mm、ハ{-ハ{-ハ{に見込＝5 0 mm			枠：7{押し出型材、ハ{枠：MDF 4mm、ハ{-ハ{-ハ{に見込＝5 0 mm																				
	硝子																									
	ガラリ																									
	金物		接床装置：7{押し出型材、タイ{ム フランス落し ハンガーレール：アルミクロスレール アルミ縦枠 附属金物一式			接床装置：7{押し出型材、タイ{ム フランス落し ハンガーレール：アルミクロスレール アルミ縦枠 附属金物一式																				
符 号	場所 型式	数量 法規	T B 1 1階女子便所 トイレ{ース		1ヶ所	T B 2 1階男子便所 トイレ{ース		1ヶ所	T B 3 1階男子便所 トイレ{ース		1ヶ所	T B 4 外部女子便所 トイレ{ース		1ヶ所	T B 5 外部女子便所 トイレ{ース		1ヶ所	T B 6 外部男子便所 トイレ{ース		1ヶ所	T B 7 2階女子便所 トイレ{ース		1ヶ所	T B 8 2階男子便所 トイレ{ース		1ヶ所
	形状																									
	材質・仕上		ハ{-ティ{ル{-{-ト 厚28／高圧メラ{ミン樹脂化粧板			ハ{-ティ{ル{-{-ト 厚28／高圧メラ{ミン樹脂化粧板			ハ{-ティ{ル{-{-ト 厚28／高圧メラ{ミン樹脂化粧板			ハ{-ティ{ル{-{-ト 厚28／高圧メラ{ミン樹脂化粧板			ハ{-ティ{ル{-{-ト 厚28／高圧メラ{ミン樹脂化粧板			ハ{-ティ{ル{-{-ト 厚28／高圧メラ{ミン樹脂化粧板			ハ{-ティ{ル{-{-ト 厚28／高圧メラ{ミン樹脂化粧板			ハ{-ティ{ル{-{-ト 厚28／高圧メラ{ミン樹脂化粧板		
	硝子																									
	ガラリ																									
	枠	沓摺	7{押し出し型材		巾木：ステンレス	7{押し出し型材		巾木：ステンレス	7{押し出し型材		巾木：ステンレス	7{押し出し型材		巾木：ステンレス	7{押し出し型材		巾木：ステンレス	7{押し出し型材		巾木：ステンレス	7{押し出し型材		巾木：ステンレス	7{押し出し型材		巾木：ステンレス
	金物		附属金物一式			附属金物一式			附属金物一式			附属金物一式			附属金物一式			附属金物一式			附属金物一式			附属金物一式		
符 号	場所 型式	数量 法規			ヶ所			ヶ所			ヶ所			ヶ所			ヶ所			ヶ所			ヶ所			ヶ所
	形状																									
	材質・仕上																									
	硝子																									
	ガラリ																									
	枠	沓摺																								
	金物																									

特 記：

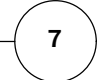
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	建具表 2				徳島市新蔵町 1 丁目 51-1	1 級建築士登録
図 番	A	—	3 3	S = 1 : 100	年 月	第 102935 号
						TEL 088-622-0883
						FAX 088-622-0885



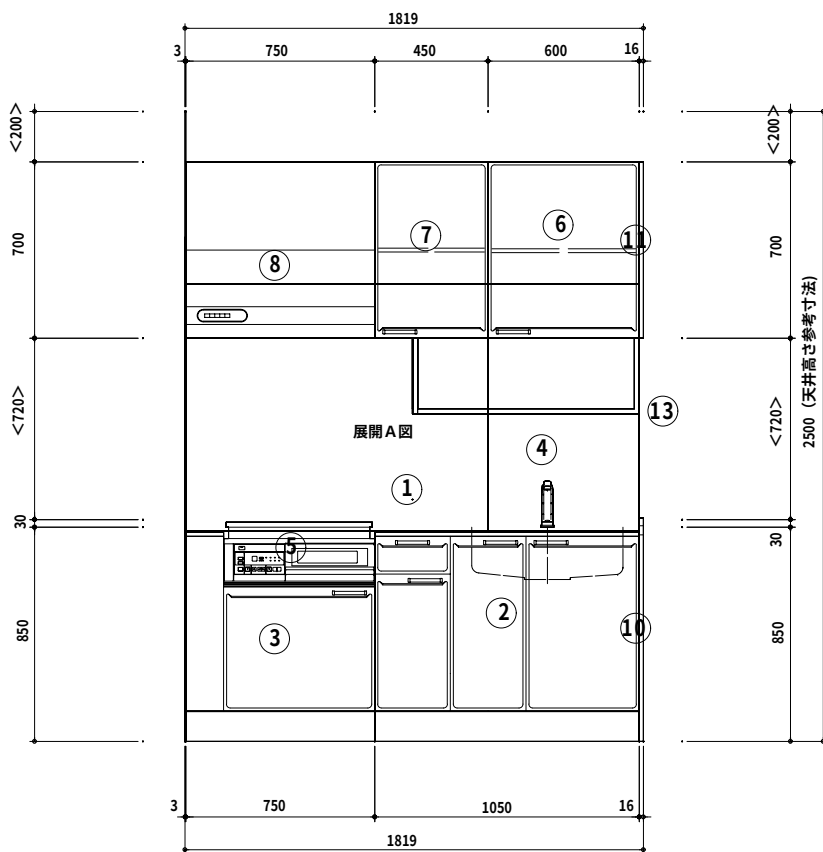
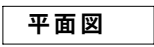
柱廻り詳細図 1 / 10



特記：



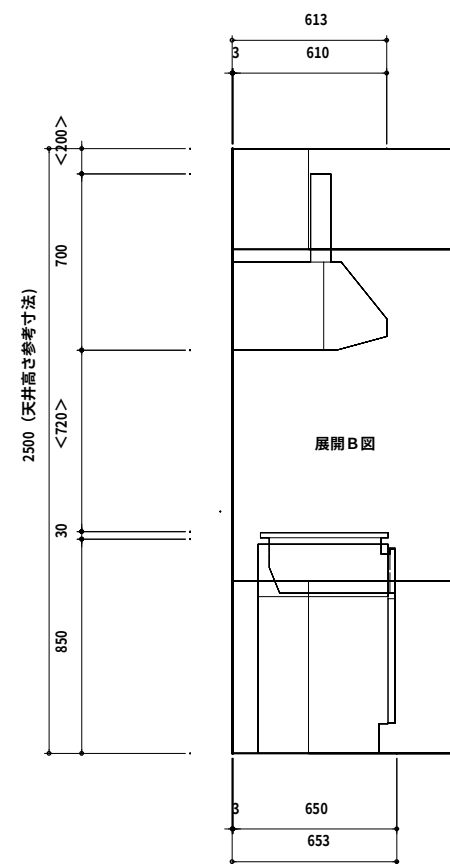
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	柱廻り詳細図				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	—	3 4	S = 1 : 10	TEL 088-622-0883	第 102935 号
				年 月	FAX 088-622-0885	



A 正面図

[illegible]

D 側面図

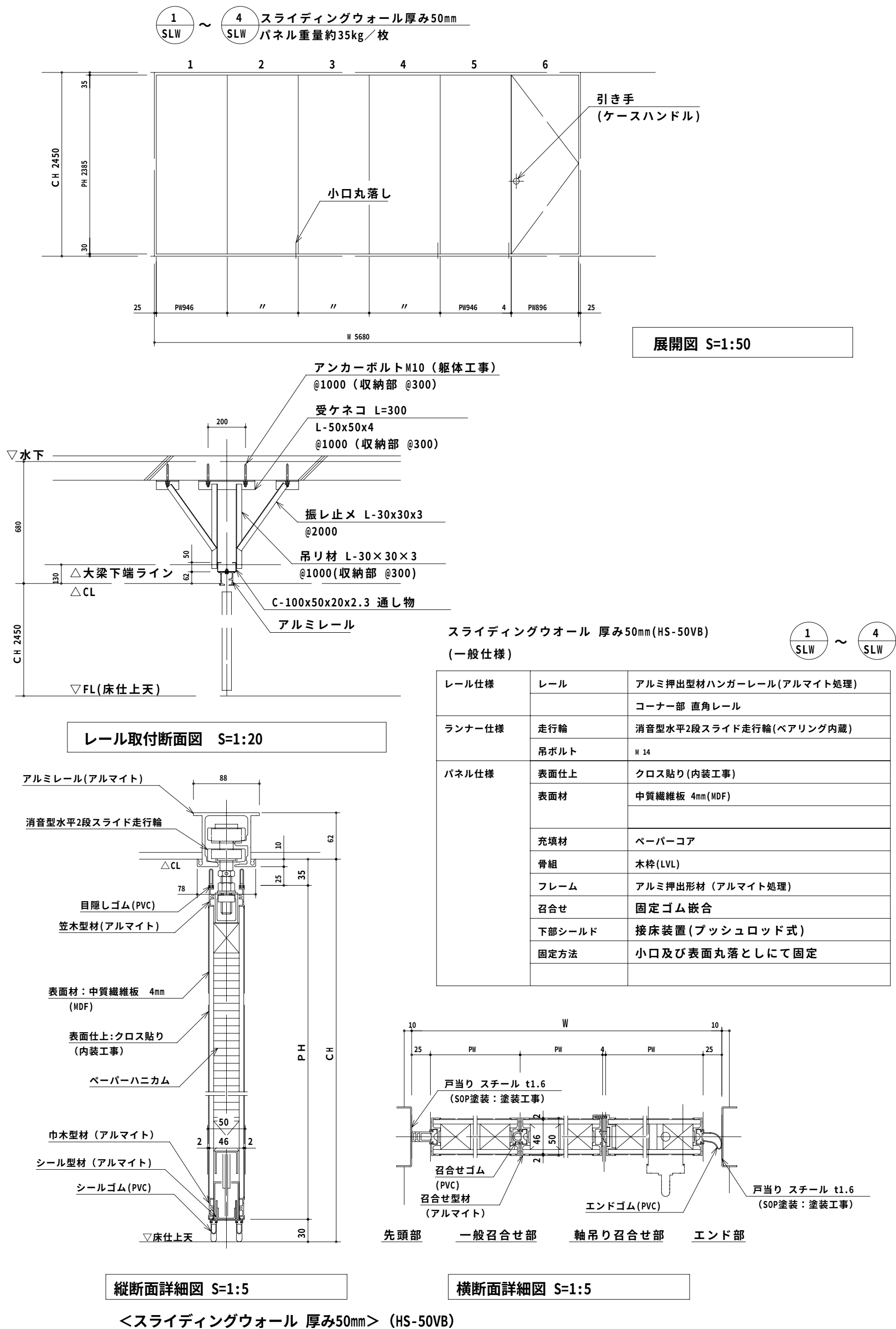
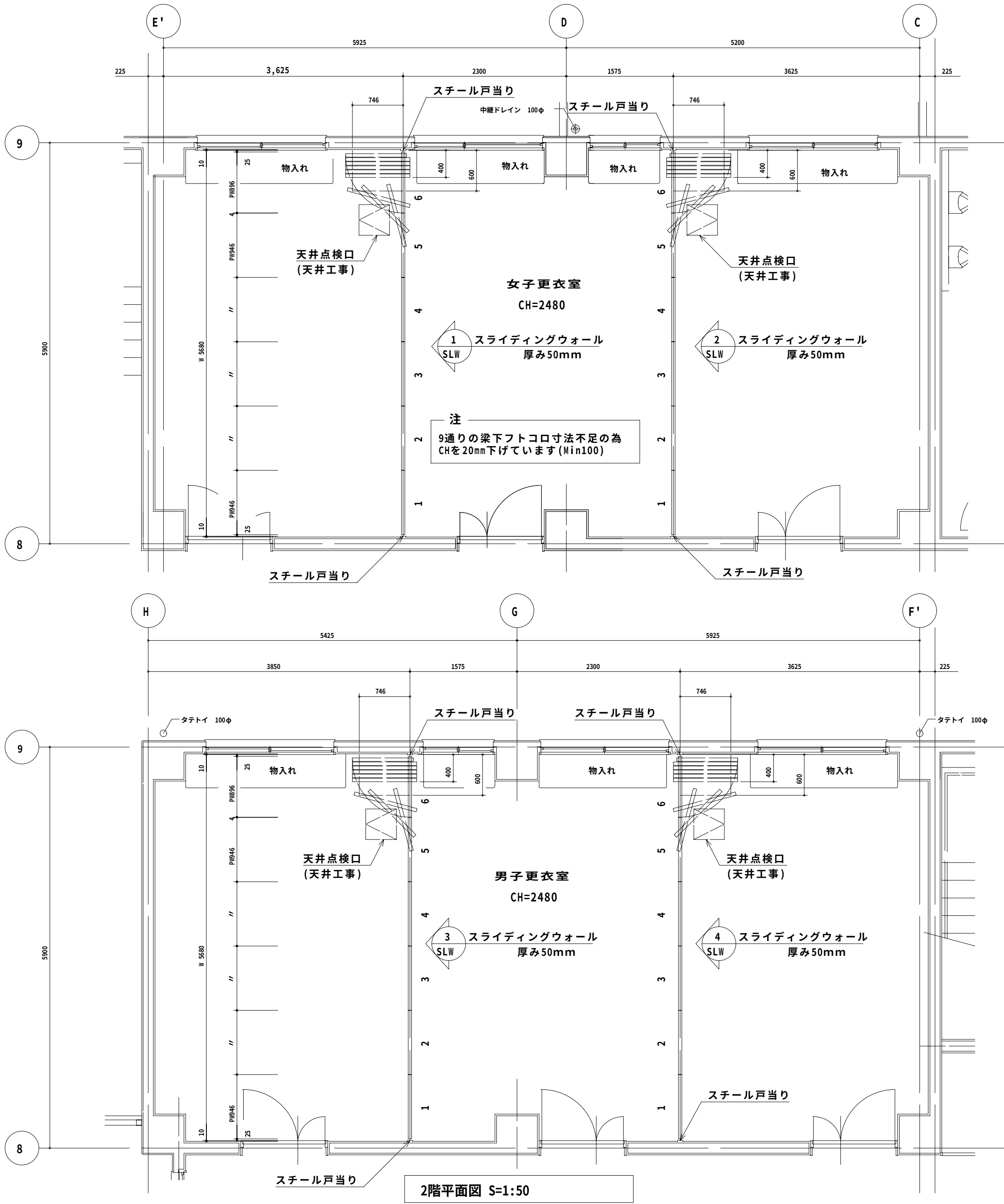


B 側面図

[illegible]

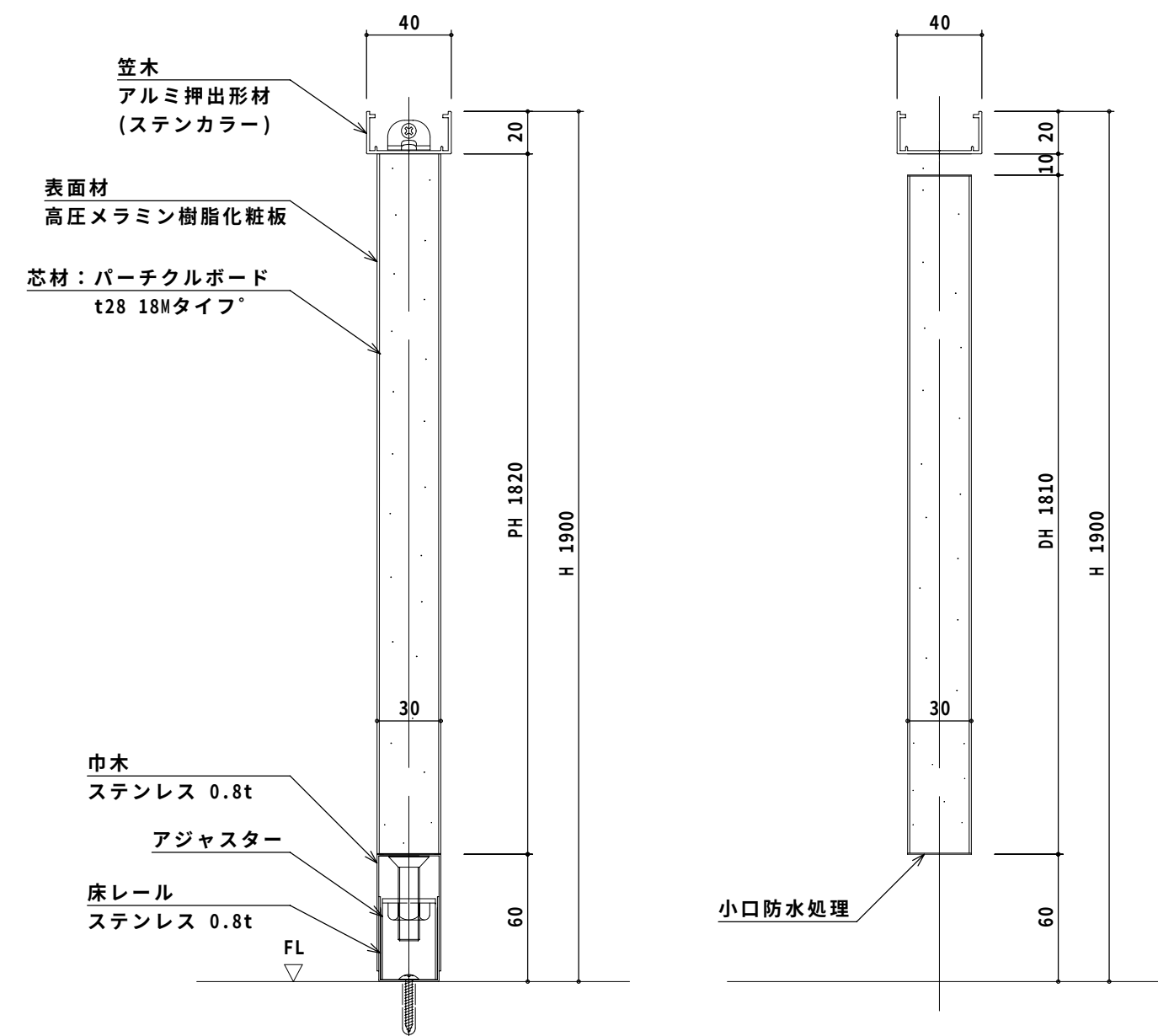
特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	システムキッチン（参考図）			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A — 35	S = 1 : 30	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
				FAX 088-622-0885	



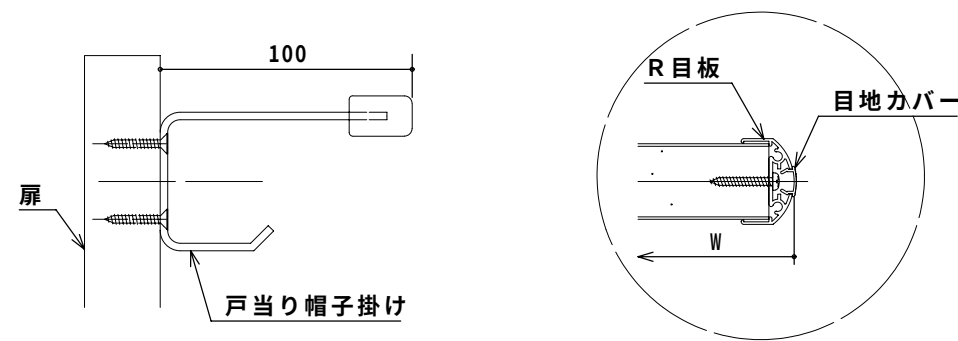
特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水可次
名称	各部詳細図 (可動間仕切)				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	—	36	S = 1 : 50・20	年 月	TEL 088-622-0883 第 102935 号
						FAX 088-622-0885



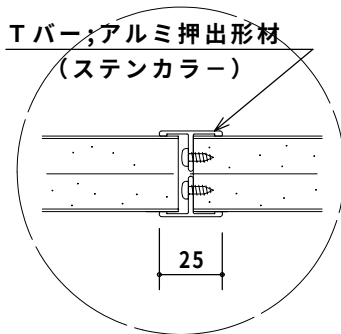
パネル部 縦断面図

ドア部 縦断面図

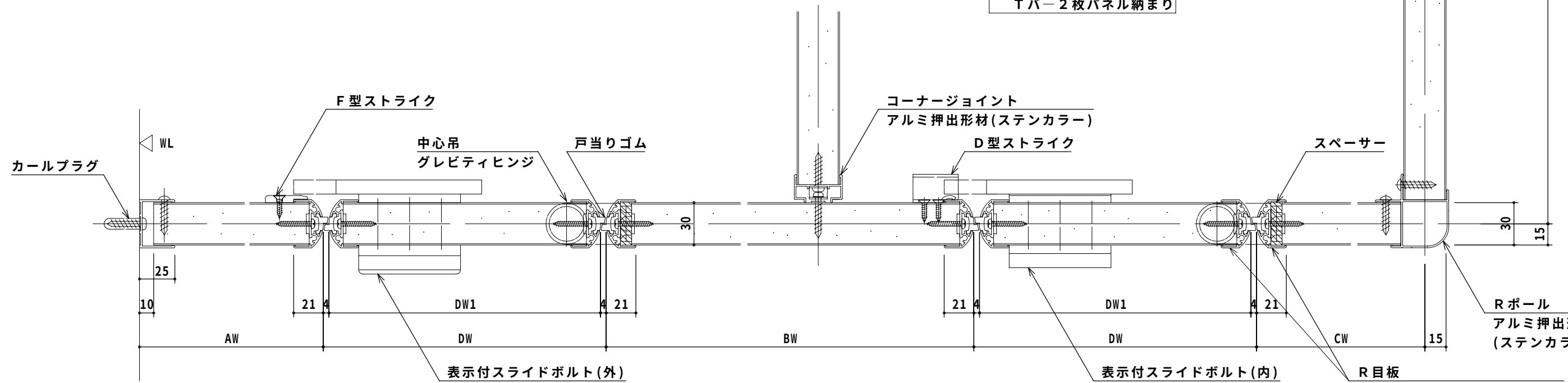
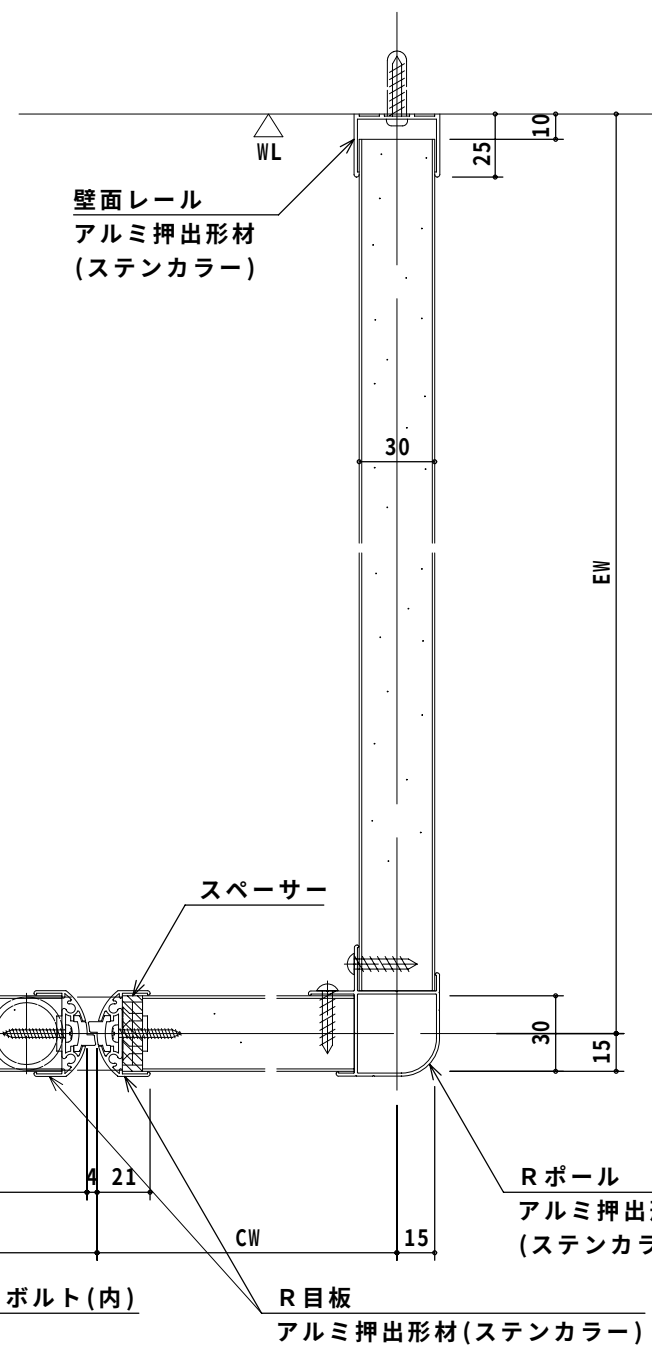


戸当り帽子掛け詳細図

スクリーンエンド納まり

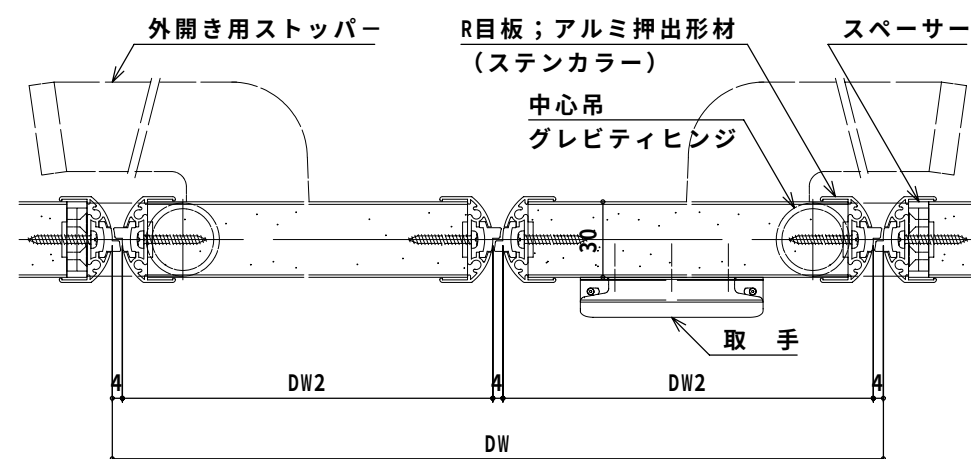


Tバー 2枚パネル納まり



外開き扉

内開き扉

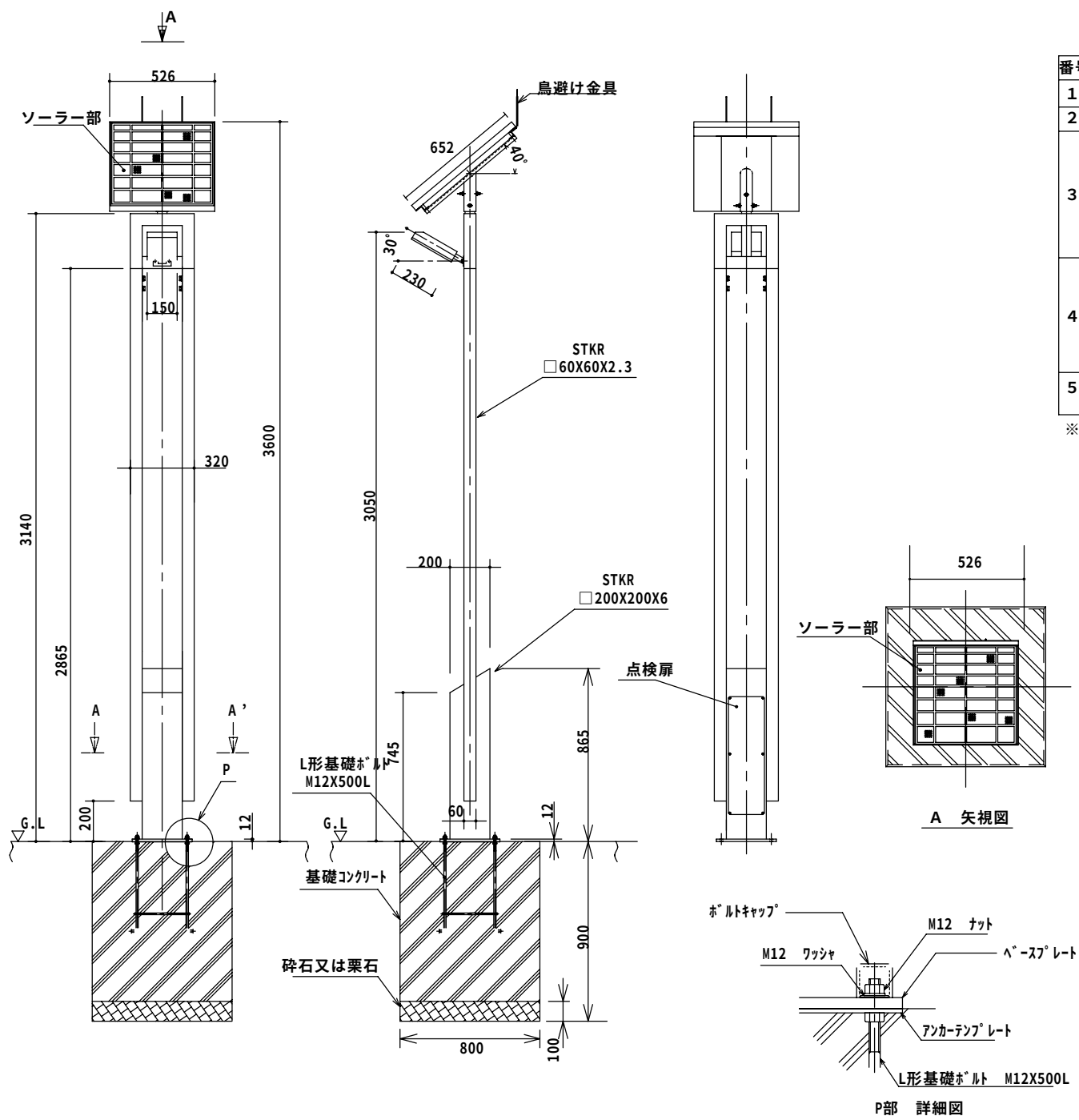


S K・物入れ用両開き扉 横断面詳細図

材料仕様		
部材・金物名	材質・仕上規格	規格
表面材	高圧メラミン樹脂化粧板	JISK6903
芯材	パーティクルボード t28 18MタイプF☆☆☆☆	JISA5908
接着剤	酢酸ビニル樹脂エマルジョン系F☆☆☆☆	
パネル小口処理	防水処理仕上（扉：上・下部、パネル：下部）	
パネル厚み	30mm	
グレビティヒンジ（中心吊）	ステンレス	
戸当り帽子掛	ステンレス／合成ゴム	
外開きストッパー	ステンレス／合成ゴム	
表示付ボルト	ステンレス	
スライドボルト	ステンレス	
取手（物入等用）	ステンレス	
D型ストライク	ステンレス／PA黒色	
F型ストライク	PA6黒つや消し	
戸当りゴム	EPDM	
カチットシステム	クリップ：冷間圧延銅板1.2mm ショルダーネジ：ユニクロめっき	
R目板キャップ	ポリエチレン	
R目板	アルミ押出形材 電解着色ステンカラー仕上	JISH4100
笠木	アルミ押出形材 電解着色ステンカラー仕上	JISH4100
ヘキメンレール・コーナージョイント	アルミ押出形材 電解着色ステンカラー仕上	JISH4100
Rボール	アルミ押出形材 電解着色ステンカラー仕上	JISH4100
巾木・床レール	ステンレス0.8t	JISH4305
巾木用アジャスター	冷間圧延銅板2.0mm ユニクロめっき仕上	JISG3141
T型金具	ステンレス 1.5mm	JISG4305
L型固定金具	ステンレス 2.0mm	JISG4305
壁面笠木固定金具	ステンレス 2.0mm	JISG4305
Rコーナーキャップ	PA6	
Rコーナー下部キャップ	ABS	
笠木エンドキャップ	PA6	
目地カバー	ABS	
※エコマーク認定商品とする		

特記：

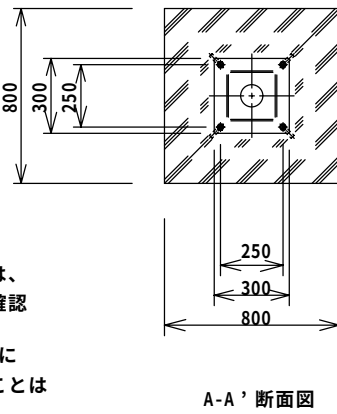
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	各部詳細図4（トイレブース）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	—	37	S=1:3	年 月	第 102935 号
					TEL 088-622-0883	
					FAX 088-622-0885	



製品仕様図		
番号	部 品 名	仕 様
1	太陽電池	シリコン太陽電池
2	鳥避け	S5400（鍍金）
3	制御部	鋼製（溶融亜鉛メッキ）
		密閉型 サイクルバッテリー
		2.4Ah（2.4Hr率）×2台
		期待寿命：1.0年
4	灯具	SUS304
		グローブ
		光源
		消費電力
5	自立ポール	鋼製（溶融亜鉛メッキ）
		耐風速：60m

- ※注記
1. 太陽電池設置方位は「真 南」とする。
 2. 日没後の点灯時間は最長1.4時間、無日照保証日数は5日間とする。
 3. アンカーボルト・ナットは溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
 4. 標準塗装色はS23-255（5VR2/1.5）とする。（コビーラック）

注意！！
基礎を施工する場合は、
街路灯の照明方向の確認
をして下さい。
基礎プレートは4面以外に
照明の方向を向けることは
出来ません。

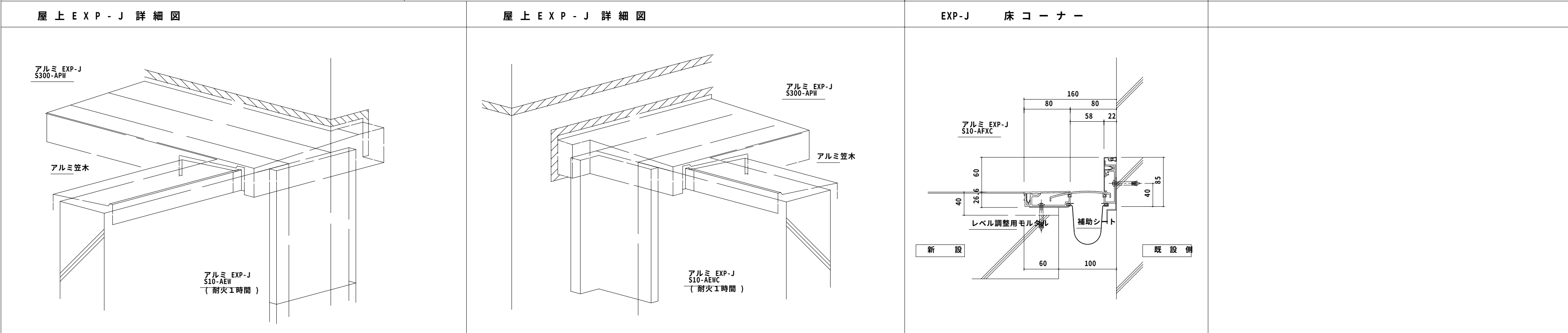
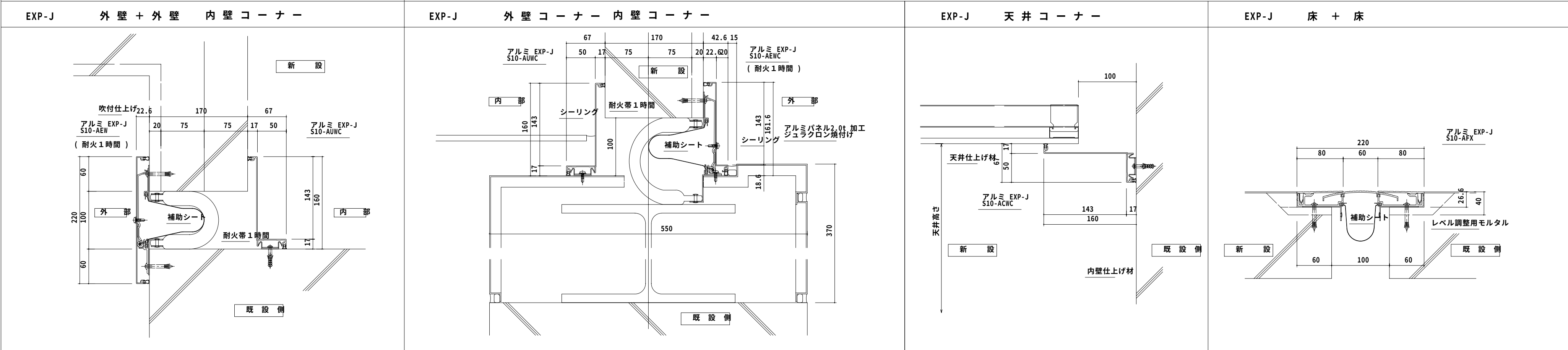
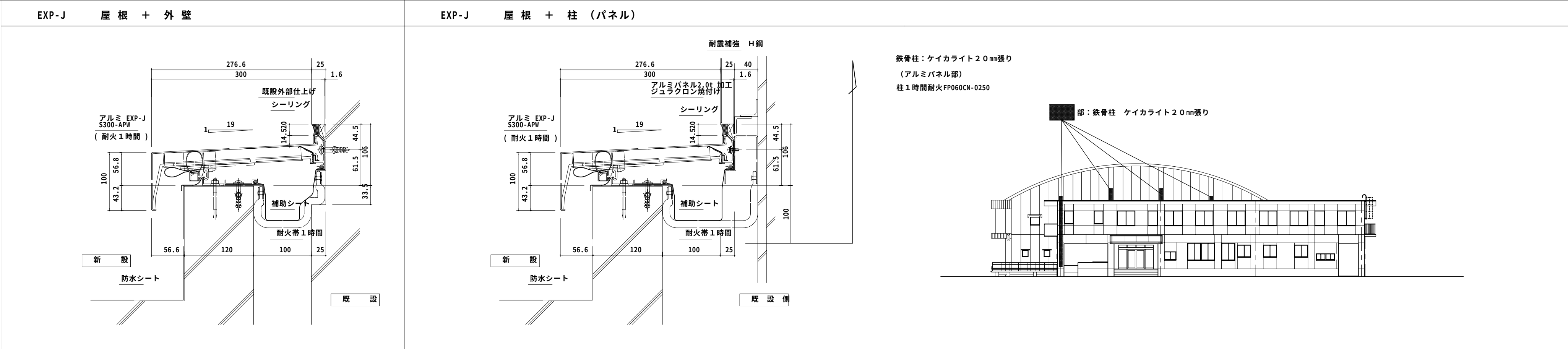


ソーラーLED防災・防犯灯 全体図

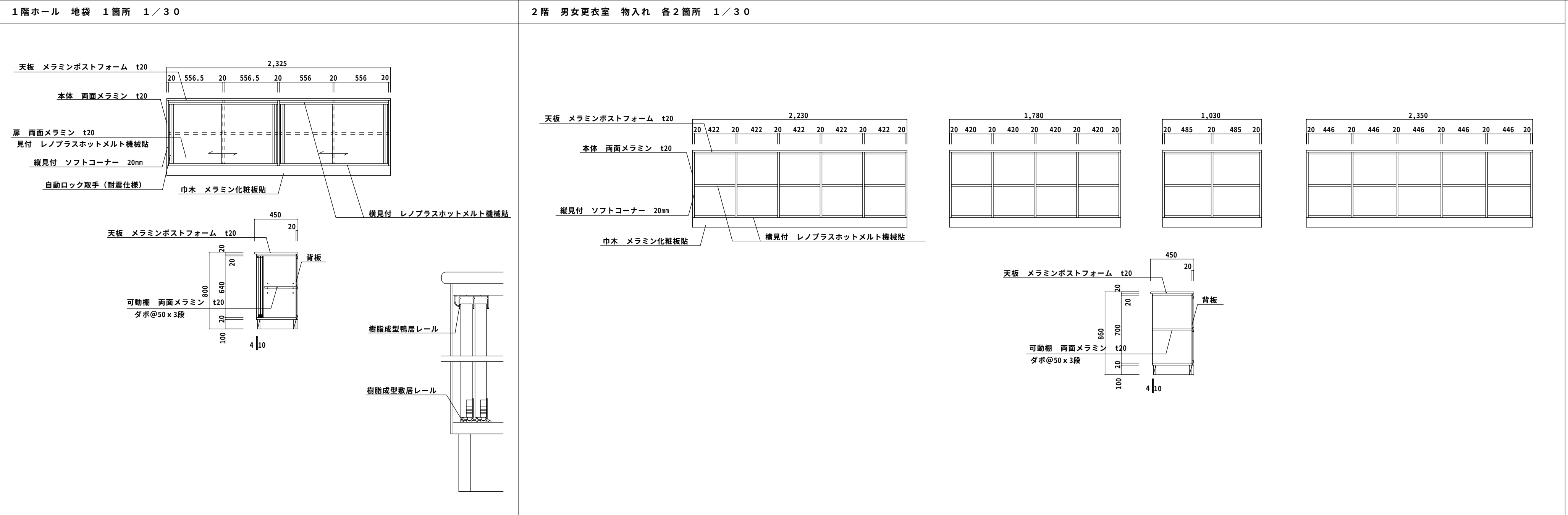
株式会社 ダイセン DL400X 程度
設置位置は打ち合わせによる。

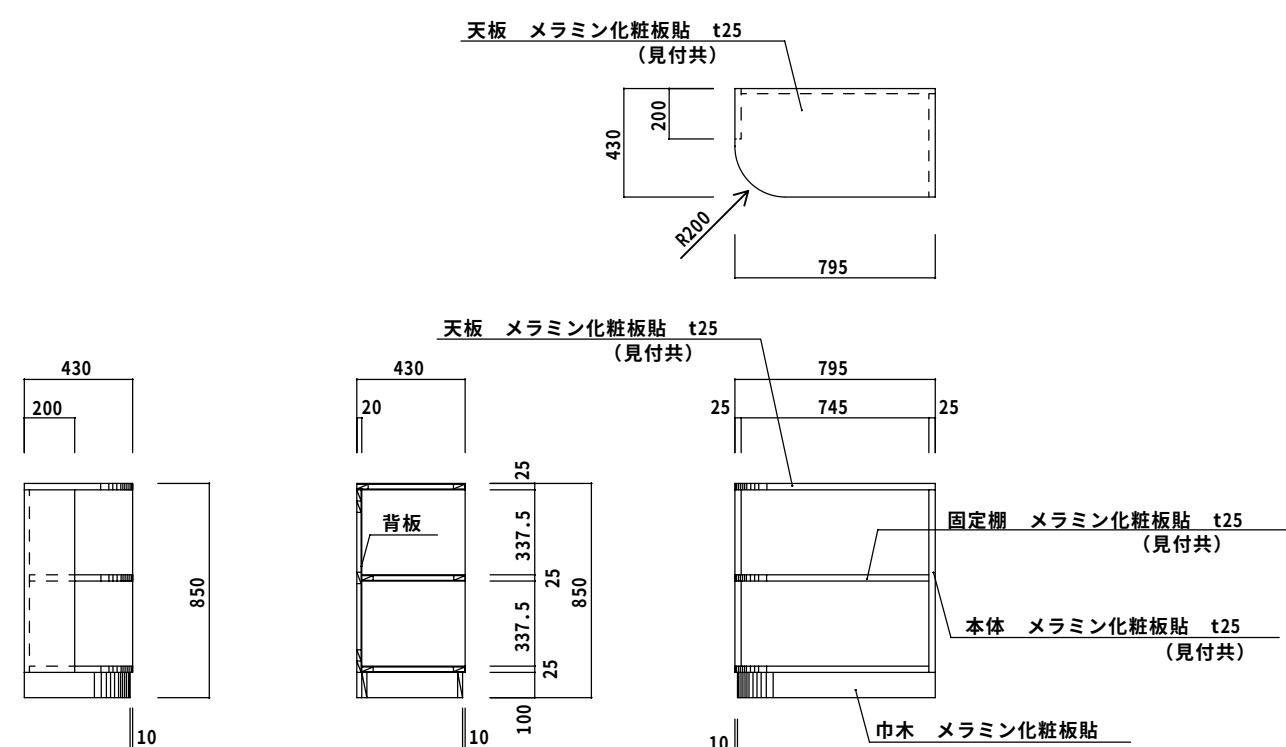
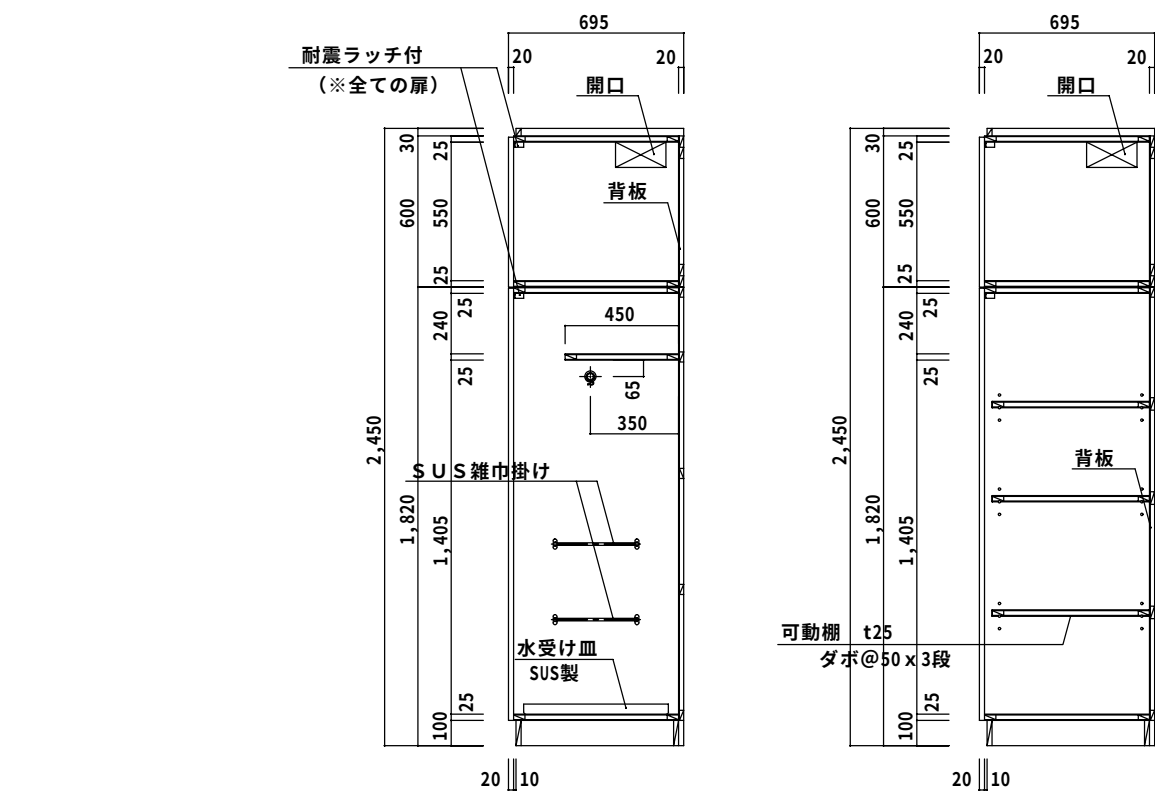
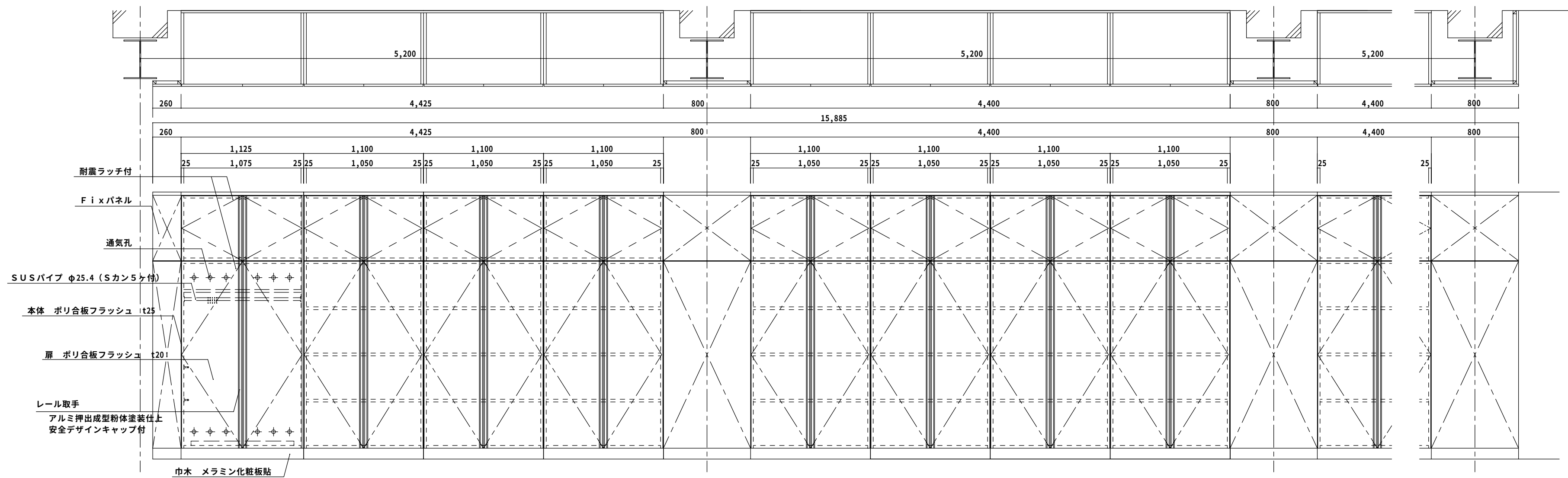
特 記 :

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	各部詳細図5（屋外名称板）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 3 8	S = 1 :	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



特 記：				工事名 相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 速 水 可 次			
				名 称 E X P . J 各詳細図				徳島市新蔵町1丁目51-1 1級建築士登録			
				図 番 A — 3 9 S = 1 : 5 年 月				TEL 088-622-0883 第 102935 号			
								FAX 088-622-0885			

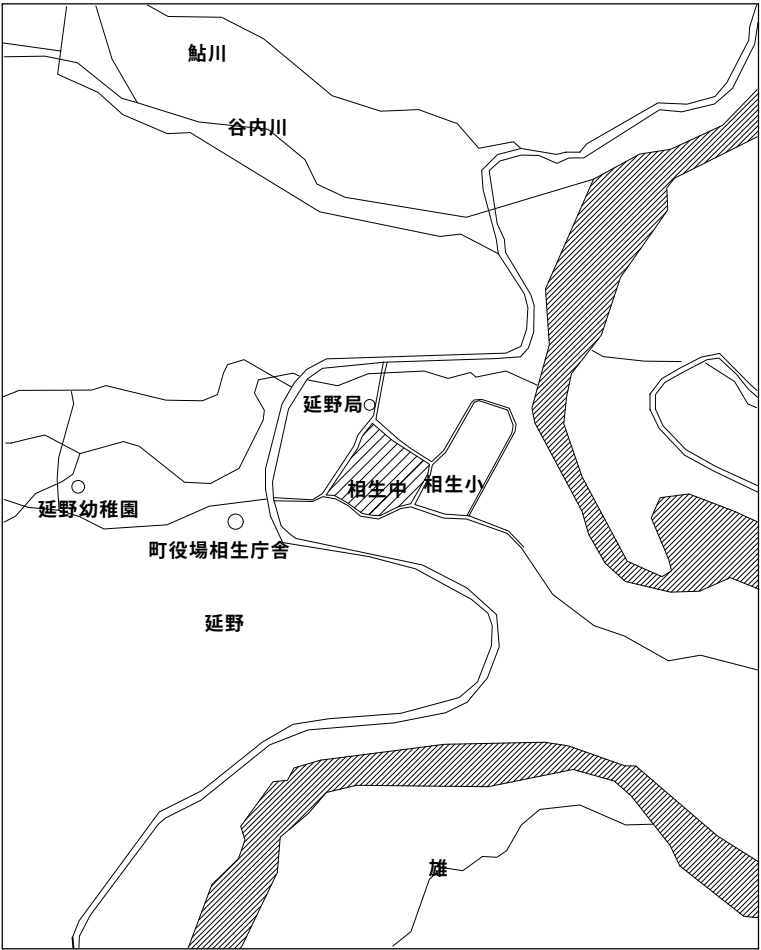
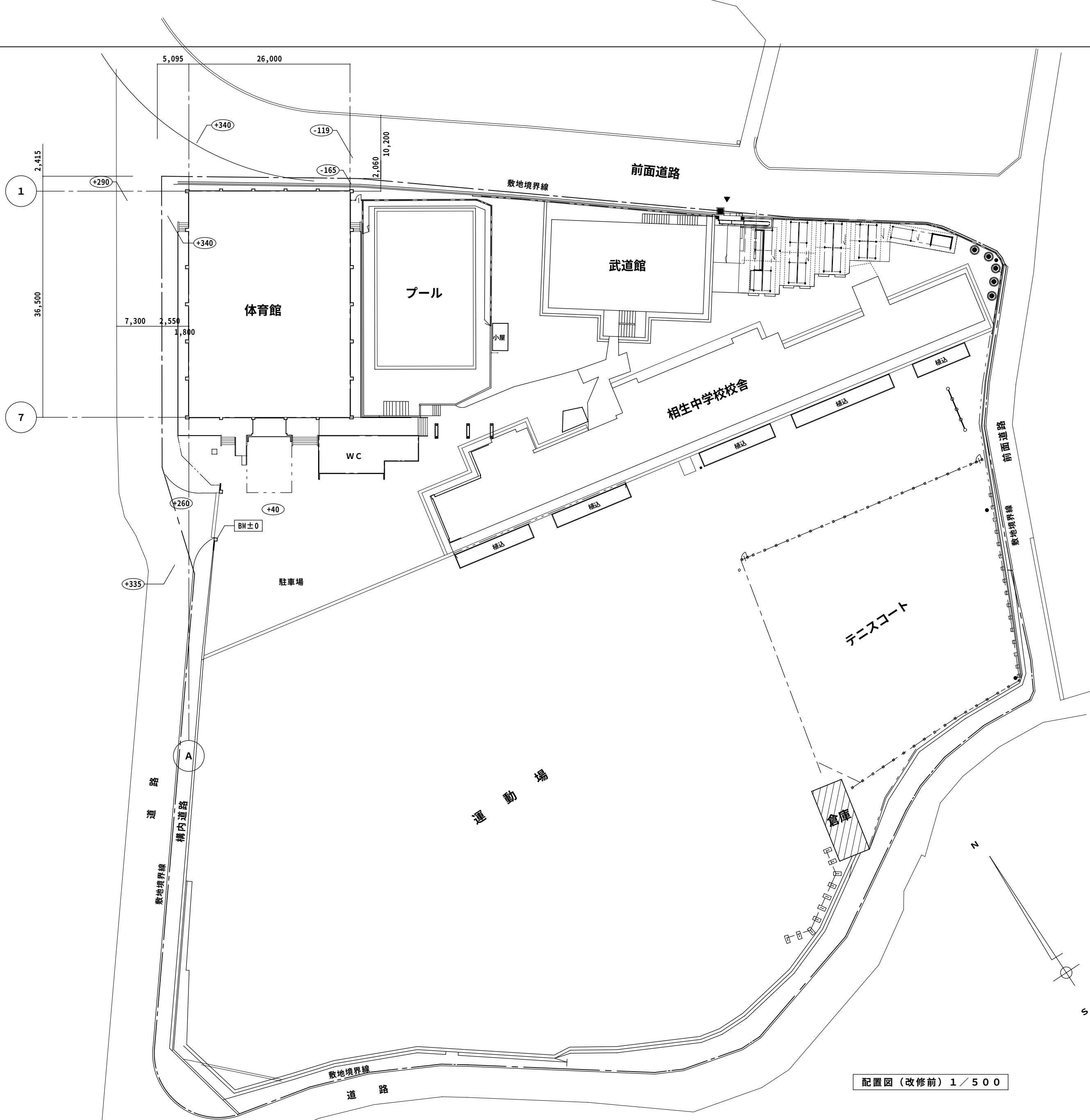




特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	家具詳細図（2）			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	— 41	S = 1 : 30	年 月	第 102935 号

TEL 088-622-0883
FAX 088-622-0885

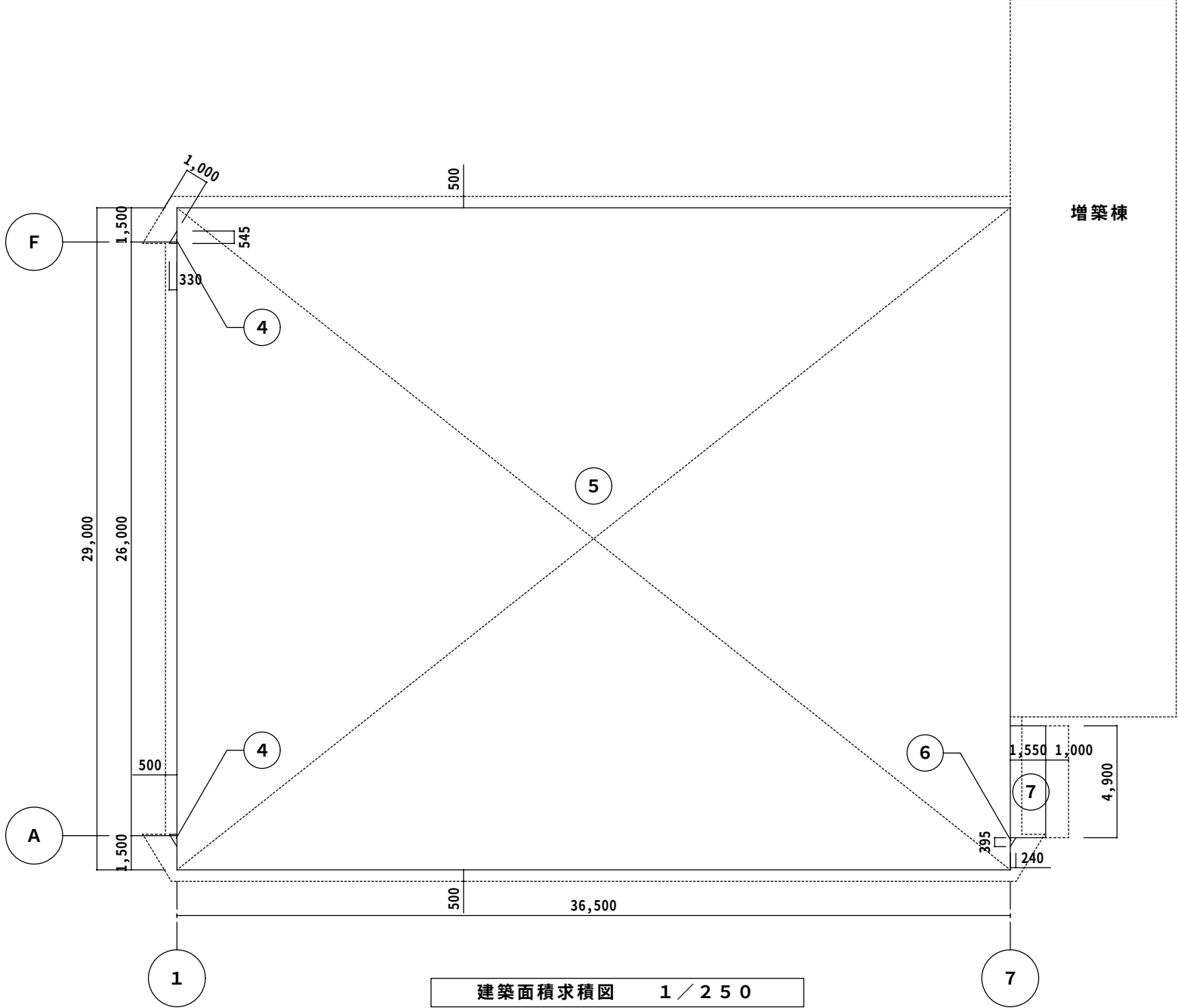
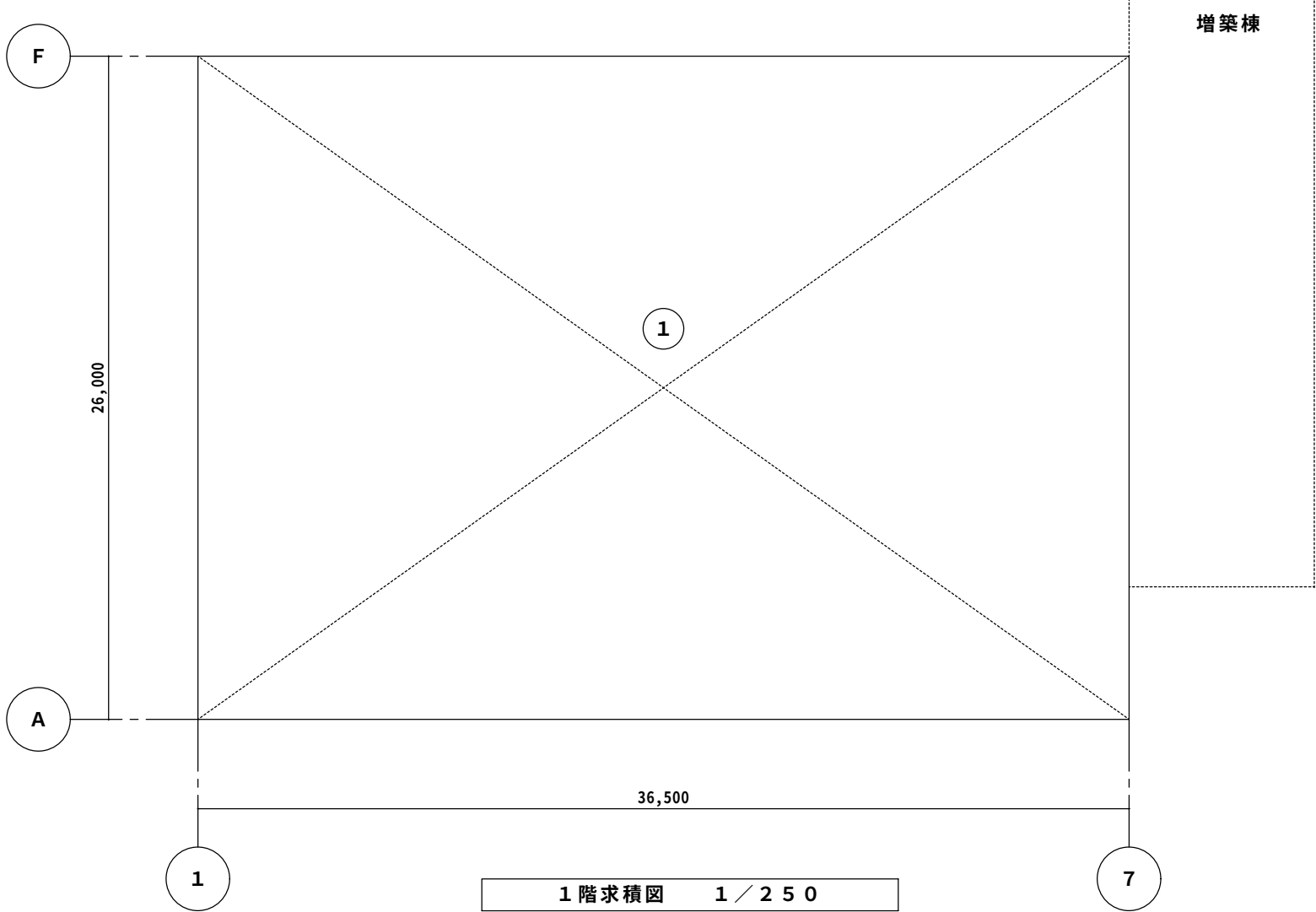
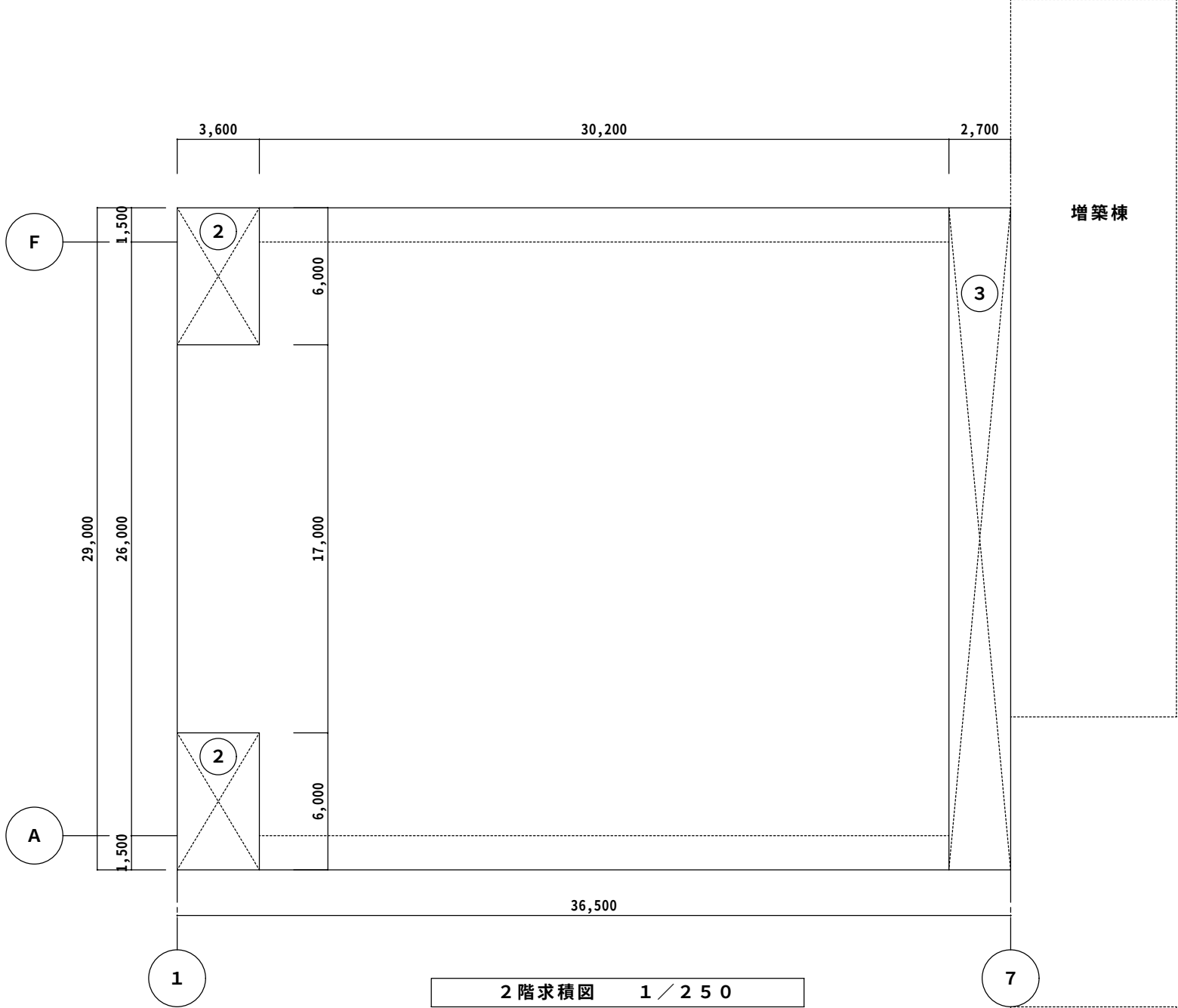


付近見取図

配置図（改修前）1／500

特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	配置図（改修前）・付近見取図				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	— 4 2	S = 1 : 500	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



求 積 表

番号	計 算 式	面 積
①	$36.50 \times 26.00 =$	949.00
②	$3.60 \times 6.00 =$	21.60
③	$2.70 \times 29.00 =$	78.30
④	$0.33 \times 0.545 \times 1/2 =$	0.089925
⑤	$36.50 \times 29.00 =$	1058.50
⑥	$0.24 \times 0.395 \times 1/2 =$	0.0474
⑦	$1.55 \times 4.90 =$	7.595

面 積 表

	計 算 式	面 積
建築面積	$④ \times 2 + ⑤ + ⑥ + ⑦$	1066.32m^2 (1066.3225)
1階床面積	①	949.00
2階床面積	$② \times 2 + ③$	121.50
延べ床面積		1070.50

特 記 :

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	面積表（既存部分）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A — 43	S = 1 : 250	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

内 部 仕 上 表															外 部 仕 上 表			
階	室 名		床	下 地	F L (G L～)	巾 木	H	腰 ・ 壁	下 地	天 井	下地	天井高	廻 縁	備 考	部 位	仕 上		
1	玄関 ホール	改修前	人造石研出し 真鍮目地入り(モルタル下地) Pタイル(モルタル下地)	C	+850	人研 モルタル	100	ZC吹付(モルタル下地) 小口タイル	C	米松フローリング厚9 C L 塗	W	2850	木製	下駄箱	屋根	改修前	折板かぶせ工法 @400 (下地)長尺カー鉄板瓦棒葺 厚0.4@364 真木なし通し吊子 木毛セメント板厚25 ルーフィング17kg敷 RC部シート防水(立上り塗防水) 廊下一部ルーフデッキ	
		改修後	長尺塩ビシート(モルタル金こて)	C	+1000	塩ビ	100	ビニールクロス張り(下地処理)	C	化粧PB厚9.5	S	2500	塩ビ製	地袋		改修後	かぶせ工法(下地補修共) カーカーガルリ鋼板 厚0.4葺き RC部シート防水既存のまま 一部撤去補修(屋根伏図参照)	
	管理室 ↓ 倉庫(3)	改修前	Pタイル(モルタル下地)	C	+1000	杉 OP	100	VP塗(モルタル下地)	C	PB厚9 AEP塗	W	2400	木製	物入れ+カウンター	外壁	改修前	モルタル刷毛引 リシン吹付 底見付：ベニヤ型枠コンクリート打放し小はつり仕上 正面玄関：小口・二丁掛タイル 袖：寒水石入モルタル	
		改修後	長尺塩ビシート(モルタル金こて)	C	+1000	UE塗替	100	UE塗(下地処理)	C	化粧PB厚9.5	S	2400	塩ビ製			改修後	吹付タイル(下地処理共) 底見付：吹付タイル・底天端：塗膜防水 小梁側面型枠打放し部：高圧水洗	
	控室 ↓ 倉庫(2)	改修前	Pタイル(モルタル下地) 畳敷(木下地)	C	+1000 ↓ +1150			VP塗(モルタル下地)	C	PB厚9 AEP塗	W	2400 ↓ 2550	木製		別棟(便所)外壁	改修前	豆砂利入りモルタル洗い出し 底見付：モルタル刷毛引 リシン吹付	
		改修後	長尺塩ビシート(モルタル金こて)	C	+1000	モルタル金こて UE塗	100	UE塗(下地処理)	C	化粧PB厚9.5	S	2400	塩ビ製			改修後		
	洗面所	改修前	Pタイル(モルタル下地)	C	+1000	杉 OP	100	VP塗(モルタル下地)	C	PB厚9 AEP塗	W	2300	木製		軒裏	改修前	モルタル刷毛引 リシン吹付	
	便所	改修前	モザイクタイル(モルタル下地)	C	+1000			腰：モザイクタイル(モルタル下地) 壁：プaster(モルタル下地)	C	PB厚9 AEP塗	W	2300	木製			改修後	アクリルリシン吹付(下地処理)	
	倉庫 ↓ 倉庫(1)(4)	改修前	モルタル目地切	C	+1000	モルタル	100	モルタル金こて	C	PB厚9 AEP塗	W	2700	木製		巾木	改修前	モルタル刷毛引 リシン吹付	
		改修後	長尺塩ビシート(モルタル金こて)	C	+1000	UE塗替	100	UE塗(下地処理)	C	化粧PB厚9.5	S	2400	塩ビ製			改修後	アクリルリシン吹付(下地処理)	
	屋内 運動場	改修前	ナラフローリング厚15 杉板厚21	W	+1000	杉 OP	100	VP塗(モルタル下地) 米松フローリング厚15 C L 塗(木下地)	C W	鉄骨あらかし木毛セメント板 AEP吹付	S		木製	窓鉄格子・床換気口 タラップ 防球ネット吊パイプ 暗幕撤去	ドレン	改修前	ルーフトレン堅型 125Φ・75Φ	
		改修後	複合フローリング厚18 構造用合板厚12・鋼製床下地	C	+1000	木製 SOP塗	100	UE塗(下地処理) 米松フローリング厚15 C L 塗(木下地)	C W	既設鉄部(トラス・母屋)SOP塗替え 既設木毛セメント板 EP塗替え	S		木製 SOP	窓鉄格子・床換気口 タラップ 防球ネット吊パイプ		改修後	改修用ルーフトレン堅型 125Φ	
	ステージ	改修前	ナラフローリング厚15 杉板厚21	W	+1900	杉 OP	100	VP塗(モルタル下地) シナベニヤ厚6 OP塗(木下地)	C W	PB厚9 AEP塗 スノコ板張り OP塗(ブドウ欄)	W		木製	床下物入	樋	改修前	薄肉GP 114.3×4.5 OP塗り	
		改修後	複合フローリング厚21 構造用合板厚12・鋼製床下地 一部 長尺塩ビシート厚2.3(モルタル金こて)	C	+1900	木製 SOP塗	100	UE塗(下地処理) シナベニヤ厚6 SOP塗(木下地)	C W	有孔ラワン合板厚5.5 SOP塗	W		木製 SOP	収納台車		改修後	SOP塗替え 躯体との取り合い部：モルタル補修	
	ステージ下 倉庫	改修前	防水モルタル スノコ板敷	C				モルタル塗 ※一部ラス張り	C W	床組あらかし	W				床下換気孔	改修前	鋼製 260×650 20箇所	
	ロッカー室 (別棟)	改修前	Pタイル(モルタル下地)	C	+800	モルタル	100	VP塗(モルタル下地)	C	PB厚9 AEP塗	W	2400	木製	ロッカー		改修後	SUS防虫網新設(コンクリート止め) 20箇所	
	シャワー室 (別棟)	改修前	人造石研出し 真鍮目地入り (モルタル下地)	C	+800	人造石研出	100	人造石研出し VP塗(モルタル下地)	C	石綿板厚4.5 VP塗	W	2400	木製	シャワーブース				
	男女便所 (別棟)	改修前	モザイクタイル(モルタル下地)	C	+800			腰：100角カラータイル(モルタル下地) 壁：プaster(モルタル下地)	C	PB厚9 AEP塗	W	2400	木製	トイレブース				
	倉庫 (別棟)	改修前	モルタル	C	+150	モルタル	100	モルタル金こて	C	木毛セメント板厚18 打込	W	2400						

[塗装記号]										[下地・仕上記号]																																											
S O P ― 合成樹脂調合ペイント					O S ― オイルステイン					U C ― ウレタンクリアー					C ― 鉄筋コンクリート造					C B ― 補強コンクリートブロック造					P B ― プラスターボード (石膏ボード)					R B ― 吸音化粧紙吸音板 (JIS A 6301)																							
E P ― 合成樹脂エマルジョンペイント					V E ― 塩化ビニール樹脂塗料					EP-M ― 多彩模様塗料					S ― 軽鉄下地					A L C ― A L C版					S P B ― シンthetic石膏ボード					M E ― 押出成形セメント板																							
C L ― クリアラッカー					P U ― ポリウレタン樹脂塗料					W ― ワックス					W ― 木製下地					S T ― 鉄骨造					K B ― 珪酸セメント板 (無石棉)					―																							
F E ― フタル酸樹脂塗料					U E ― 2液形ポリウレタンエナメル																																																
特 記 :																														工事名				相生体育館耐震補強・改修及び増築工事												株式会社 剛 建築事務所 速 水 可 次							
																														名 称				仕上表 (1)												徳島市新蔵町1丁目51-1 1級建築士登録							
																														図 番				A ― 4 4				S = 1 :				年 月								TEL 088-622-0883 第 102935 号			
																																																		FAX 088-622-0885			

内 部 仕 上 表														
階	室 名		床	下 地	F L (G L～)	巾 木	H	腰 ・ 壁	下 地	天 井	下地	天井高	廻 縁	備 考
2	階段室 (ギャラリー)	改修前	P タイル (モルタル下地)	C		モルタル VP 塗	1 0 0	Z C 吹付 (モルタル下地)	C					鋼製手摺 ノンスリップ
		改修後	長尺塩ビシート厚2.3 (下地処理)	C		U E 塗替	1 0 0	U E 塗 (下地処理)	C					手摺 S O P 塗替え S U S ノンスリップ
	ギャラリー	改修前	モルタル目地切り	C	± 0	モルタル VP 塗	1 0 0	V P 塗 (モルタル下地) 有孔珪酸エマルジョン厚5.5 O P 塗 (木下地) (ビニールタタ・フェイザータタ厚25張り)	C	有孔 P B 厚9 A E P 塗	W		木製	鋼製手摺
		改修後	ひび割れ補修	C	± 0	モルタル U E 塗	1 0 0	U E 塗 (下地処理) 有孔珪酸エマルジョン厚5.5 S O P 塗 (木下地) (防湿シート・グラスウール厚25張り)	C	有孔 P B 厚9.5 E P 塗	S		木製 S O P	手摺 S O P 塗替え・一部新設
	控室 ↓ 倉庫 (5)	改修前	アビトンフローリング厚15 畳敷 (木下地)	W	± 0	杉 O P	1 0 0	V P 塗 (モルタル下地) シナベニヤ厚6 O P 塗 (木下地)	C W	P B 厚9 A E P 塗	W	2300	木製	のぞき窓 鉄はしご
		改修後	フローリング厚15 (木下地)	W	± 0	木製 S O P 塗	1 0 0	U E 塗 (下地処理) シナベニヤ厚6 S O P 塗 (木下地)	C W	化粧 P B 厚9.5	S	2300	木製 S O P	のぞき窓 鉄はしご 物入れ
	放送室 ↓ 倉庫 (6)	改修前	アビトンフローリング厚15	W	± 0	杉 O P	1 0 0	V P 塗 (モルタル下地) シナベニヤ厚6 O P 塗 (木下地)	C W	P B 厚9 A E P 塗	W	2300	木製	のぞき窓
		改修後	フローリング厚15 (木下地)	W	± 0	木製 S O P 塗	1 0 0	U E 塗 (下地処理) シナベニヤ厚6 S O P 塗 (木下地)	C W	化粧 P B 厚9.5	S	2300	木製 S O P	のぞき窓 物入れ
	階段室 (ステージ)	改修前	ラワン	W		杉 O P	1 0 0	V P 塗 (モルタル下地) シナベニヤ厚6 O P 塗 (木下地)	C W	P B 厚9 A E P 塗	W		木製	
		改修後	米梅踏み板	W		木製 U C 塗	1 0 0	U E 塗 (下地処理) シナベニヤ厚6 S O P 塗 (木下地)	C W	化粧 P B 厚9.5	S		木製 S O P	

[塗装記号]

S O P ― 合成樹脂調合ペイント
E P ― 合成樹脂エマルジョンペイント
C L ― クリアラッカー

O S ― オイルステイン
V E ― 塩化ビニール樹脂塗料
P U ― ポリウレタン樹脂塗料
F E ― フタル酸樹脂塗料

U C ― ウレタンクリアー
EP-M ― 多彩模様塗料
W ― ワックス
U E ― 2液形ポリウレタンエナメル

[下地・仕上記号]

C ― 鉄筋コンクリート造
S ― 軽鉄下地
W ― 木製下地

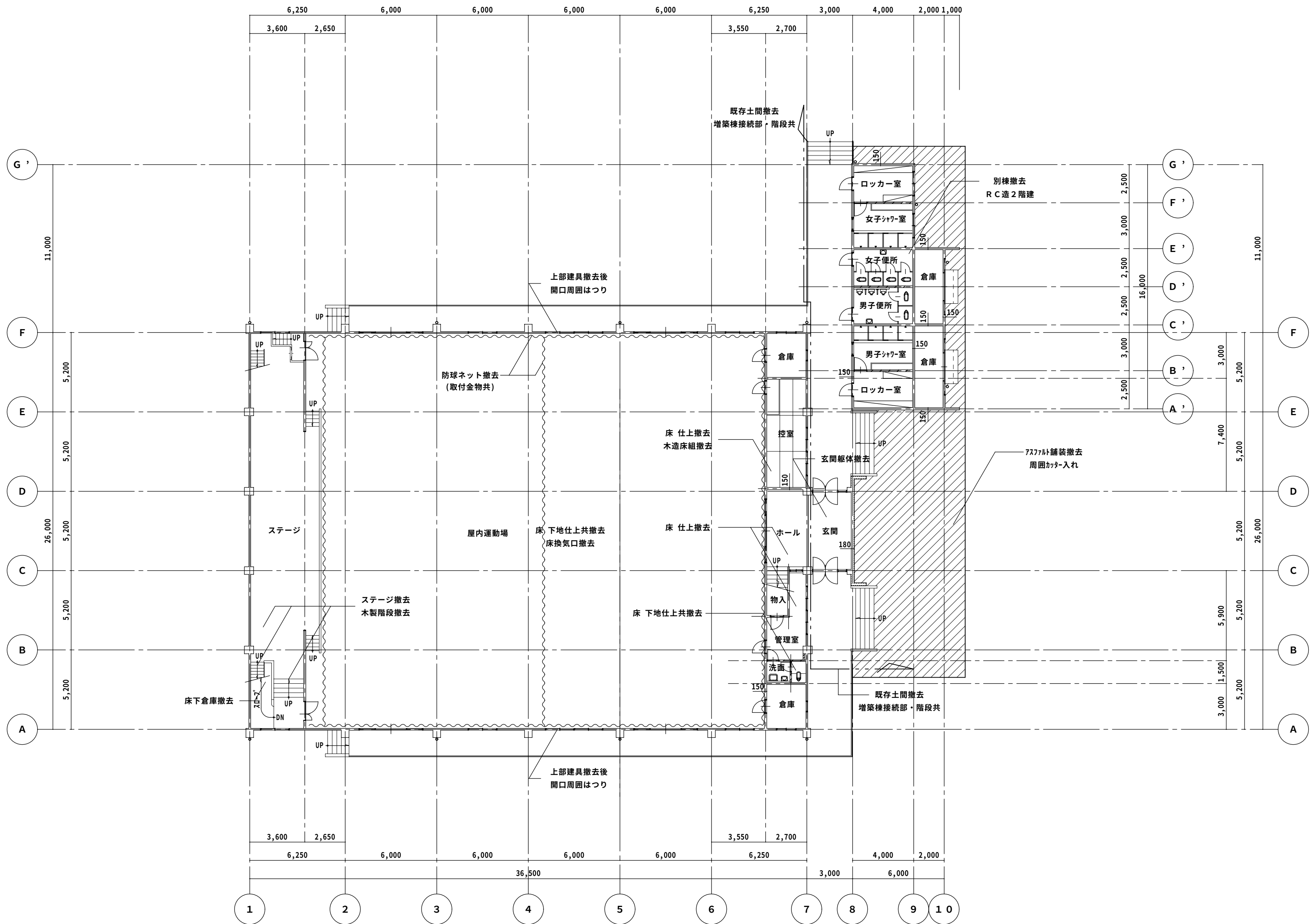
C B ― 補強コンクリートブロック造
A L C ― A L C 版
S T ― 鉄骨造

P B ― プラスターボード
(石膏ボード)
S P B ― シンシング石膏ボード
K B ― 珪酸カルシウム板
(無石綿)

R B ― 0.75kg/m²化粧吸音板
(JIS A 6301)
M E ― 押出成形セメント板

特 記 :

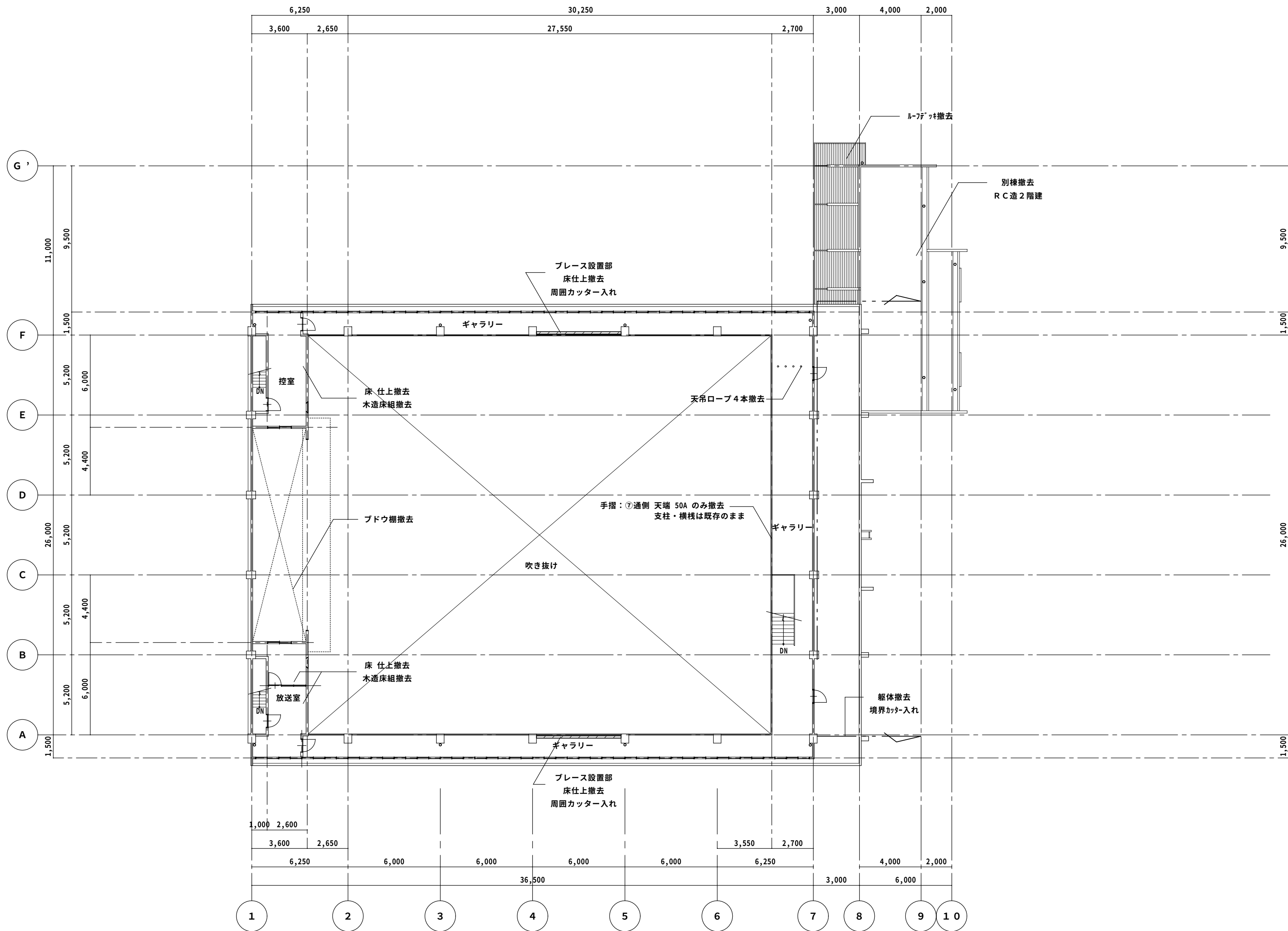
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事					株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	仕上表 (2)						
図 番	A ― 4 5	S = 1 :	年 月				



1階平面図（改修前）1／200

特記：

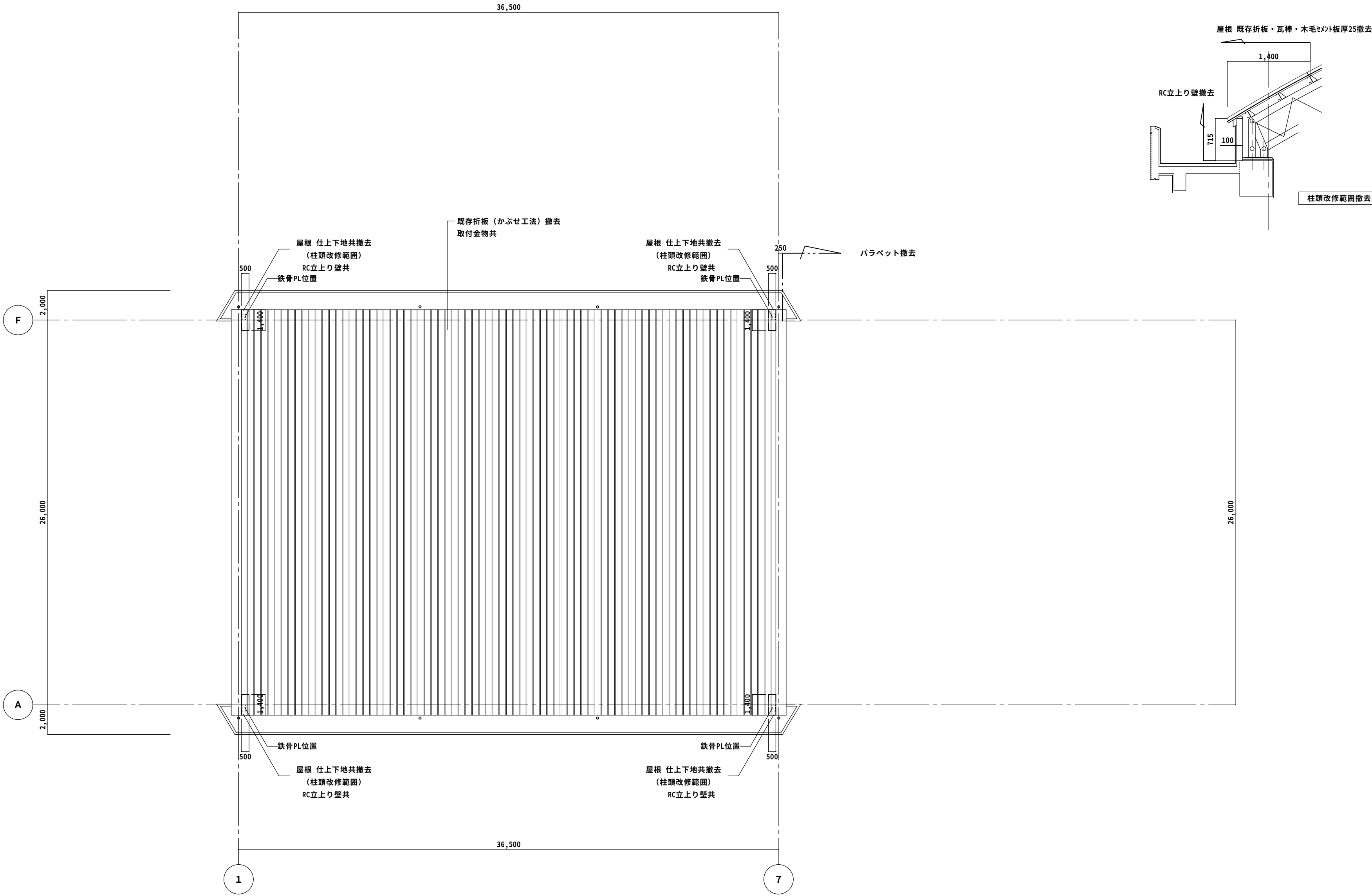
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水可次
名称	1階平面図（改修前）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A — 46	S = 1 : 200	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



2 階平面図（改修前） 1 / 2 0 0

特 記 :

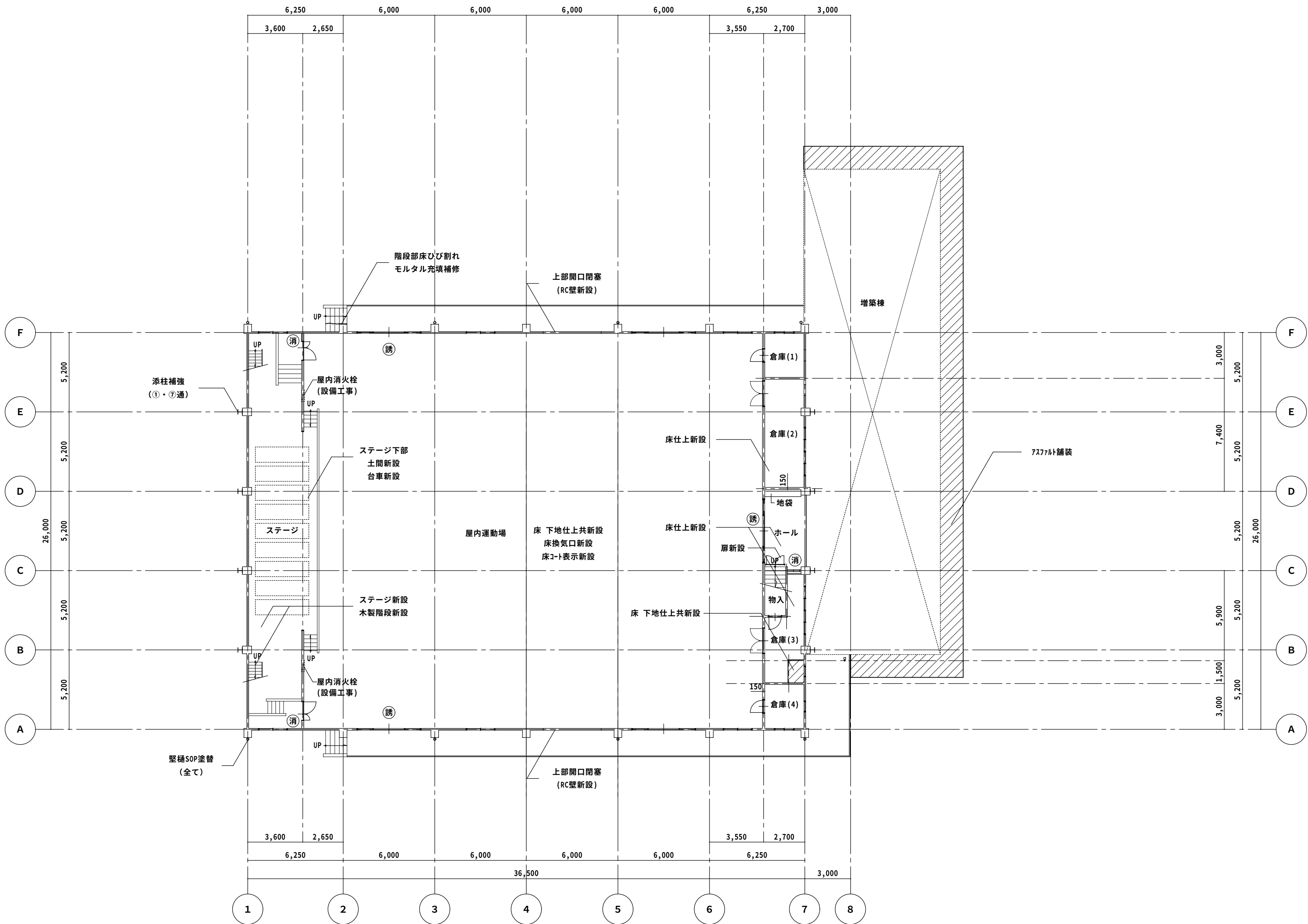
工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	2 階平面図（改修前）					
図 番	A — 4 7	S = 1 : 200	年 月			



屋根図（改修前） 1 / 2 0 0

特 記 :

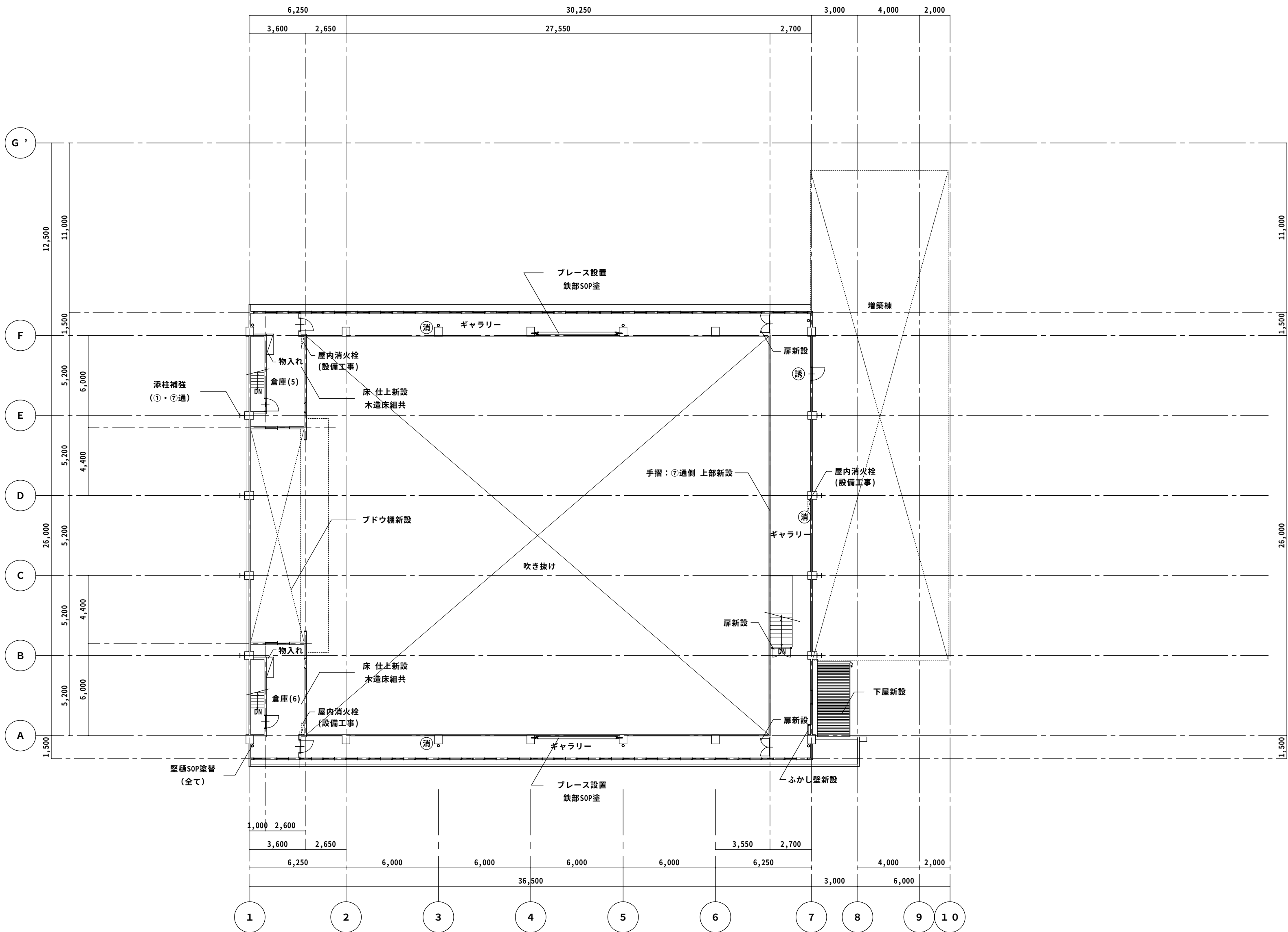
工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事					株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	屋根伏図（改修前）						
図 番	A — 4 8	S = 1 : 200	年 月				



1階平面図（改修後）1／200

特記： 図中(消)は消火器位置を示す。
図中(誘)は誘導標識（蓄光型）位置を示す。

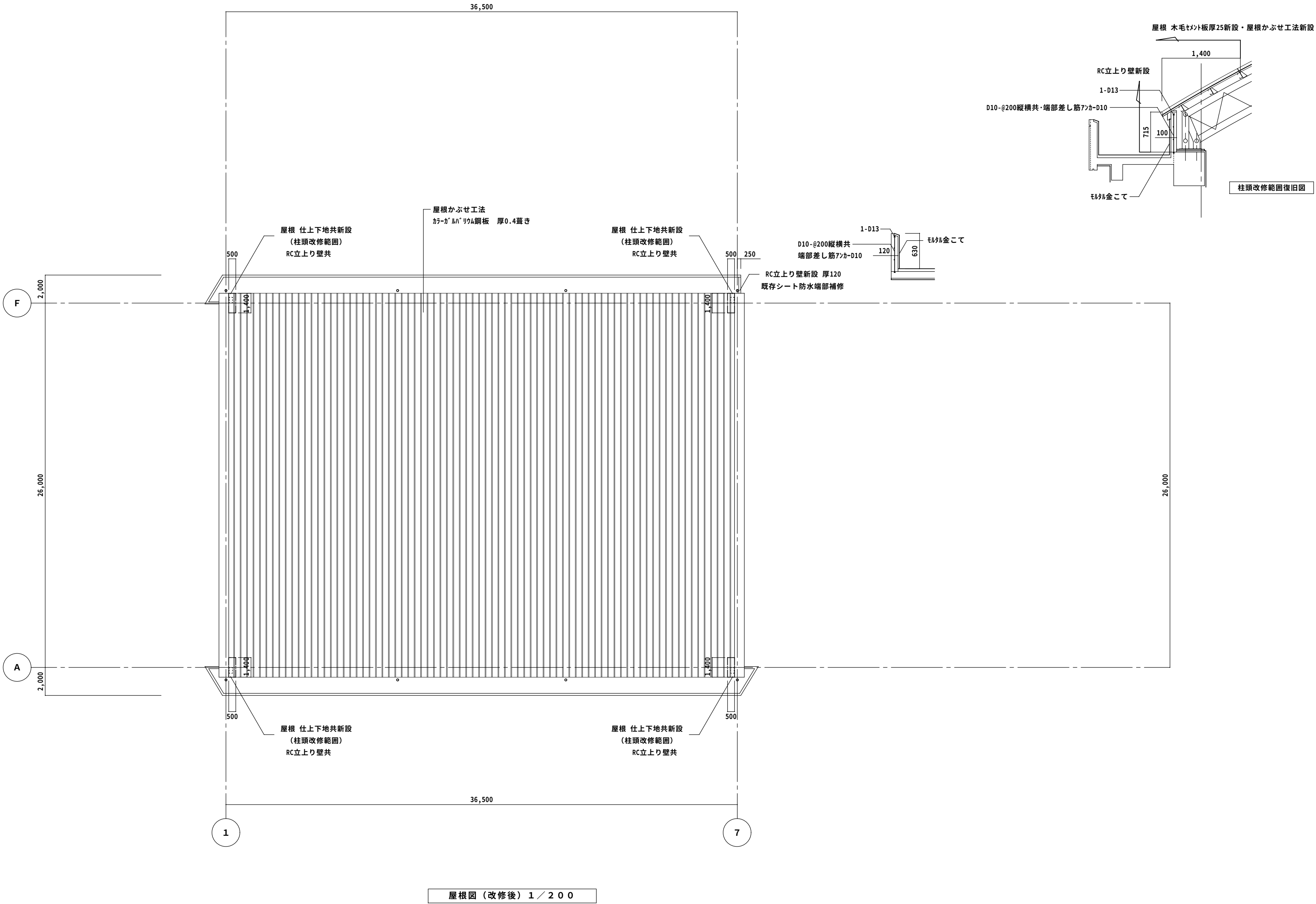
工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	1 階平面図（改修後）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1 級建築士登録
図 番	A	— 4 9	S = 1 : 200	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



2 階平面図（改修後） 1 / 2 0 0

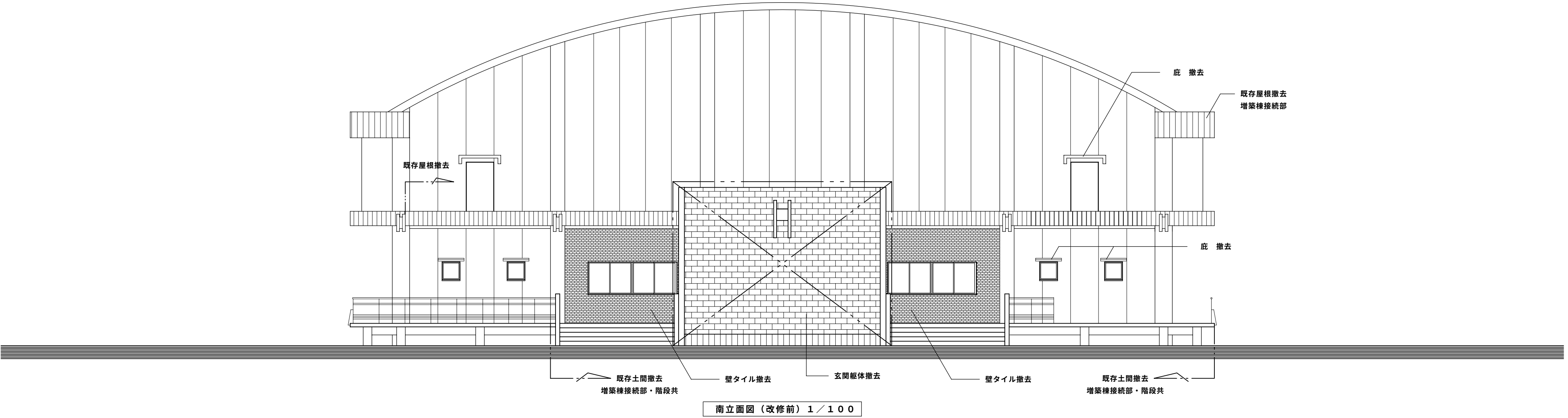
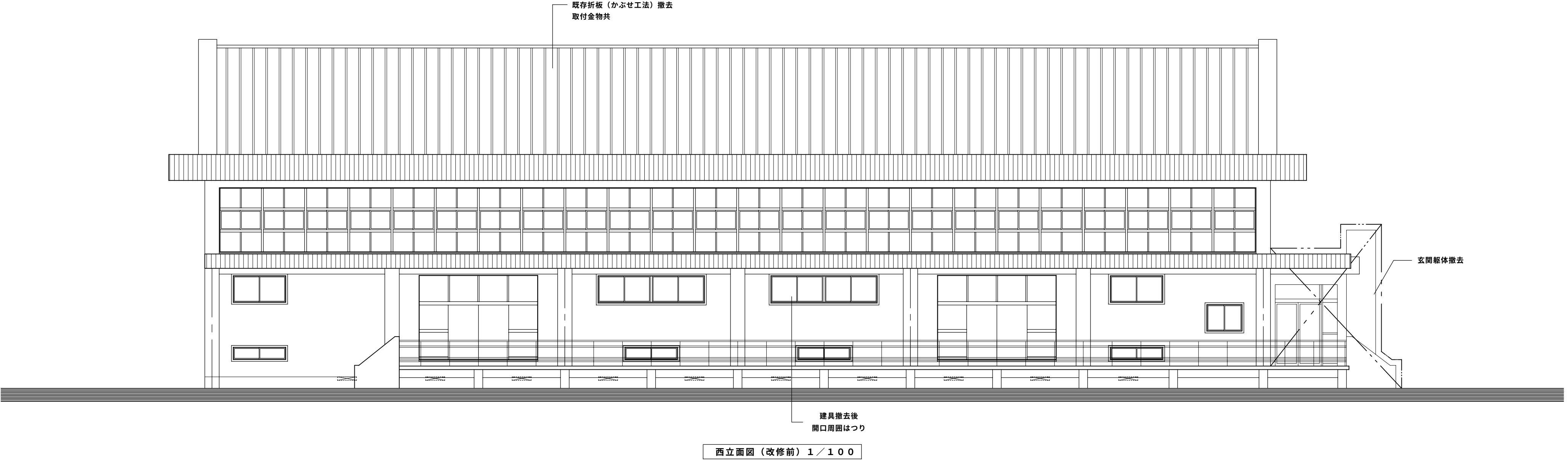
特 記 : 図中(消)は消火器位置を示す。
図中(誘)は誘導標識(蓄光型)位置を示す。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	2 階平面図（改修後）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 5 0	S = 1 : 200	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

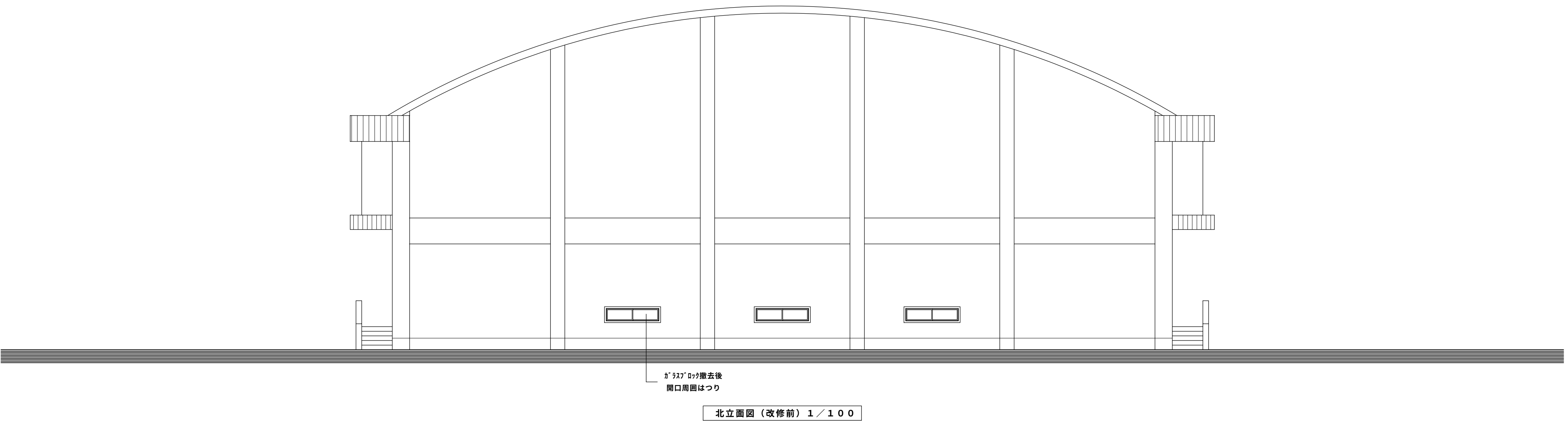
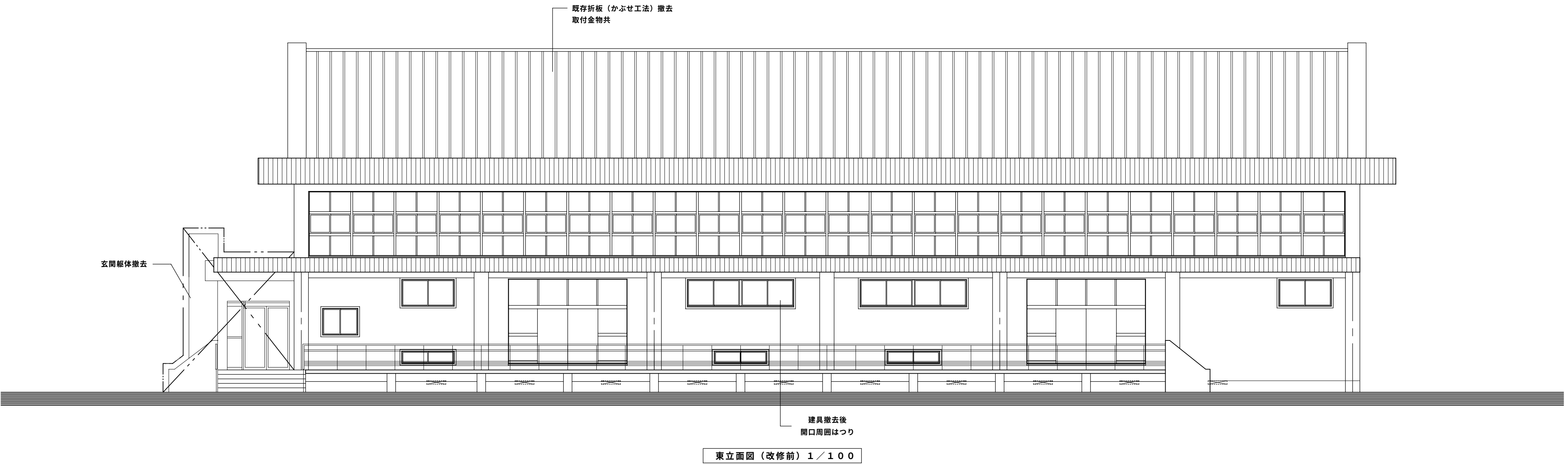


特記：

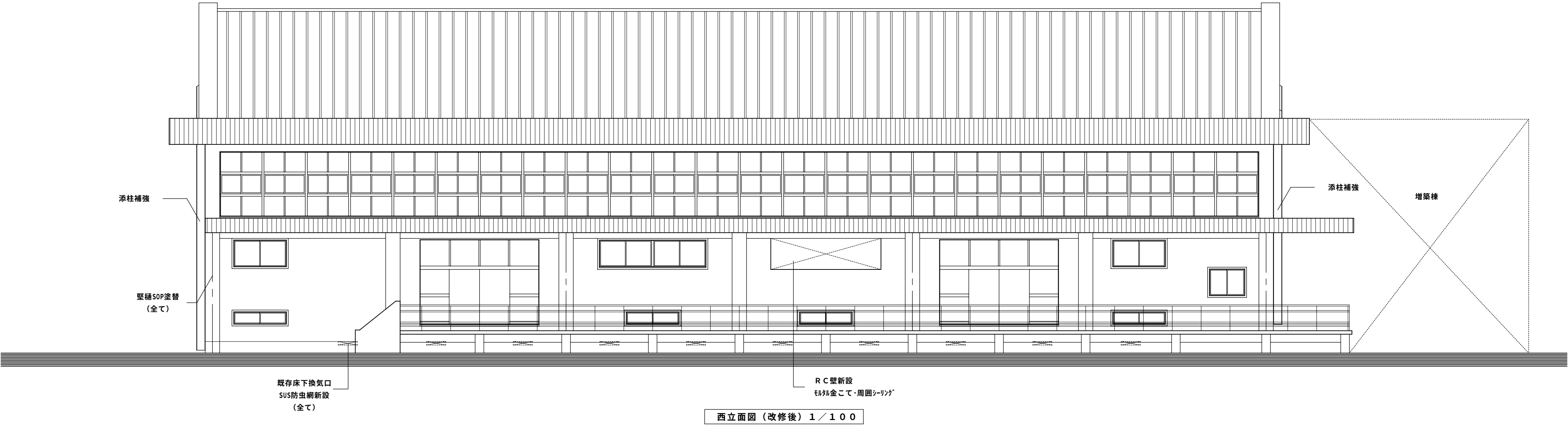
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	屋根伏図（改修後）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A — 51	S = 1 : 200	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



特 記：	工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
	名 称	立面図（1）（改修前）					
	図 番	A — 5 2	S = 1：	100	年 月		

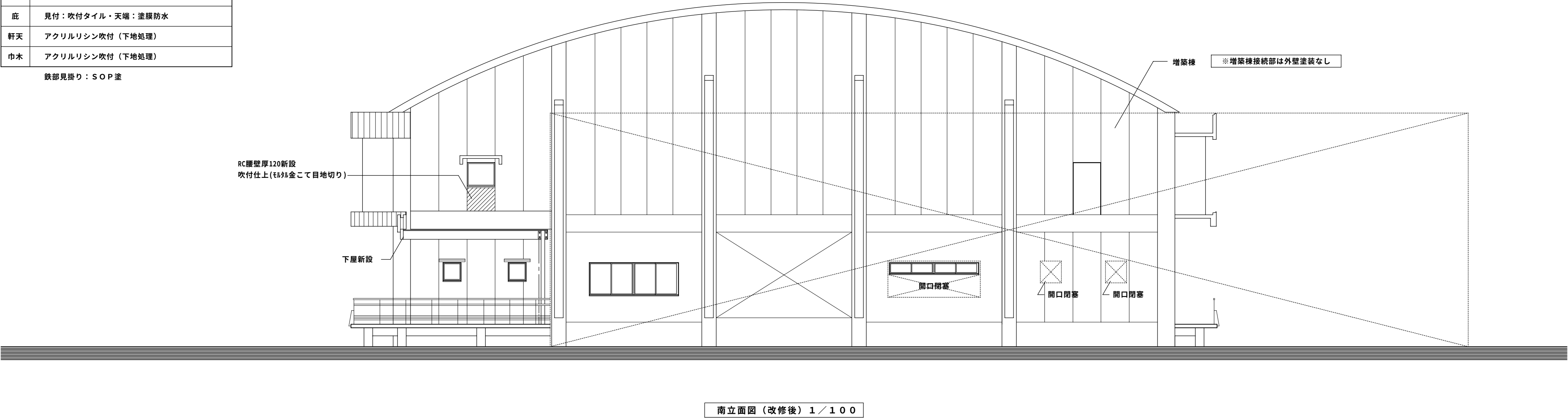


特記：	工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速水 可次 1級建築士登録 第 102935 号
	名 称	立面図（2）（改修前）					
	図 番	A — 53	S = 1 : 100	年 月			



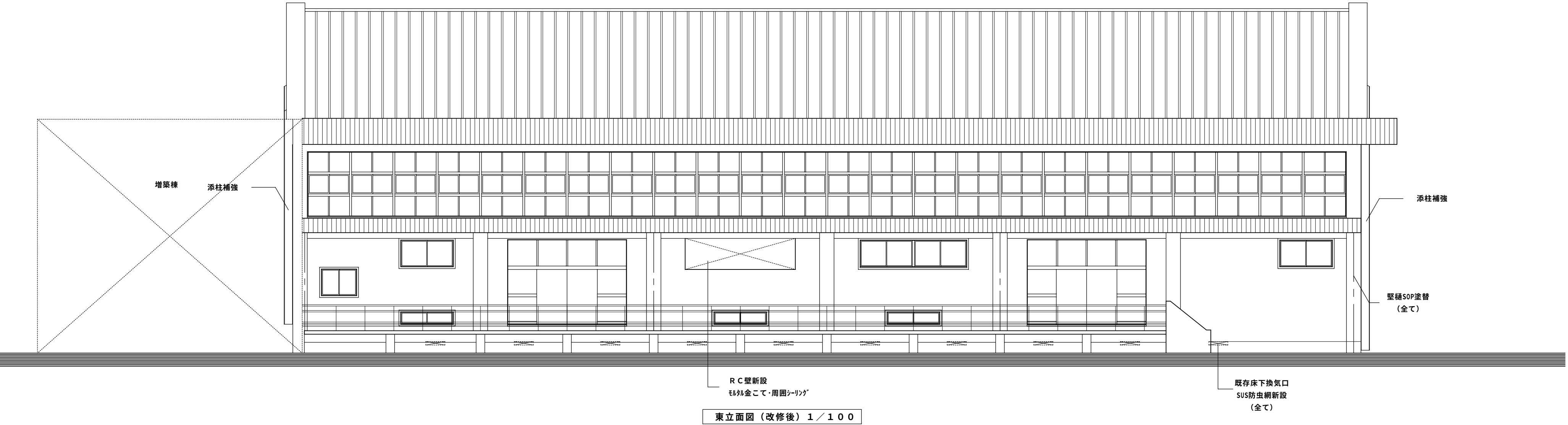
改修リスト	
屋根	かぶせ工法 ｶｰｶﾞﾙﾌﾞﾘｯｸ鋼板 厚0.4葺き
外壁	吹付タイル (下地処理)
庇	見付: 吹付タイル・天端: 塗膜防水
軒天	アクリルリシン吹付 (下地処理)
巾木	アクリルリシン吹付 (下地処理)

鉄部見掛け: SOP塗



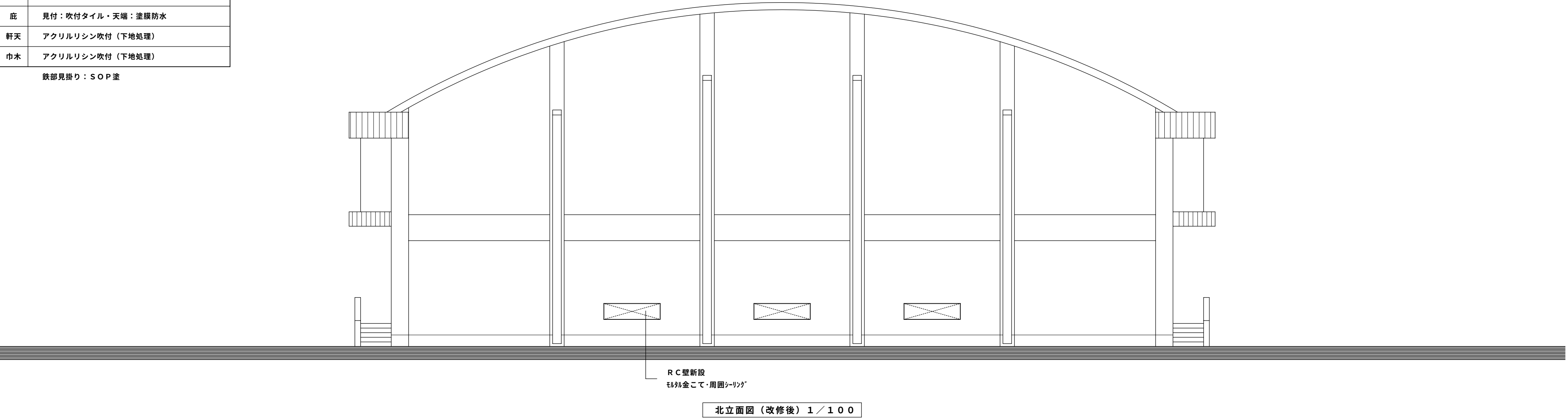
特記:

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	立面図 (1) (改修後)				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	— 54	S = 1 : 100	年月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



改修リスト	
屋根	かふせ工法 ｶｰｶﾞﾙﾌﾞﾘﾝｸﾞ銅板 厚0.4葺き
外壁	吹付タイル（下地処理）
庇	見付：吹付タイル・天端：塗膜防水
軒天	アクリルリシン吹付（下地処理）
巾木	アクリルリシン吹付（下地処理）

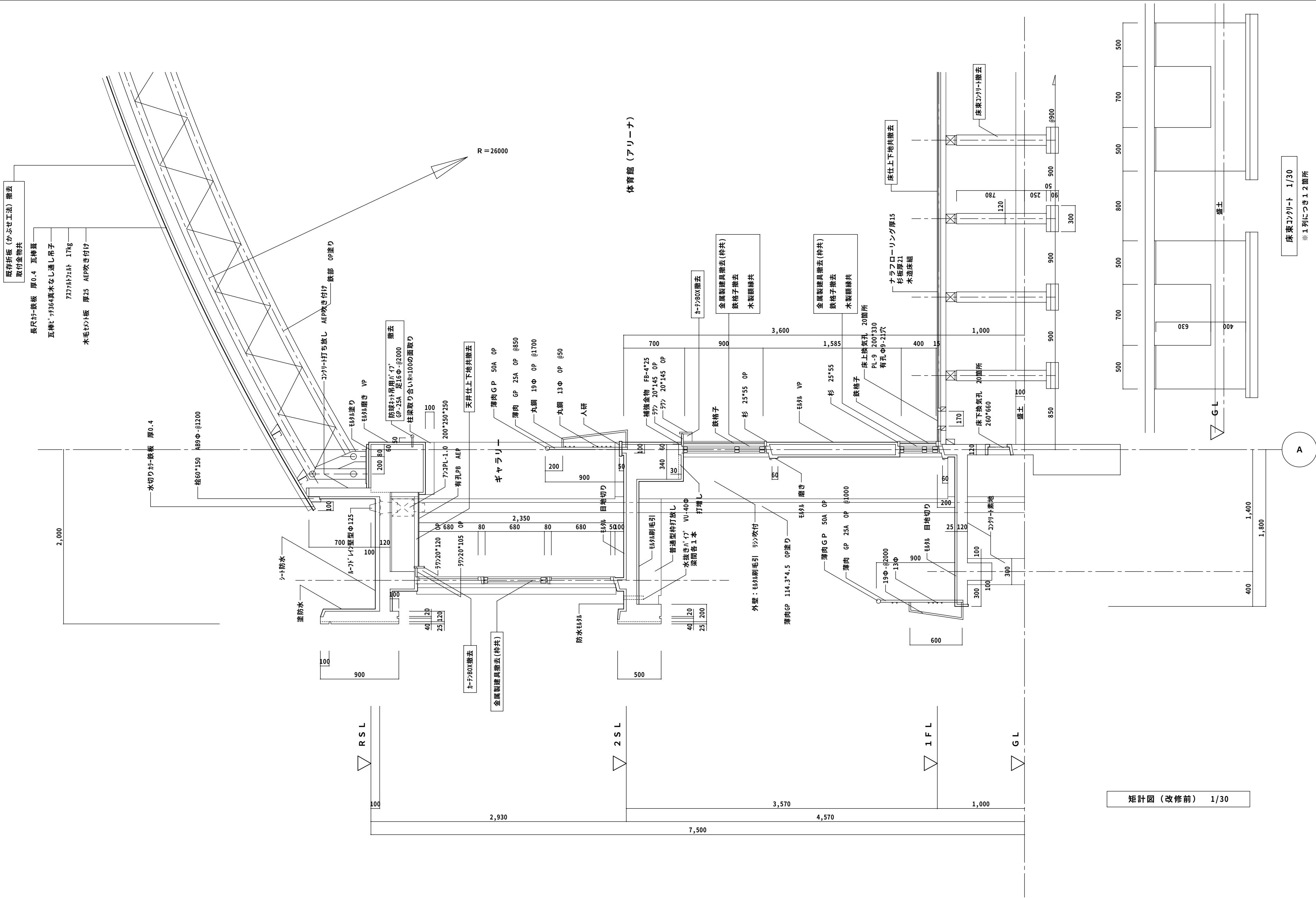
鉄部見掛け：SOP塗



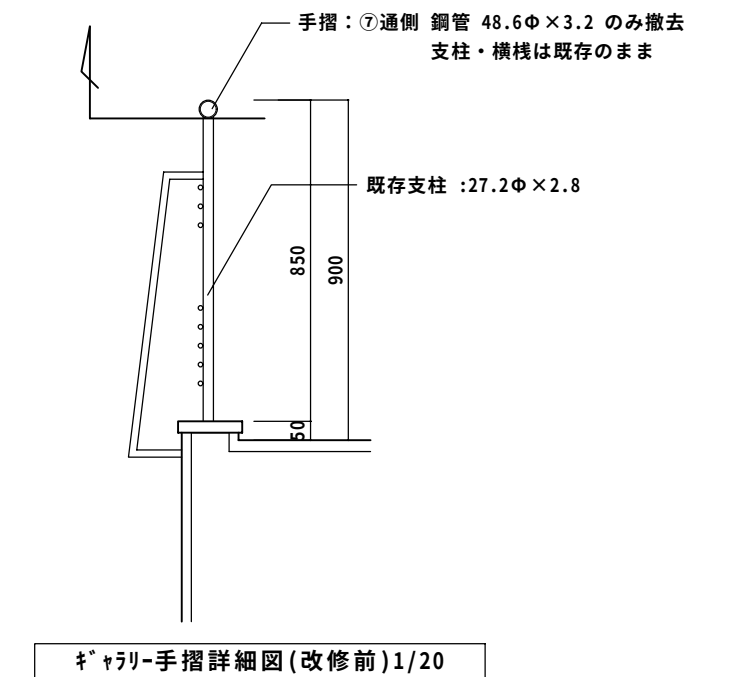
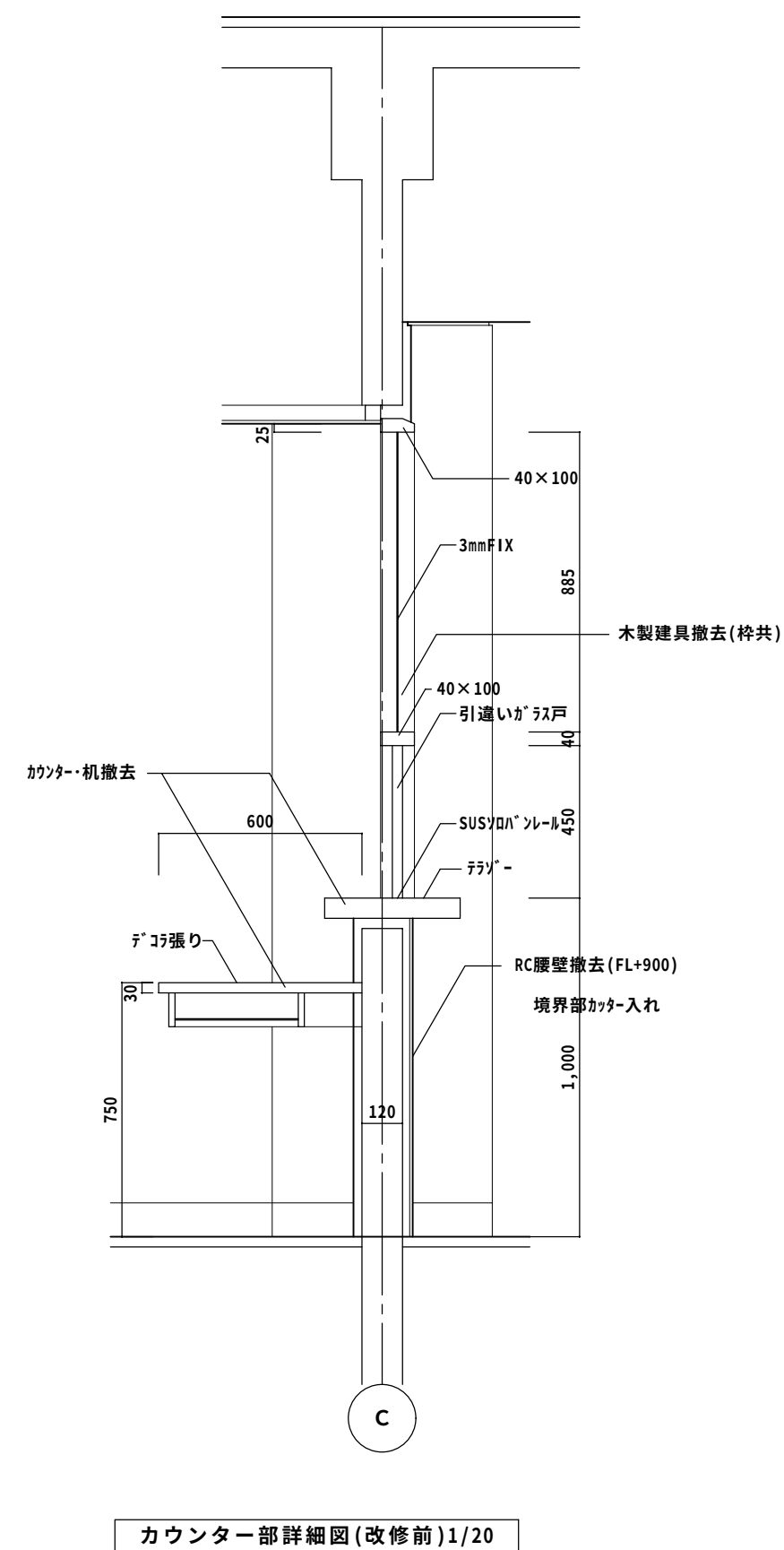
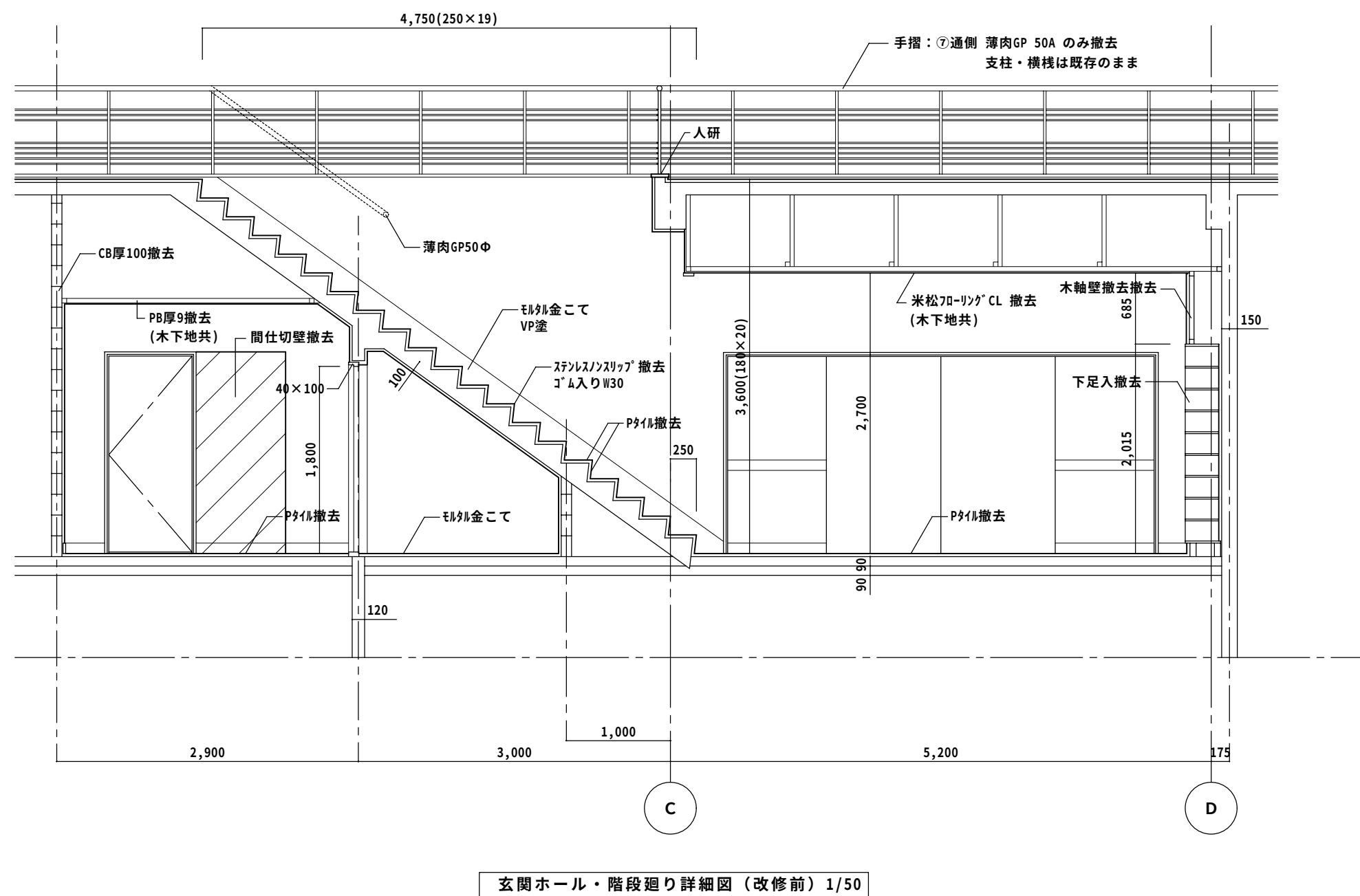
特記：	工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速水可次 1級建築士登録 第102935号		
	名 称	立面図（2）（改修後）							
	図 番	A — 5 5	S = 1 : 100	年 月					

特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	矩計図（改修前）			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A — 56	S = 1 : 30	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
				FAX 088-622-0885	

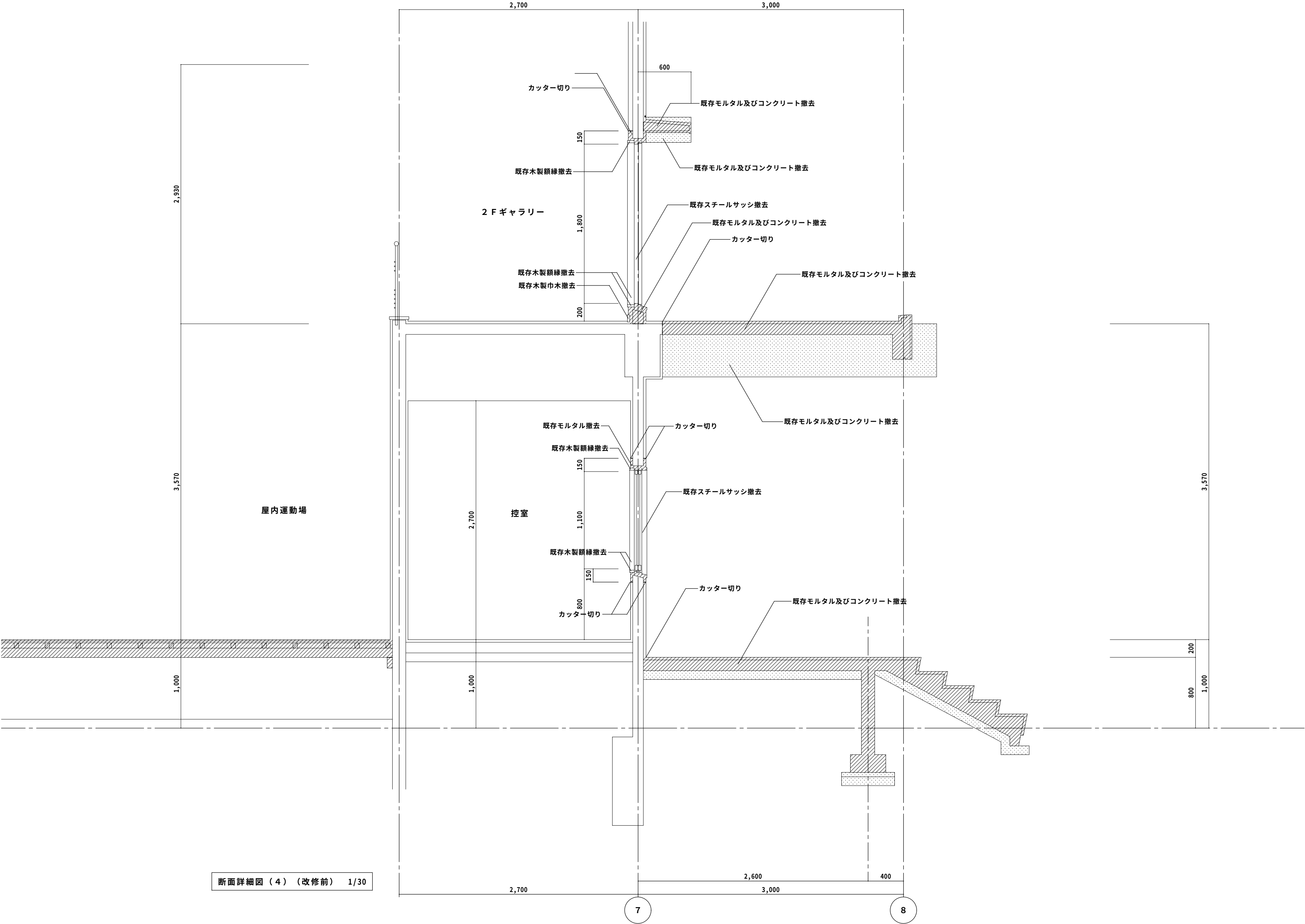


床束コンクリート 1/30
※ 1列につき12箇所



特 記：

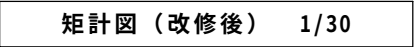
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	断面詳細図（３）（改修前）				徳島市新蔵町１丁目51-1	1級建築士登録
図番	A — 59	S = 1 : 50	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



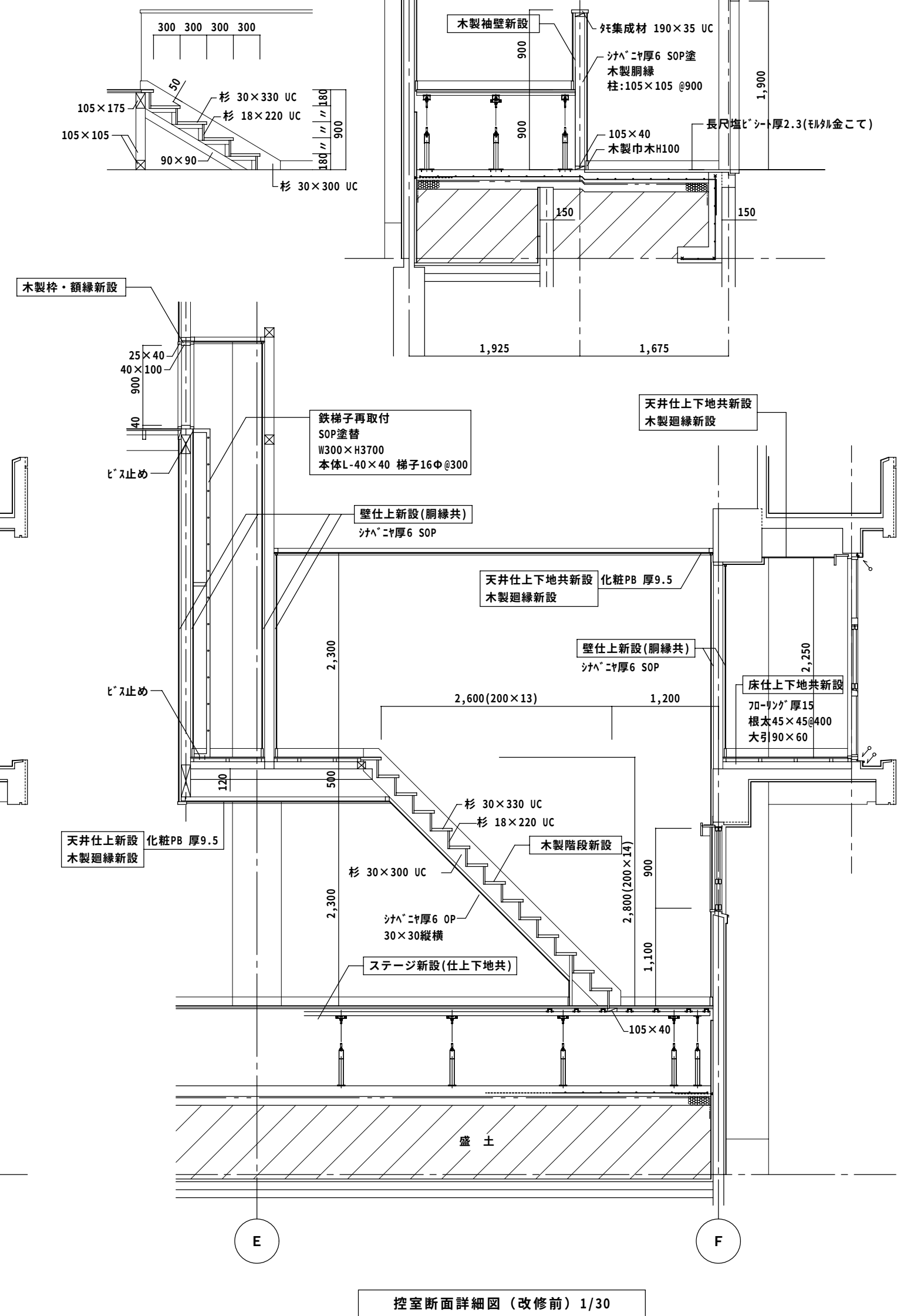
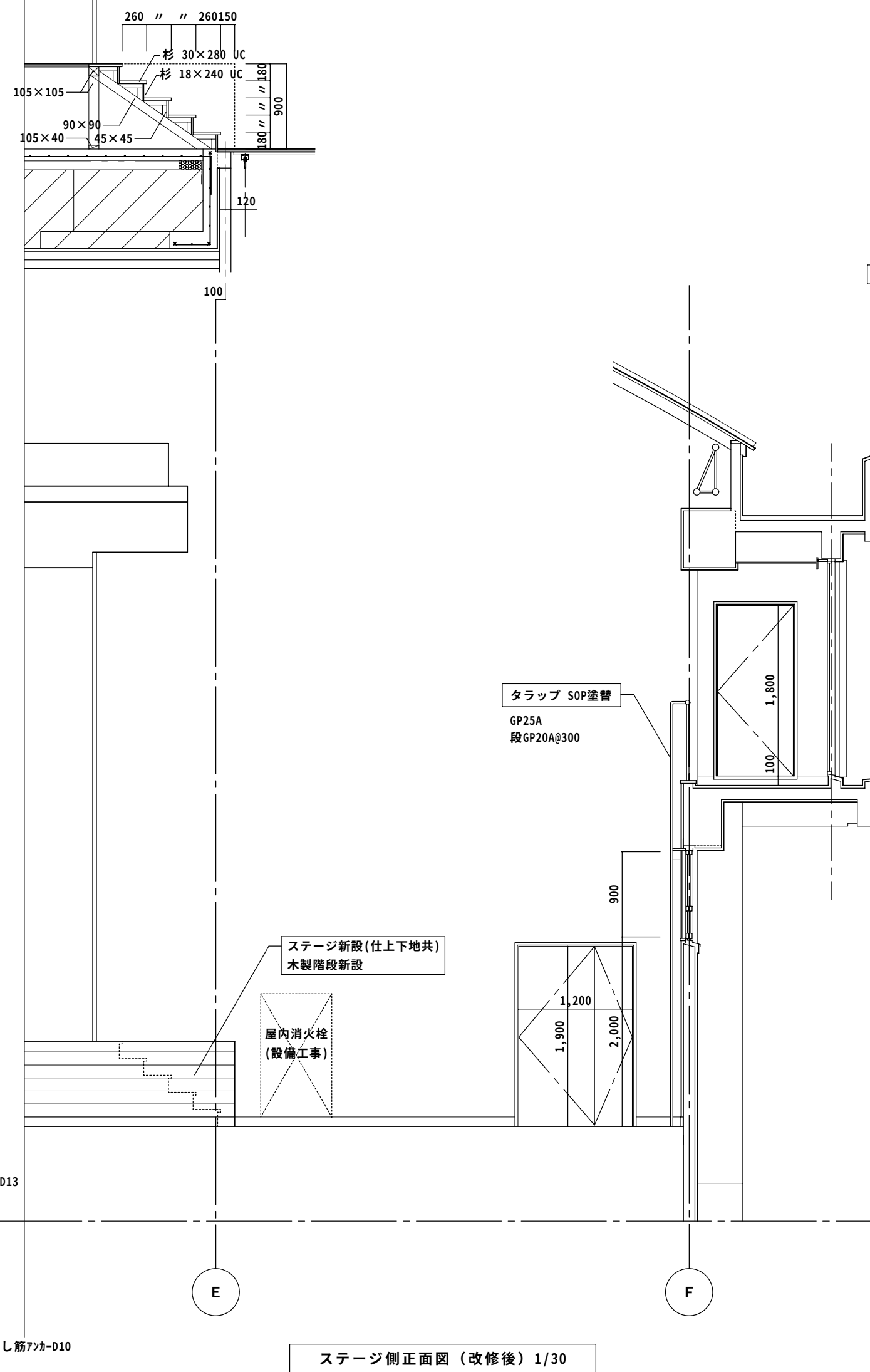
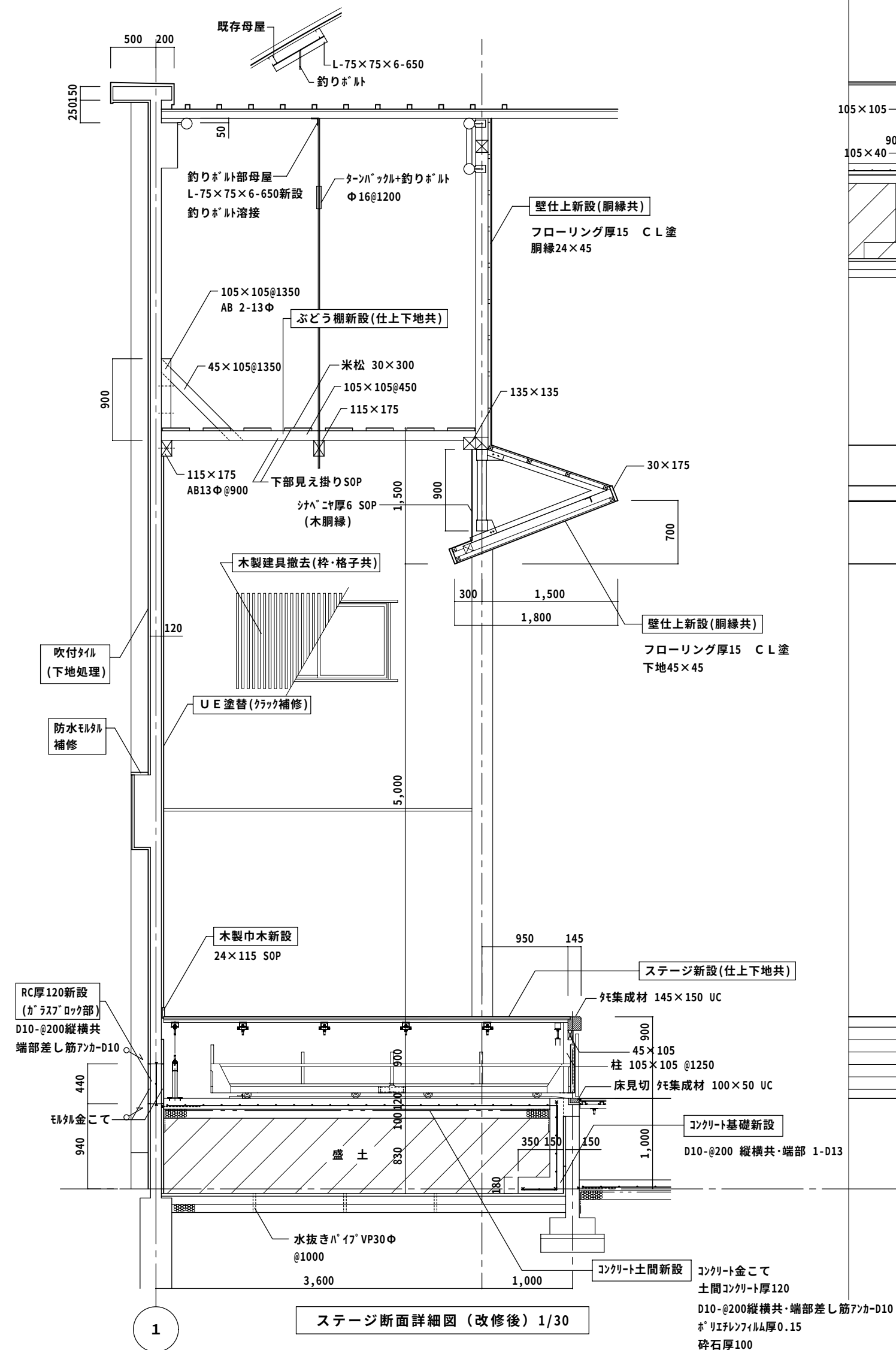
断面詳細図（４）（改修前） 1/30

特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	断面詳細図（４）（改修前）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	—	60	S = 1 : 30	年 月	第 102935 号
						TEL 088-622-0883
						FAX 088-622-0885

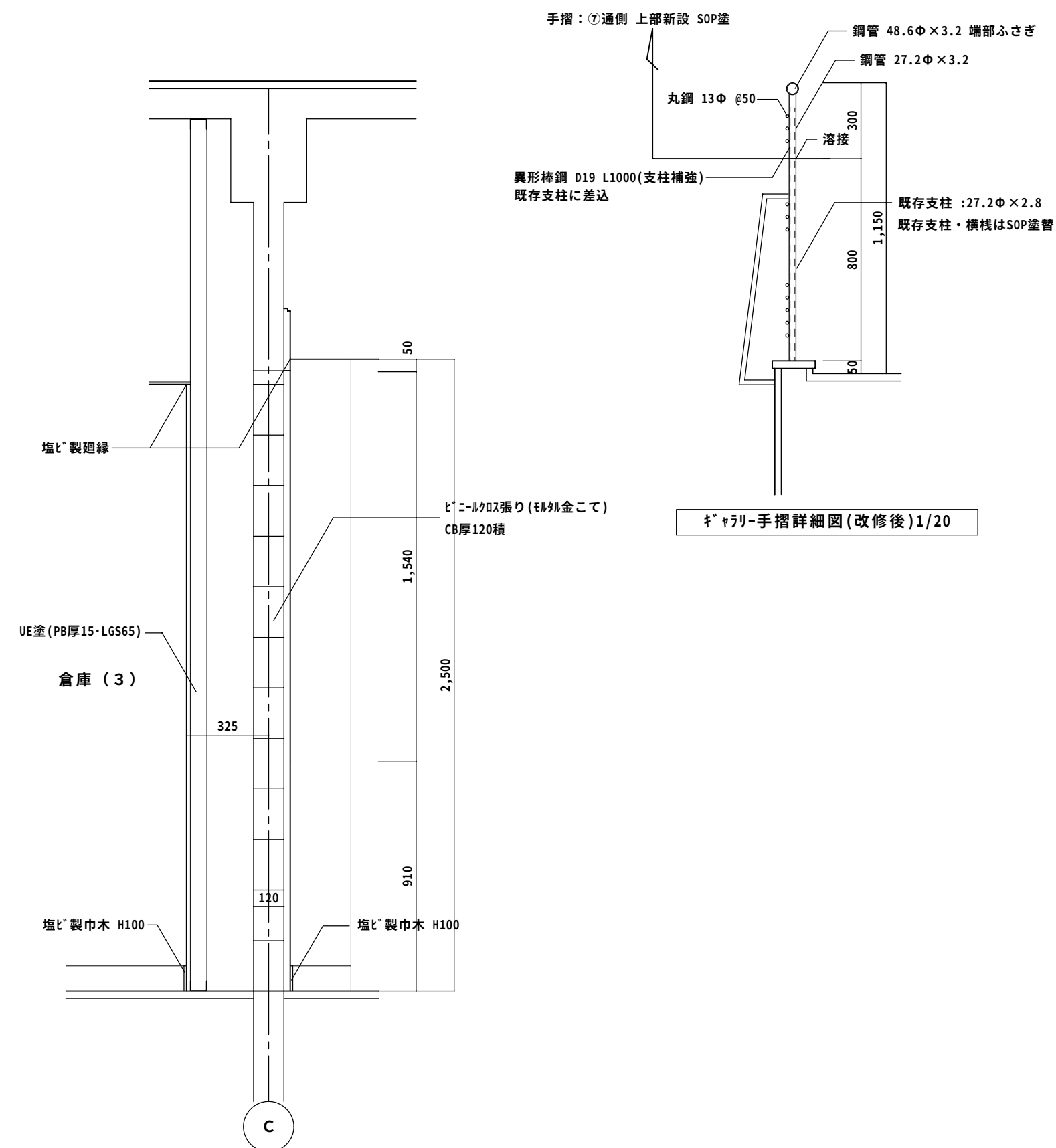
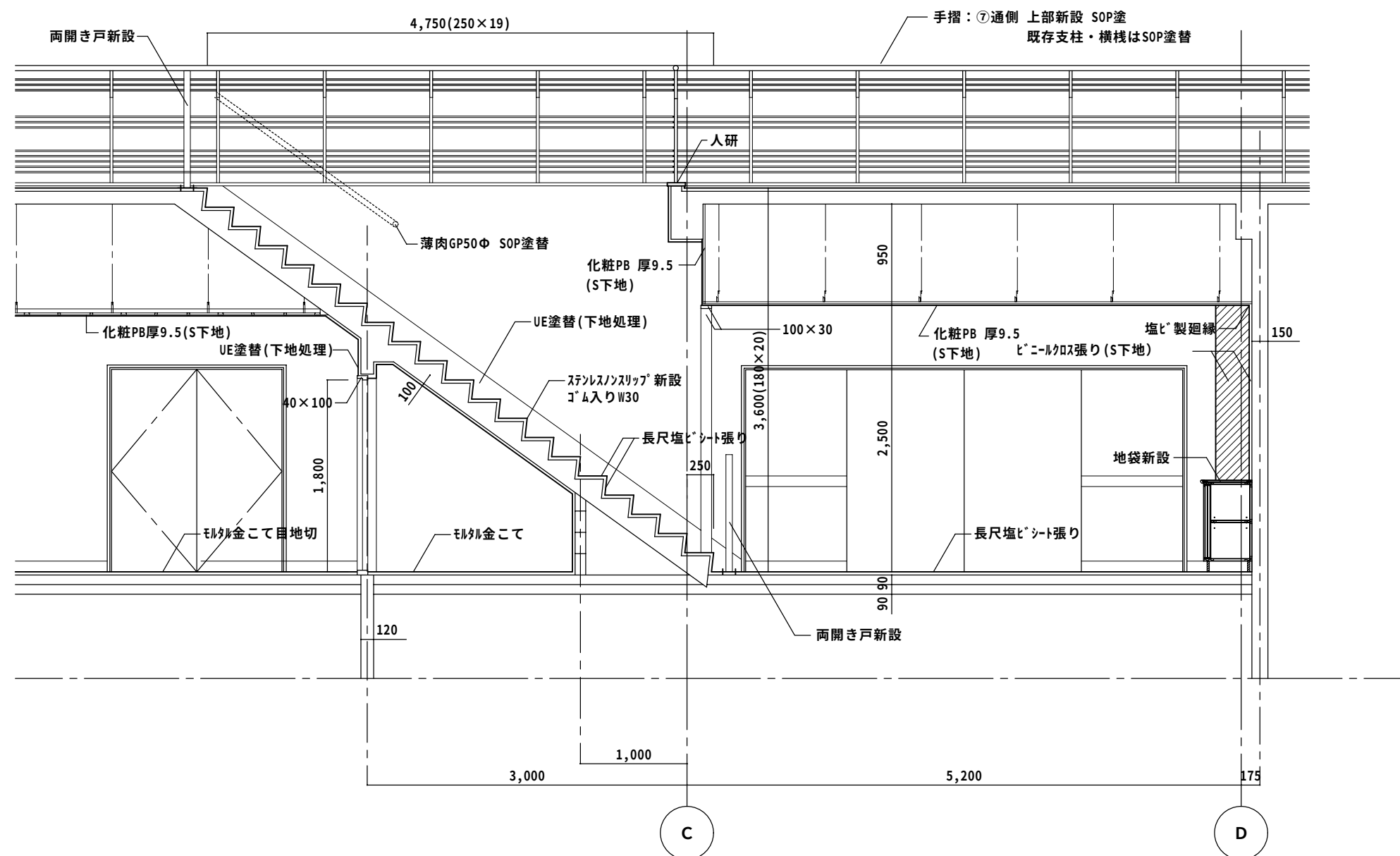


工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	矩計図（改修後）				徳島市新蔵町 1 丁目 51-1	1 級建築士登録
図 番	A	—	6 1	S = 1 : 30	年 月	TEL 088-622-0883 第 102935 号 FAX 088-622-0885



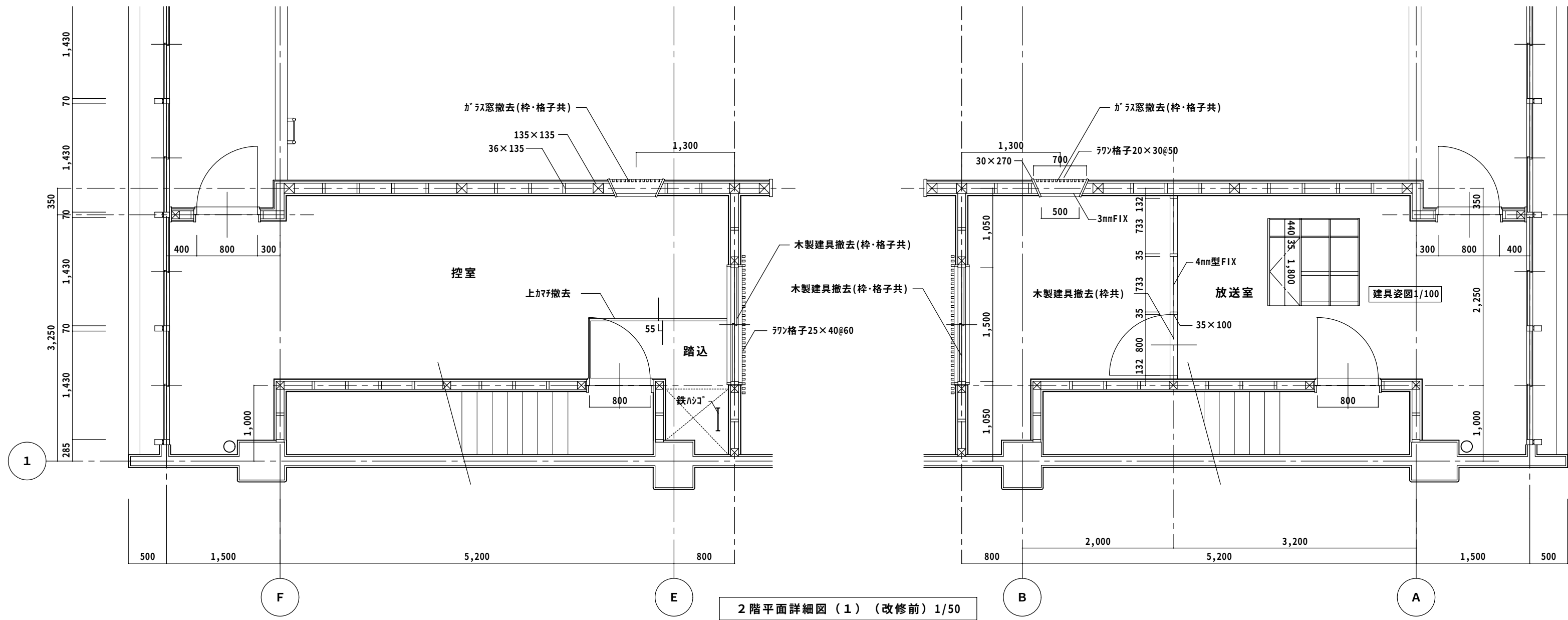
特記： 特記なき限り、鉄部及び木部見え掛りはSOP塗（既存部はSOP塗替）とする。
 図中はシーリングを示す。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	断面詳細図（１）（改修後）			徳島市新蔵町１丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A — 62	S = 1 : 50	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
				FAX 088-622-0885	

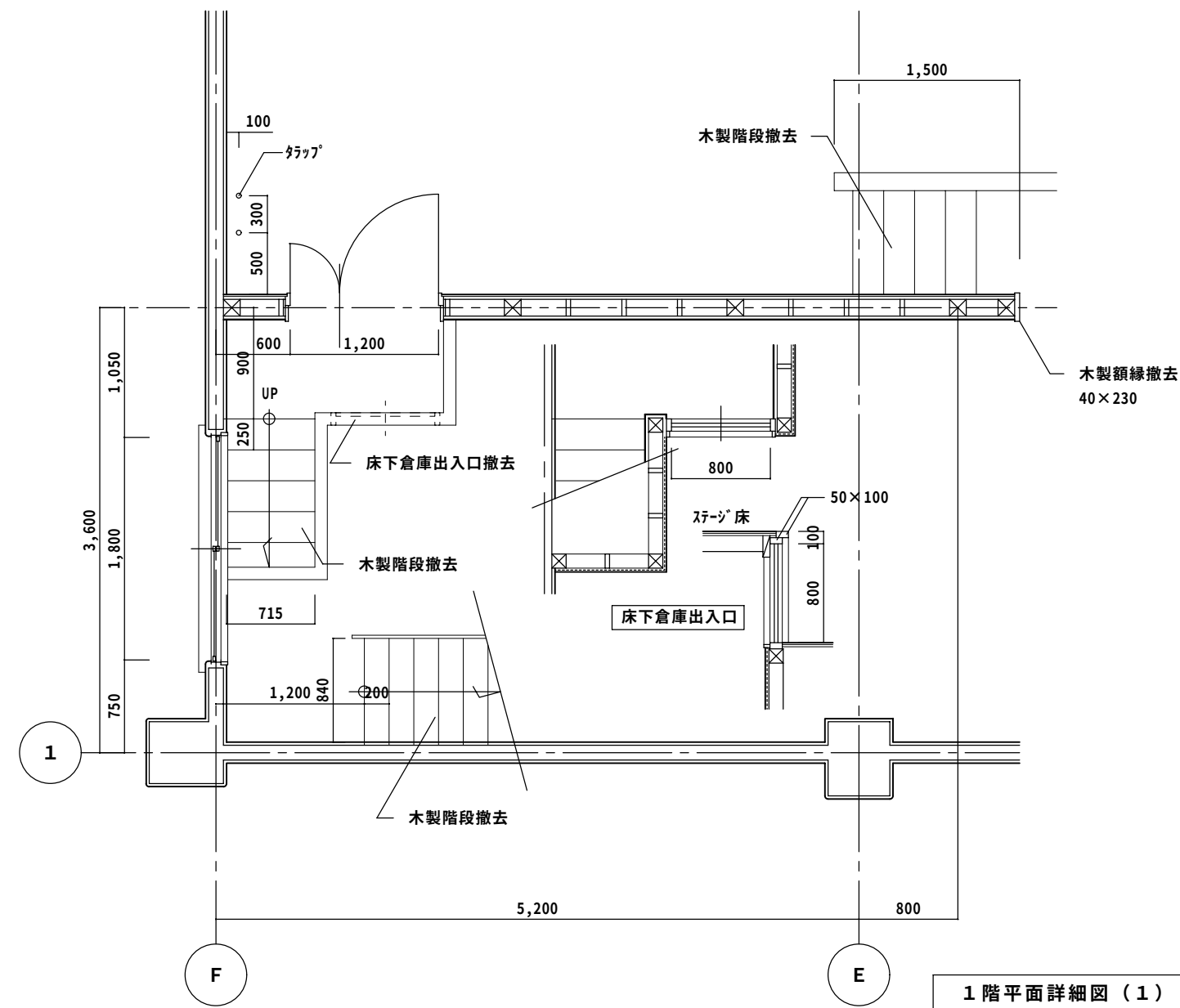


特 記：

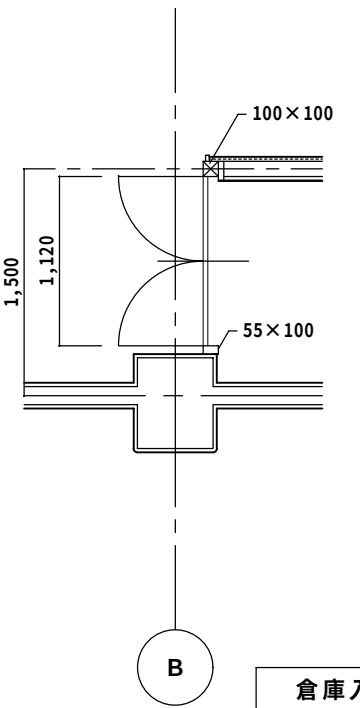
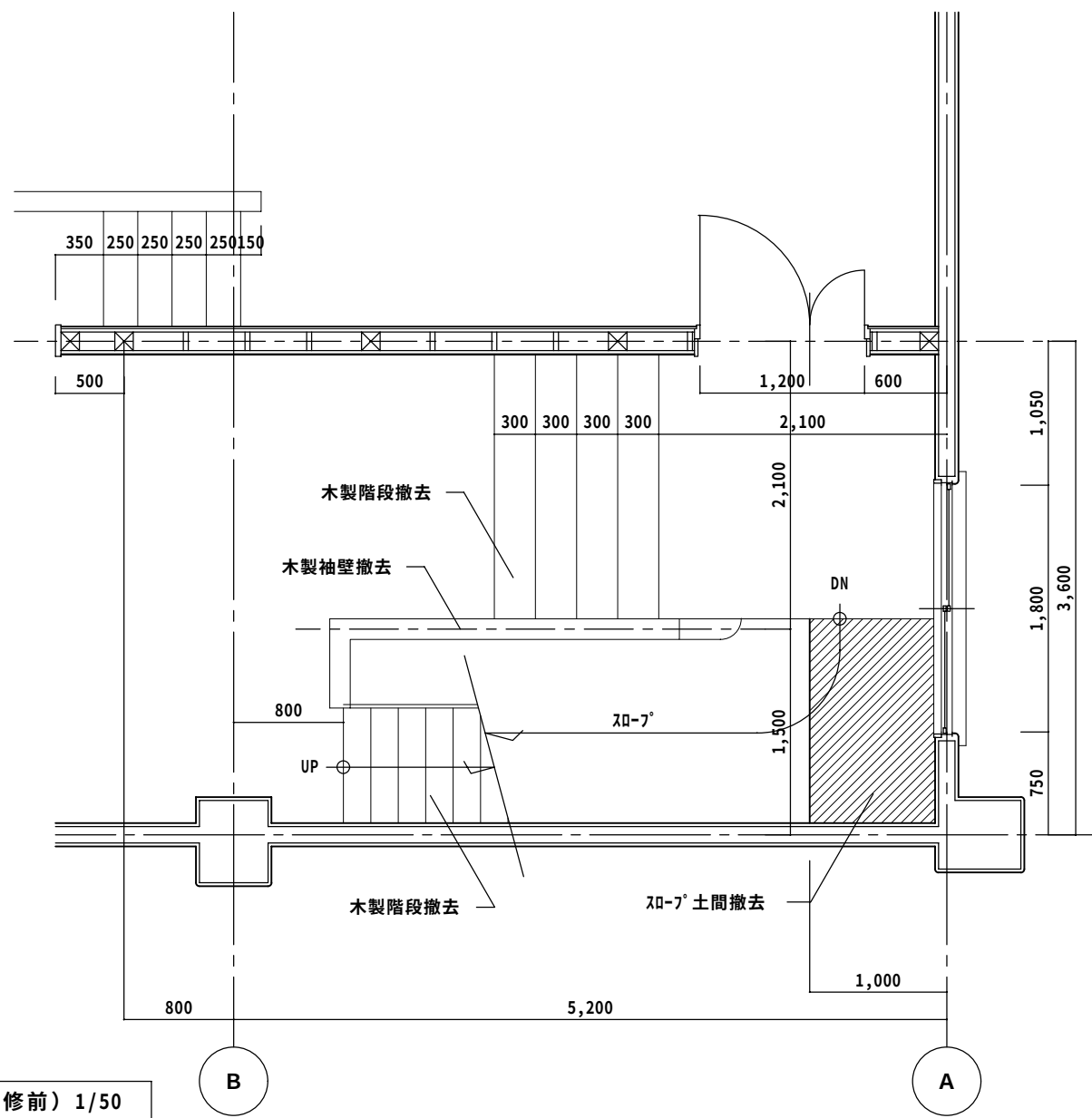
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	断面詳細図（３）（改修後）				徳島市新蔵町１丁目51-1	１級建築士登録
図 番	A — 6 4	S = 1 : 50	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



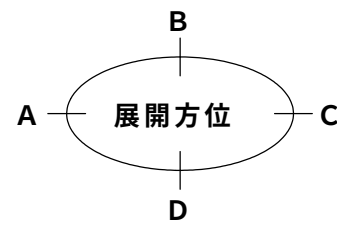
2 階平面詳細図 (1) (改修前) 1/50



1 階平面詳細図 (1) (改修前) 1/50

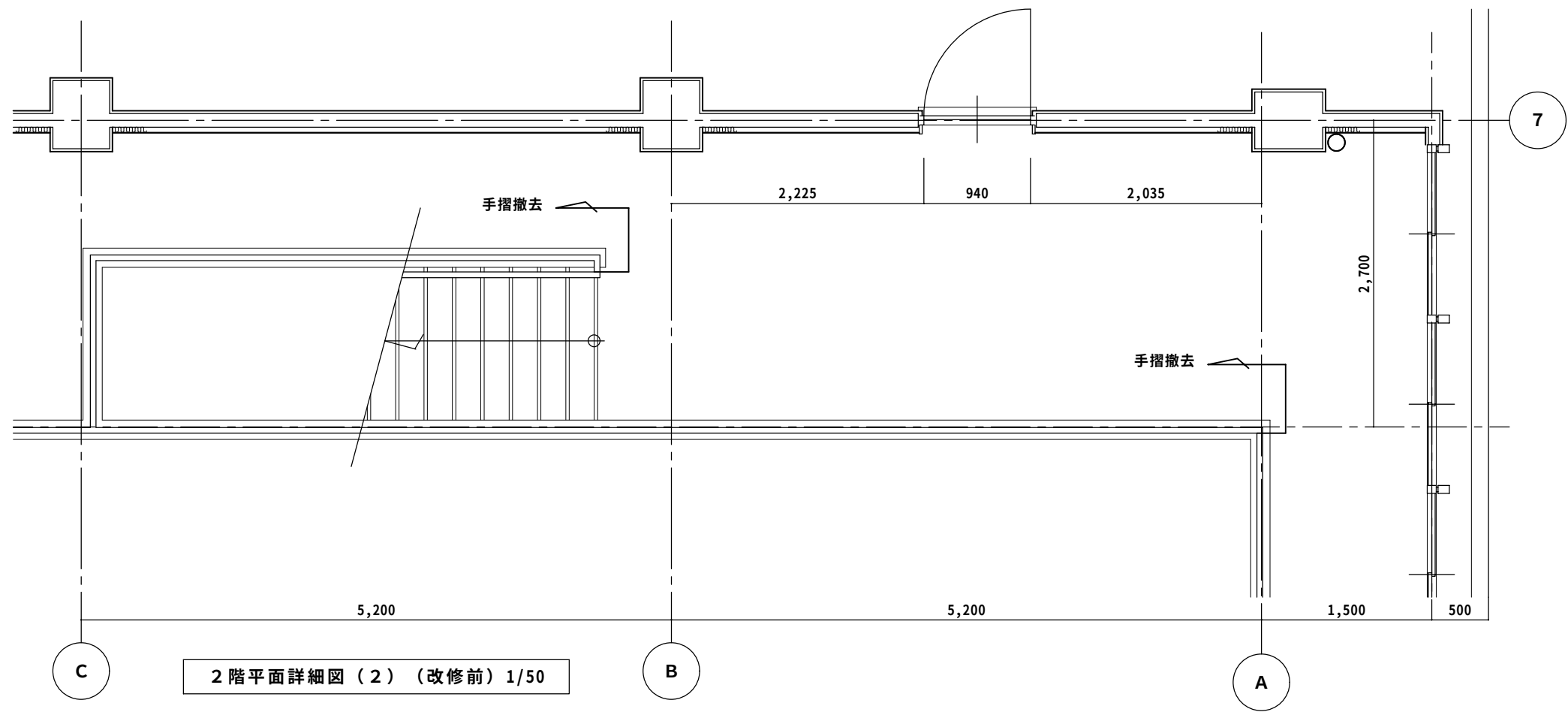
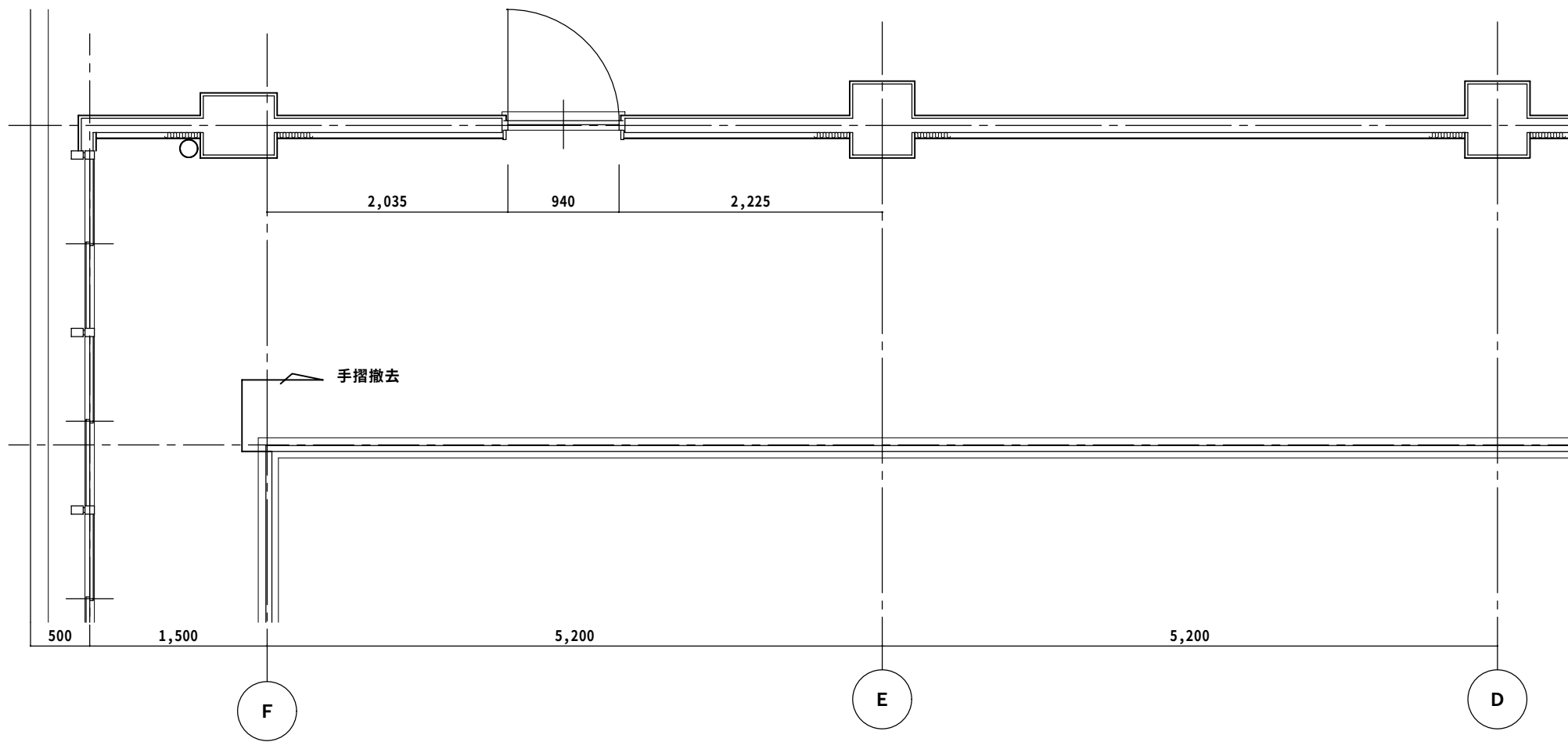


倉庫入口

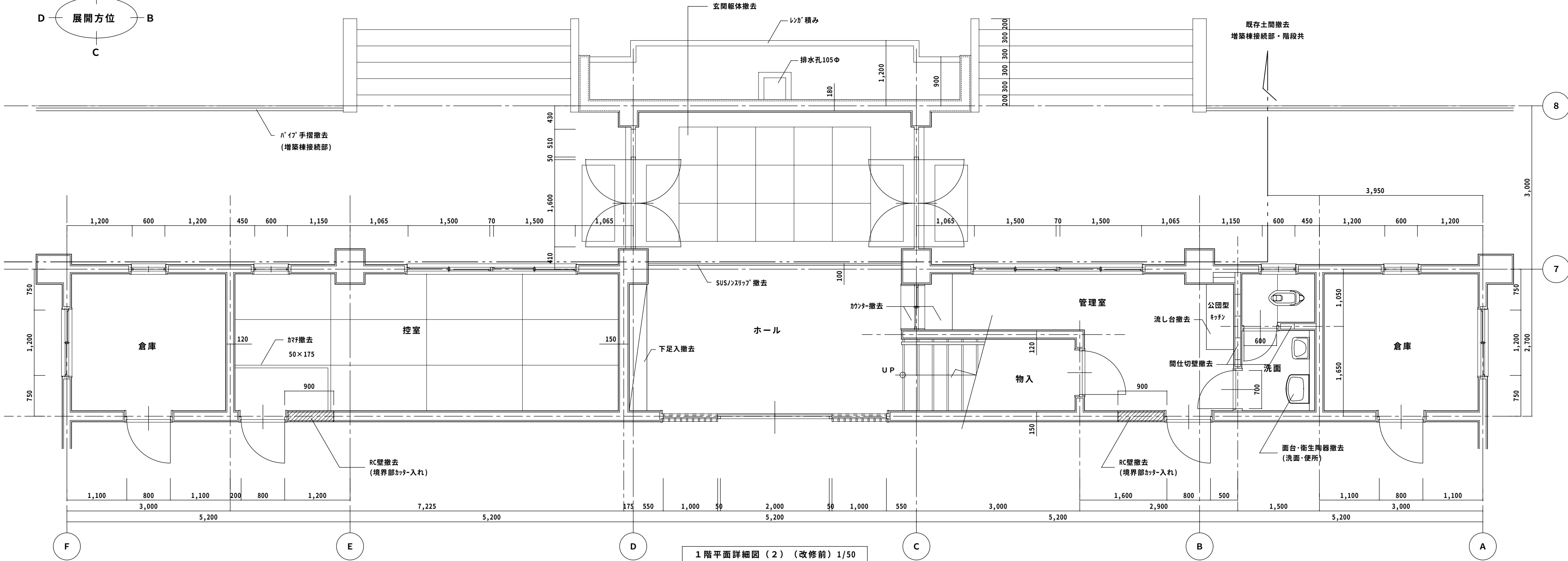
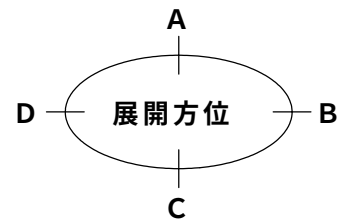


特 記 :

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	平面詳細図 (1) (改修前)			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 6 5	S = 1 : 50	年 月	第 102935 号
					TEL 088-622-0883
					FAX 088-622-0885



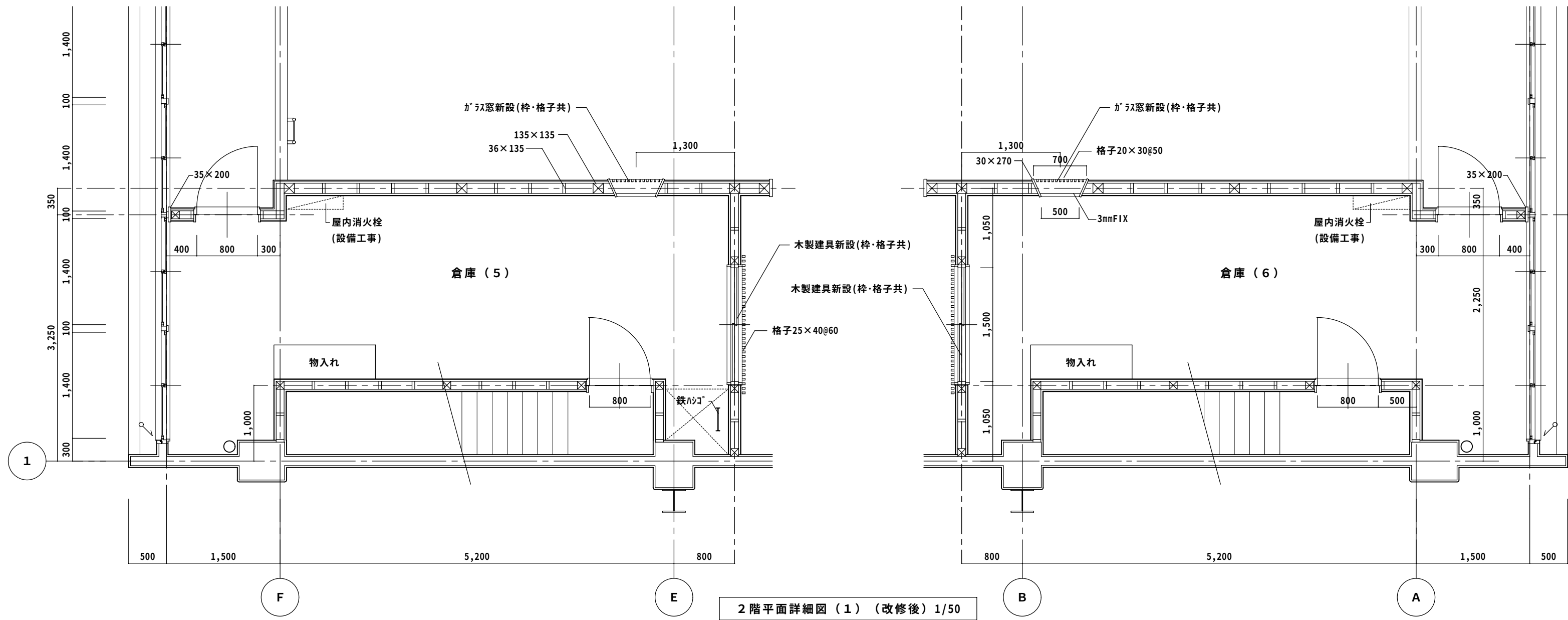
2 階平面詳細図（2）（改修前）1/50



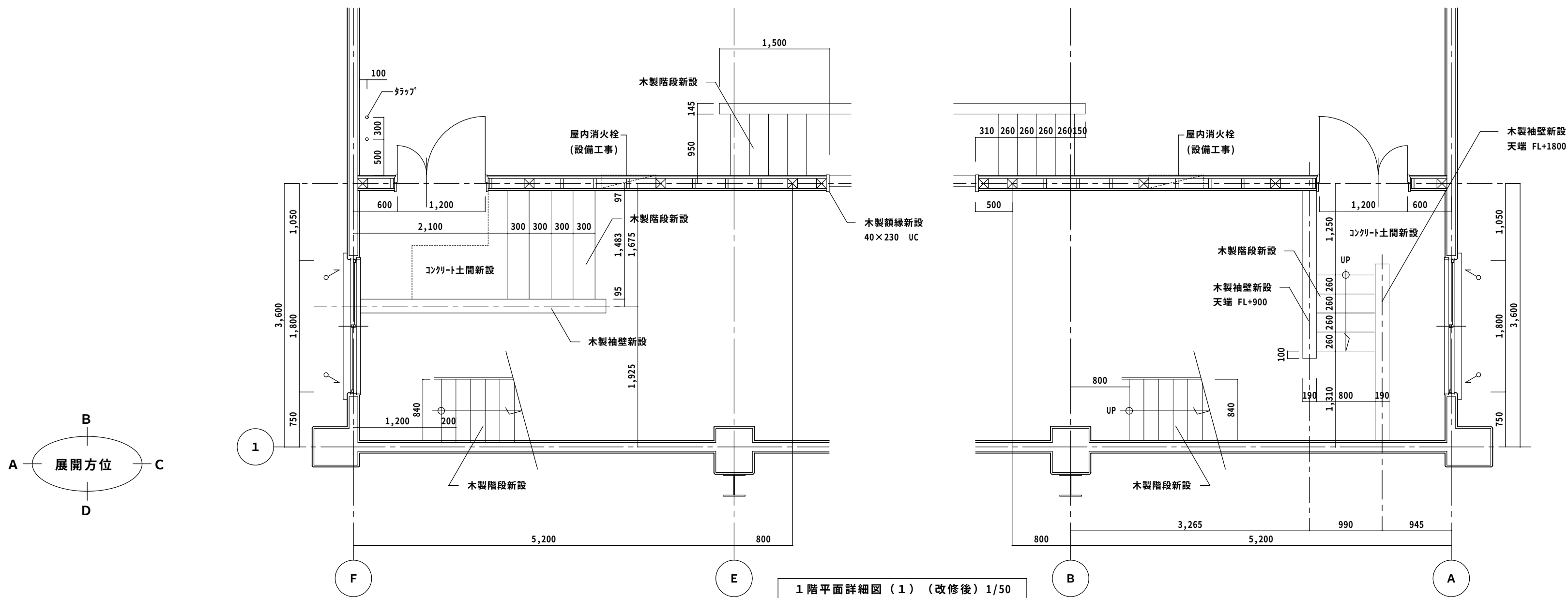
1 階平面詳細図（2）（改修前）1/50

特 記 :

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	平面詳細図（2）（改修前）			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A — 6 6	S = 1 : 50	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
				FAX 088-622-0885	



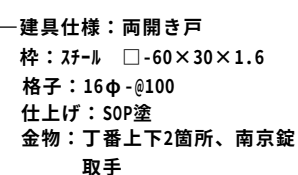
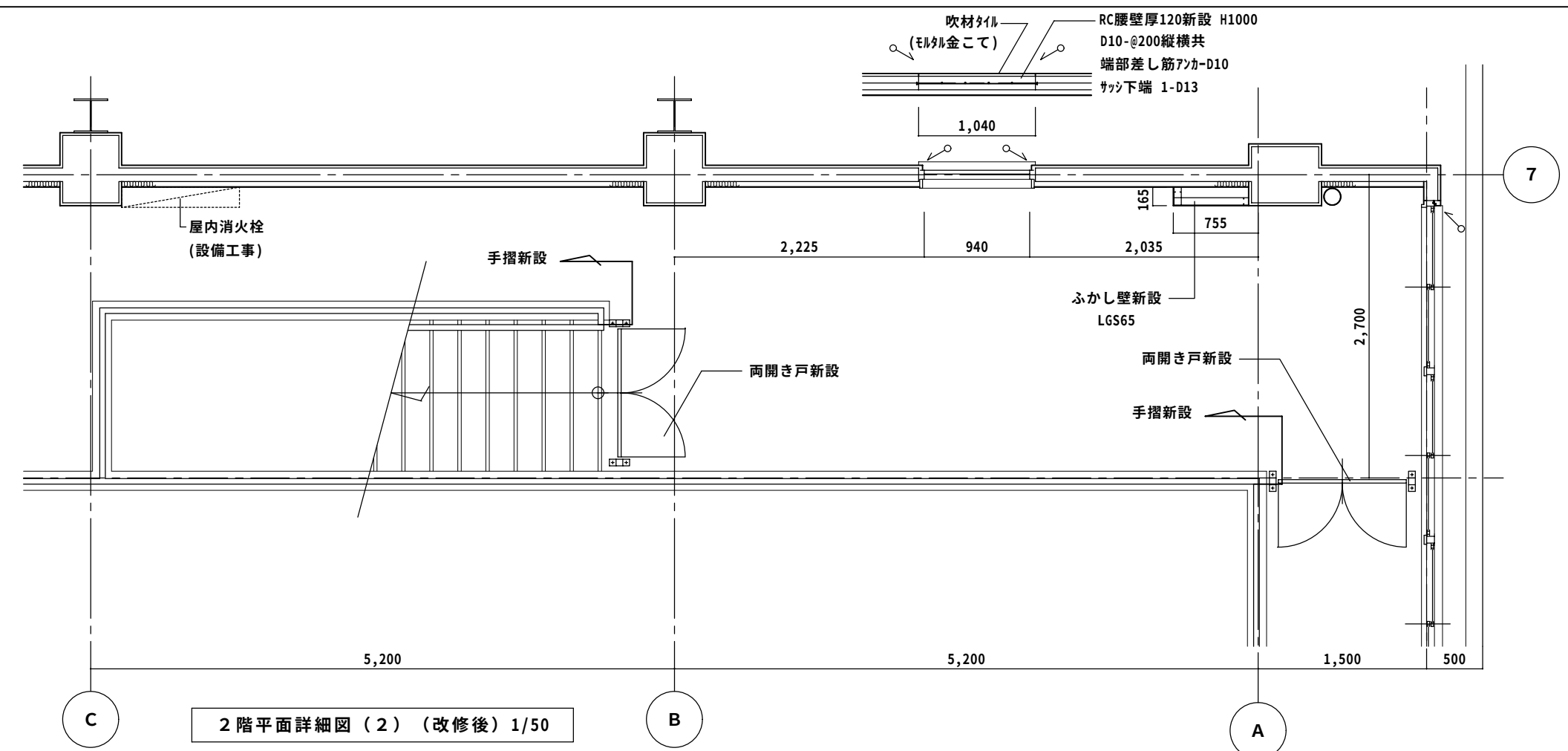
2 階平面詳細図 (1) (改修後) 1/50



1 階平面詳細図 (1) (改修後) 1/50

特記：特記なき限り、鉄部及び木部見え掛りはSOP塗（既存部はSOP塗替）とする。
図中○はシーリングを示す。

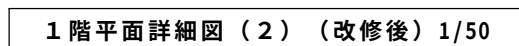
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	平面詳細図 (1) (改修後)			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	— 67	S = 1 : 50	年 月	第 102935 号
					TEL 088-622-0883
					FAX 088-622-0885



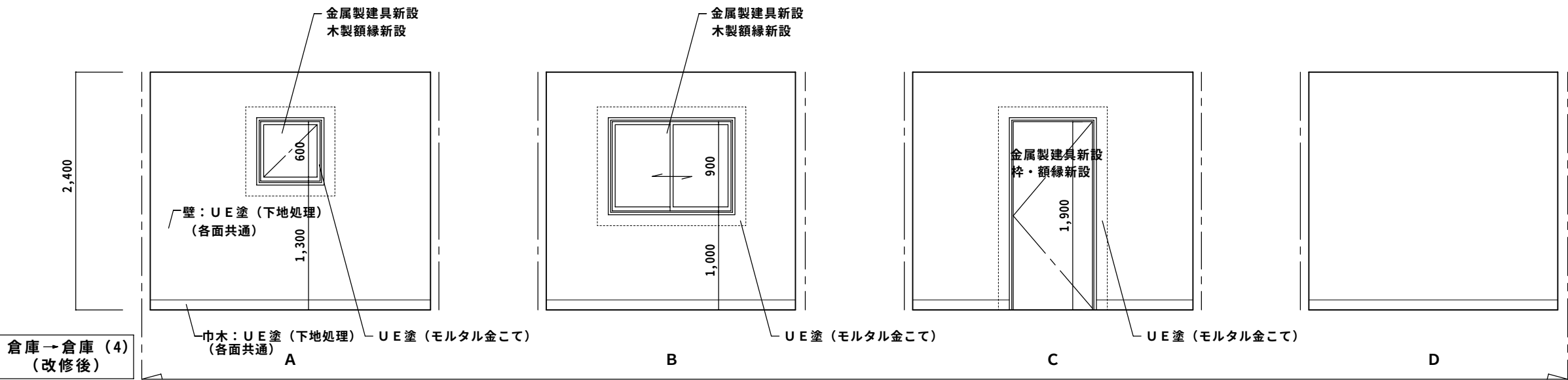
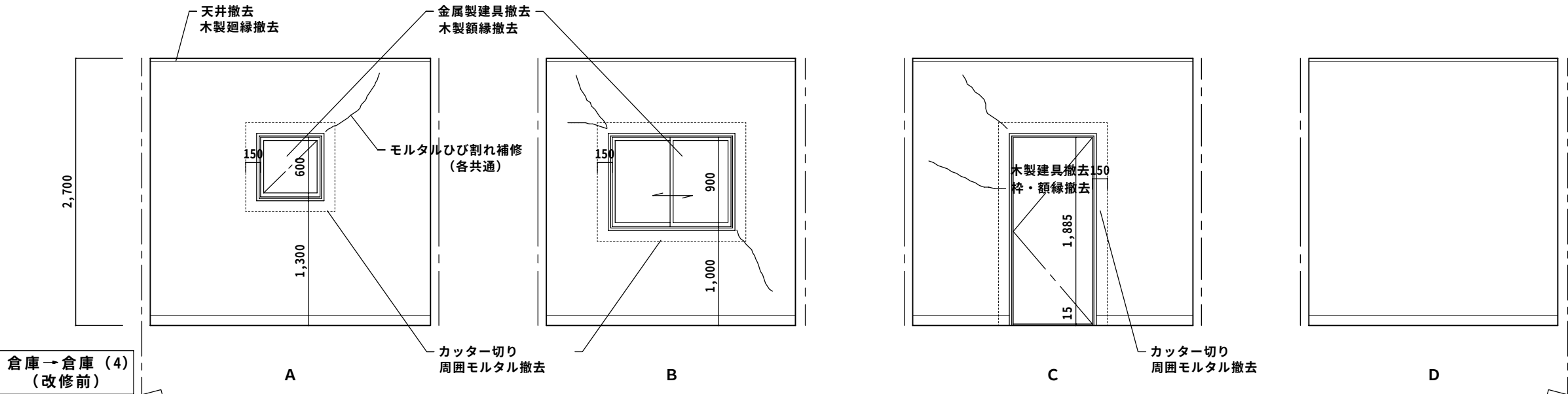
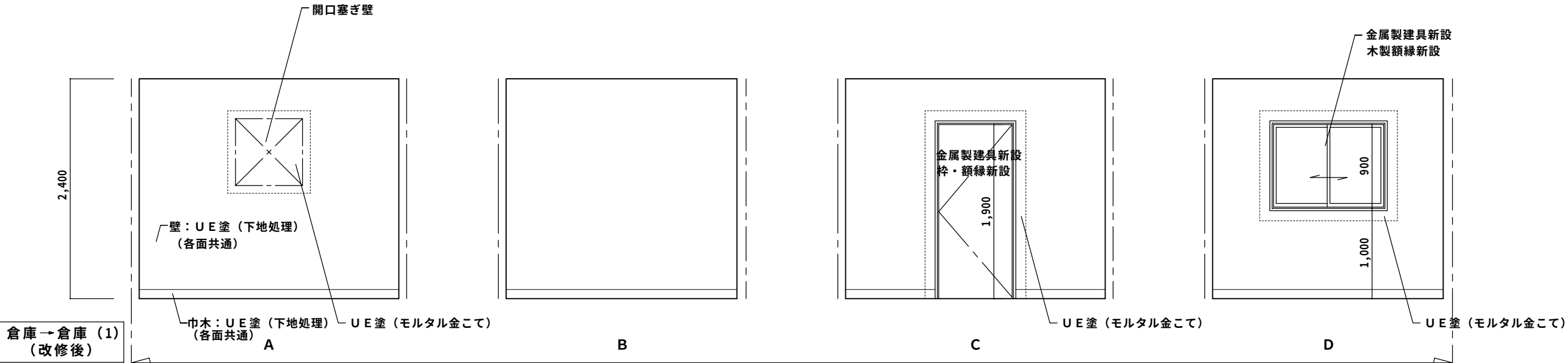
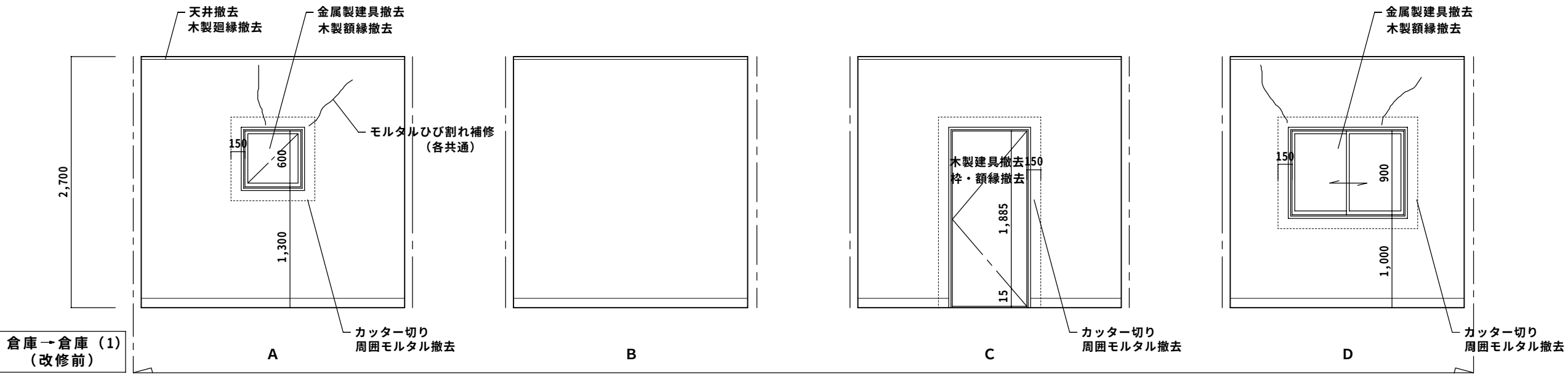
差し筋7カ-D13×2

PL-3.2 60×180

A diagram of a four-pointed star shape, resembling a cross with rounded ends. The points are labeled A (top), B (right), C (bottom), and D (left). The text "展開方位" (Exposition Direction) is written inside the star.

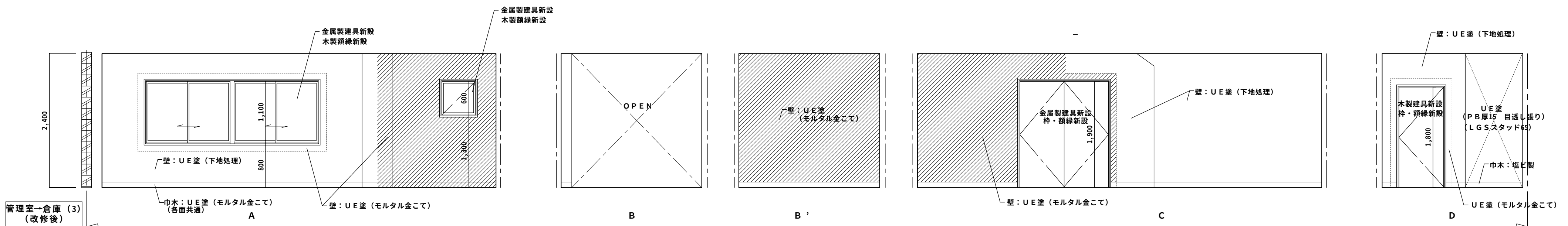
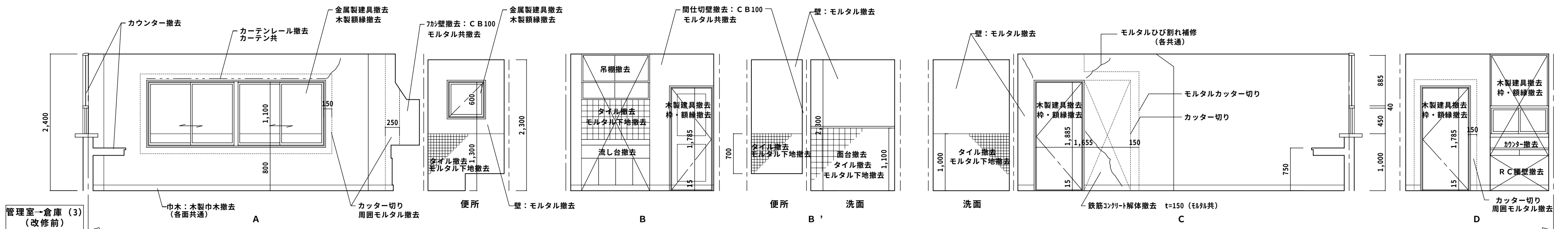
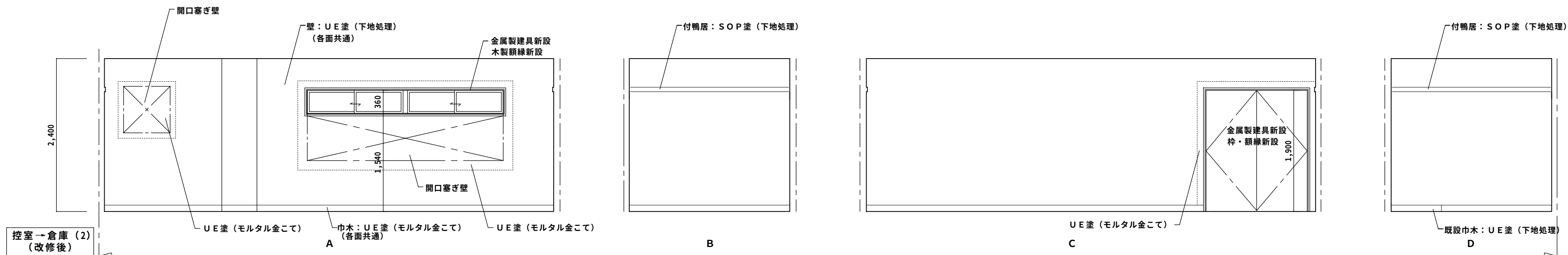
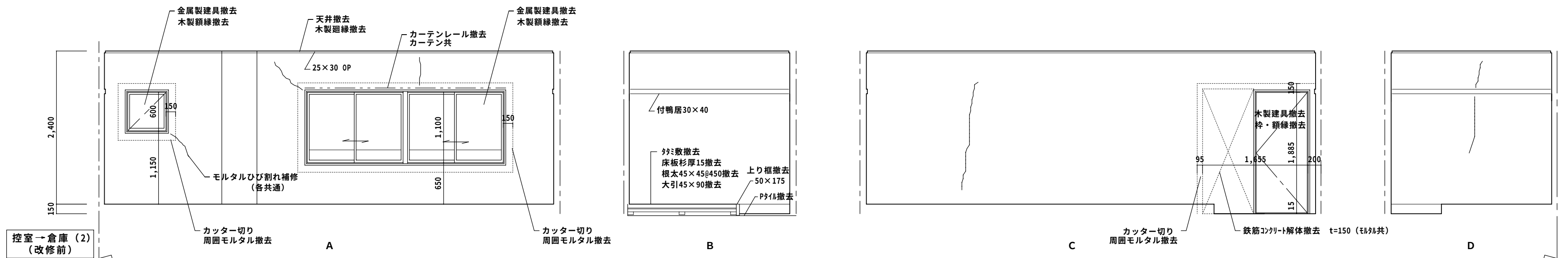


株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
徳島市新蔵町 1 丁目 51-1	1 級建築士登録
TEL 088-622-0883	第 102935 号
FAX 088-622-0885	



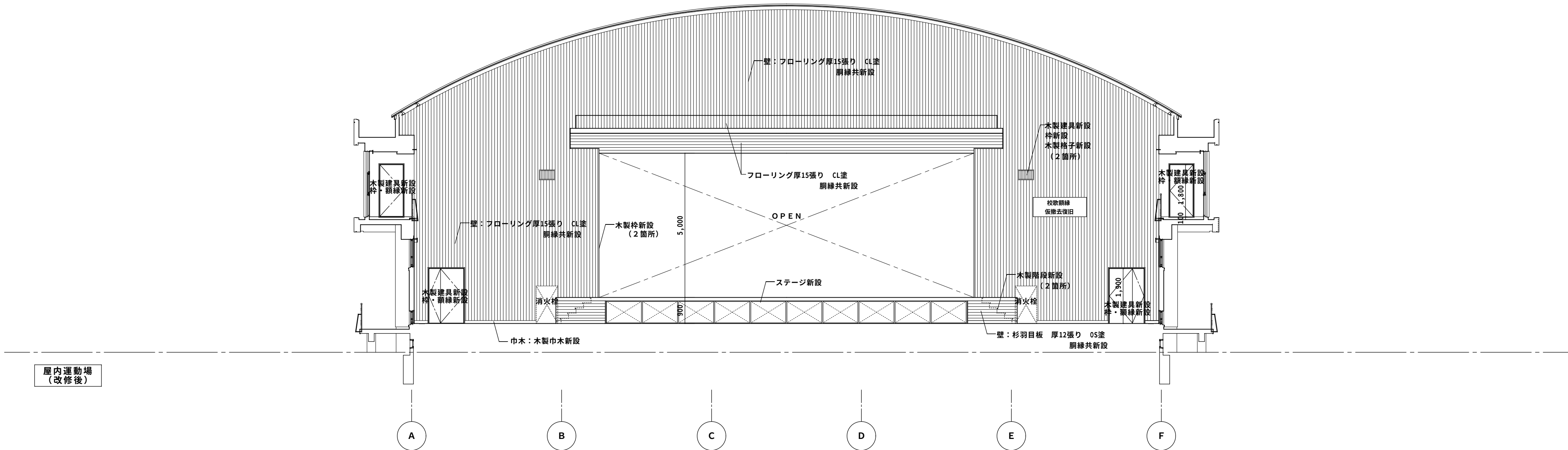
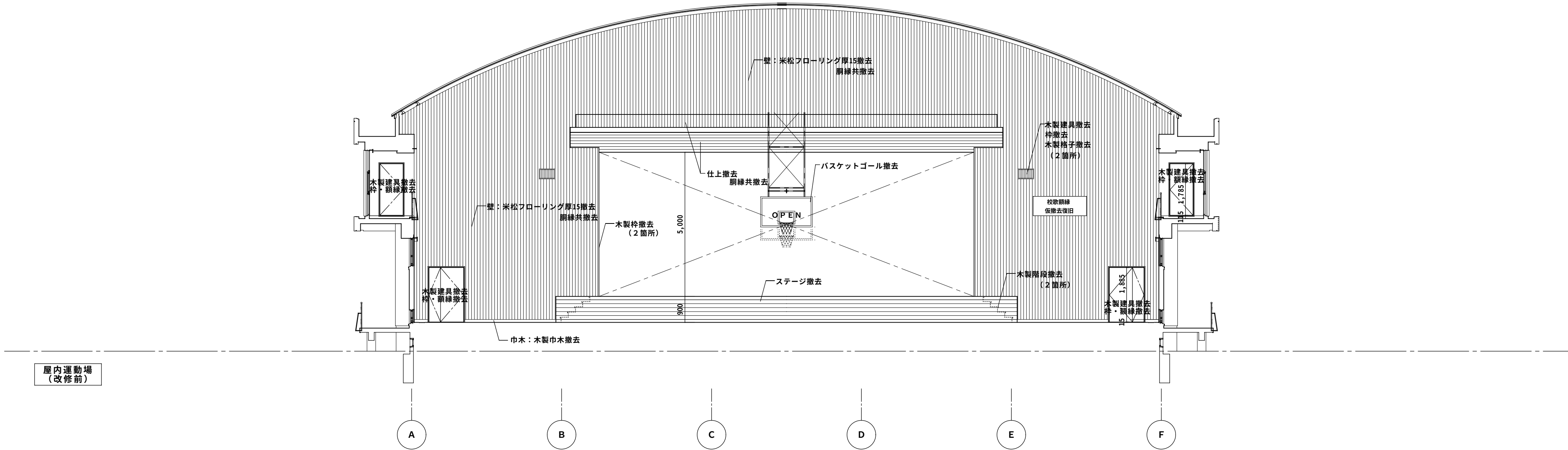
特 記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	展開図 (1) (改修前) (改修後)				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 6 9	S = 1 : 50	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



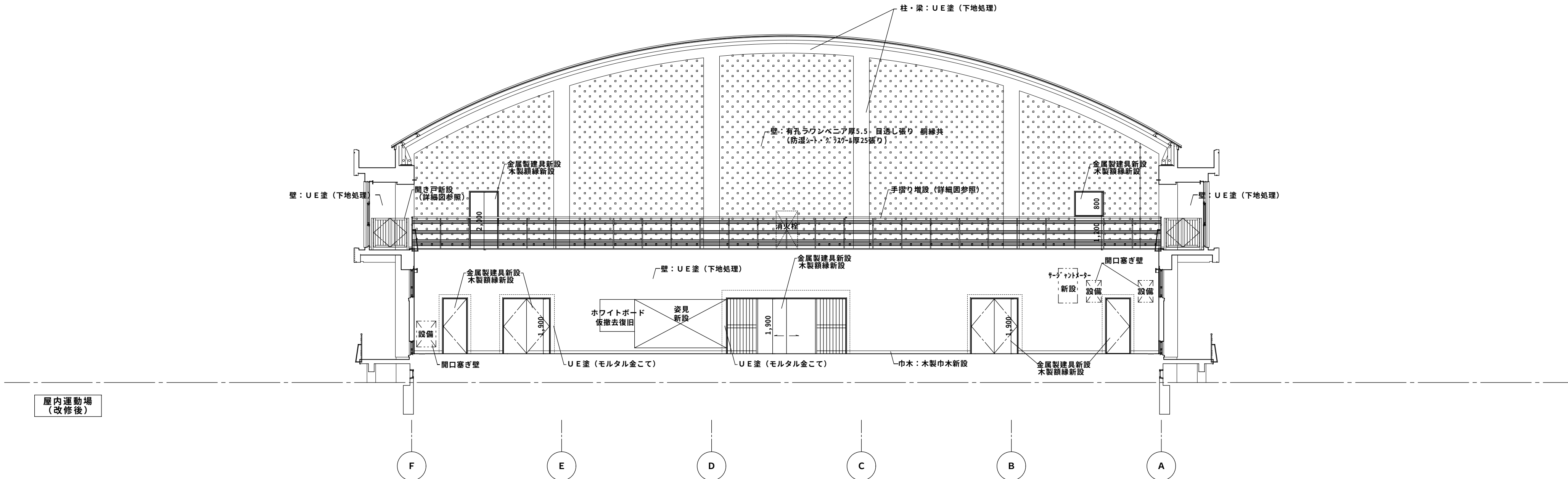
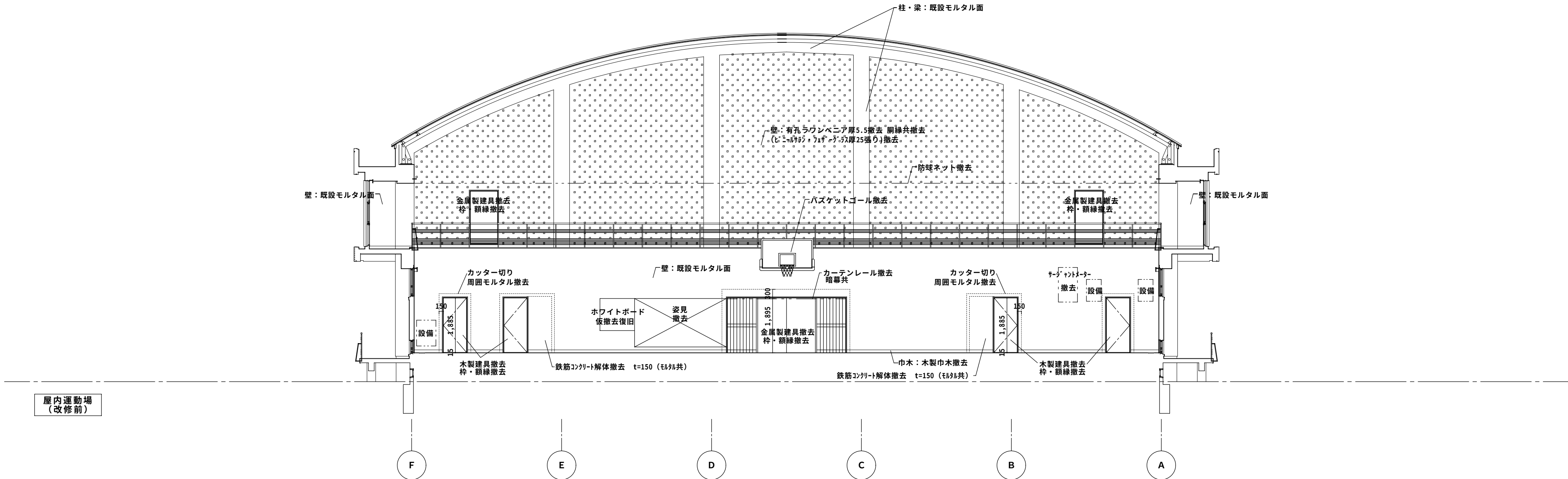
特 記 :

工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	展開図（２）（改修前）（改修後）				徳島市新蔵町１丁目51-1	１級建築士登録
図 番	A — 7 0	S = 1 : 50	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

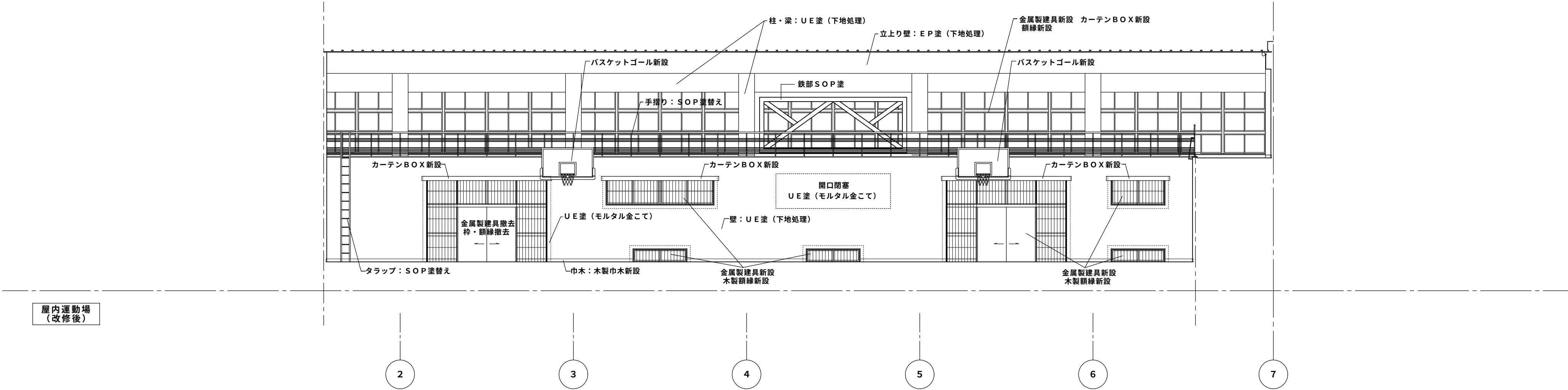
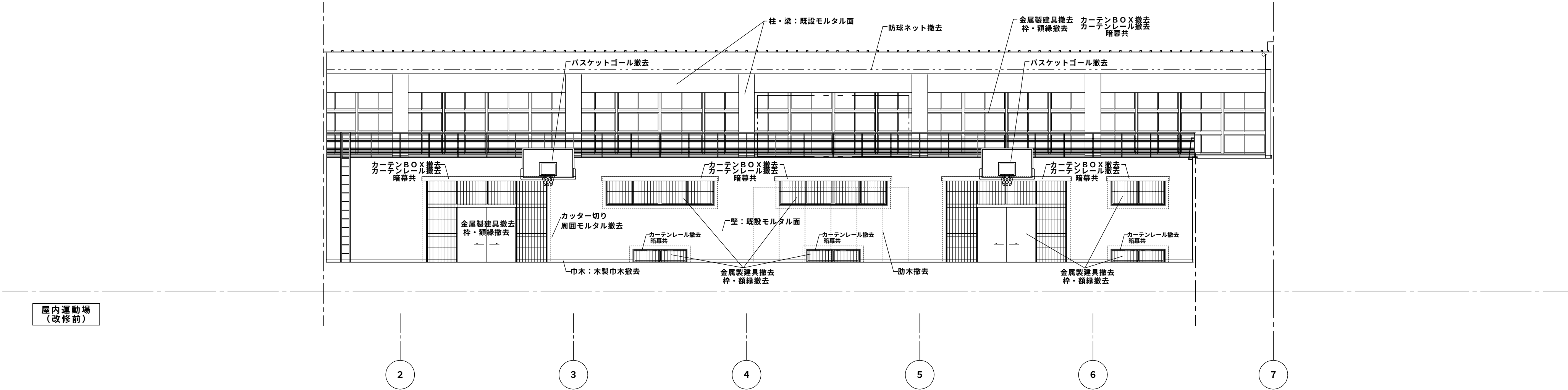


特記：

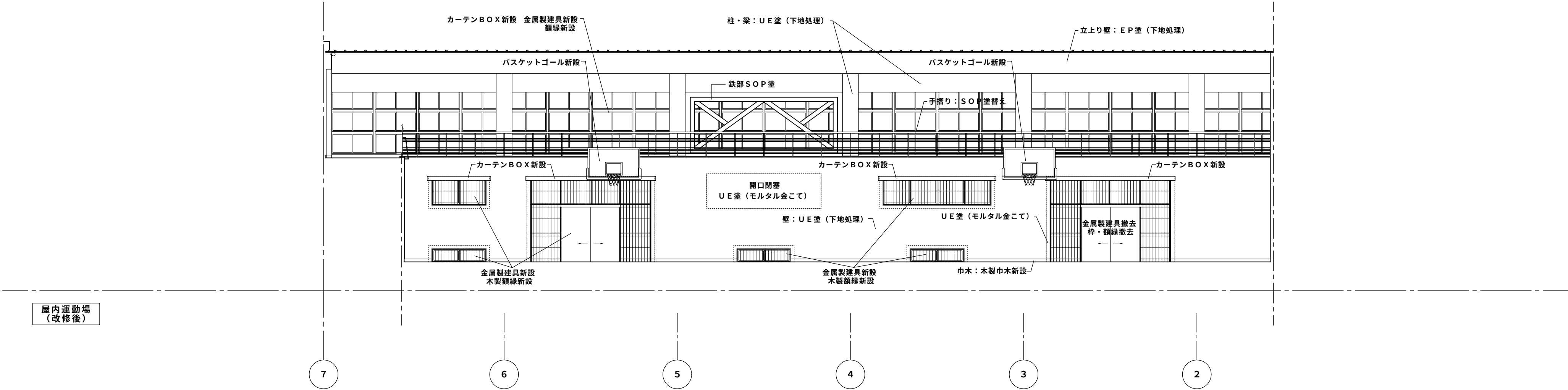
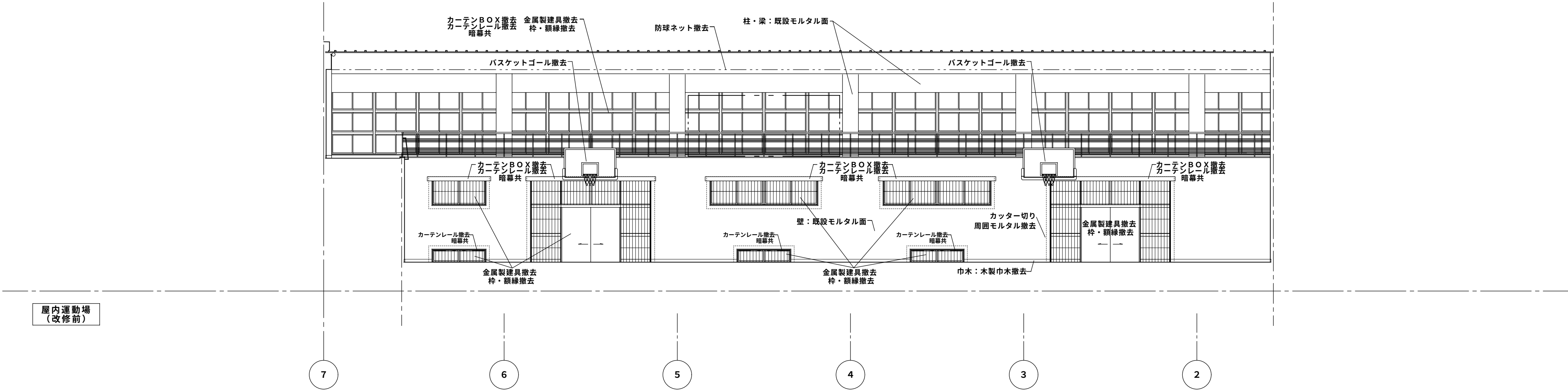
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	展開図 (3) (改修前) (改修後)				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	— 71	S = 1 :	100	年 月	第 102935 号
					TEL 088-622-0883	FAX 088-622-0885



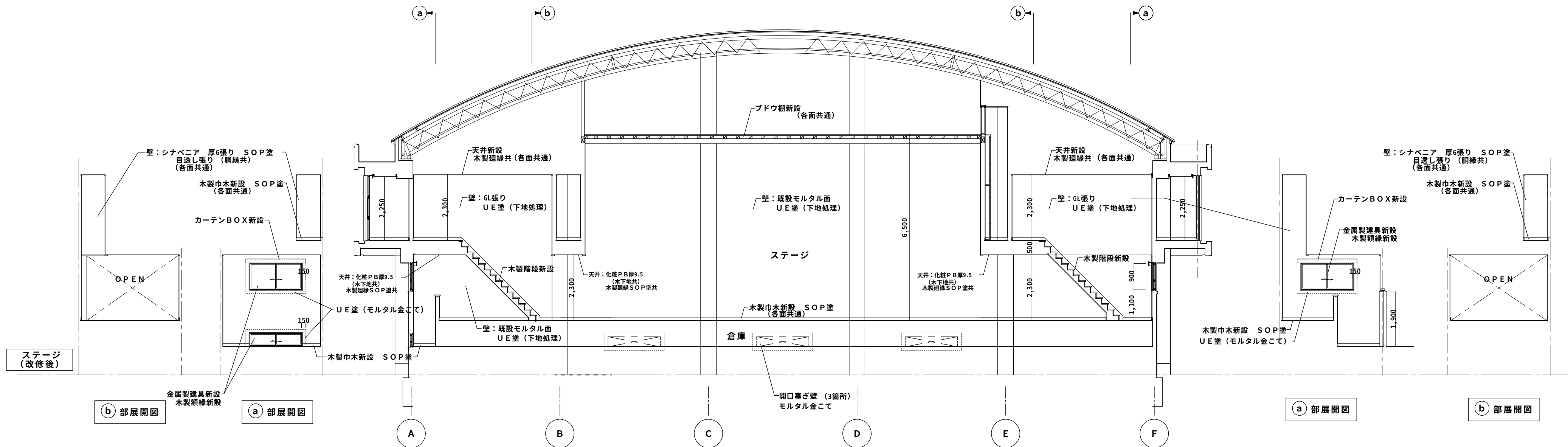
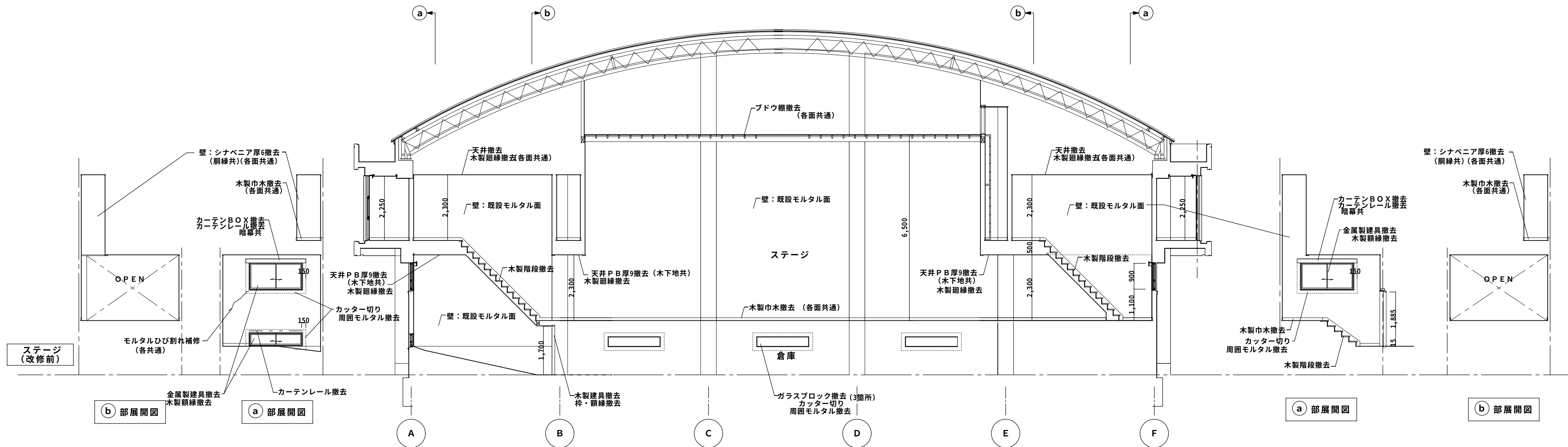
特記：	工事名 相生体育館耐震補強・改修及び増築工事					株式会社 剛 建築事務所 速水可次	
	名称 展開図(4) (改修前) (改修後)					徳島市新蔵町1丁目51-1 1級建築士登録	
	図番 A — 72 S = 1 : 100 年 月					TEL 088-622-0883 第 102935 号	
						FAX 088-622-0885	



特記：	工事名				相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所				速水可次			
	名 称				展開図（5）（改修前）（改修後）							徳島市新蔵町1丁目51-1 1級建築士登録				
	図 番				A — 7 3 S = 1 : 100 年 月							TEL 088-622-0883 第 102935 号				
											FAX 088-622-0885					

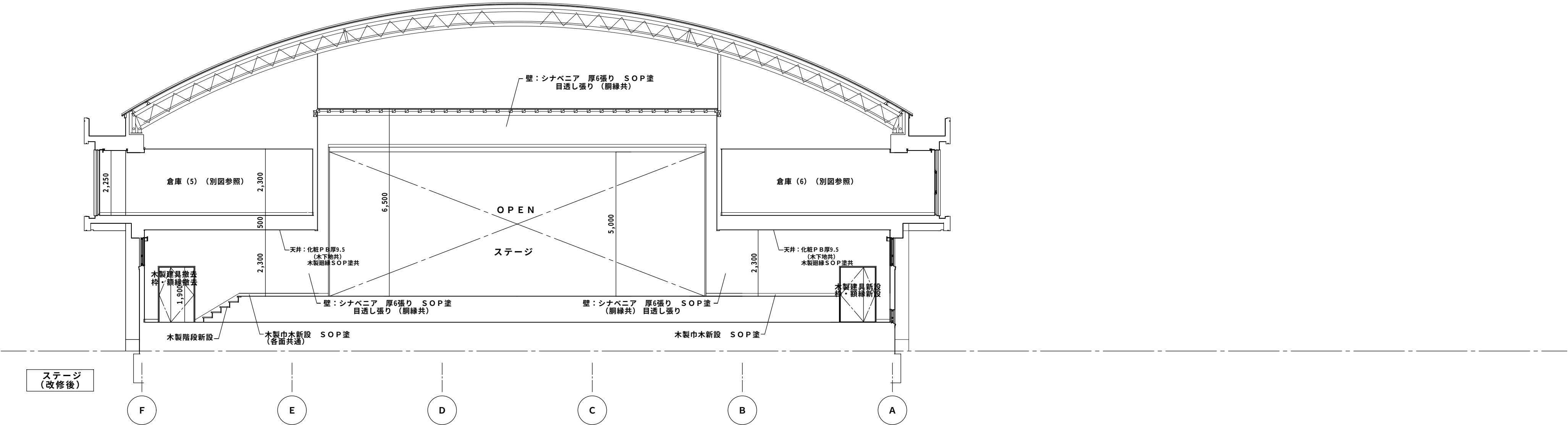
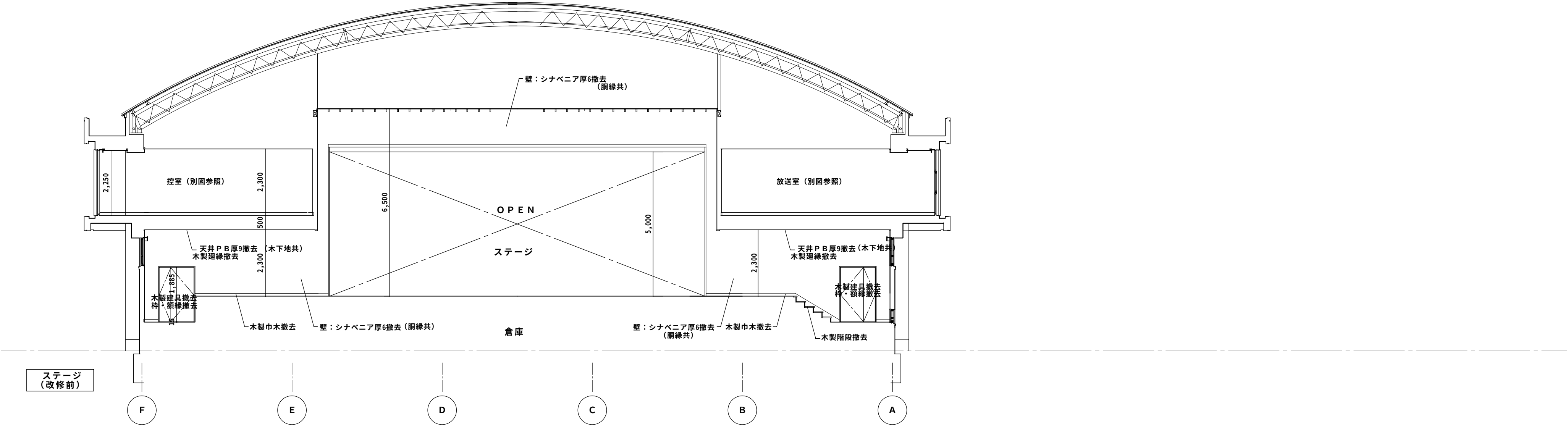


特記：	工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水可次
	名 称	展開図（6）（改修前）（改修後）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
	図 番	A — 74	S = 1 : 100	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
						FAX 088-622-0885	

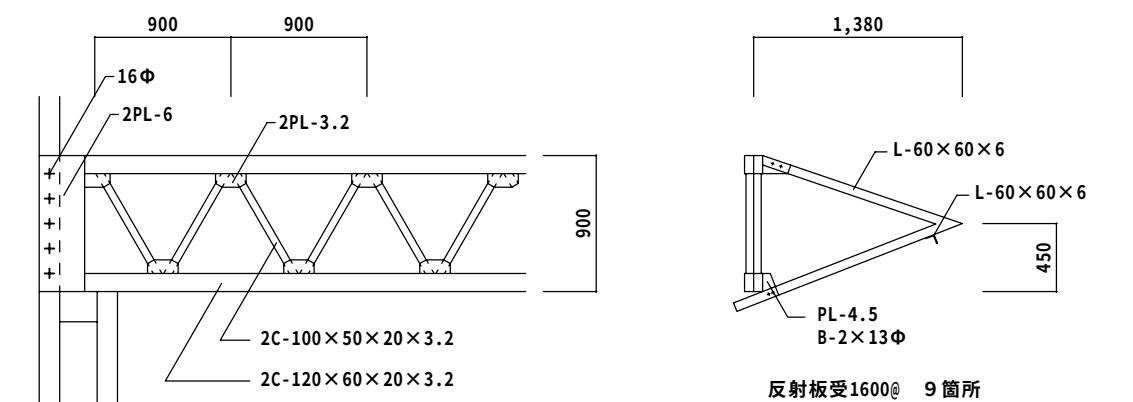
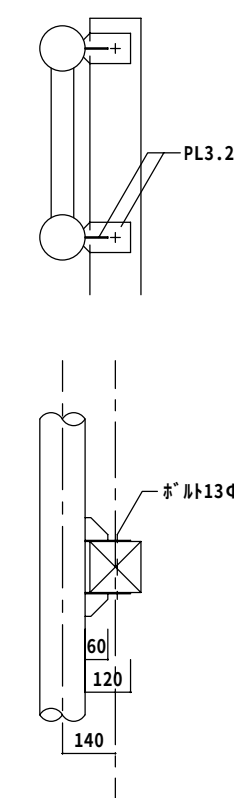
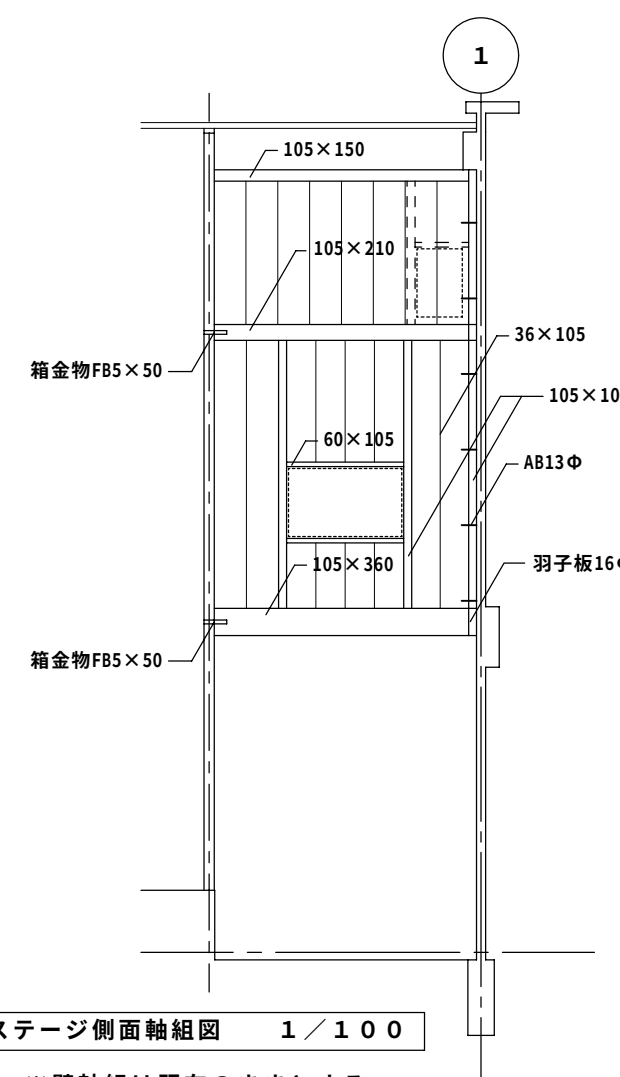
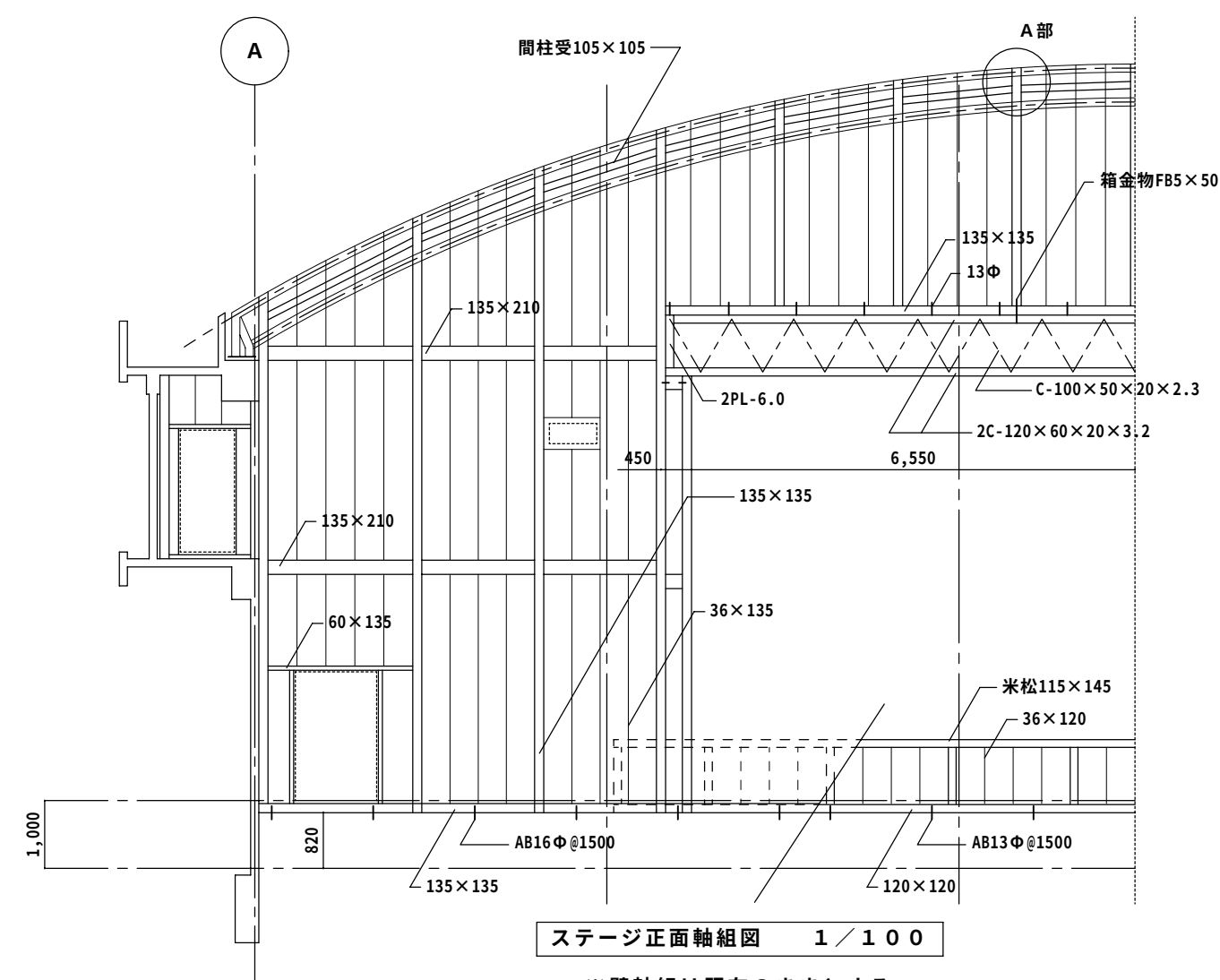
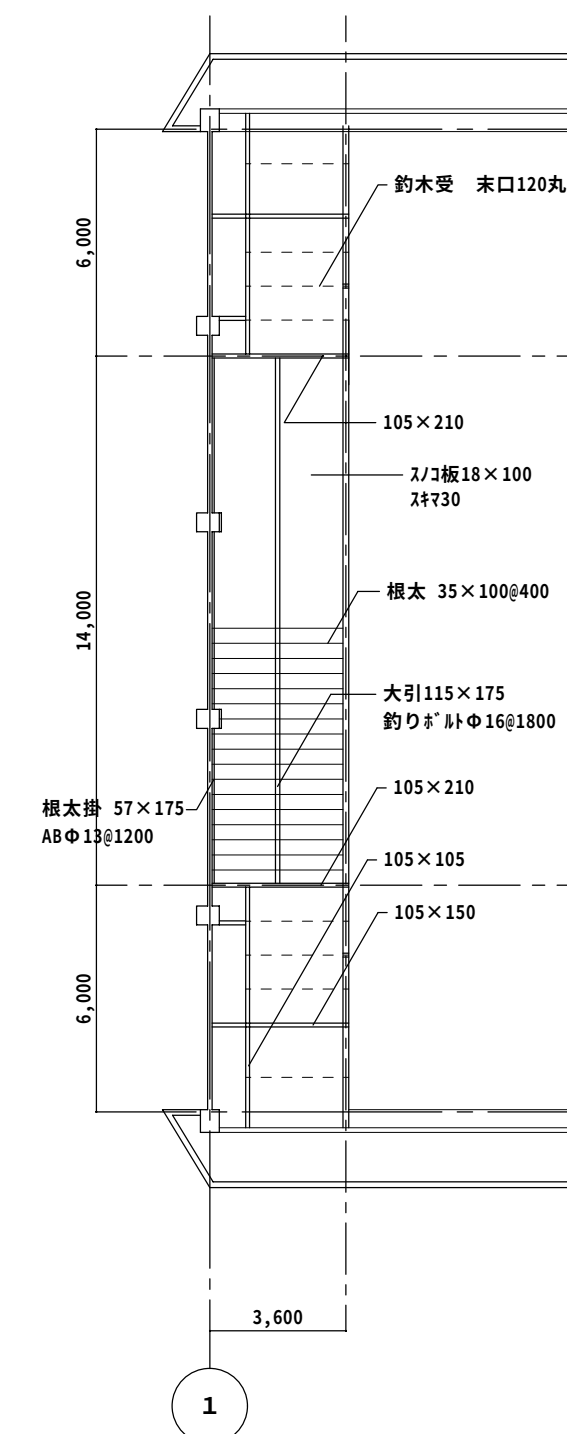
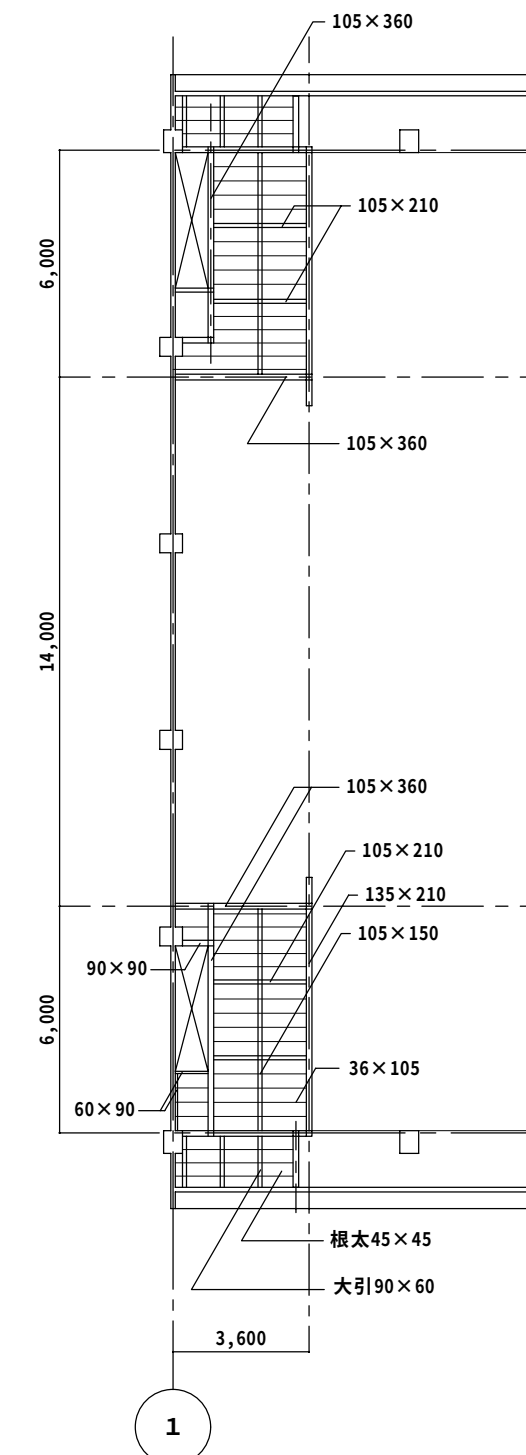
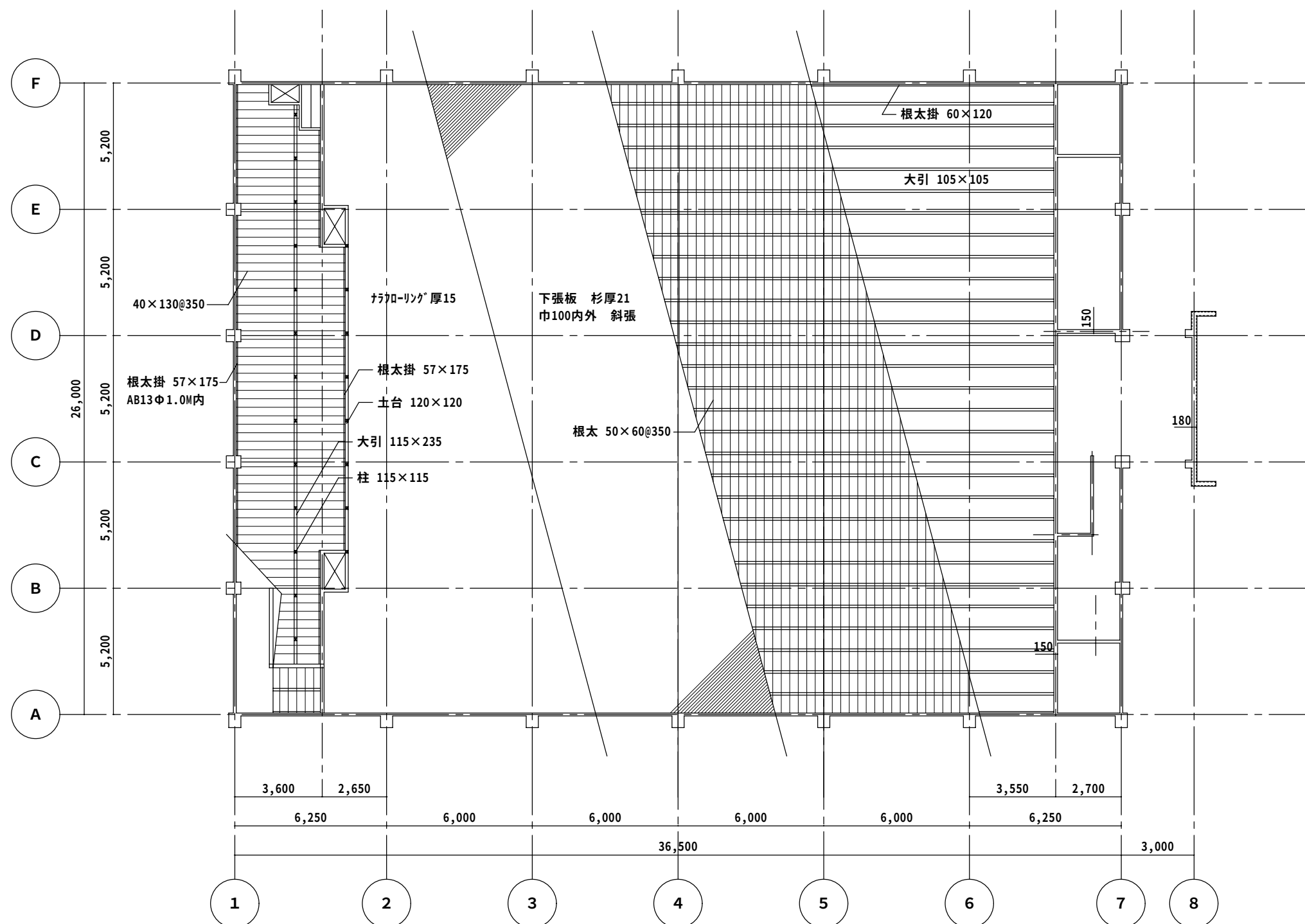


特 記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	展開図 (7) (改修前) (改修後)			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 7 5	S = 1 : 100	年 月	TEL 088-622-0883 第 102935 号
					FAX 088-622-0885

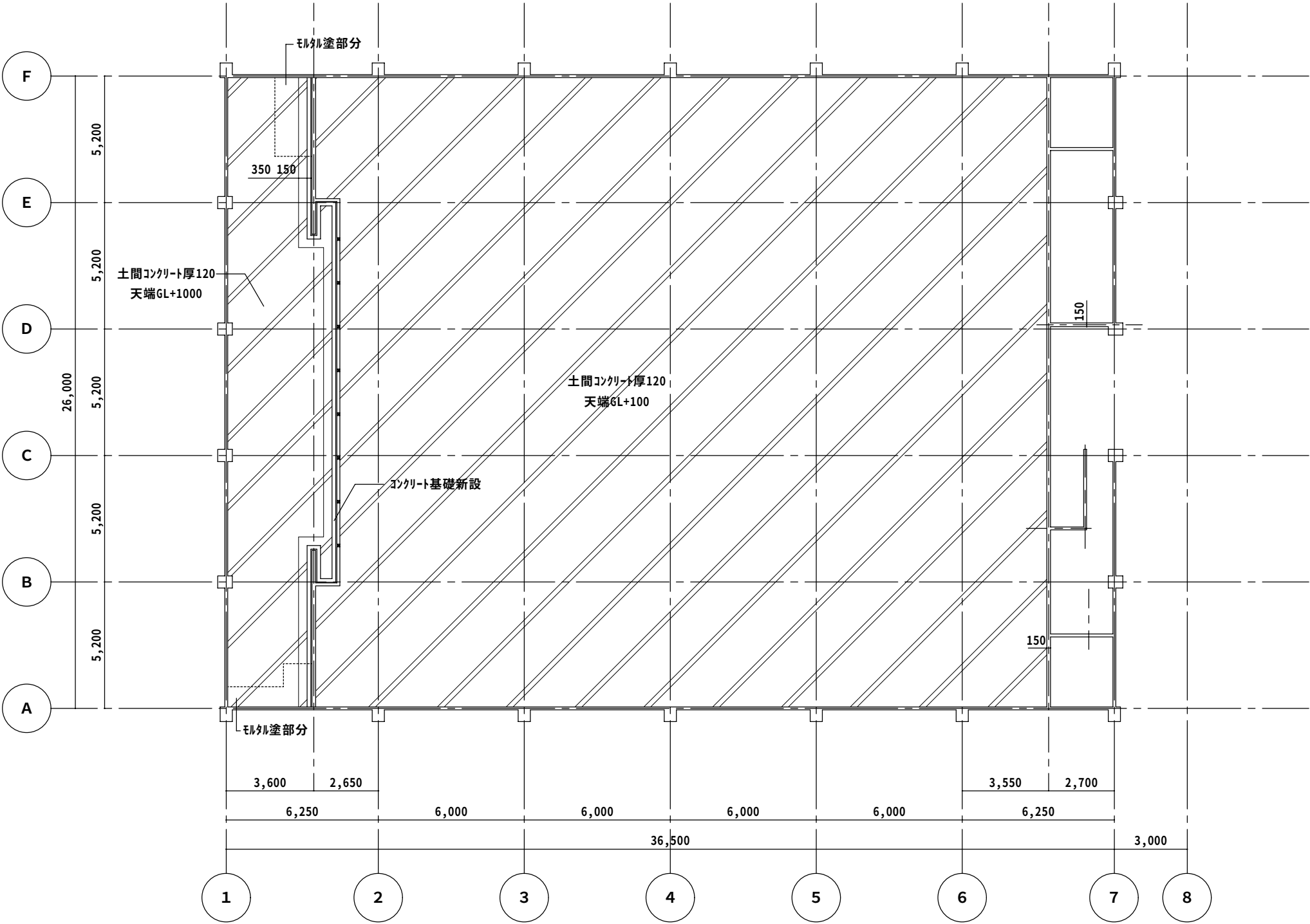


特記：	工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事					株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町 1 丁目 51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速水可次 1級建築士登録 第 102935 号
	名 称	展開図 (8) (改修前) (改修後)						
	図 番	A — 7 6	S = 1 : 100	年 月				

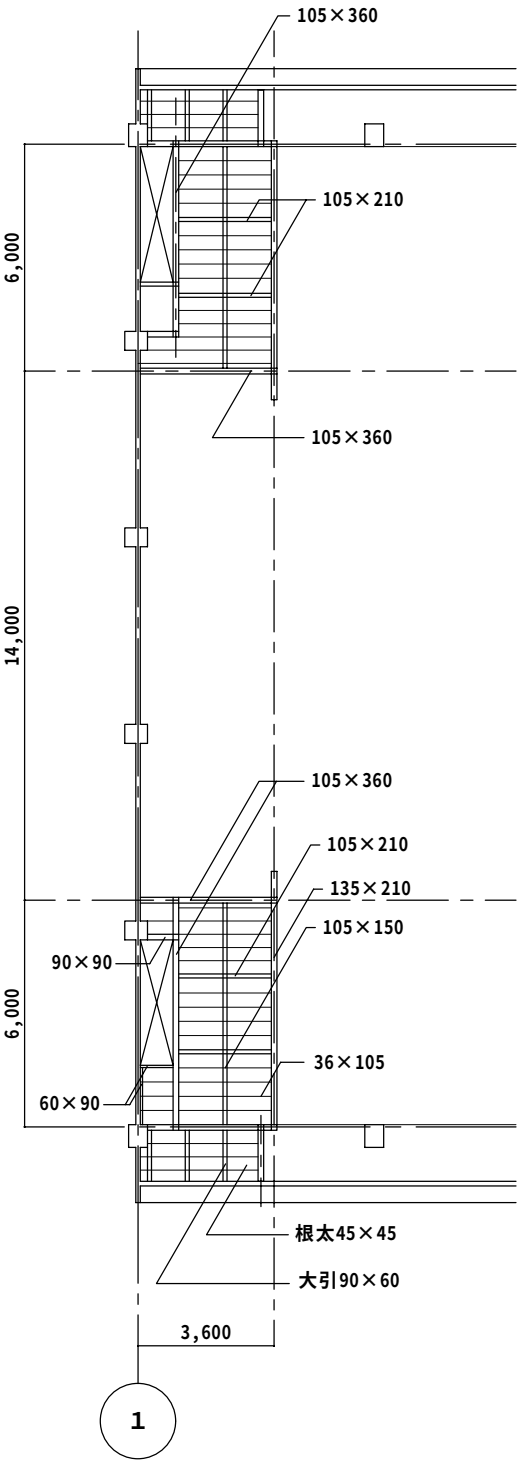


特 記：

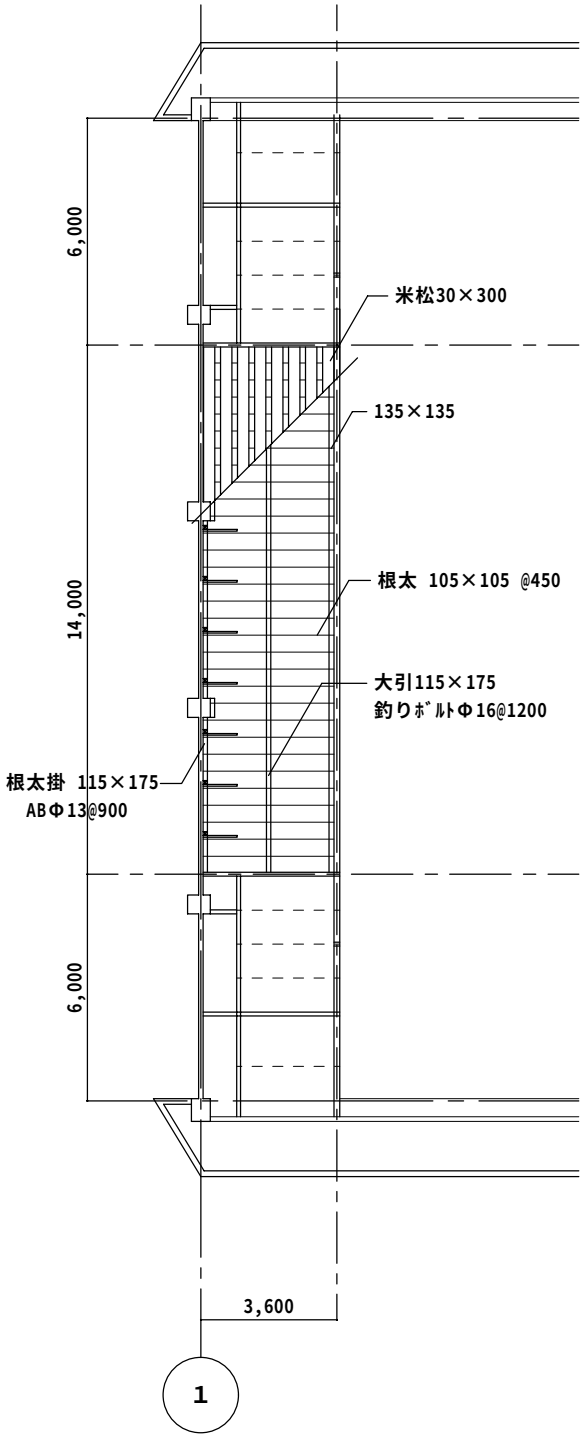
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	床伏図・軸組図（改修前）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A — 7 9	S = 1 : 100,200	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



1 階床伏図（改修後） 1/200



2 階床伏図（改修後） 1/200

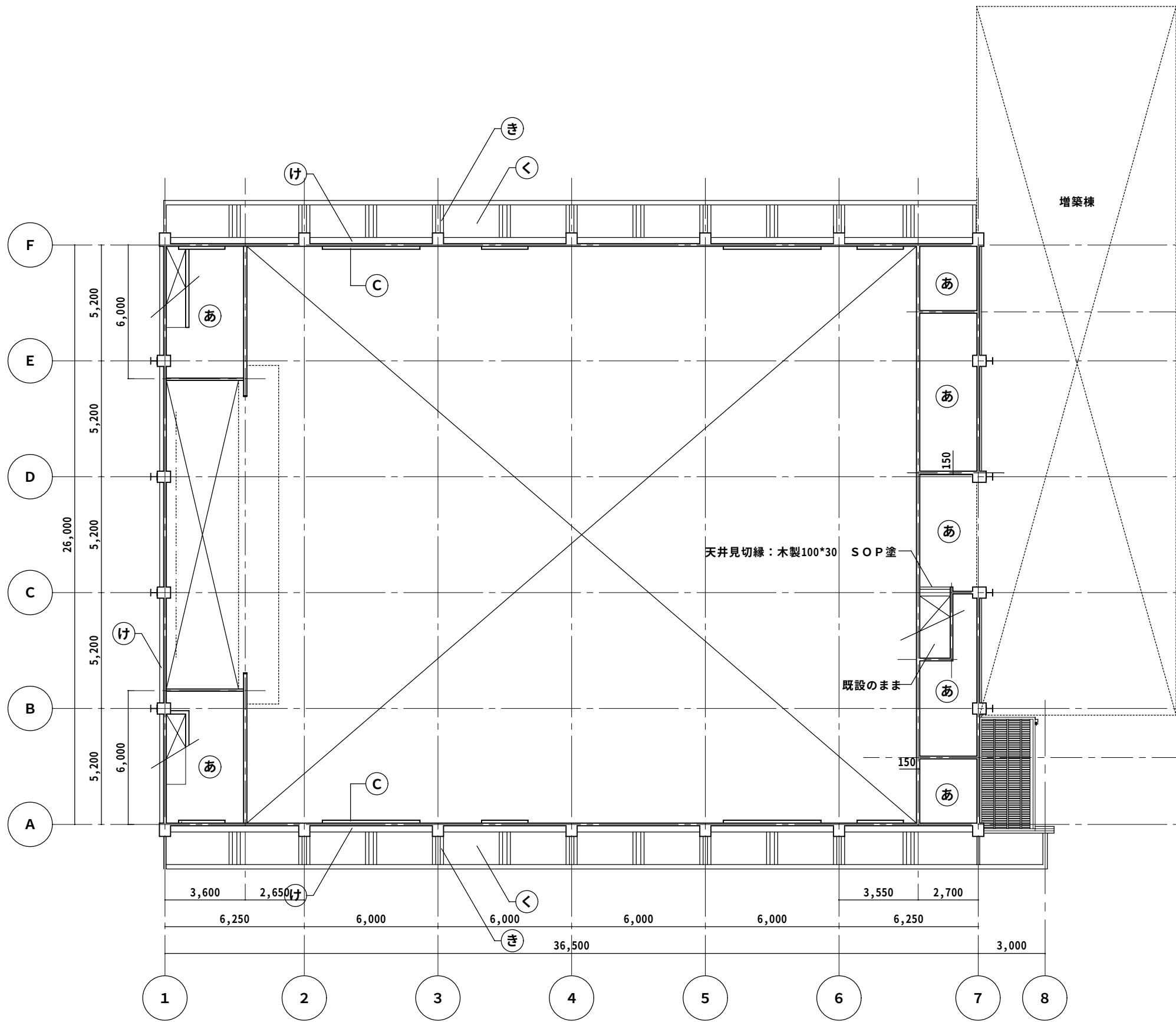


ブドウ棚床伏図（改修後） 1/200

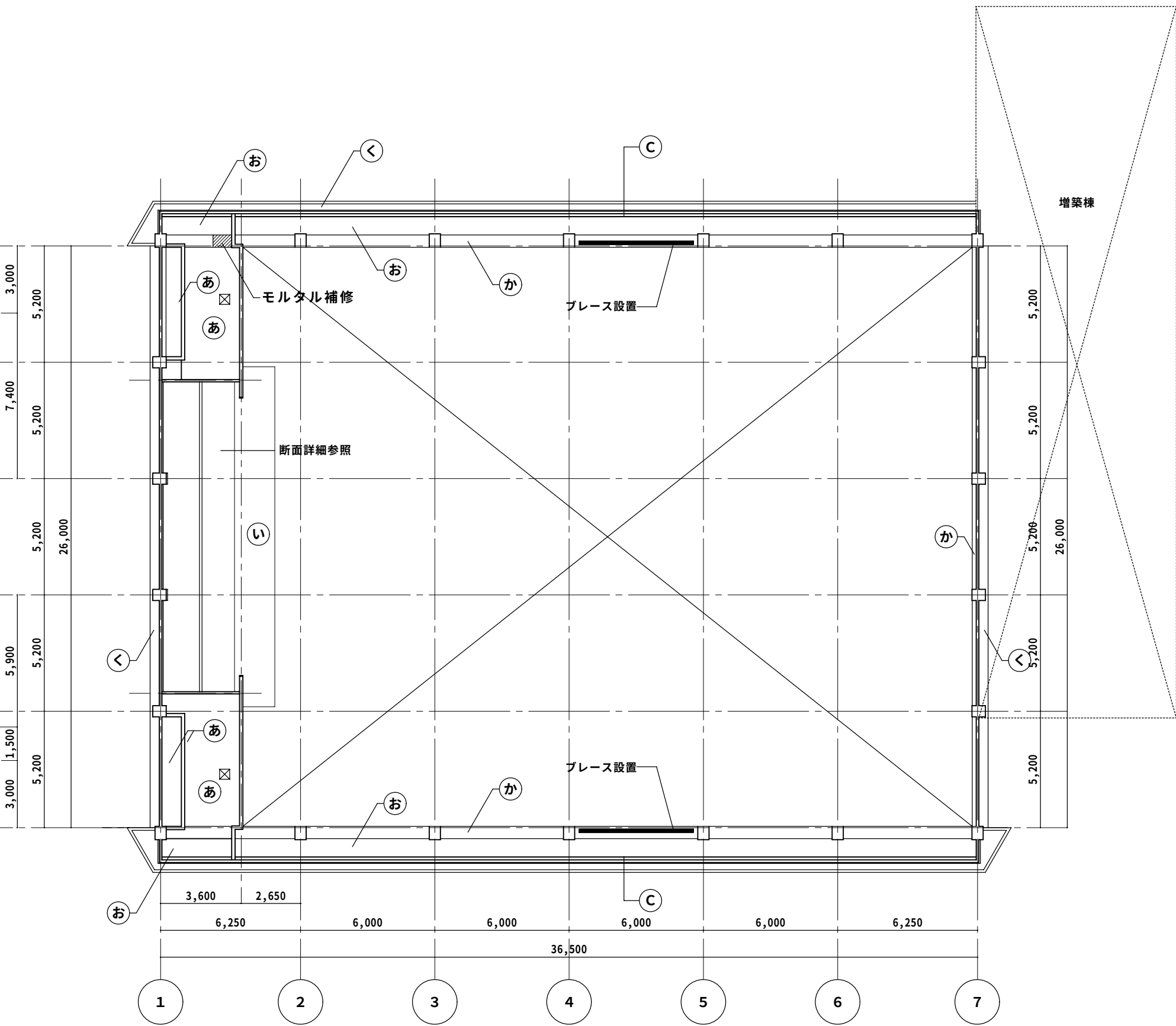
特 記 :

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事					株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	床伏図（改修後）						
図 番	A	— 80	S = 1 : 100,200	年 月			

天井仕上リスト					
㊦	化粧P B厚9.5	S下地	㊤	カーテンボックス	新設
㊨	フローリング 厚15張り C L 塗	木下地	☒	450各天井点検口	新設
㊩	－				
㊪	－				
㊫	有孔P B厚9.5 E P 塗	S下地			
㊬	U E 塗（下地処理）				
㊭	－				
㊮	アクリルリシン吹付（下地処理）				
㊯	弾性系吹付タイル（下地処理）				



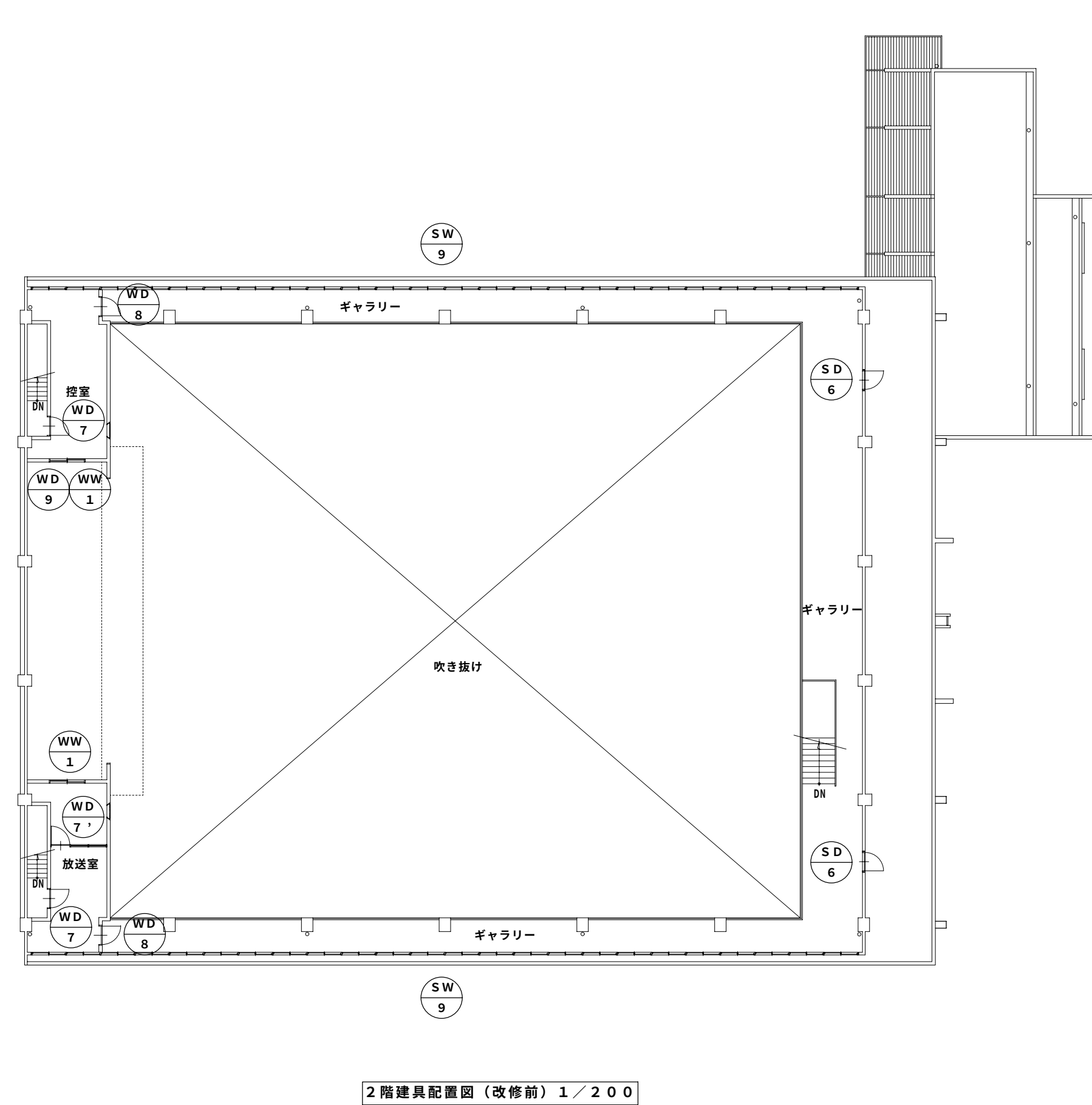
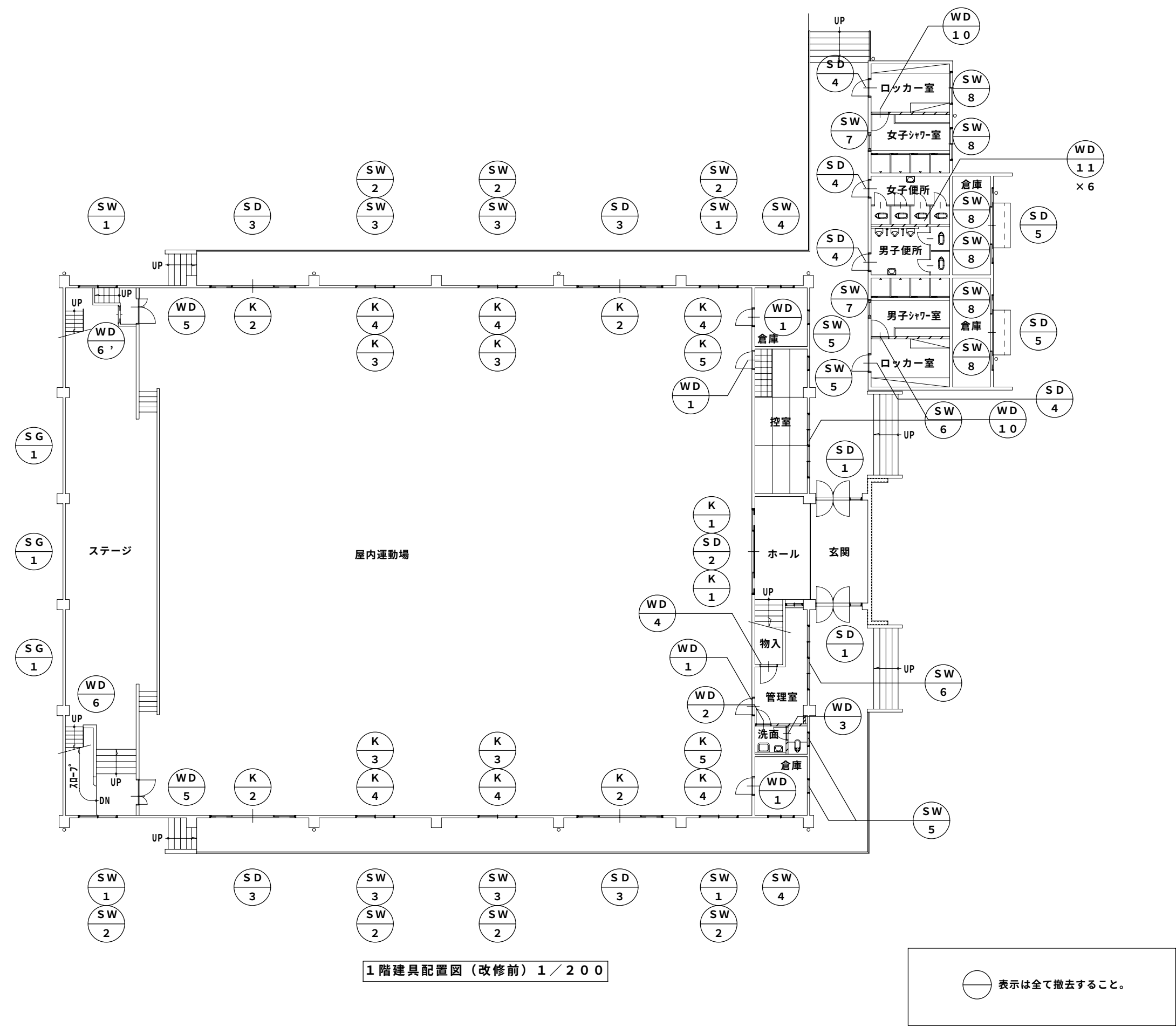
1階天井伏図（改修後） 1 / 200



2階天井伏図（改修後） 1 / 200

特記：

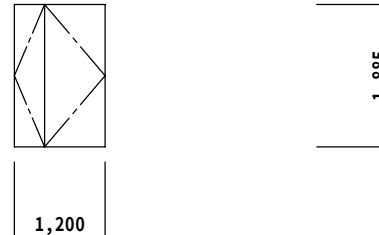
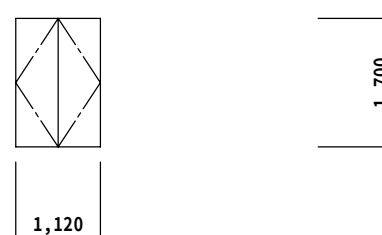
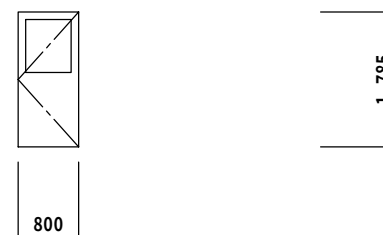
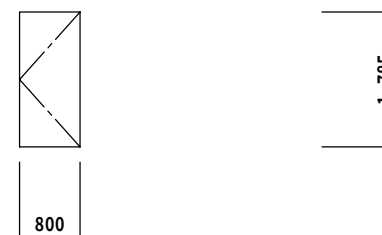
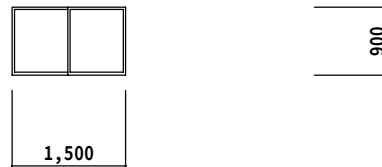
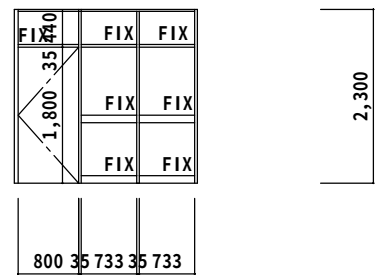
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	天井伏図（改修後）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	— 82	S = 1 : 200	年月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



特記：

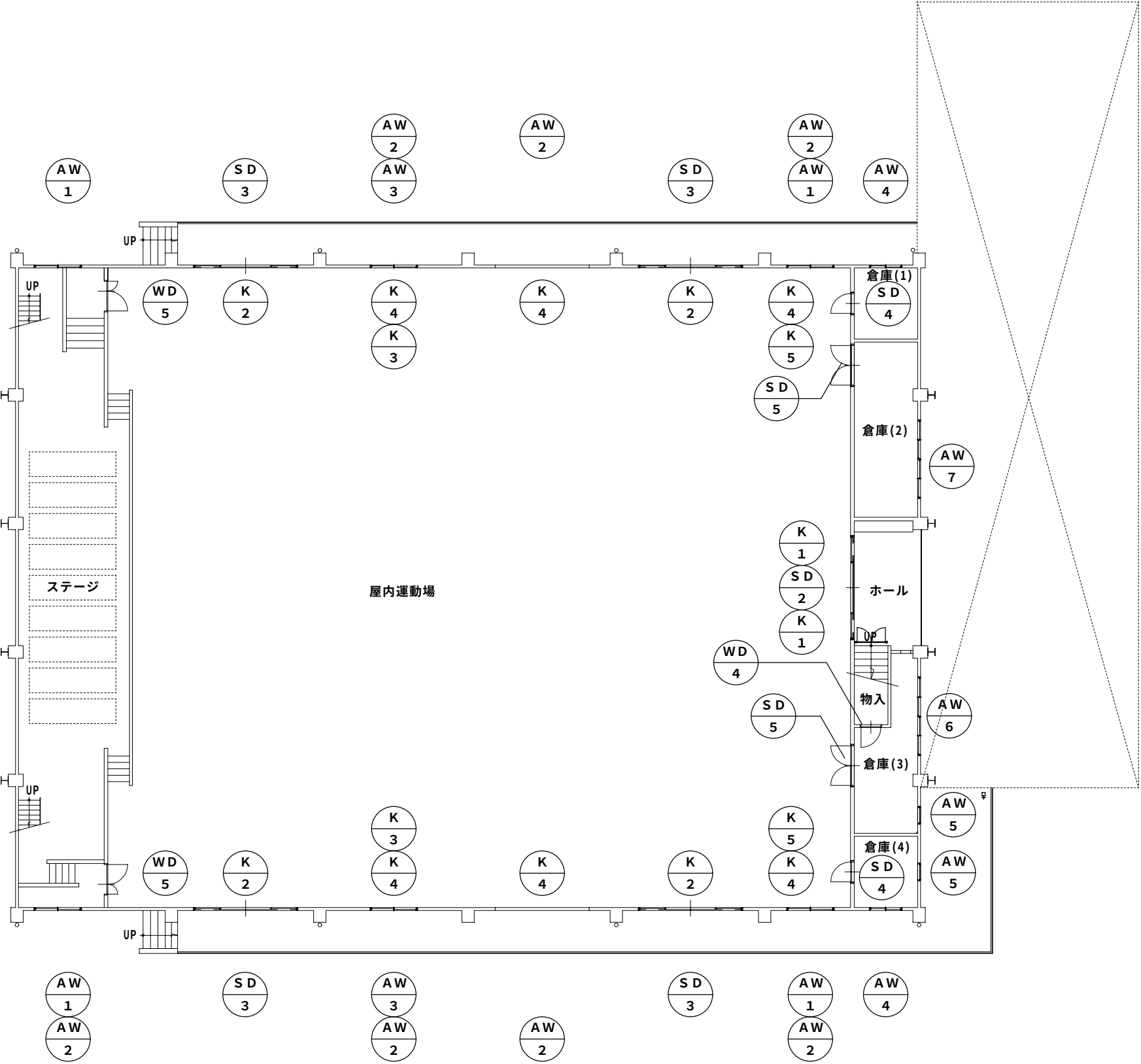
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	1. 2階建具配置図（改修前）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	— 83	S = 1 : 200	年月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

特 記 :	工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
	名 称	建具表（1）（改修前）				
	図 番	A — 8 4	S : 1 / 100	年 月		

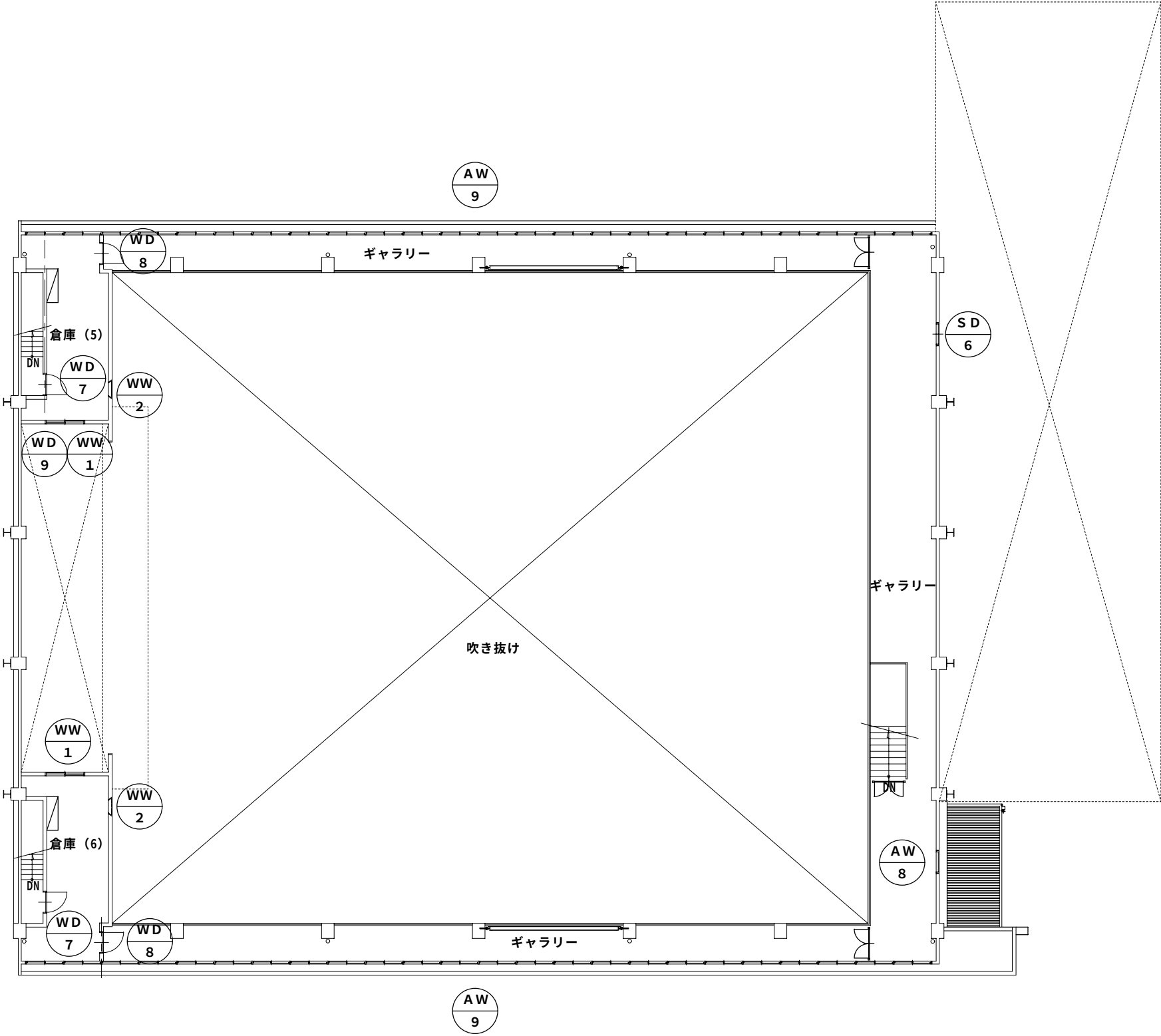
符号	場所	数量	WD	運動場	4ヶ所	WD	管理室	1ヶ所	WD	便所	1ヶ所	WD	管理室	1ヶ所	WD	運動場	2ヶ所	WD	ステージ	1ヶ所	WD	控室	2ヶ所	WD	2階ギャラリー	2ヶ所						
号	型式	法規	1	片開きフラッシュ戸		2	片開きフラッシュ戸		3	片開きフラッシュ戸		4	片開きフラッシュ戸		5	親子開きフラッシュ戸		6	両開きフラッシュ戸		7	片開きフラッシュ戸		8	片開きフラッシュ戸							
	形状																															
	材質・仕上		シナベニヤ厚6 オイルペンキ塗		シナベニヤ厚4 オイルペンキ塗		シナベニヤ厚4 オイルペンキ塗		シナベニヤ厚4・ラワンベニヤ 片面材貼付塗		シナベニヤ厚6 オイルペンキ塗		ラワンベニヤ オイルペンキ塗		シナベニヤ厚4 オイルペンキ塗		シナベニヤ厚4 オイルペンキ塗						シナベニヤ厚4 オイルペンキ塗									
	硝子				F-3		F-3								F-3																	
	ガラリ																															
	枠	沓摺																														
	金物		PH・ロック錠		PH・ロック錠		PH・ロック錠		PH・ロック錠		PH・ロック錠・FO・ドアチェック		イ双100 2枚吊・ロック錠・FO		PH・ロック錠・アームストッパー		PH・ロック錠・アームストッパー															
符号	場所	数量	WD	ステージ	1ヶ所	WD	外部便所	2ヶ所	WD	外部便所	6ヶ所	WW	ステージ	2ヶ所		ヶ所	WD	ステージ	1ヶ所	WD	控室	1ヶ所		ヶ所								
号	型式	法規	9	片開きフラッシュ戸		10	片開きフラッシュ戸		11	片開きフラッシュ戸		1	引違い窓			ヶ所	6'	片開きフラッシュ戸		7'	片開きフラッシュ戸付木製間仕切			ヶ所								
	形状																															
	材質・仕上		シナベニヤ厚4・ラワンベニヤ 片面材貼付塗		T1・2シナベニヤ厚4 オイルペンキ塗		シナベニヤ厚4 オイルペンキ塗		杉 オイルペンキ塗				シナベニヤ厚4・ラワンベニヤ 片面材貼付塗		シナベニヤ厚4 オイルペンキ塗																	
	硝子								FL-3						F-3																	
	ガラリ																															
	枠	沓摺																														
	金物		イ双75 2枚吊・フランス取手		PH・ロック錠・ドアチェック		3in`トリ-ヒンジ・3in`トリ-スライダ・ロック錠・表示器		レール・戸車				丸面取手		PH・ロック錠・ドアチェック																	
符号	場所	数量			ヶ所			ヶ所			ヶ所		ヶ所		ヶ所		ヶ所		ヶ所		ヶ所		ヶ所		ヶ所							
号	型式	法規																														
	形状																															
	材質・仕上																															
	硝子																															
	ガラリ																															
	枠	沓摺																														
	金物																															
特記事項					注：○印のついたものを採用する			符号の略号			共通略号			法規の略号			枠の形状			金物の略号												
								A D アルミ製扉 A W アルミ製窓 A G アルミ製ガラリ S D スチール製扉 S W スチール製窓 S G スチール製ガラリ S T D ステンレス製扉 S T W ステンレス製窓 S T G ステンレス製ガラリ S H シャッター W D 木製扉 W W 木製窓 W G 木製ガラリ F ふすま S 障子 P パーティション			A L アルミ S スチール S T ステンレス H L ヘアライン仕上 M L 磨き仕上 S O P 合成樹脂調合ペイント A E - Y アクリル樹脂エナメル焼付け F S - Y フッ素樹脂塗料焼付け 附 附属金物一式 O B オペレーター装置 L C クリアラッカー U C ウレタンクリアー L E ラッカーエナメル O S オイルステイン P R ポリエステル化粧板 M R メラミン化粧板 S U スプルーース 新鳥 新鳥ノ子紙 雲花 雲花紙			特定 特定防火設備 防 防火設備 常開 常時開放式 常閉 常時閉鎖式 煙 煙感知器連動 進 非常用進入口			ガラスの略号 F L フロート板ガラス G スリガラス F 型板ガラス P W 網入り磨き板ガラス F W 網入り型板ガラス K F L 熱線吸収ガラス H F L 熱線反射ガラス T F L 強化ガラス			A B C D E F 沓摺の形状 A B C D E F G ガラリの形状 A B C			H 丁番 P H ビボットヒンジ F H フロアーヒンジ A H オートヒンジ L H ラバトリーヒンジ D T ドアチェック A S アームストッパー T 戸当り T - B 帽子掛け付き戸当り F O フランス落し E K 円筒錠 H K 本締錠 K 空錠 R K レバーハンドル錠 H I K 引戸錠 H T K ホテル錠 H Y K 表示錠 G K グレモン錠 非 非常開放装置					R R ラバトリーラッチ B T 棒取手 H T 引手 T T 取手 R H レバーハンドル M 二重水切 L アングルピース A G アルミ額縁 T O 戸車 S O 底車 F T O フラッター戸車 L S ステンレスレール L T 真鍮レール L F フラッターレール S S 敷居すべり L A アルミ型材レール M K マグネットキャッチ K H ケースハンドル錠 B K 分電盤錠				

特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	建具表（2）（改修前）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A — 85	S：1／100	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



1階建具配置図（改修後） 1 / 200

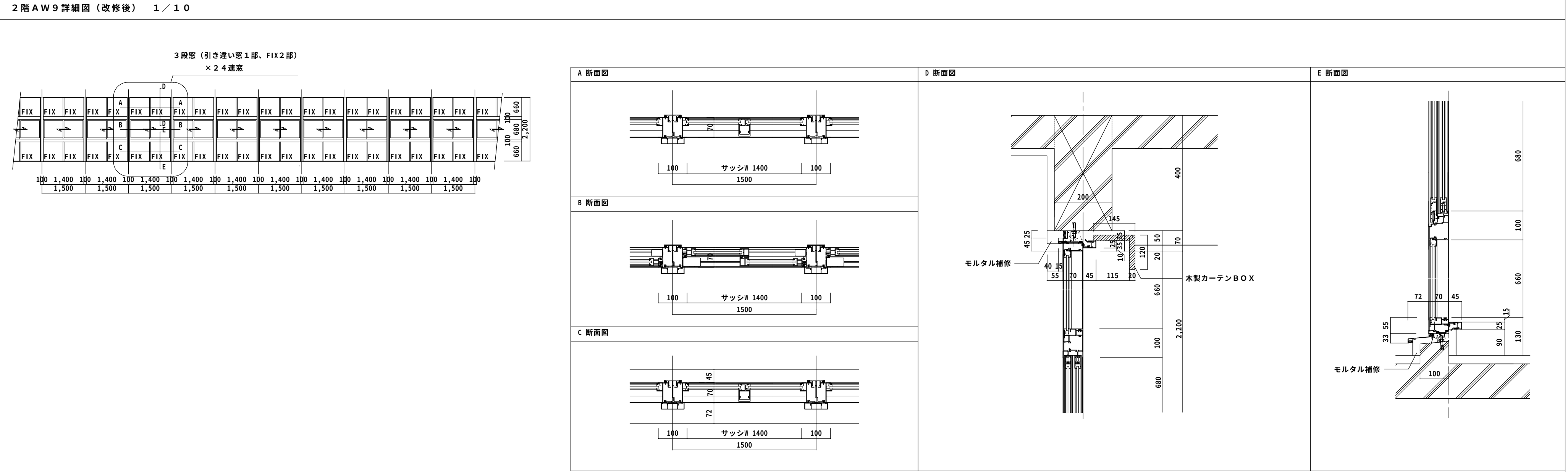
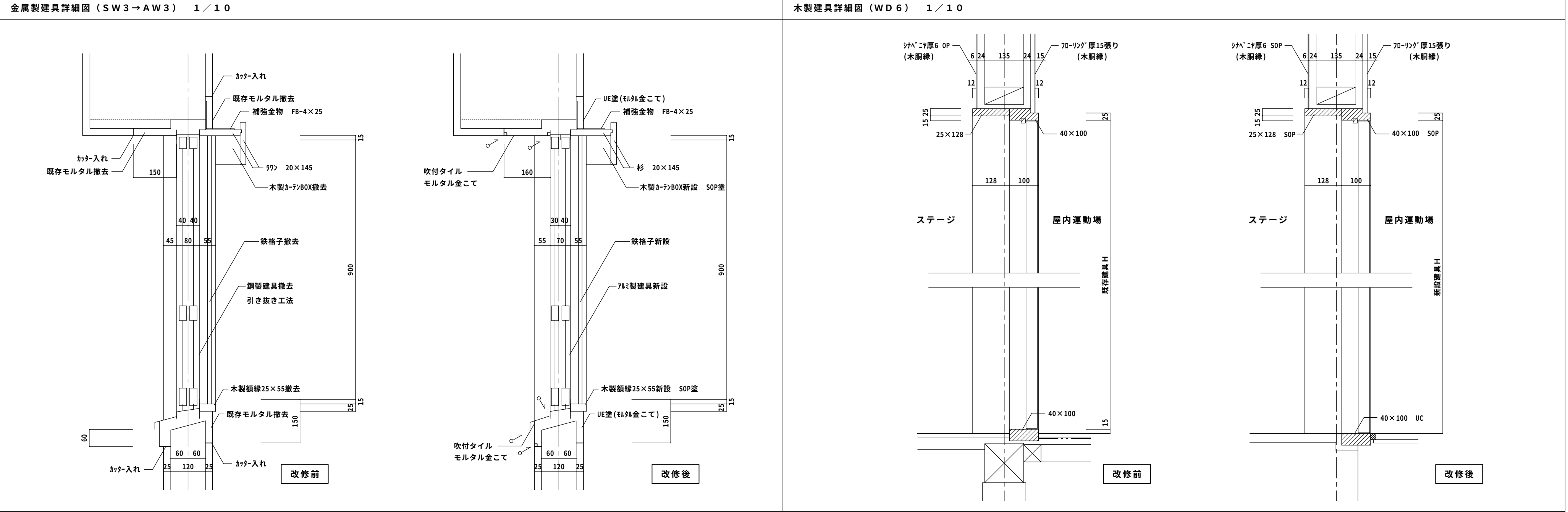


2階建具配置図（改修後） 1 / 200

特記：

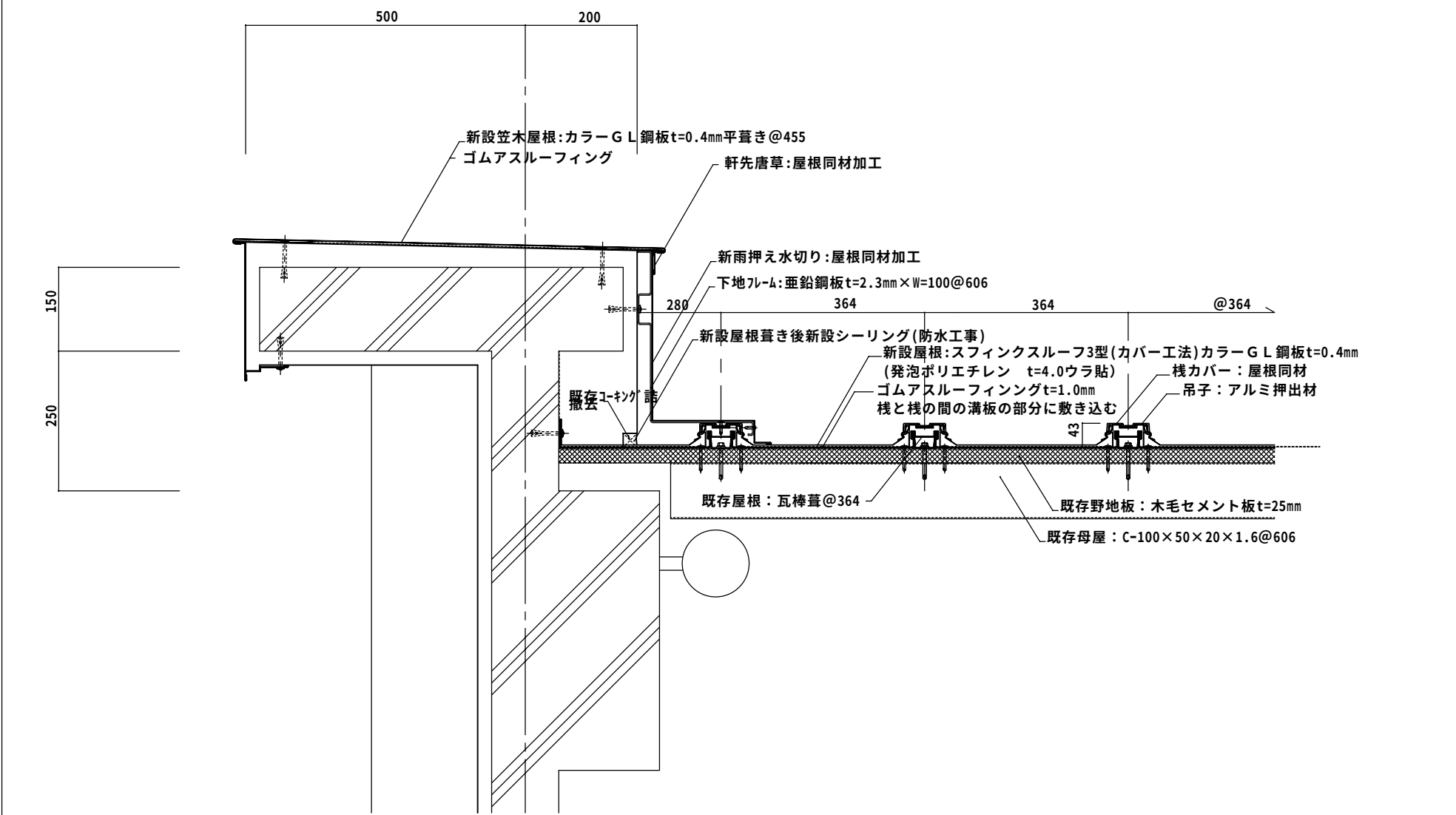
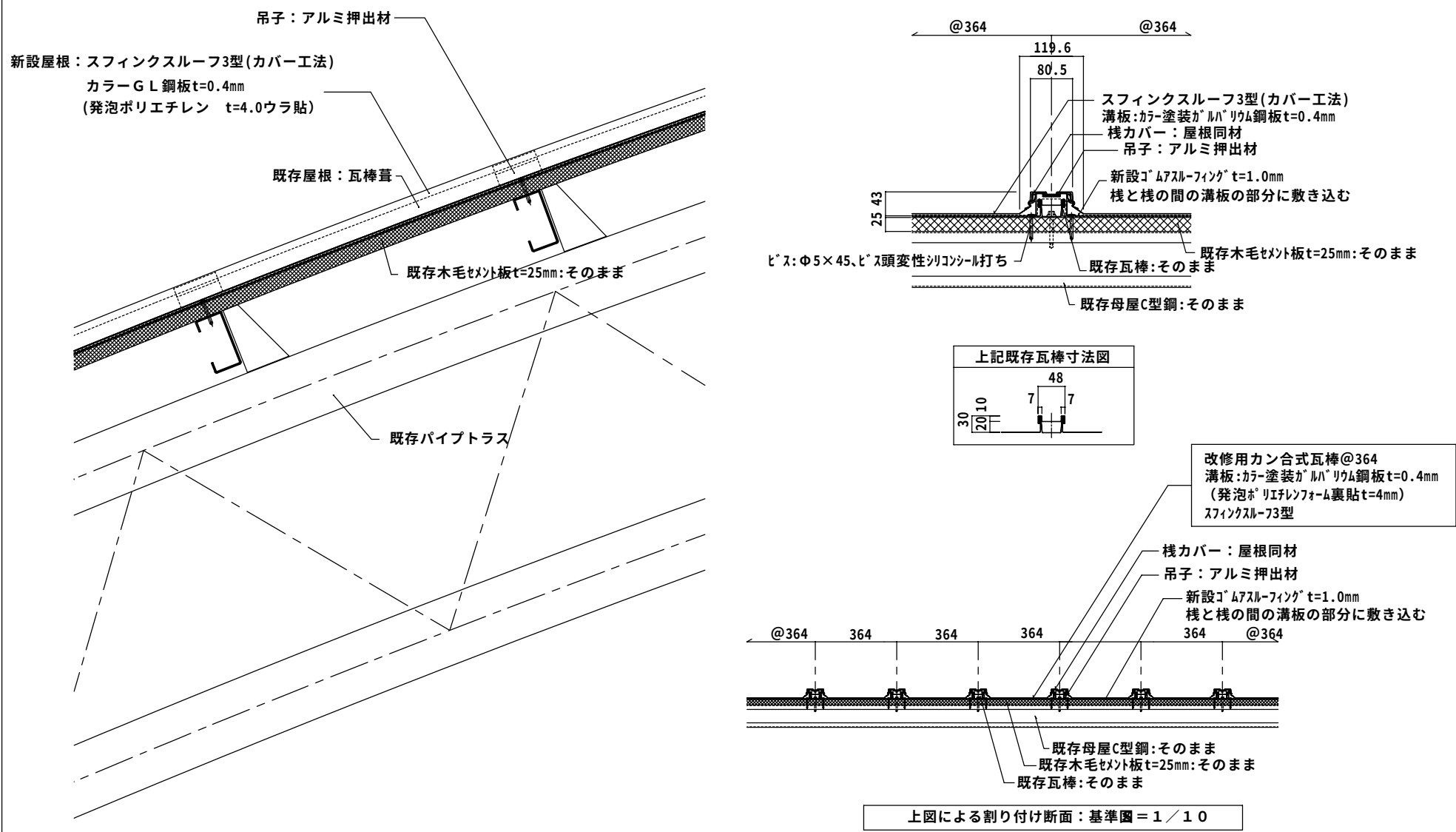
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	1. 2階建具配置図（改修後）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	— 86	S = 1 : 200	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

特 記：	工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
	名 称	建具表（2）（改修後）				
	図 番	A — 8 8	S：1／100	年 月		

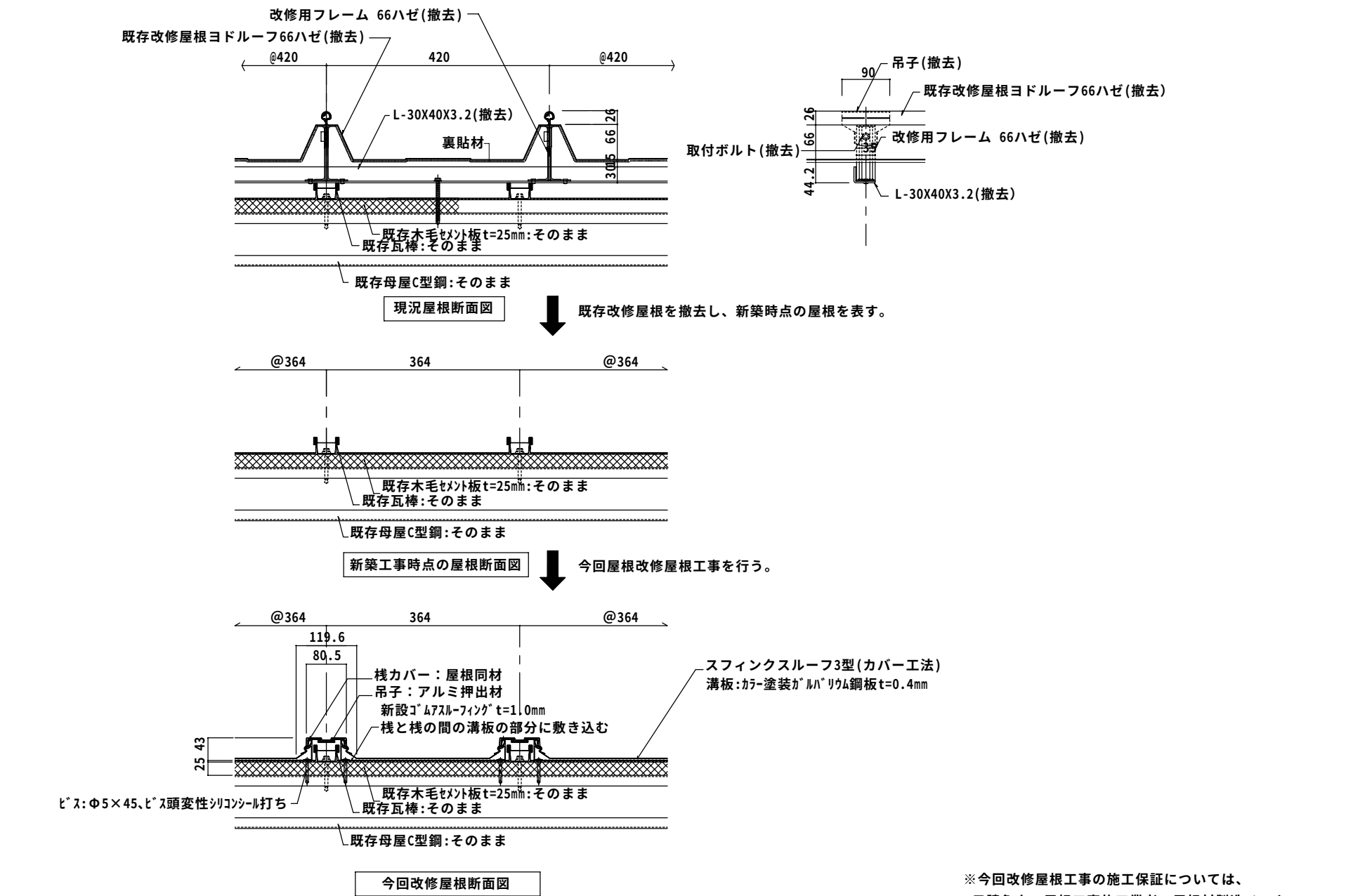
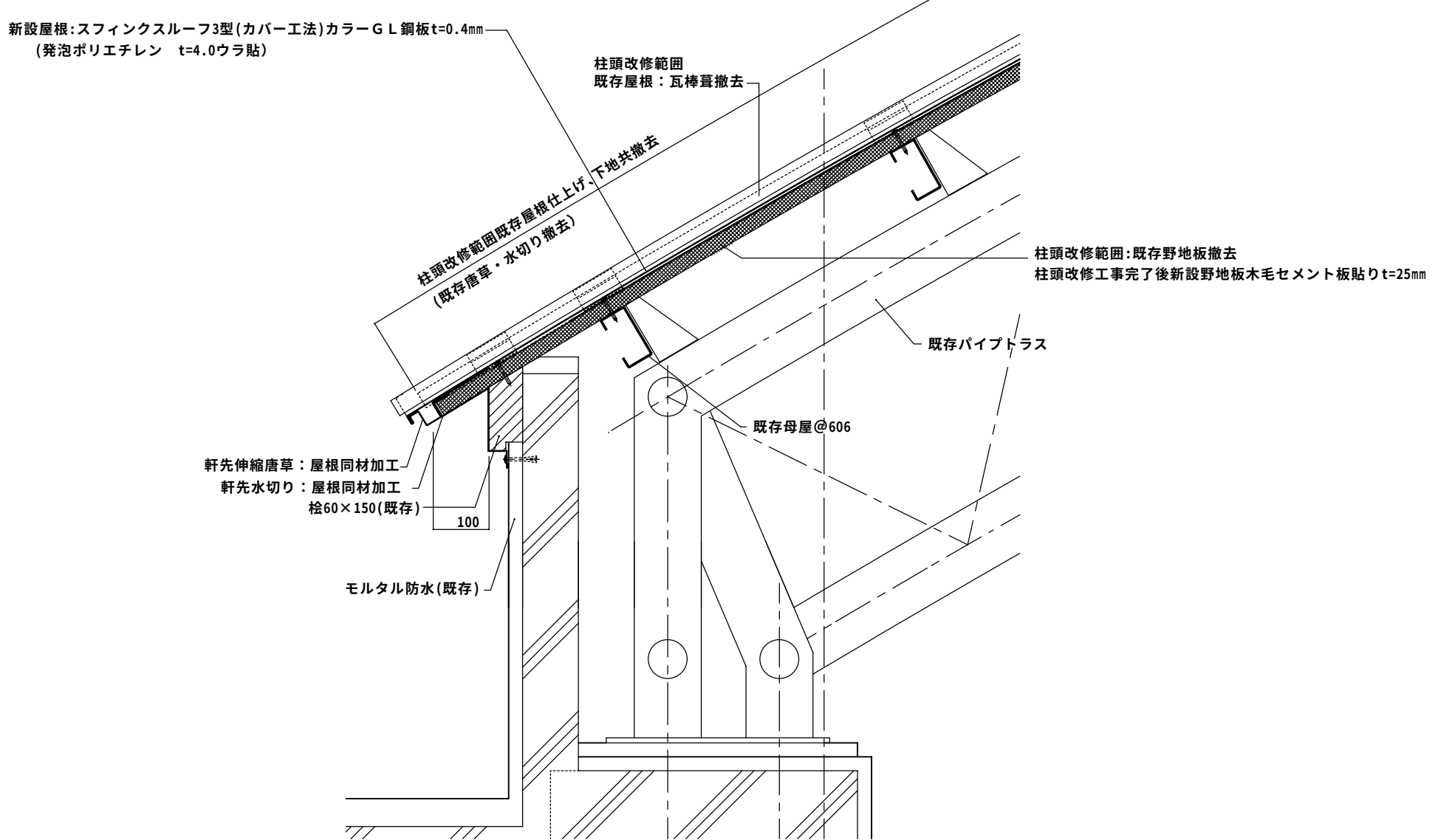


特記： 図中○はシーリングを示す。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速水可次
名称	建具廻り詳細図			徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A — 89	S = 1 : 10	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
				FAX 088-622-0885	

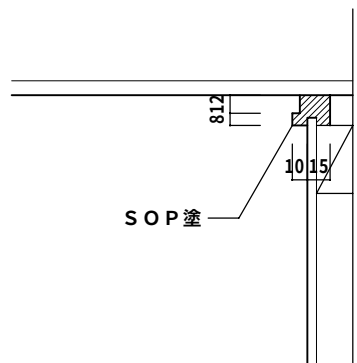
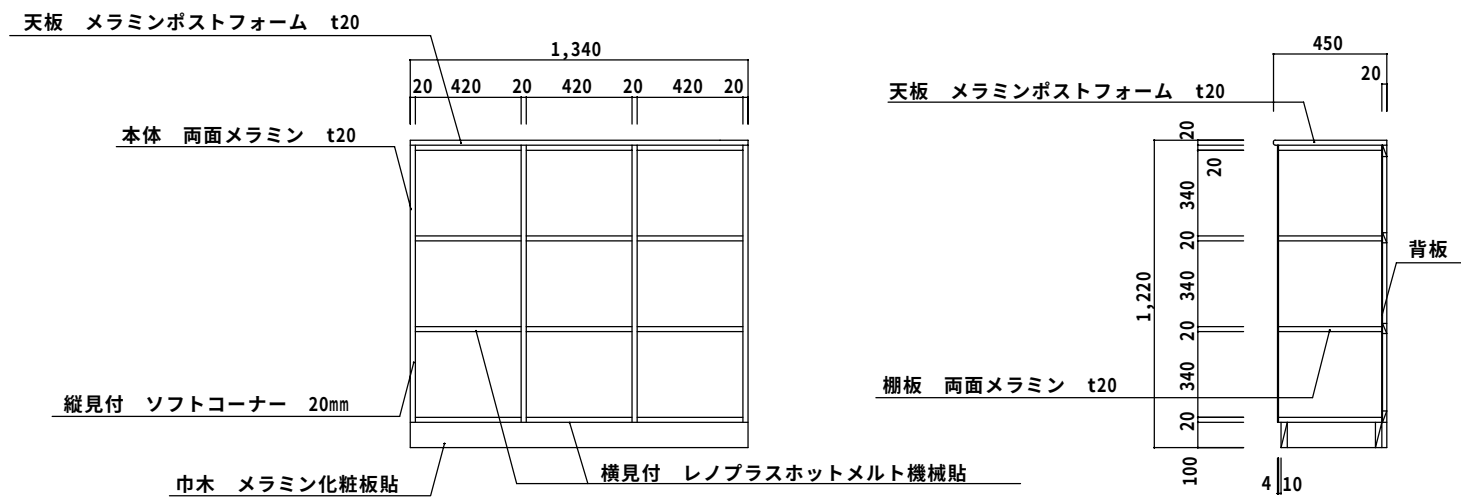


特 記：

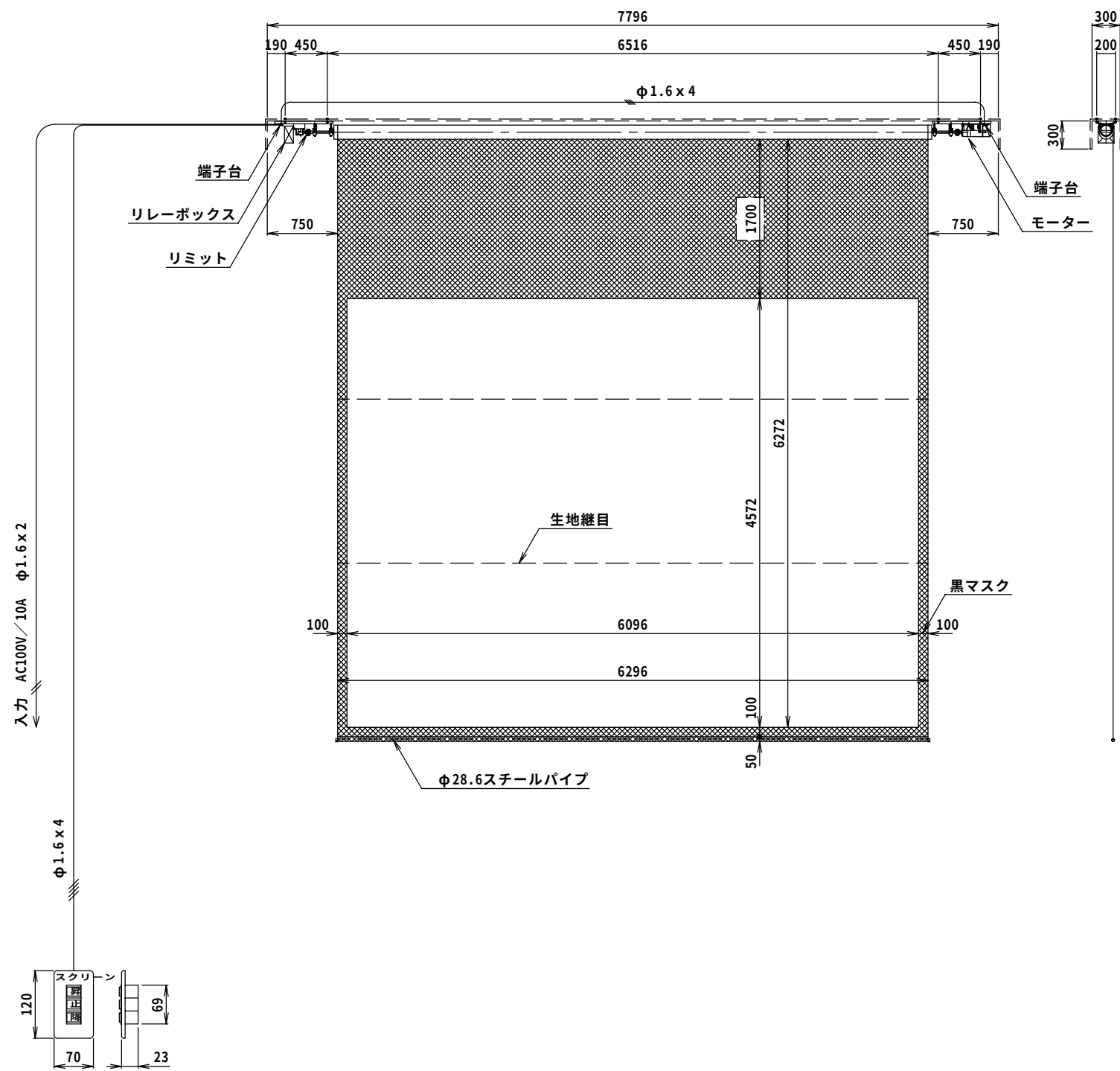


※今回改修屋根工事の施工保証については、
元請負人、屋根工事施工業者、屋根材製造メーカー
三者による施工保証書(保証期間工事完了後10年間)提出の事

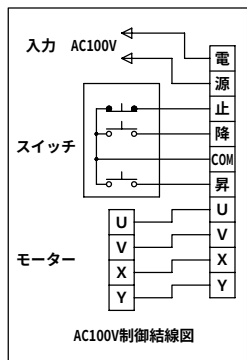
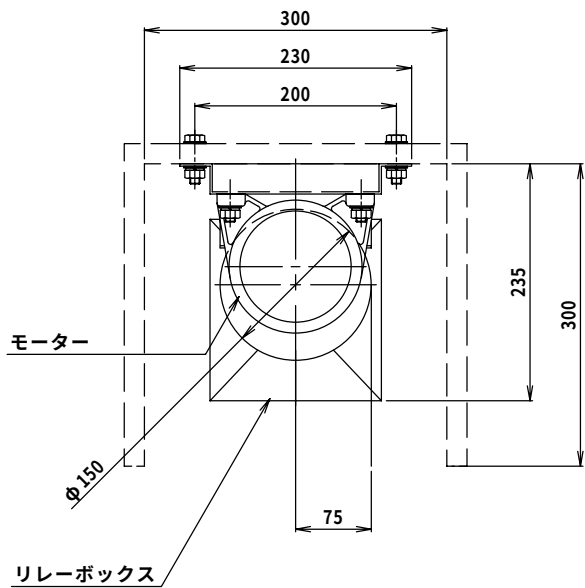
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	屋根改修詳細図(参考図)				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	—	9 0	S = 1 : 10	年 月	第 102935 号
						TEL 088-622-0883
						FAX 088-622-0885



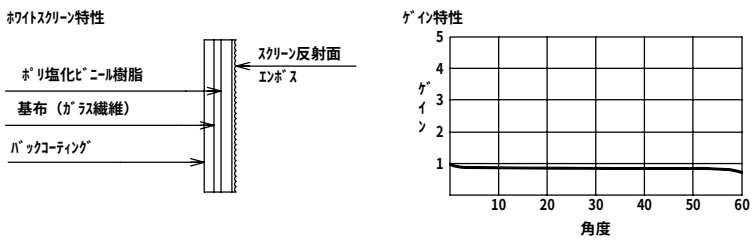
ステージ側木製廻縁詳細図 1/5



1連フルカラー埋め込み型スイッチ



スクリーン仕様一覧	
生地仕様	使用生地：ホワイト
ローラー仕様	材質：アルミ製
モーター仕様	ギアードモーターB付 出力100W モーター定格電流 3.2/2.8A
電源	AC100V 50/60Hz
重量	100kg
オプション	24V制御仕様、ワイヤレスリモコン
別途工事	電気配線配管工事（1次、2次側共）、アウトレットボックス スクリーンボックス

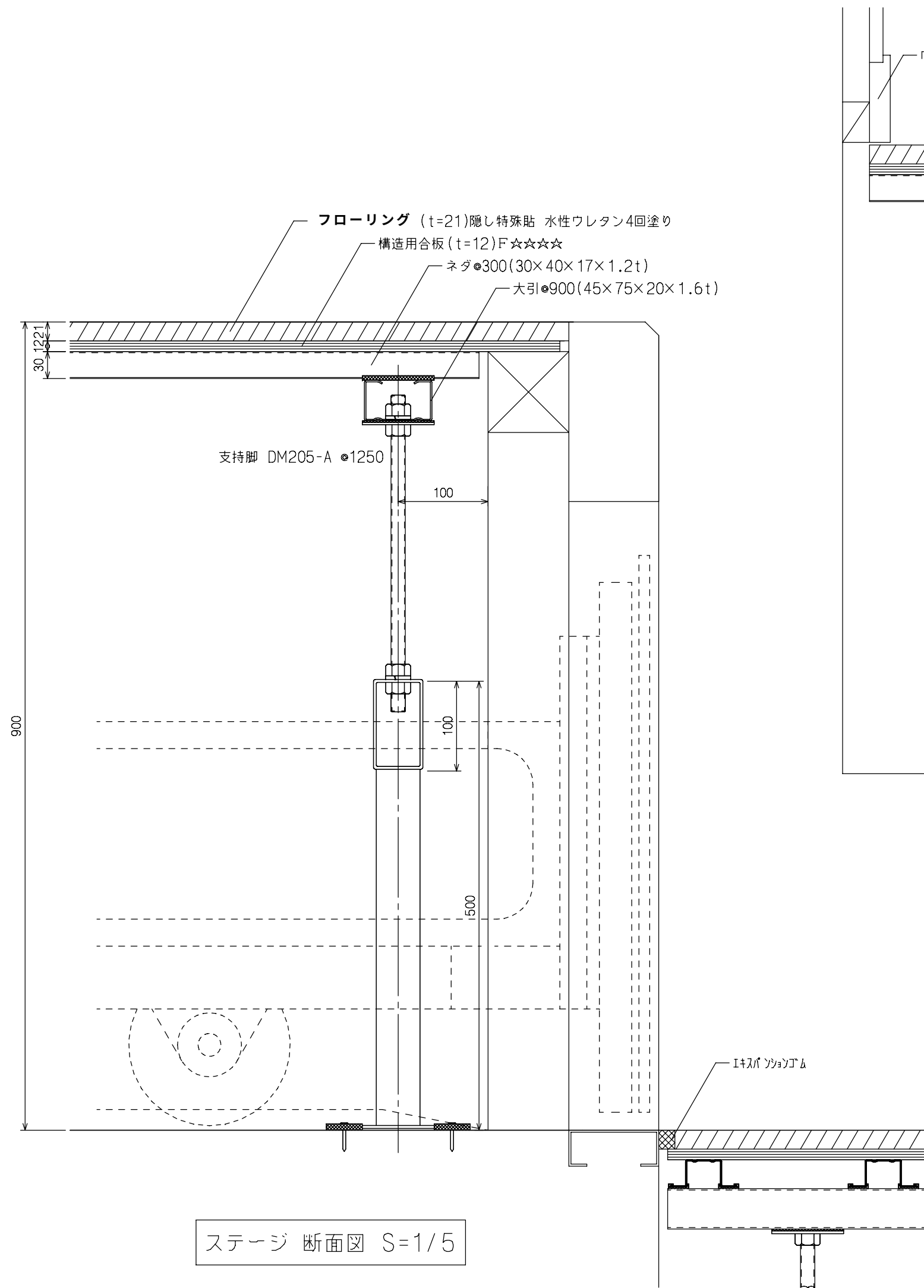


特記：

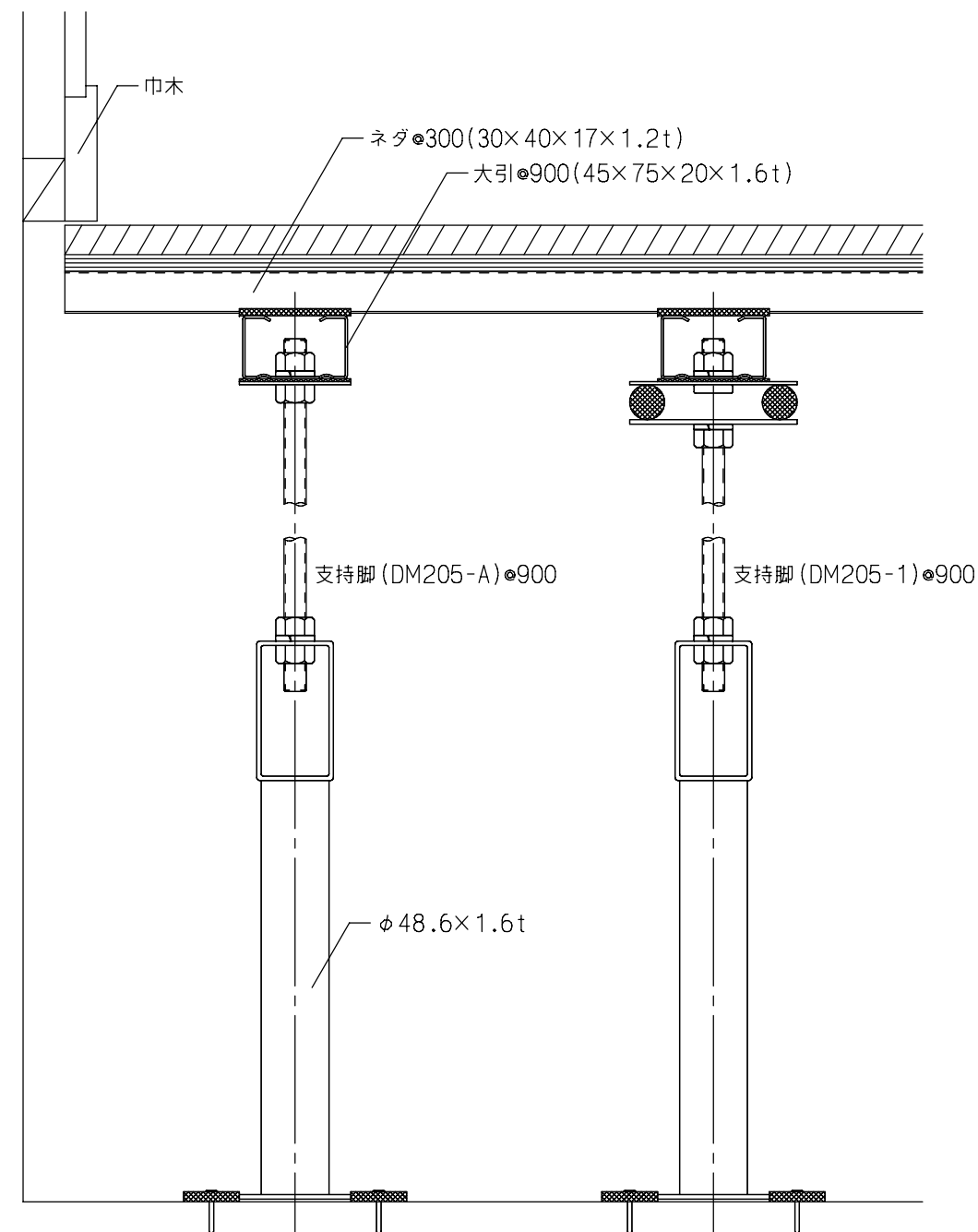
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	各部詳細図				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	— 9 1	S = 1 : 20	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



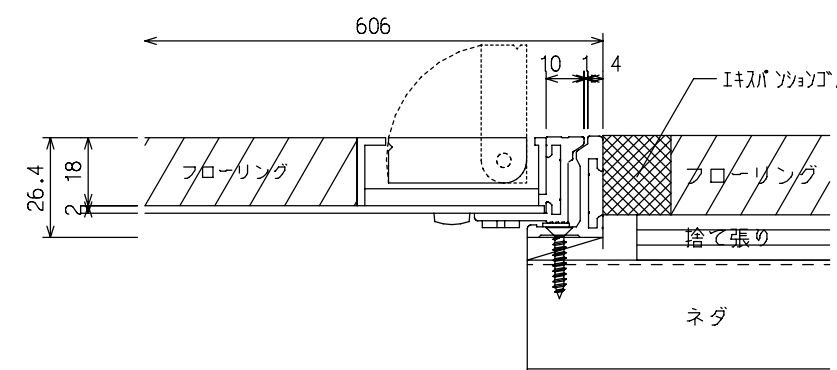
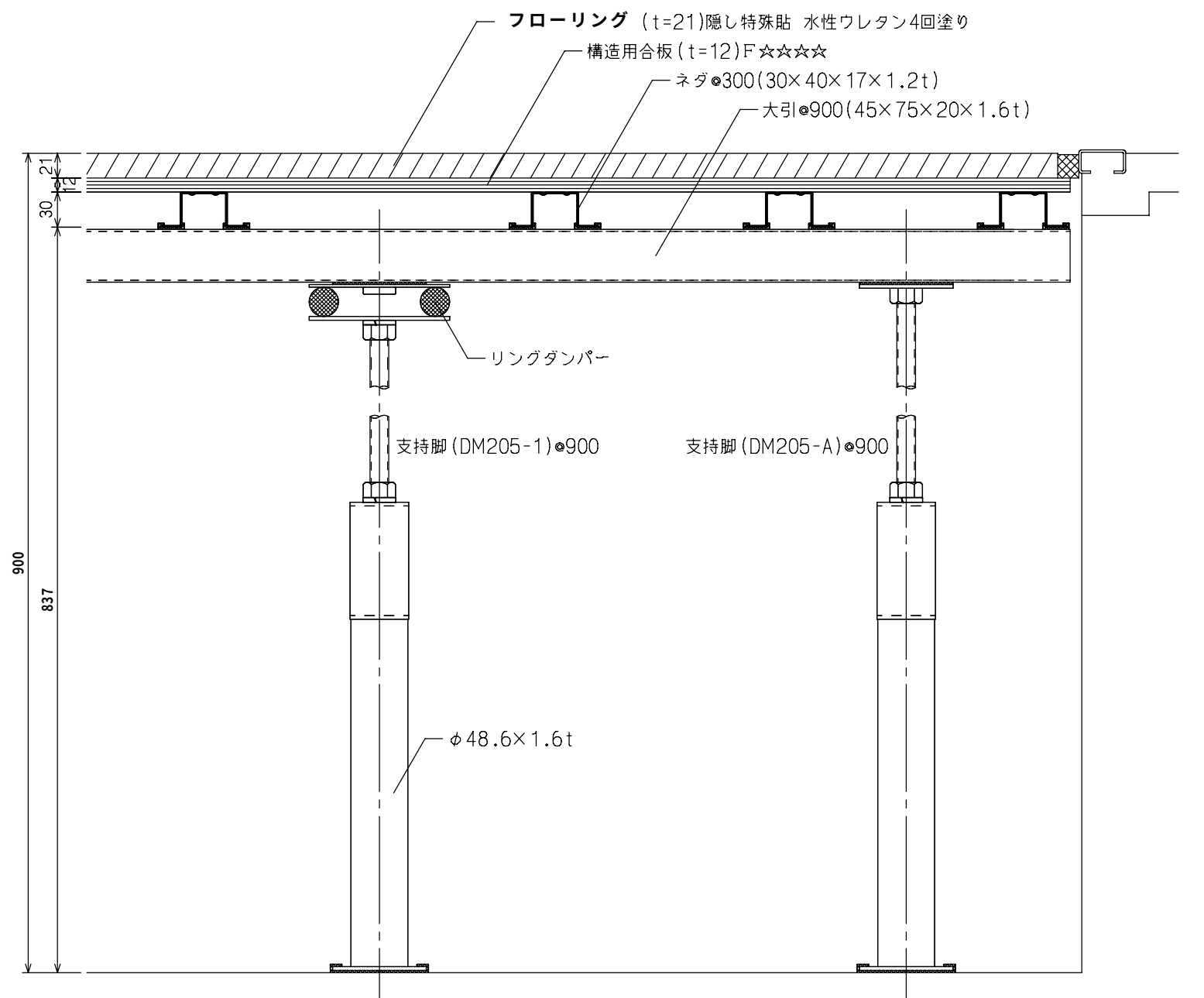
工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	鋼製床伏図（改修後）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A — 9 2	S = 1 : 100	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



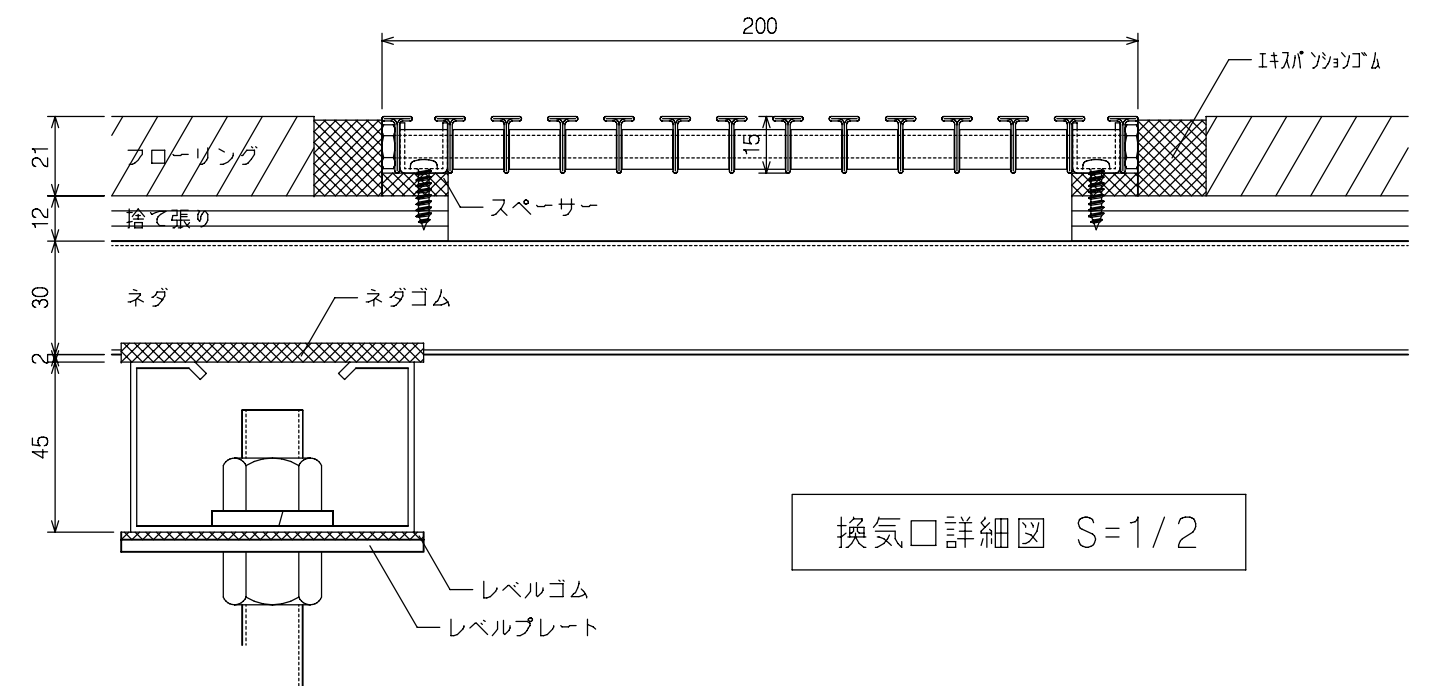
ステージ 断面図 S=1/5



屋内運動場 断面図 S=1/5



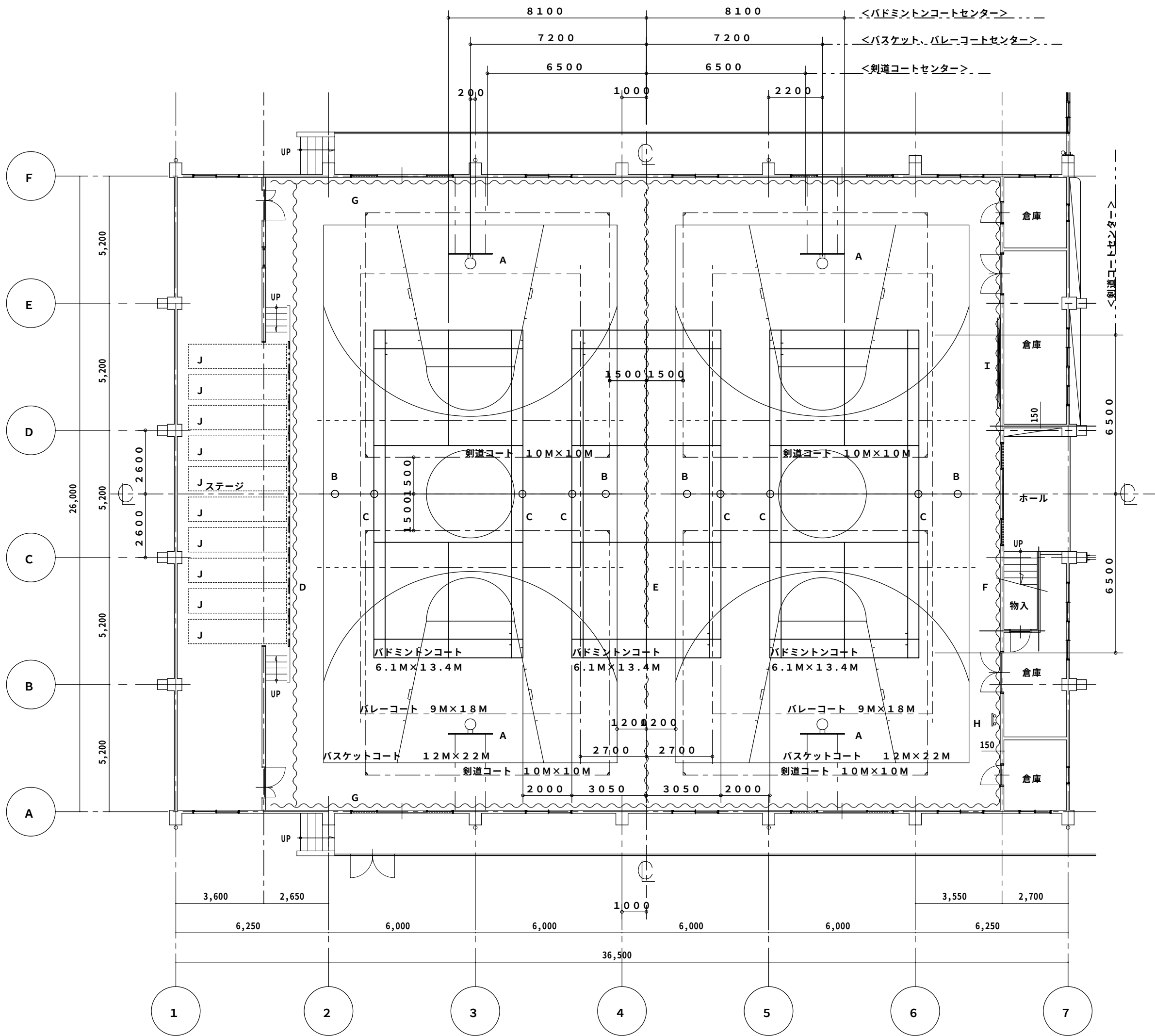
点検口詳細図 S=1/2



換気口詳細図 S=1/2

特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	銅製床詳細図（改修後）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	—	93	S=1: 2.5	年 月	第 102935 号
						TEL 088-622-0883
						FAX 088-622-0885



体育器具配置図 1 / 150

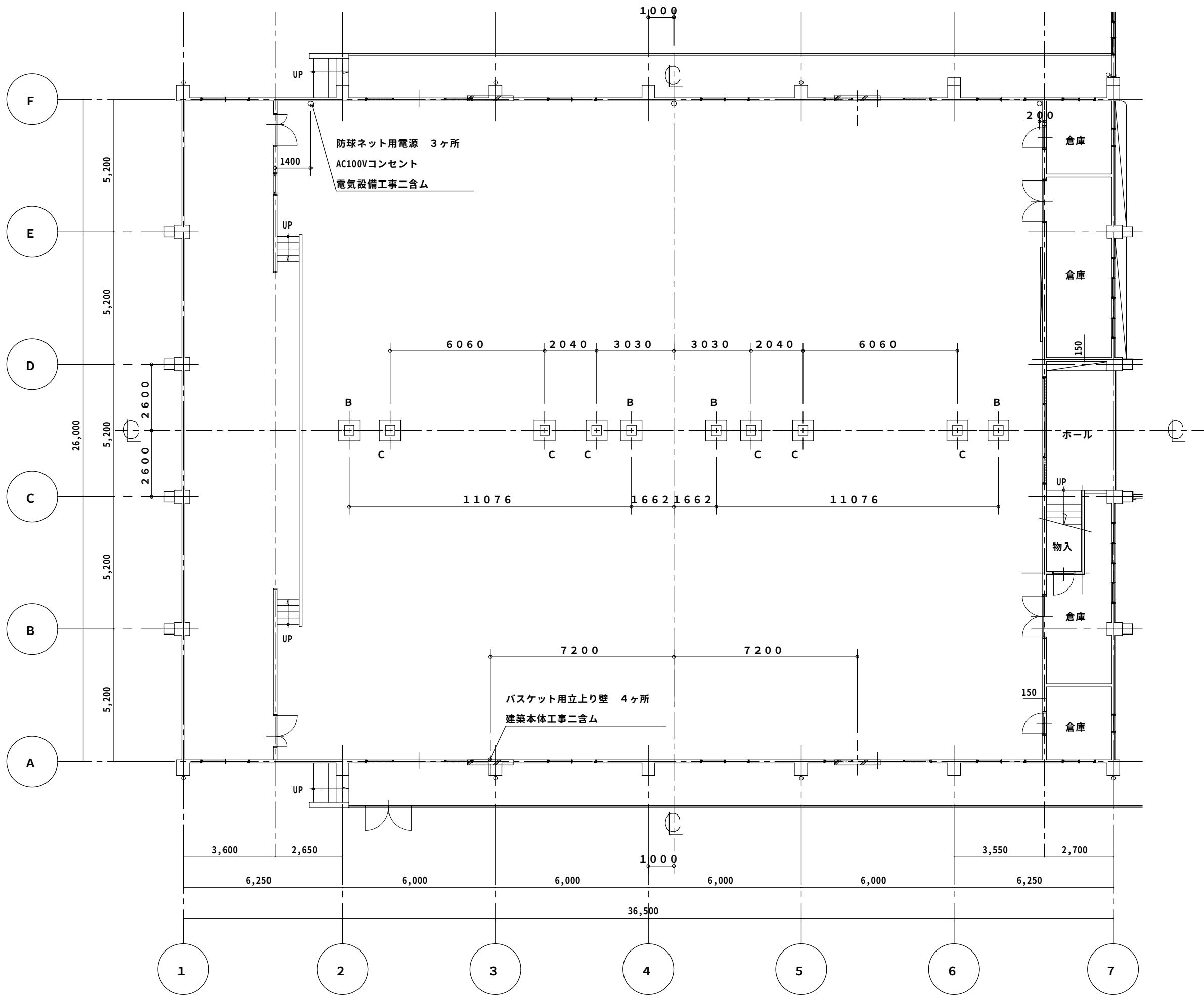
体育施設説明細				
記号	参考品番 ミズノ程度	品 名	仕 様	数 量
A	BA-4004	ジャバラ式バスケット	日本バスケットボール協会機動品ンドル式 プラスチック板 t 15 上下調節装置付	2 対
B	VT-6058	バレー・テニスポスト用床金具	板張用アップターン式 亜鉛合金製 ソケットダクロ仕上	2 組
C	VT-7060	バドミントンポスト用床金具	板張用アップターン式 亜鉛合金製 ソケットダクロ仕上	3 組
D	GF-5075	防球ネット（電動式）	ワイヤロープ張り 両開式 ステージ側 ポリエチレンネット 100mm目	1 張
E	GF-5075	防球ネット（電動式）	ワイヤロープ張り 両開式 中央 ポリエチレンネット 100mm目	1 張
F	GF-5075	防球ネット（電動式）	ワイヤロープ張り 両開式 妻側 ポリエチレンネット 100mm目	1 張
G	GF-5076	防球ネット（手引式）	硬鋼線張り 両開式 サイド ポリエチレンネット 100mm目	2 張
H		サージャントジャンプメーター	壁面固定式	1 台
I		姿見鏡	壁面固定式	1 台
J	GF-7087	NS型椅子運搬車	スチール製 車輪 レール付 1M x 4M 飾り板付	10 台

ライン引き明細						
優先順	記号	コート名	コート寸法	仕様	色	数量
	——	バスケットコート	12M x 22M	全線 ライン巾50mm		2 面
	---	バレーコート（6人制）	9M x 18M	全線（FIVB仕様） ライン巾50mm		2 面
	——	バドミントンコート （ソフトバレーコート）	6.1M x 13.4M	全線 ライン巾40mm		3 面
	L	剣道ライン	10M x 10M	コーナー4ヶ所 ライン巾50mm		4 面

※ライン引きの優先順、色等は現場監督員の指示により決定とする

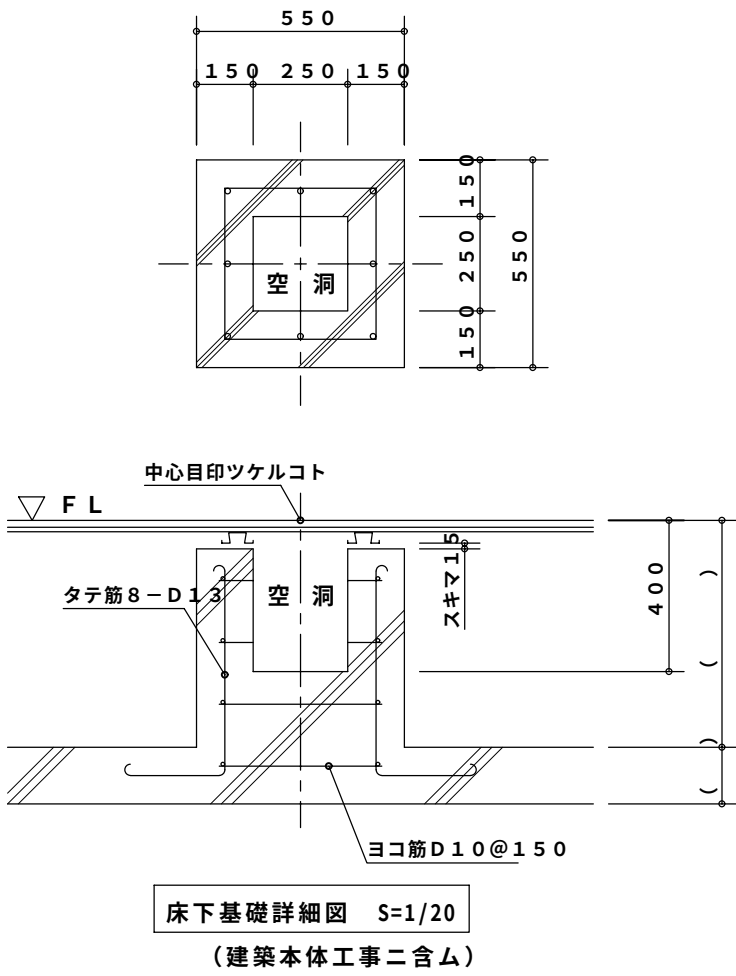
特 記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	体育器具配置図				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A — 94	S = 1 : 150	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



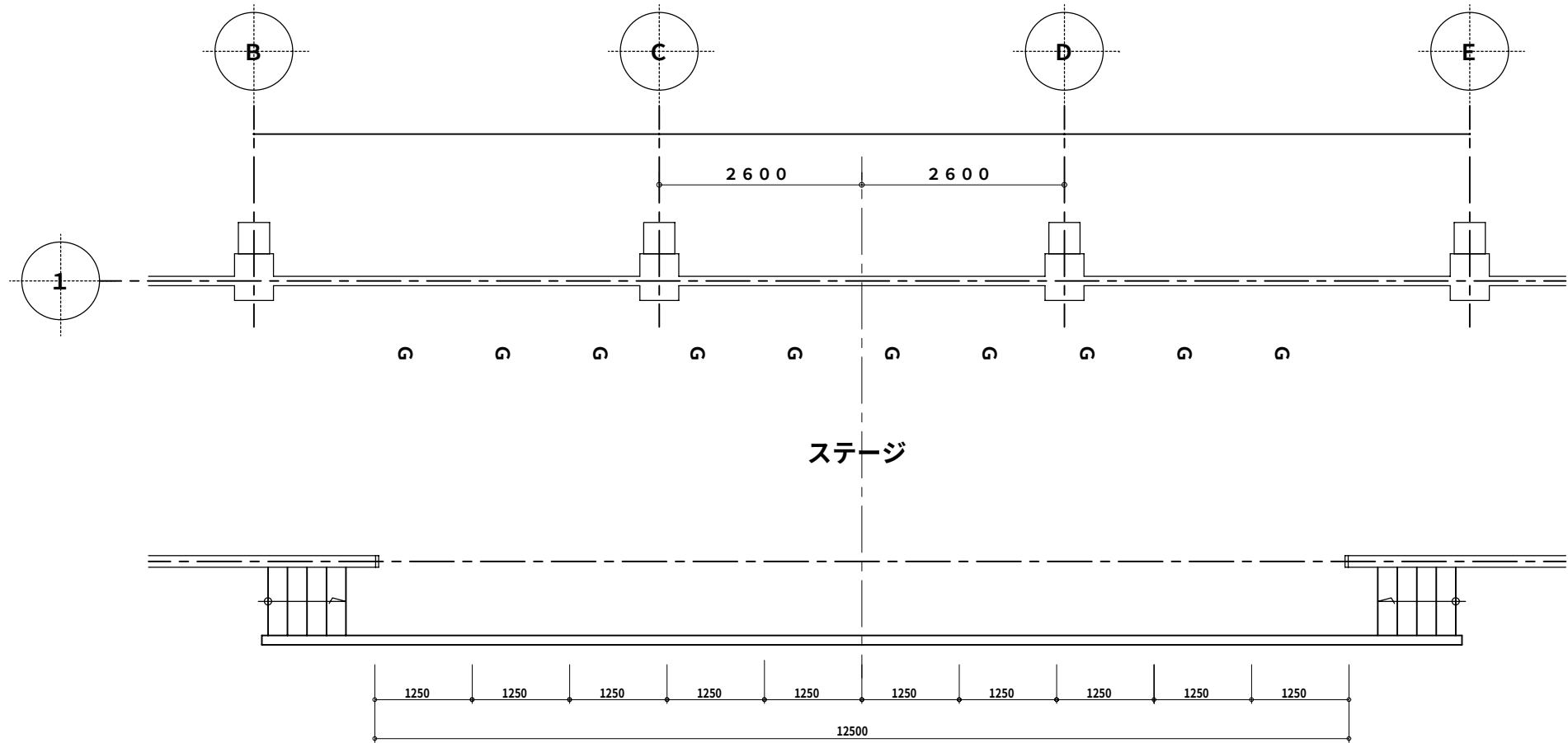
体育器具 床下基礎配置図 1 / 150

床下基礎明細		
記号	名 称	数 量
B	バレーポスト用	4 ケ所
C	バドミントンポスト用	6 ケ所
	合 計	10 ケ所

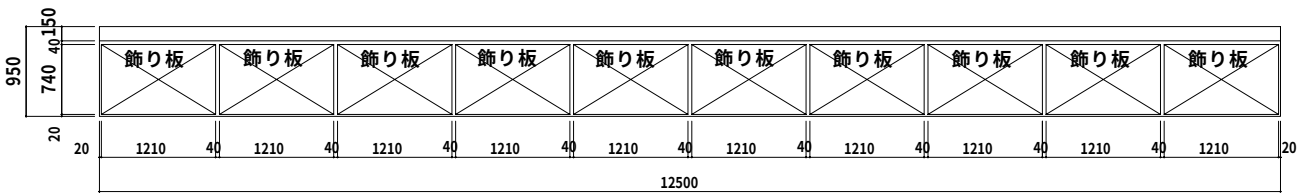


特 記 :

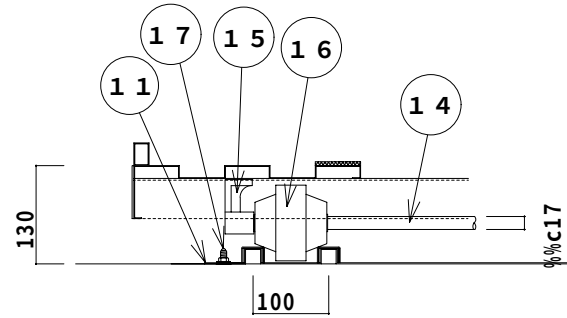
工 事 名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事					株式会社 剛 建築事務所 徳島市新蔵町1丁目51-1 TEL 088-622-0883 FAX 088-622-0885	速 水 可 次 1級建築士登録 第 102935 号
名 称	体育器具 床下基礎配置図						
図 番	A	— 95	S = 1 : 150	年 月			



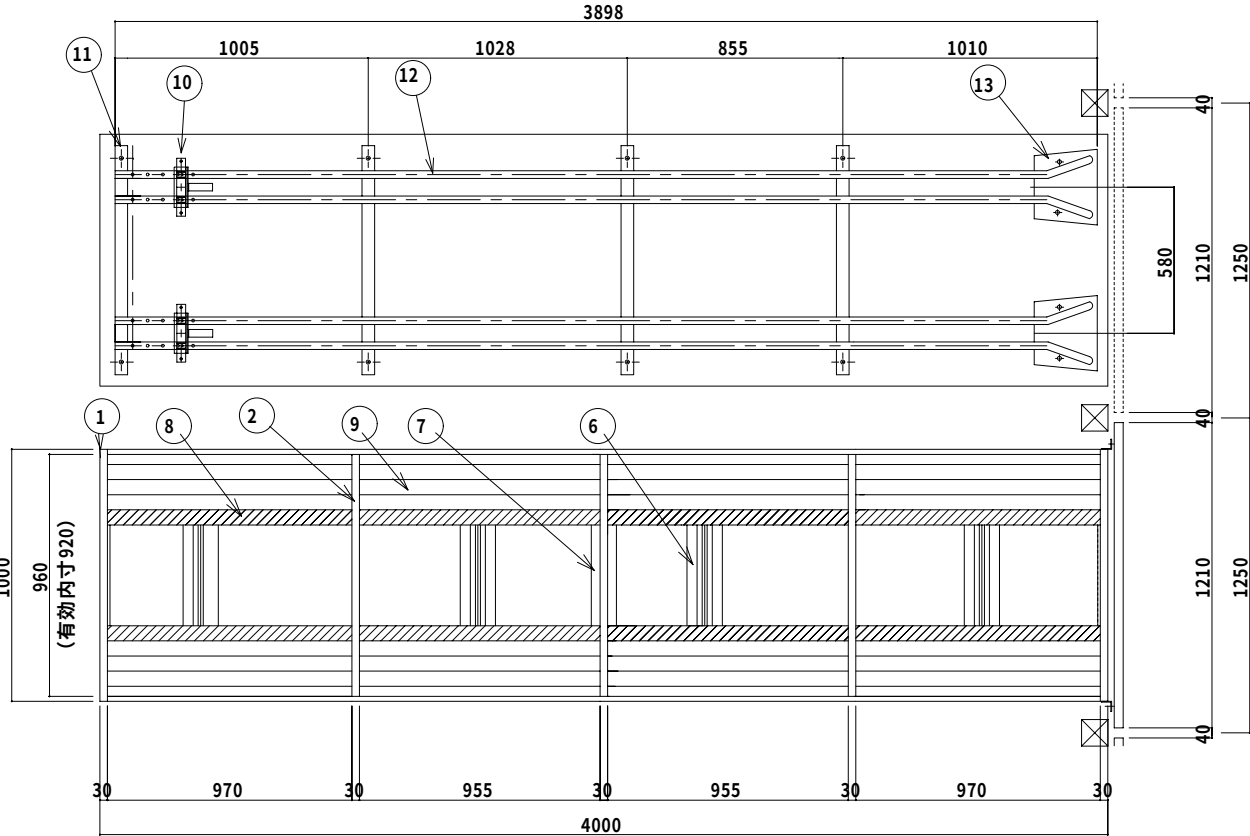
台車収納時配置図 S=1/80



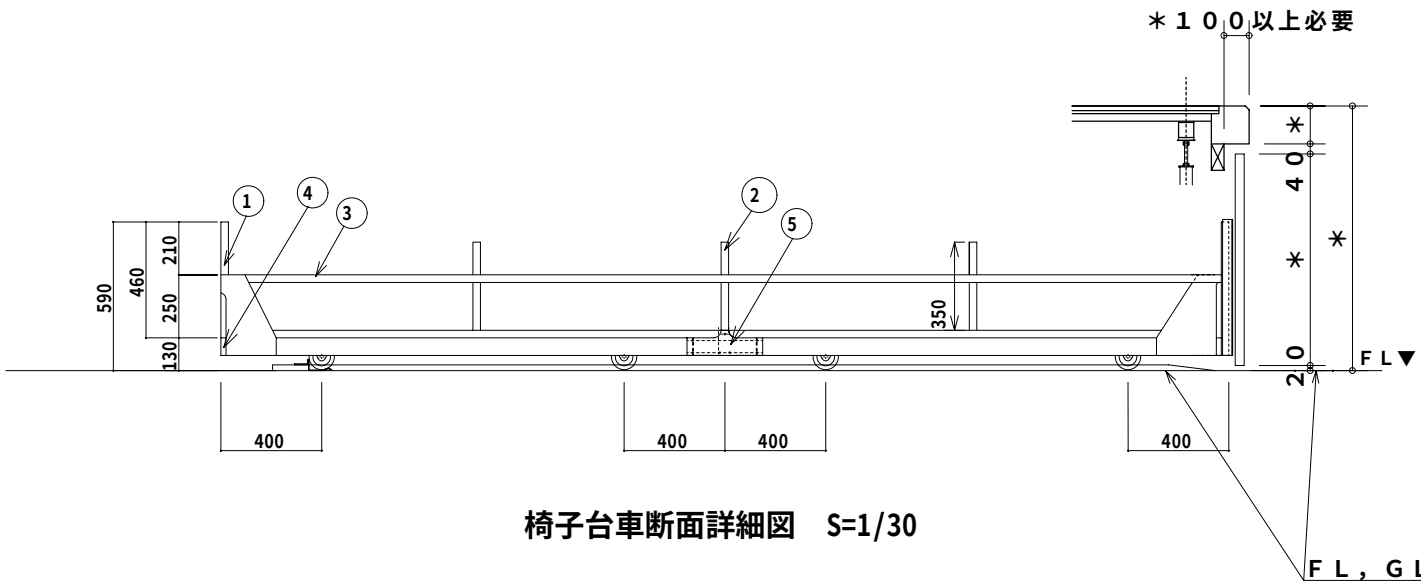
車輪詳細図 S=1/10



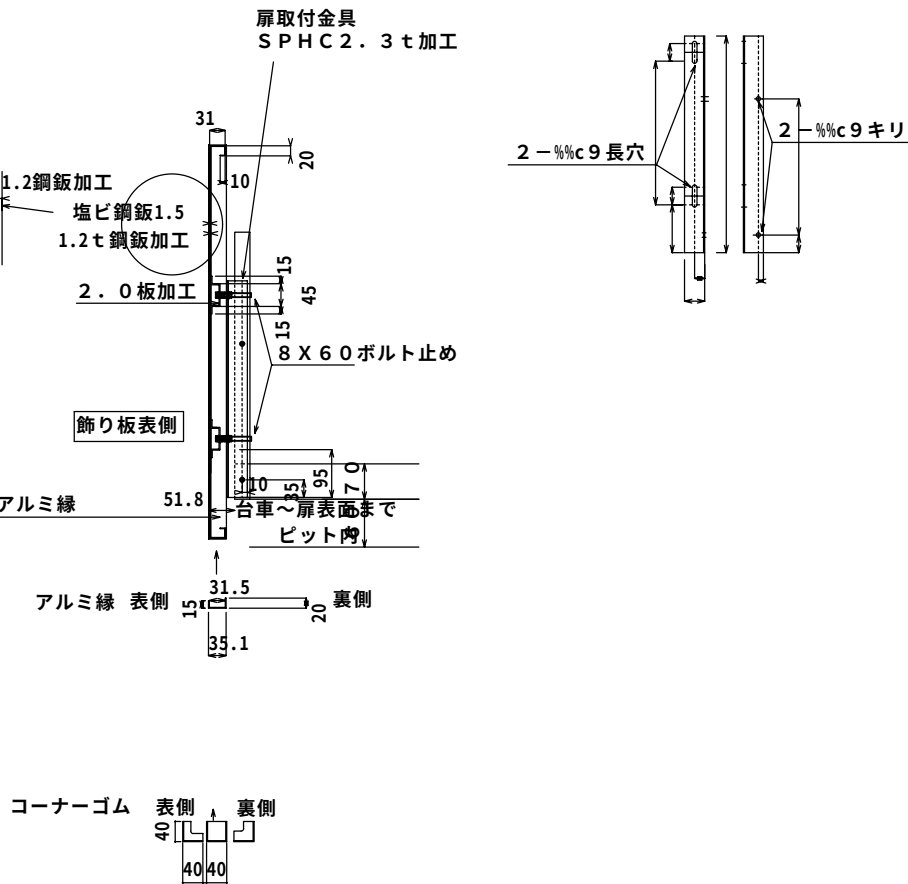
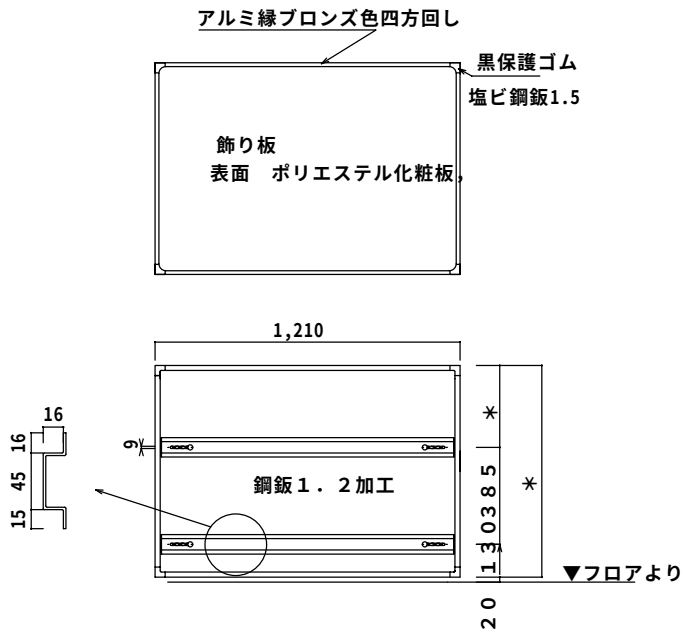
椅子収納台車 S=1/30



椅子台車断面詳細図 S=1/30

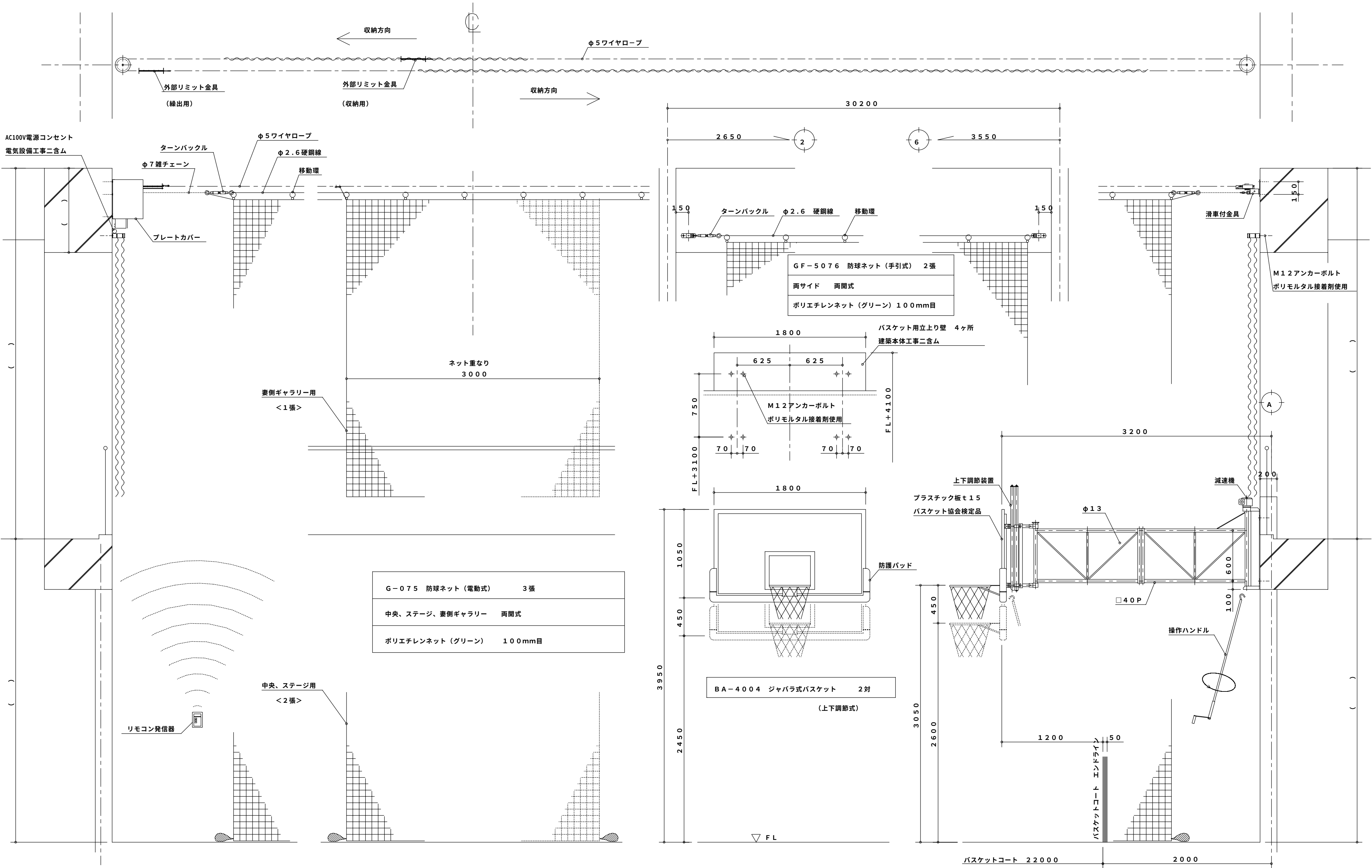


N, Sトラック屏詳細図



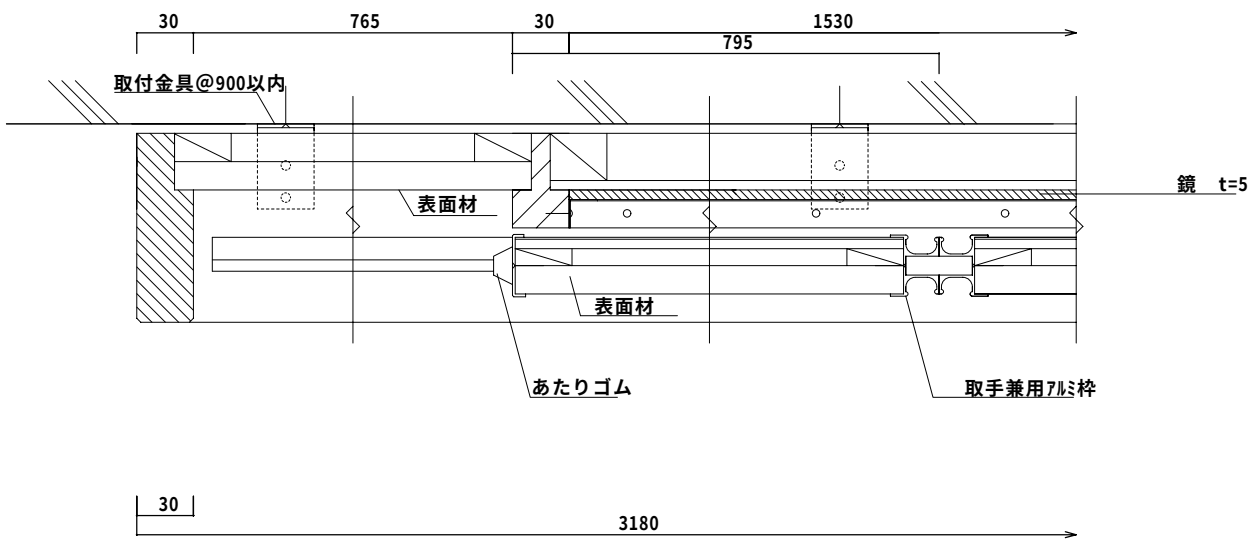
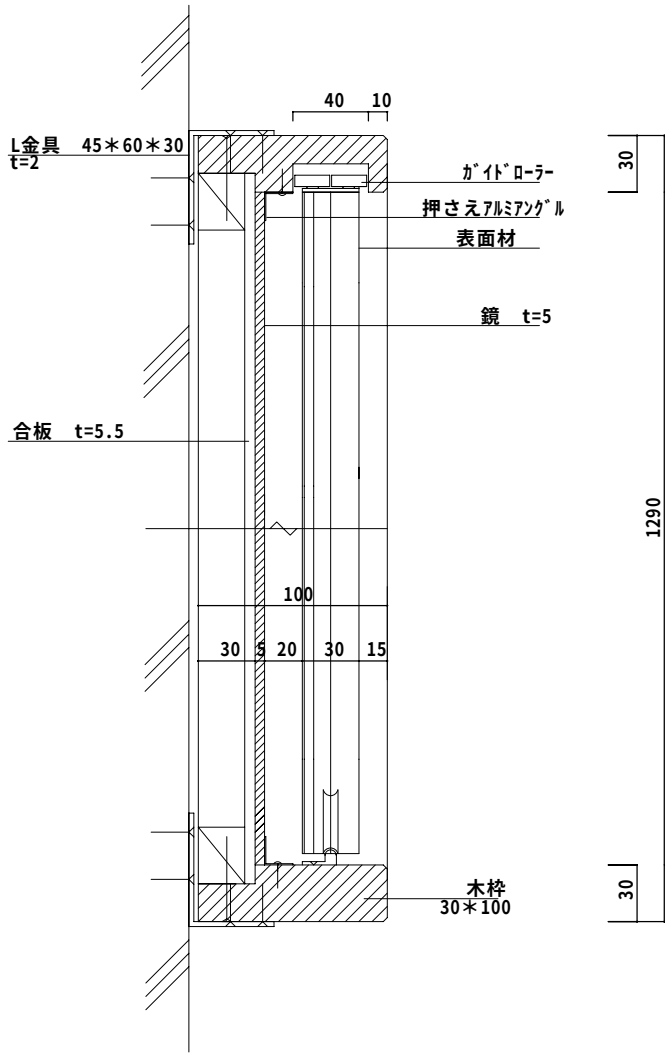
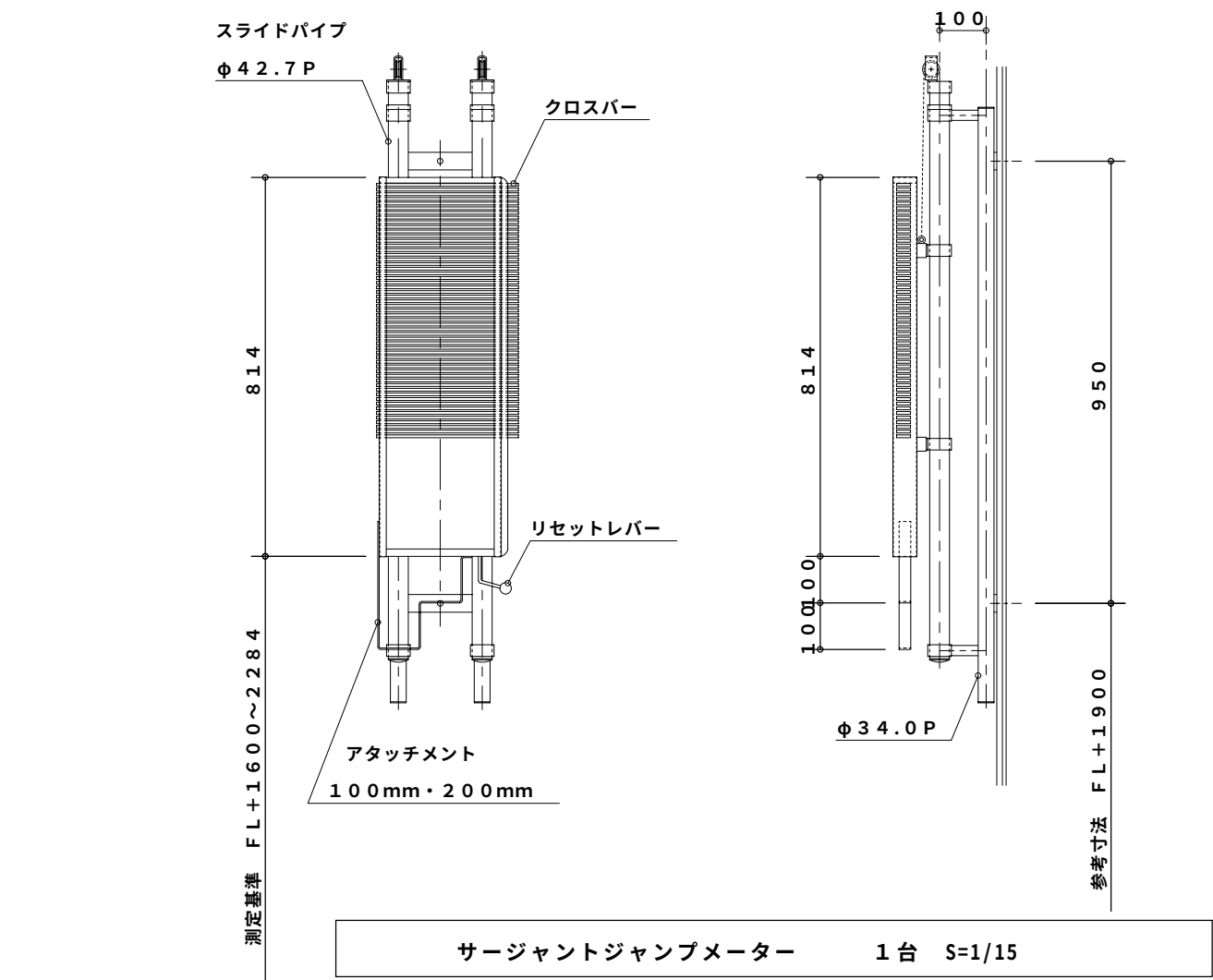
特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事			株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	体育器具姿図（１）			徳島市新蔵町１丁目51-1	1級建築士登録
図番	A — 96	S = 1 : 30	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
				FAX 088-622-0885	

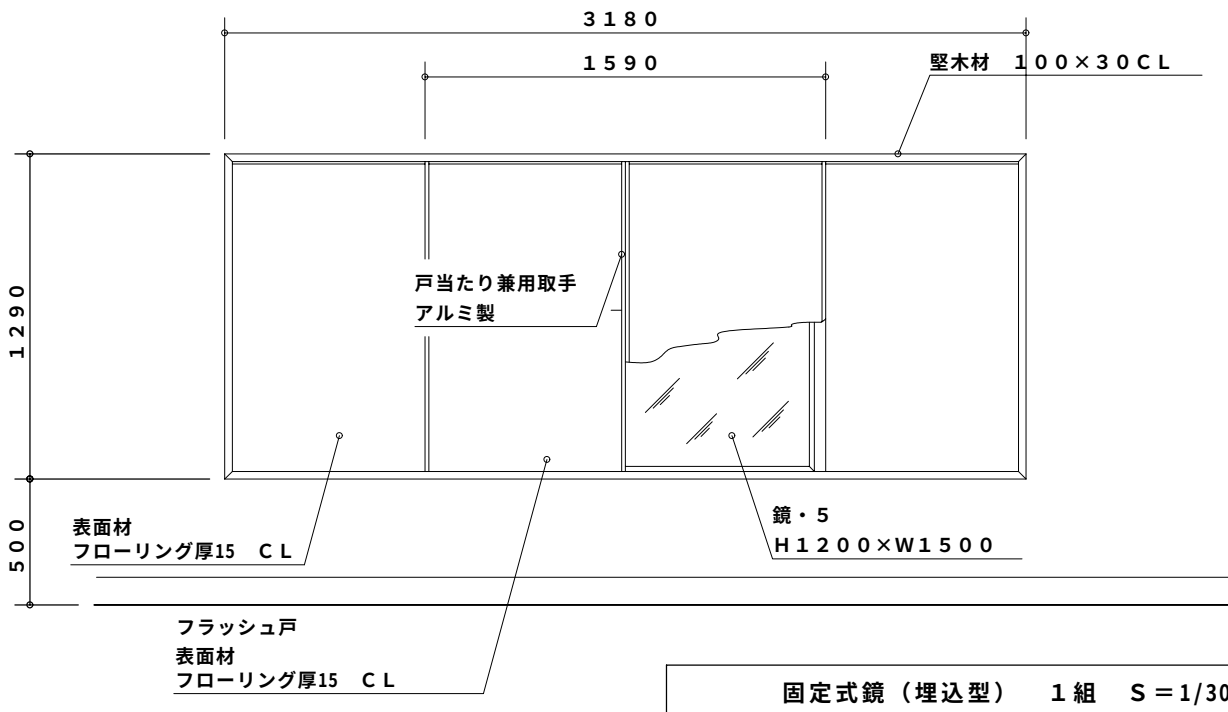
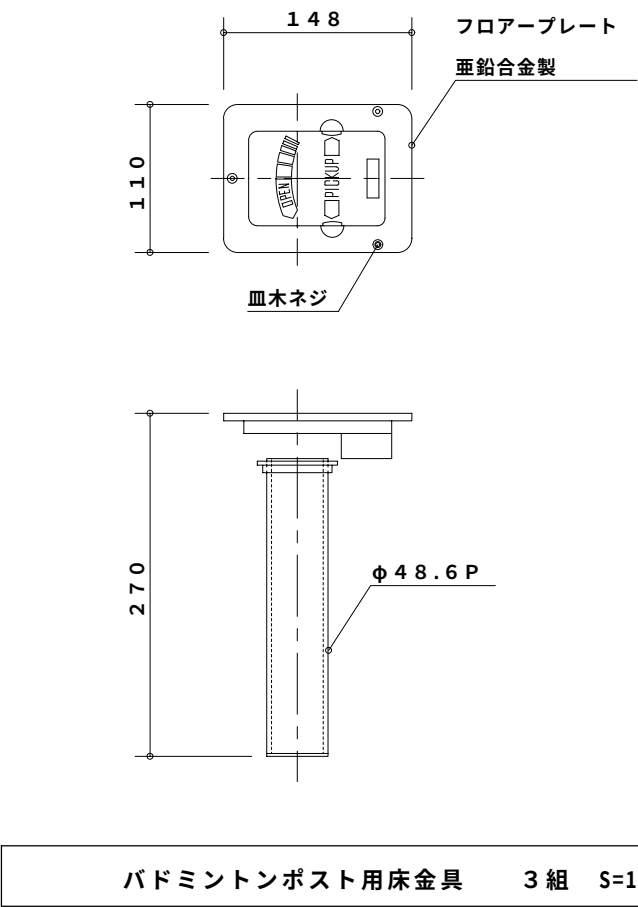
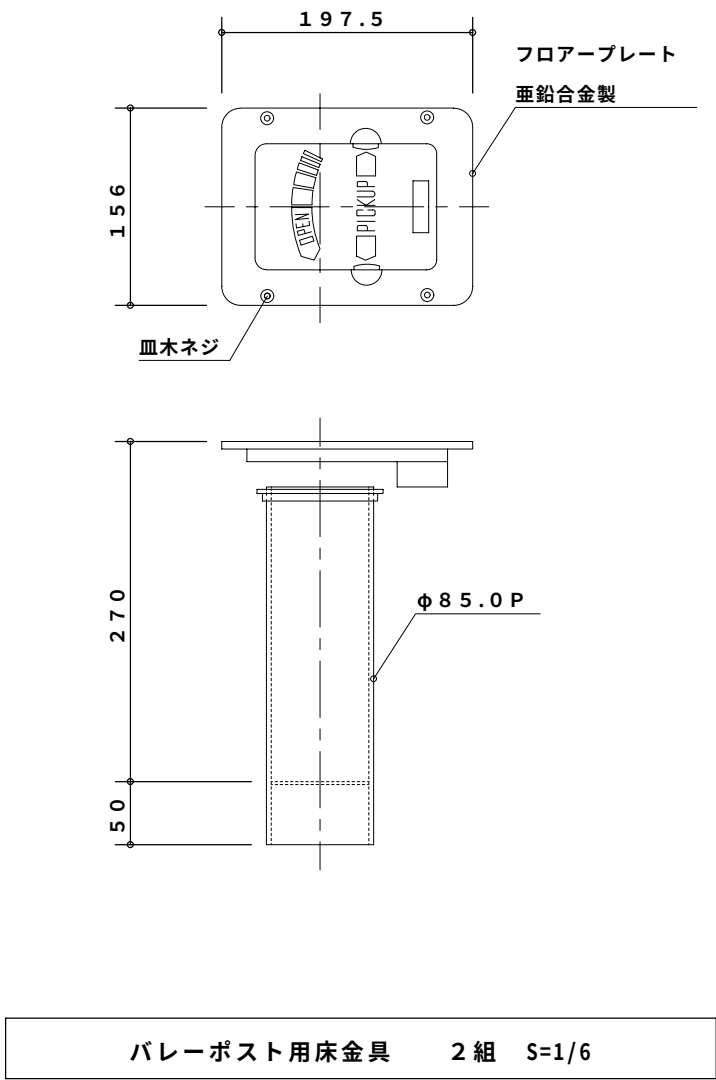


特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	体育器具姿図 (2)				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	97	S=1:30	年月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



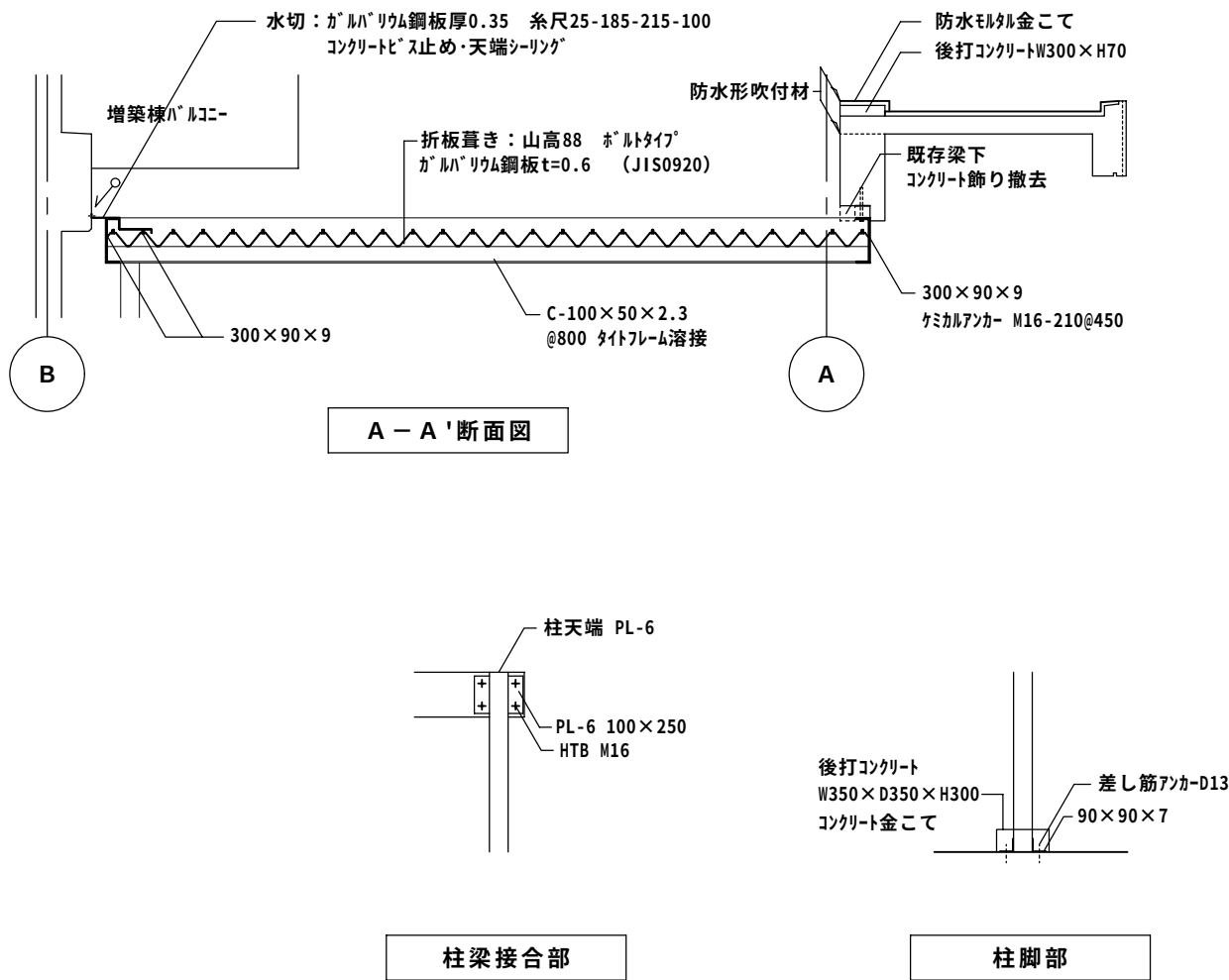
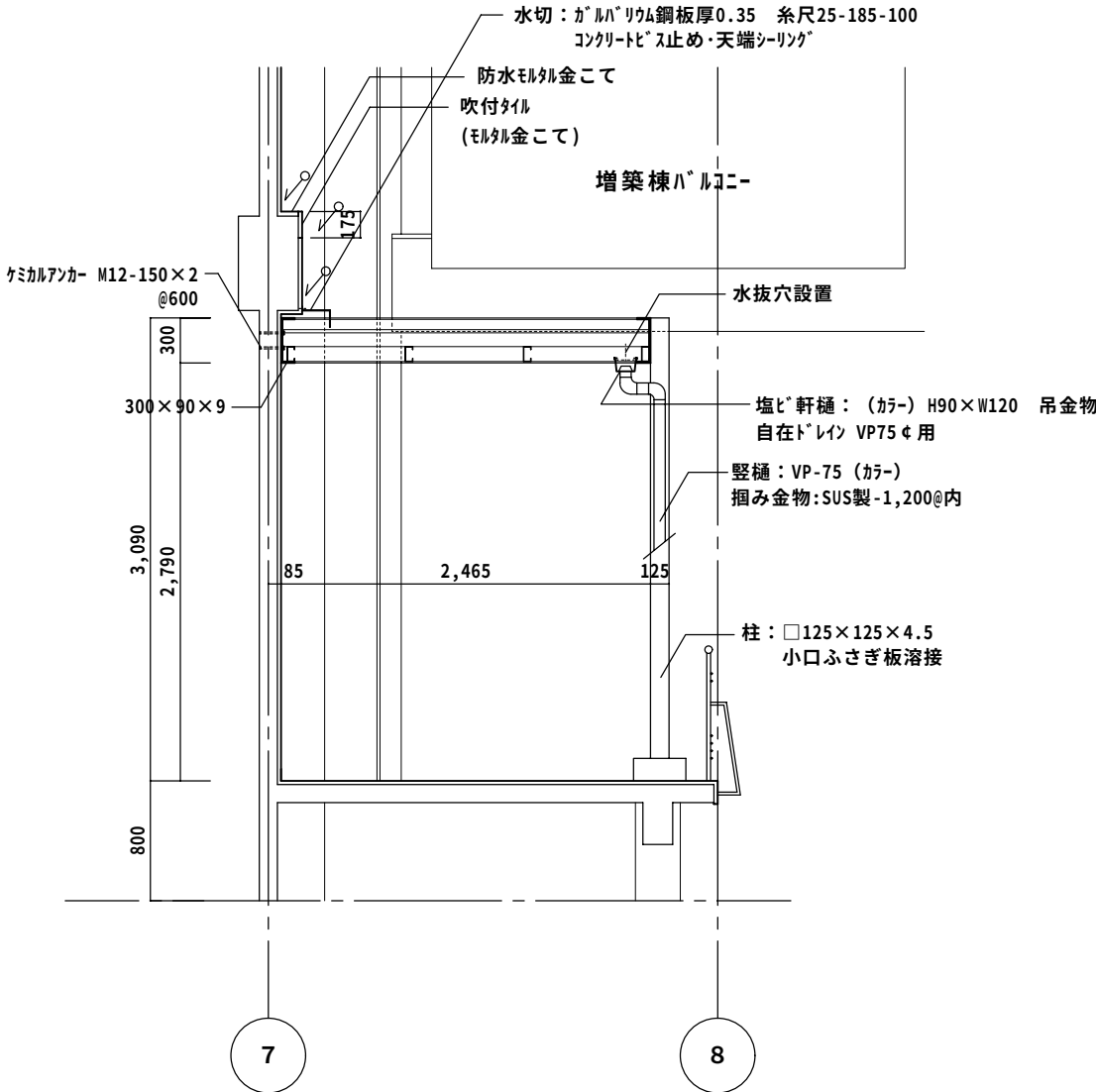
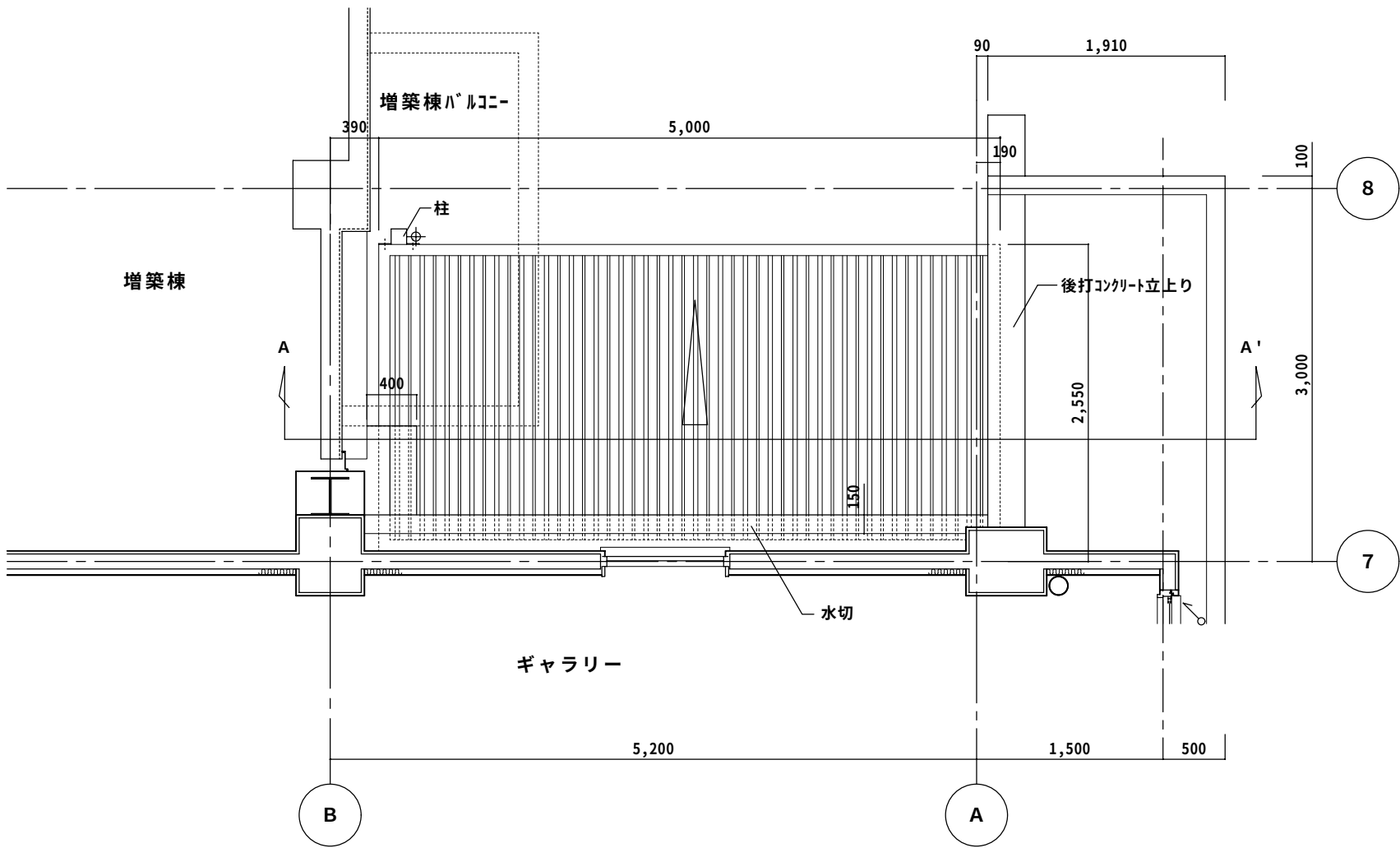
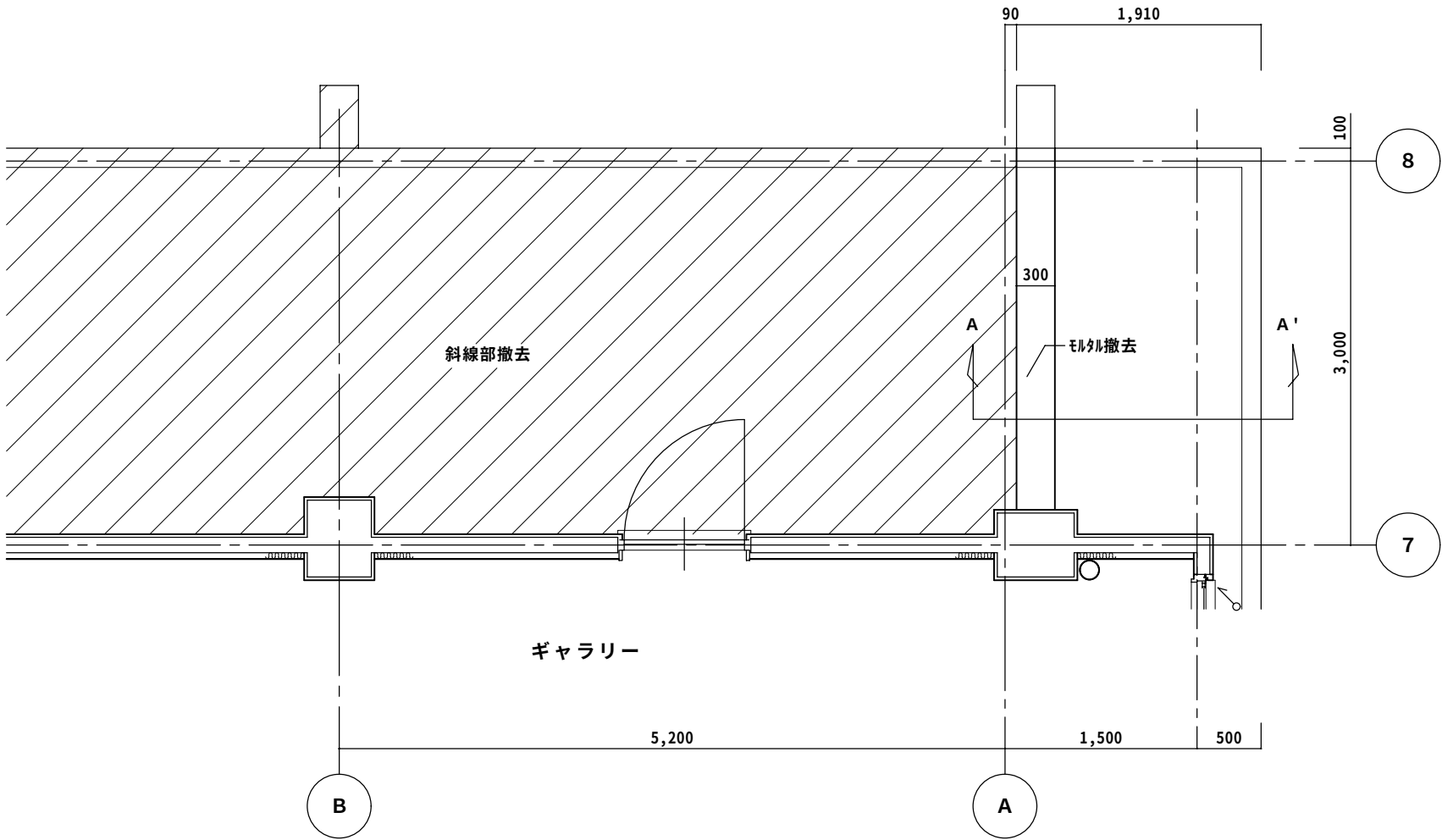
枠取付断面図 S=1/4



※表面材割付は打合せの上。

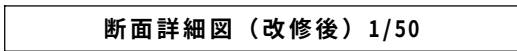
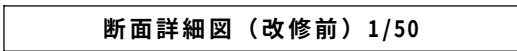
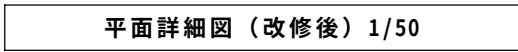
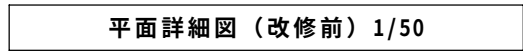
特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	体育器具姿図（3）				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	—	98	S=1：15・30	年 月	第 102935 号
					TEL 088-622-0883	
					FAX 088-622-0885	



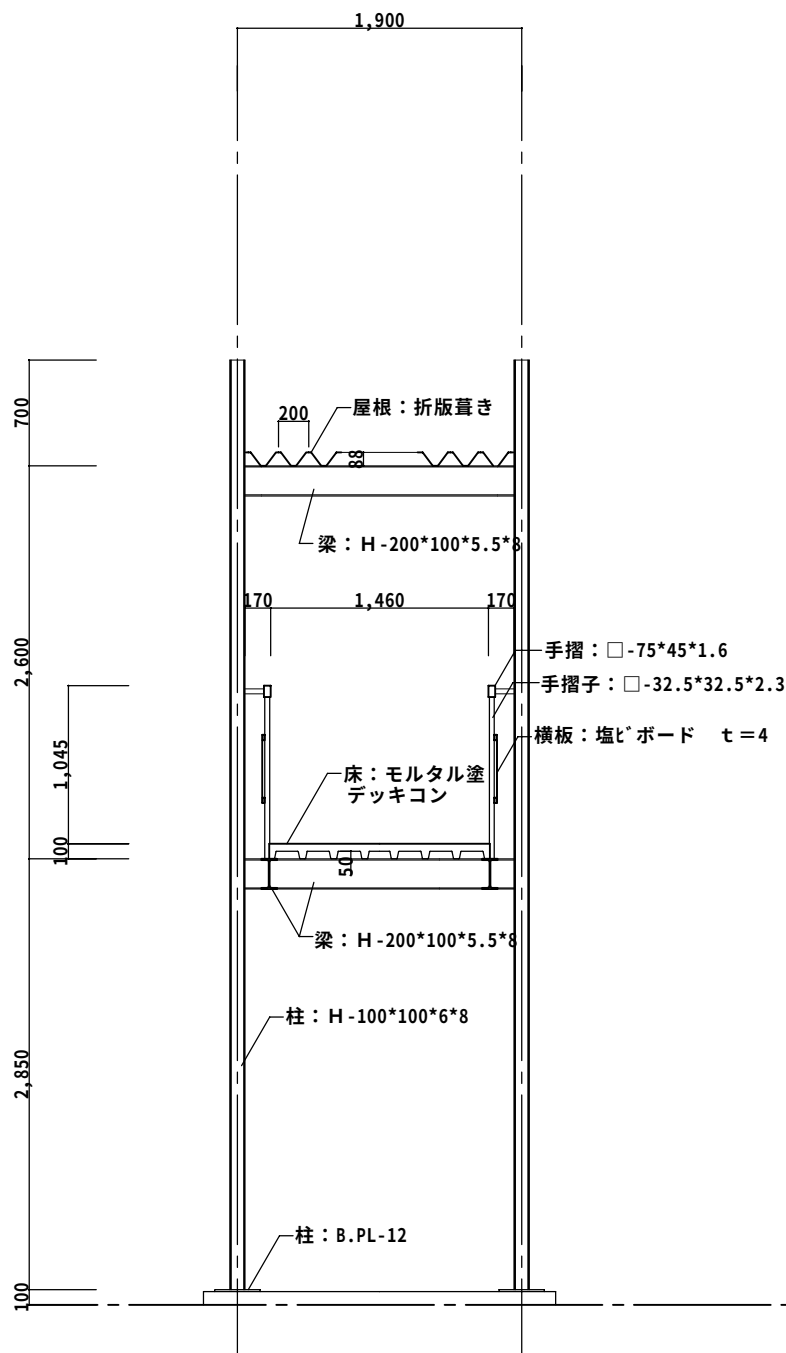
特記： 図中 はシーリングを示す。

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水可次
名称	下屋詳細図				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	—	99	S = 1 : 20	年 月	第 102935 号
						TEL 088-622-0883
						FAX 088-622-0885

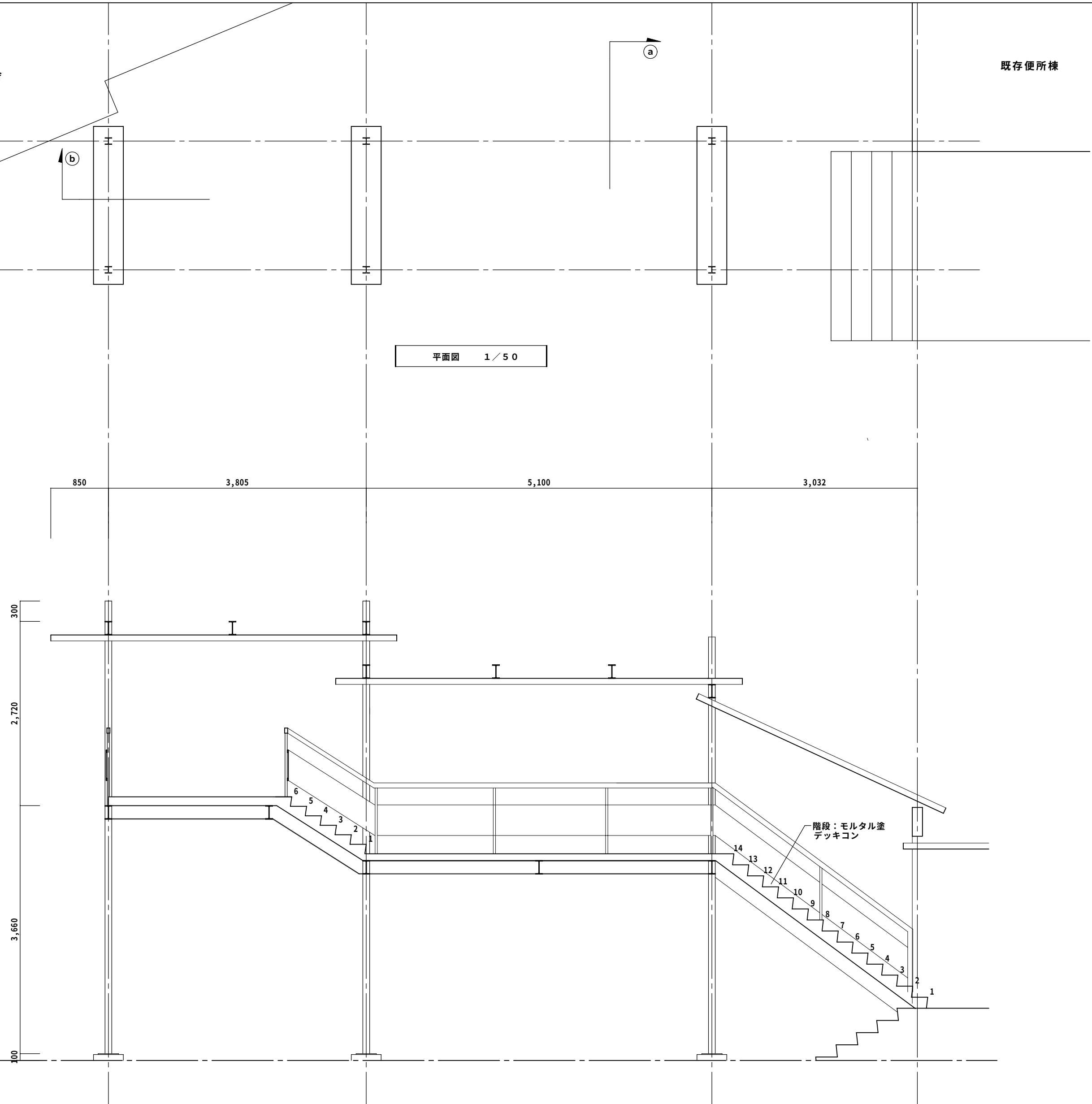


工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速 水 可 次
名 称	プール棟改修図				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図 番	A	— 100	S = 1 : 50	年 月	TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	

工事概要
図面表示部分
既存渡り廊下の屋根及び床（デッキ共）・手摺を撤去する。
鉄骨柱・梁及び基礎を撤去する。



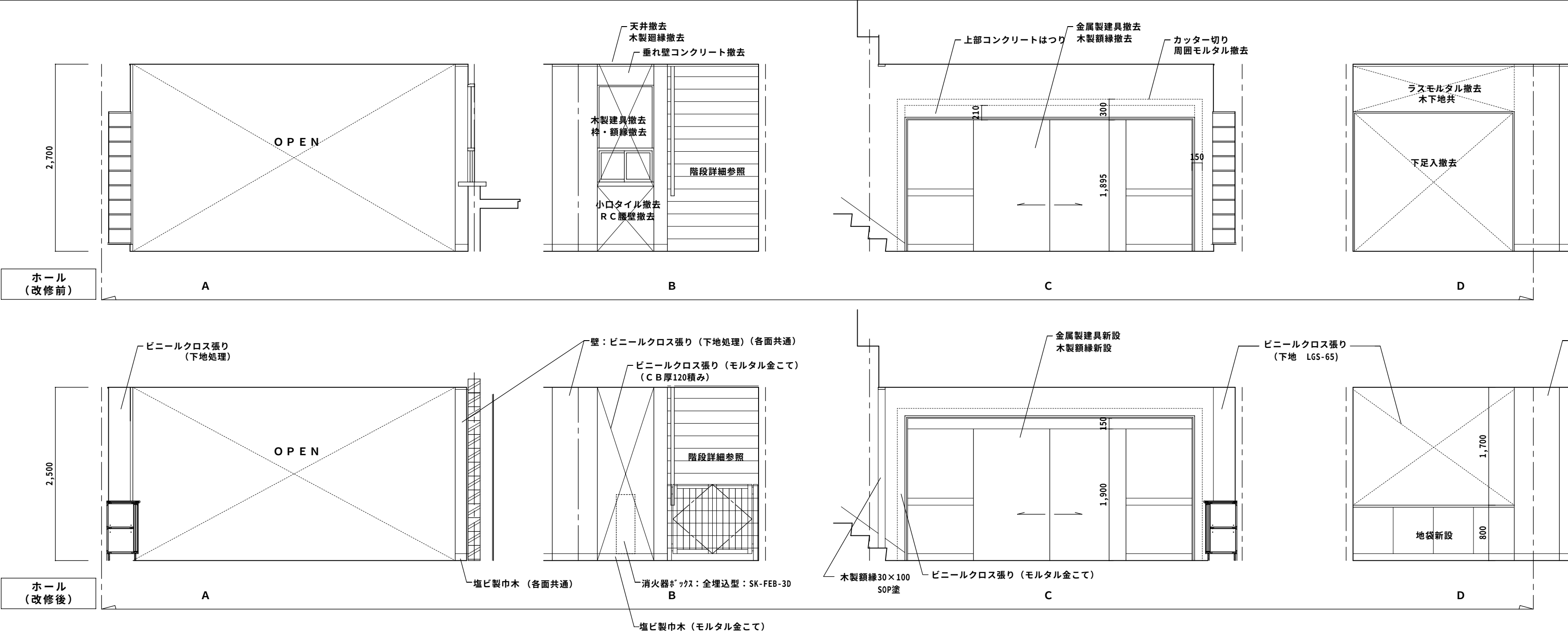
① 部断面詳細図 1 / 50



② 部断面詳細図 1 / 50

特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水 可次
名称	外部渡り廊下詳細図				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A - 101	S = 1 : 50	年 月		TEL 088-622-0883	第 102935 号
					FAX 088-622-0885	



特記：

工事名	相生体育館耐震補強・改修及び増築工事				株式会社 剛 建築事務所	速水可次
名称	展開図 (10) (改修前) (改修後)				徳島市新蔵町1丁目51-1	1級建築士登録
図番	A	78	S=1:50	年月	TEL 088-622-0883	第102935号
					FAX 088-622-0885	